

豊かな

水

愛知用水30周年記念

をありがとうございます。

30th



かつて“夢の用水”とまで呼ばれた愛知用水。昭和36年の通水以来、愛知用水はさまざまな形を変えて、私たちの暮らしを潤してきました。農業用水として、上水として、そして工業用水として、地域の発展に大きく貢献してきました。

1991年9月30日は、「愛知用水」の30回目の誕生日です。この記念誌は、愛知県および岐阜県の主要な水需要を支える愛知用水に感謝するとともに、人と水との新しい関わり方を考えたり、話し合ったり、そして発見できるきっかけになれば幸いです。

目次

はじめに	1
目次	2, 3, 4
〈巻頭カラー〉	
愛知用水の水の旅	5
(牧尾ダム・知多半島の先端まで)	24
PART 1 豊かな水をめぐって	
愛知用水の回顧と展望	
通水30周年に	
思う	28
鈴木礼治	29
伝える	30
梶原 拓	31
考える	32
名古屋造形短期大学助教授 品川 誠	33
始める	34
(社)淡水生物研究所所長 森下 郁子	35
期待する	36
歴史研究史文会代表幹事 井上博史	37
忘れてはならないこと	38
中日新聞論説委員 前田義夫	39
水にまつわるカルチャー	40
日本人と水と文化	
PART 2 愛知用水のプロフィール	
愛知用水ものがたり	41
木曾川の水を夢見た人々	49
夢物語から国家事業へ	
愛知用水と世銀借款について	
愛知用水公団とは	50
〈PHOTOGRAPH〉	
愛知用水ができるまで	51
愛知用水の建設に燃えたアメリカ人たち	52
青い目のベストパートナーたち	73



●愛知用水は……

戦後、我が国において最初に計画され、そして実施された、もっとも大がかりな国土総合開発事業です。着工は昭和32年11月、5年の歳月を経て通水(通水式は昭和36年9月30日)にこぎつきました。

世界銀行からの一部借款による総工費422億円は、当時としては気の遠くなるような数字。その水源は、木曾川の最上流・玉滝川をせきとめてつくられた、ロックフィル型式の「牧尾ダム」(有効貯水量6,800万トン)です。

●愛知用水は……

牧尾ダムから木曾川の水流を利用、発電(関西電力)させながら、岐阜県八幡津町にある通称「兼山の取り入れ口」で取水(最大取水量は毎秒30トン)。ここから76のトンネル、50のサイホンを通り抜けて、山をくぐり、谷を縫い、橋脚や河の下をもぐって、岐阜県から愛知県の荒瀬東部、知多半島の先端まで通水されています。

幹線水路は総延長112.1キロメートル、支線水路は全長1,012キロメートルにも及んでいます。



水にまつわるカルチャー	74
日本人と水と日本語	
PART 3 愛知用水のハード	
愛知用水のメカニズム	77
愛知用水には1つのダムと5つの調整池がある	78
牧尾ダム	80
兼山取水口	81
入鹿池	82
愛知池(東郷調整池)	83
三好池	84
松野池	85
佐布里池	86
LAKE ONTAKE	87
水にまつわるカルチャー	88
水とは何かの各言葉	89
PART 4 愛知用水のソフト	
愛知用水の上水と工水	90
愛知用水の水が私たちの家庭に届くまで	91
(各浄水場の紹介)	
高蔵寺浄水場	92
旭浄水場	93
上野浄水場	94
知多浄水場	95
工業用水って何?	96
東郷浄水場	97
水にまつわるおいしい話	98
愛知用水の水は、きれいか、おいしいか	99
ZOOM UP	100
AGIGAWA DAM	101
水にまつわるカルチャー	102
世界の水に関することわざ	103



愛知用水の水の旅

その最初のひとしずくは、
長野県の緑深い山の中から始まります。

野に花を咲かせる水がある。
尾根をつたって湧きでる水がある。
さんざんとふりそぐ太陽の光を浴び、
澄んだ空気をたっぷり吸い、
緑の林をいくつも通り抜けて
やがて、水は豊かな
川の流れをつくりだします。
すべてが「山の中から始まる」木曾路の
そのまた山奥に、
源流を求めた愛知用水——。
岐阜県から愛知県の知多半島の
先端まで走り続ける水の旅も、
また、すべてが山の中から始まります。

PART 5 愛知用水と地域の発展

通水から今日までの移り変わりを知る

愛知用水の30年史

(農業・私たちの暮らし・工業まで)

PART 6 これからの愛知用水

通水30周年記念

愛知用水サミット

受益者座談会

ありがとうの気持ちを未来に

水にまつわるカルチャー

水の今昔物語

PART 7 データ編

社会の動きと愛知用水(年表)

(愛知用水の運動が始まった昭和二三年〜通水三〇周年を迎えた平成三年まで)

愛知用水のあゆみ〜二期事業まで

水にまつわるカルチャー

あのモノリザの作者はかく言った。

〈巻末カラー〉

愛知用水の水エネルギーウォッチング

ZOOM UP

MAKIO DAM

あとがき

スペシャルサンクス

●愛知用水は……

農業用水として、生活用水として、また工業用水として今日まで、地域の発展に多大なる貢献をもたらしてきました。

その受益地域は、岐阜県と愛知県にまたがる29の市と町に広がっており、この地域の広大な田畑を潤し、名古屋市のパッドタウンとして高蔵寺ニュータウンをはじめとする新しい街づくりの歴史をスタート。また名古屋西部臨海工業地帯に重化学工業の花を咲かせ、愛知県を全国でも屈指の工業県に発展させるなど、今もなお中京地区には欠かせない「水の大動脈」になっています。



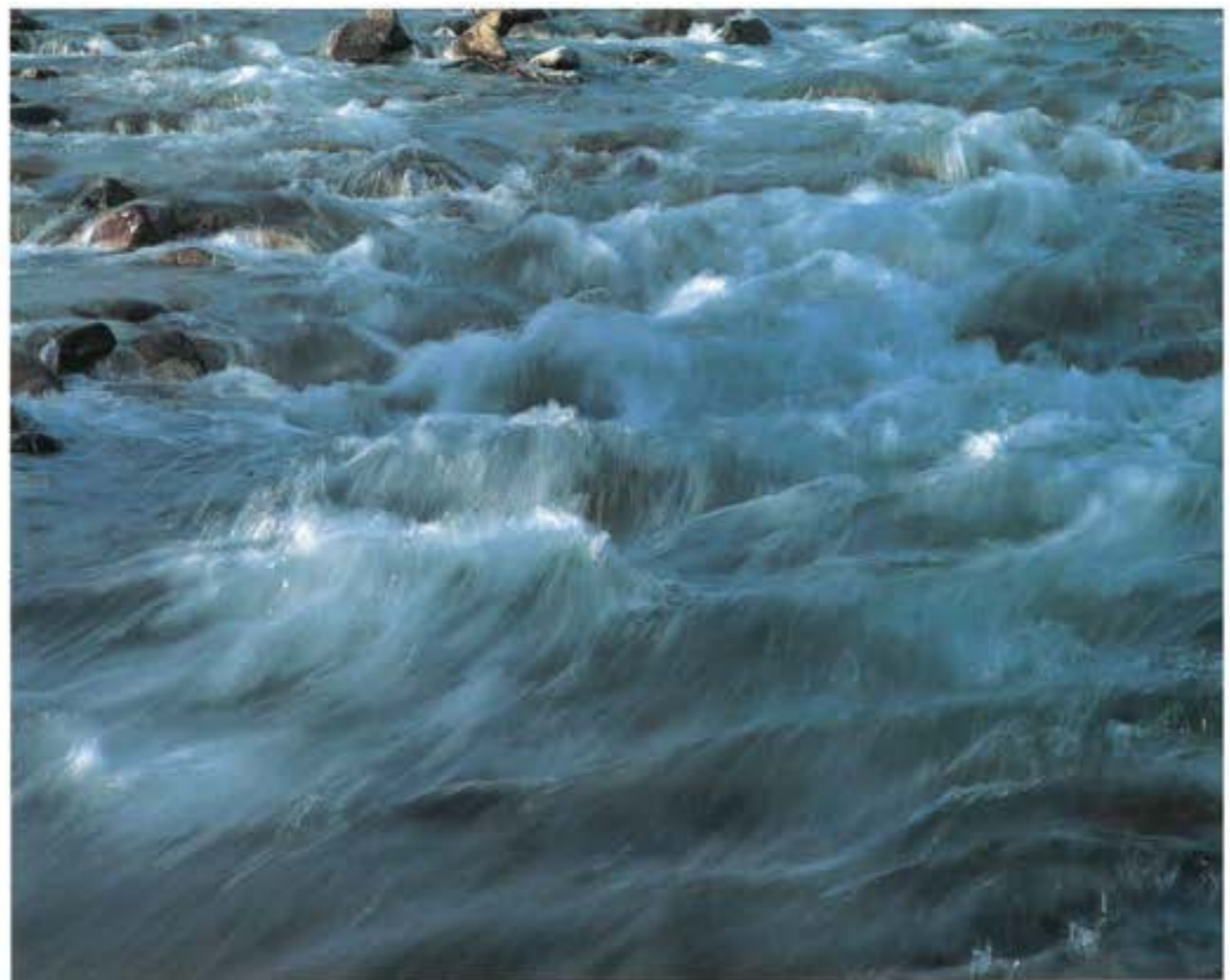
御嶽山の麓を流れてやってくる。
愛知用水が私たちの暮らしに与えてくれたもの



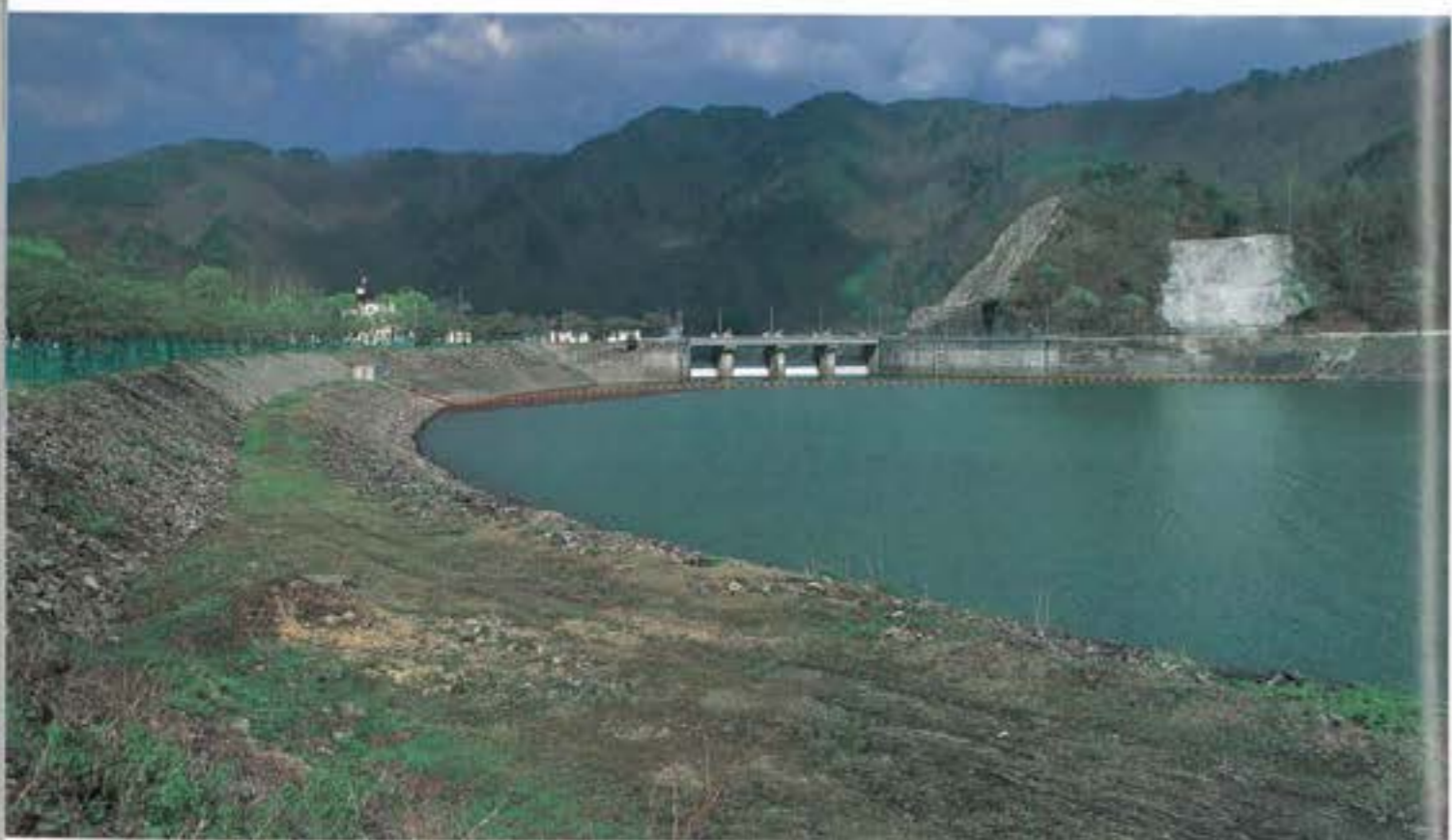
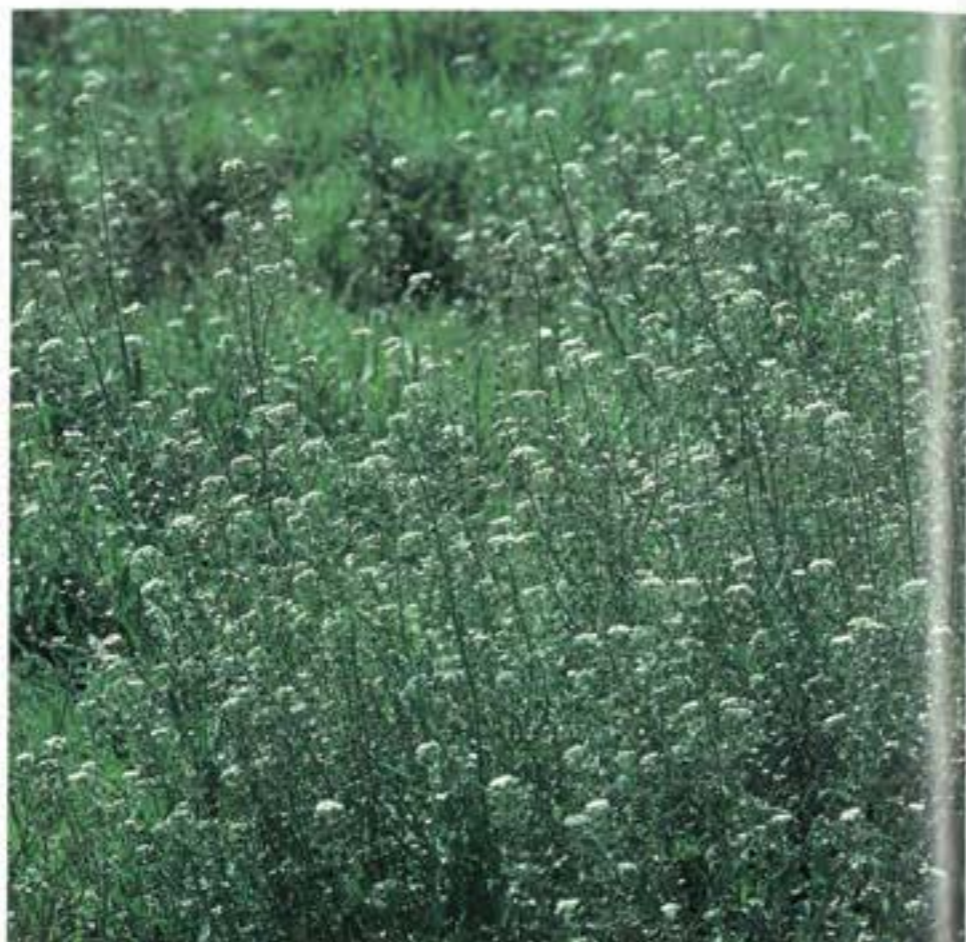
自然に恵まれた愛知用水のふるさと

●標高三、〇六三メートルの御嶽山の麓からならよく見えるのに、近づいても、近づいても、見えそうで見えない山——木曾の御嶽山は、そんな、なぞなぞのような山です。
お天気のよい日なら、名古屋の中心部からでも、ほんの少し高いビルへ上れば容易に姿を見つかることはできるのに、木曾に入っていくにつれて、御嶽はだんだん姿を隠してしまします。
周囲に、険しい山がたちはだかつて視角をさえぎるため、国道19号から姿を見つかることができるのは、かつての難所・鳥居峠と、愛知用水の源流・王滝川が木曾川に合流する木曾福島町神戸付近に限られています。わずかに山のでっぺんが見えるだけです。それが、それが昔から「神のまします山」であり

たい山」として、多くの人々が信仰してきた一因にもなっているようです。
しかし、車で走ること四、五〇分。木曾福島から開田高原へ向う途中にある地蔵峠からのぞむ御嶽の山容は随一です。標高三、〇六三メートル。北アルプスの南端にあり、日本で九番目に高い山。昭和五四年には、有史以来初めての大噴火を起こし、あちこちに大きな被害をもたらしましたが、それでもなお、この山には人にはないやさしさがあります。
あの頂上には、数えきれないほど大勢の信者を迎え入れてきた歴史があるからでしょうか。それともこの山の麓に、愛知用水の源が流れているせいでしょうか。私たちの目に、しっかりと焼きついて離れない感動があります。



源流は木曾川の最上流・王滝川



●愛知用水の一滴の始まり
すべてのものには始まりがあるように、水にも始まりがあります。

木曾川の一滴は、長野県の西南端、葦原から上高地へ向かう途中の木曾郡木曽村の北側にそびえる鉢盛山から始まります。標高二、四四六メートル。サワラやトウヒなどの原生林と、ヒノキやカラマツなどの人工林に覆われたこの緑深い山で、夜明けとともに光るひとしずく……。天が絞りだした一滴が、木曾川の流れを生みだし、支流王滝川を合流して大河をつくりだしているのです。

一方、愛知用水の水の始まりは雲峰御岳山のとっぺんから。緑の葉っぱのうえて右に揺れ、左に揺れながら次第に鮮度を高めている水滴が、濃尾平野の丘陵地帯から知多半島一帯を潤す愛知用水のルーツともいえるのです。

●水豊かな王滝川の流れ

愛知用水の源流・王滝川は、太古の昔から濃尾平野に肥沃(ひよく)な土を送り続けてきた「木曾川の上流」というイメージがびっぴりたる美しい川です。もっとも地理的には鳥居峠の西を流れている「味増川が木曾川の最上流」で、この名前も木曾川がその昔、曾川と呼ばれていた頃に「木だ曾ならず」の意味から付けられたといわれています。

しかし、谷が広く、山は開けていて、森も少ない味増川には「木曾本流」というイメージがあまりなく、そのためがイドブツクなどでは、一般的に王滝川が「木曾川の最上流」として紹介されることが多いのです。とくに水ヶ瀬からのながめは、地元

の人たちも「木曾谷でも一番の壮観」と自慢するほどで、美しいヒスイ色の輝きを放ちながら、ゆっくりと流れていく姿は、実に堂々として頼もしい限りです。

●牧尾ダム誕生のプロファイル

深い谷を越え、大きなカーブを曲がった牧尾ダムが見えてきました。通称「御岳湖」。木曾川の上流・王滝川の流れをせきとめ、愛知用水の水源として生まれたこの人工湖は、周囲一二キロ、有効貯水量六、八〇〇万トン。昭和三六年の完成以来、尾張・知多地方の約一五、〇〇〇ヘクタールの農地と、新日本製鉄名古屋製鉄所をはじめとする名古屋南部臨海工業地帯を潤し、さらには約一〇〇万人の生活用水を支えてきた偉大な「水がめ」です。

しかし、当然のことながら最初からダムの計画がすんなりと進んだわけではありません。昭和一九年、愛知用水の水源候補として、この牧尾が大きくクロージアアップされたとき、地元はもちろん、長野県議会も「完成しても、こちらは何の利益もならない」と反対決議。昨今のように権利意識がさかんな時代なら、話はこじれ、完成したかどうかとも怪しいものでしたが、戦後初の国家的な事業計画とあって、結局、一億一、〇〇〇万円の補償で合意。

三〇年も経つと、ともすれば忘れさられようとしていますが、このダムの完成によって三岳村の四二戸と王滝村の一九八戸の家や田畑が水没。こうした多くの犠牲のうえに、愛知用水の受益地区は今日までめざましい発展を遂げてきたのです。

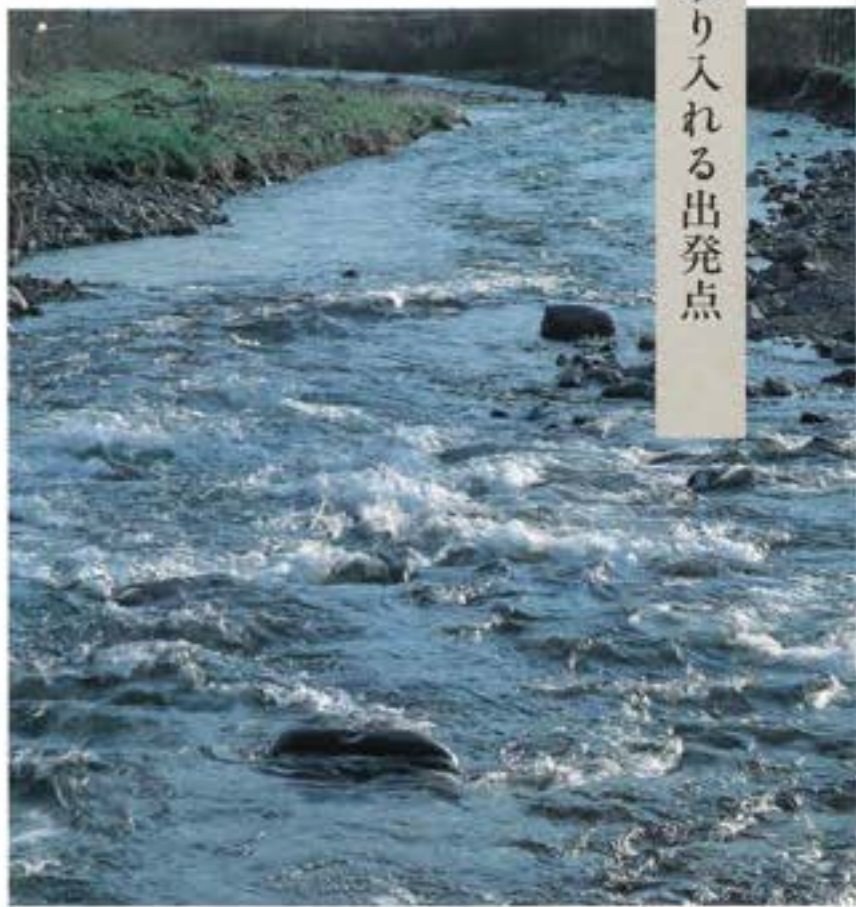
木曾川の水を取り入れる出発点

●木曾川の流れとともに

牧尾ダムに貯められた愛知用水の水は、ここから木曾川の本流に合流。関西電力の貴重なエネルギー源として発電させながら、約120キロ先の岐阜県加茂郡八百津にある取水口へと向かっていきます。語るまでもなく、木曾川は全国に知られる一級河川。江戸時代の尾張六一万石を支え、愛知を工業出荷額全国一の県に押し上げてくれた、大河です。もっとも大河といっても、全長はわずか130キロ。長さだけからいえば、同じ鉢盛山を水源の一つとする三七〇キロ近い信濃川はもちろんだ、利根川にも及びませんが、水量・流域面積のいずれをとっても日本屈指の規模を誇っています。

太古の昔から大河の流域には必ず人間の営みがあり、河岸には人の往来が始まり、道が自然にできました。そして、この道と川の流れは、山の幸を下流に、海の幸を上流に運ぶのに欠かせない交通機関となり、人と人とを結ぶ生活文化の通り道として発達してきたのです。

木曾川も例外ではありません。おなじみ「木曾節」の「仲乗りさん」は、この木曾川の激流と戦いながら木村を運びだし、中山道の木曾路沿いに設けられた一丁の宿場も木曾川の恵みを受けて栄えてきました。芭蕉も、十返舎一九も、この木曾谷の峠を越え、木曾川に架けられた吊り橋を渡ったと伝えられています。この地に育った木曾義仲は、平家討伐の兵を木曾谷に挙げて武将のロマンを伝え、鳥崎藤村は「夜明け前」という名作を私たちに残してくれました。行く川の流れば、今日も絶えずして



流れ続けています。自らがつくりだした木曾谷の渓谷美を仰ぐようにして、先へと急ぐようにして流れていきます。

●名前は兼山でも八百津町にある取水口

長野県と岐阜県の県境を過ぎた頃から、木曾川の流れは実に堂々としてきます。兩岸いつばいに流れを広げ、水量もだんだん膨れあがっていきます。

それにしても水は、なんと豊かな表情を見せてくれるのでしょうか。周りの自然が緑になれば、水も緑になり、草木がハイモニーをつくれれば、流れる水も美しいハイモニーを奏でて聞かせてくれます。水を見ていると、なんだか心まで豊かになってきそうです。

中津川市から恵那市へ。瑞浪市から

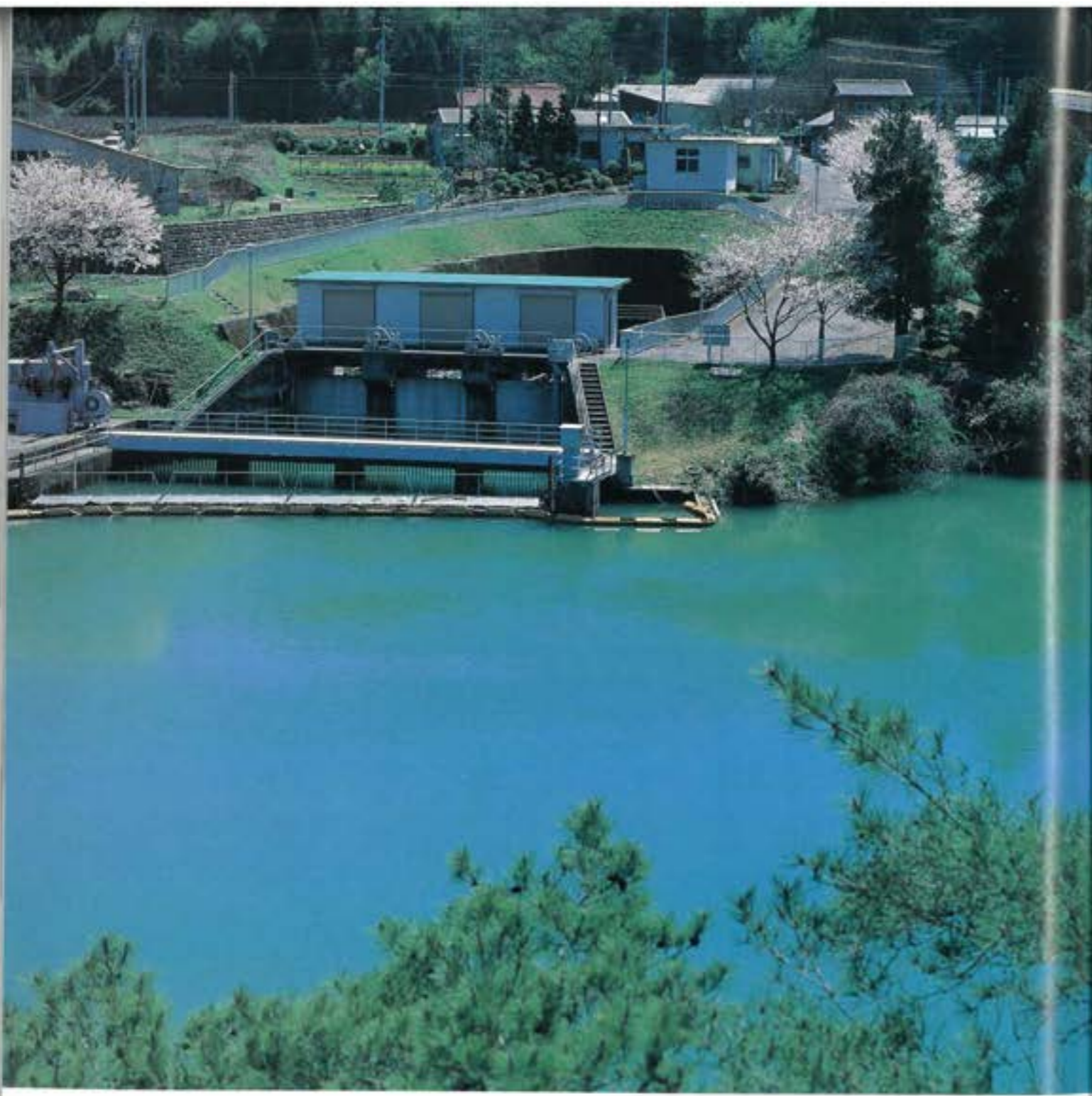
八百津町へ。牧尾ダムから約120キロに及ぶ愛知用水の、木曾川本流の旅。も、まもなく終わります。

岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志二四四番地の一。愛知用水の取水口「兼山取水口」は、ここにあります。名称は兼山でも、行政区としては八百津町。また兼山町は人口約二、〇〇〇人、面積わずか二・五キロ。織田信長の家臣・森蘭丸の出生地で、江戸時代には伊勢湾の塩を信州へ運びだす湊町として栄えた歴史があるだけに、町制を敷いてからすでに一〇〇年あまりになります。これまでに一度も近隣町村との統廃合をしたことのない、ここは岐阜県内の市町村でも珍しいミニ自治体です。

●最大取水量は毎秒三〇トン

取水口というからには、水がゴウゴウと音をたて、大きな渦を巻いて豪快に吸い込まれていく場面を想像していたのですが、兼山取水口の情景は意外や意外、悠然とした木曾川の流れに沿って、ほんの少しずつ水が橋道に逸（そ）れていく、といった感じなのです。最大取水量は、なんと毎秒三〇トン。ゆるいカーブを描いた三枚のゲートがコントロールハウスのボタン操作で自動的に上下し、このゲートをくぐり抜けた水が文字通り「愛知用水の水」というわけです。

幹線水路は総延長一一・二キロ、支線水路全長一、〇二キロ。途中七六カ所のトンネルと、五〇カ所のサイホンをつけて、山をくぐり、谷を縫い、東名高速や電車の線路・川の下をもぐりながら、水は延々と知多半島の先端まで南下していきます。





農業の姿を変えた愛知用水

●水不足の時代から近代農業へ

愛知用水の水との縁は、とうとう本格的に始まりました。あるときはトンネルで山を貫き、またあるときはパイプで川を越え、そしてサイホンで道路や線路をいくつも渡って、水はひたすら南下していきます。

それにしても幹線水路だけでも、実に

「一・二・一キロにも及ぶ愛知用水」はるか長野県の御岳山の麓に水源を求め、木曾川の水を知多半島の先端まで引こうとした発想が、いかに壮大なものであったのか、こうして上流から歩いてみると、改めて先人たちの偉業に感謝したくなります。

最初、愛知用水の水源が長野県にあ



ると知ったとき、正直言って、不思議に思いました。なぜなら木曾川の水は、近くにも流れているからです。それを岐阜県ではなく、わざわざ長野県の御岳山の麓を選んだのは、そこが木曾川の最上流であり、そこにダムをつくって水を貯めれば十分な水が確保できると考えたからに違いありません。

それは、いわば先人たちの知恵と工夫の結果。いかにこの地域の人々が水不足に悩まされ、苦しめられてきたかの裏返しでもあります。

今でも知多半島には、たくさんのお池があります。そして、このため池こそ、かつては農家の人たちが米をつくるための唯一の水源だったのです。

そのため「調作は一〇年に三年ほど」、「米が食べられるのは盆と正月と秋祭り」の三回、それに冠婚葬祭でお客様が来たときだけ」という、ひどい生活がずっと続いていました。

しかし、愛知用水が通水してからは、田んぼの水もバルブをひねるだけ。太陽が照りつく一面のキャベツ畑では、ひっきりなしにスプリンクラーが回り、温室では自動散水装置を備えたラシや観葉植物の栽培が盛んに行われています。酪農の姿も大きく変わり、食肉用の「知多牛」は、味においては、松阪肉に何らひけをとらない美味、とまでいわれるようになりました。ミカン、ブドウ、ナシ、ビワをはじめ、果物の産地としても、知多は全国的に知られるようになりました。

どれも、これも、木曾川の水のおかげ。すべては愛知用水の水の恩恵によるものです。



工業用水の使われ方もいろいろ

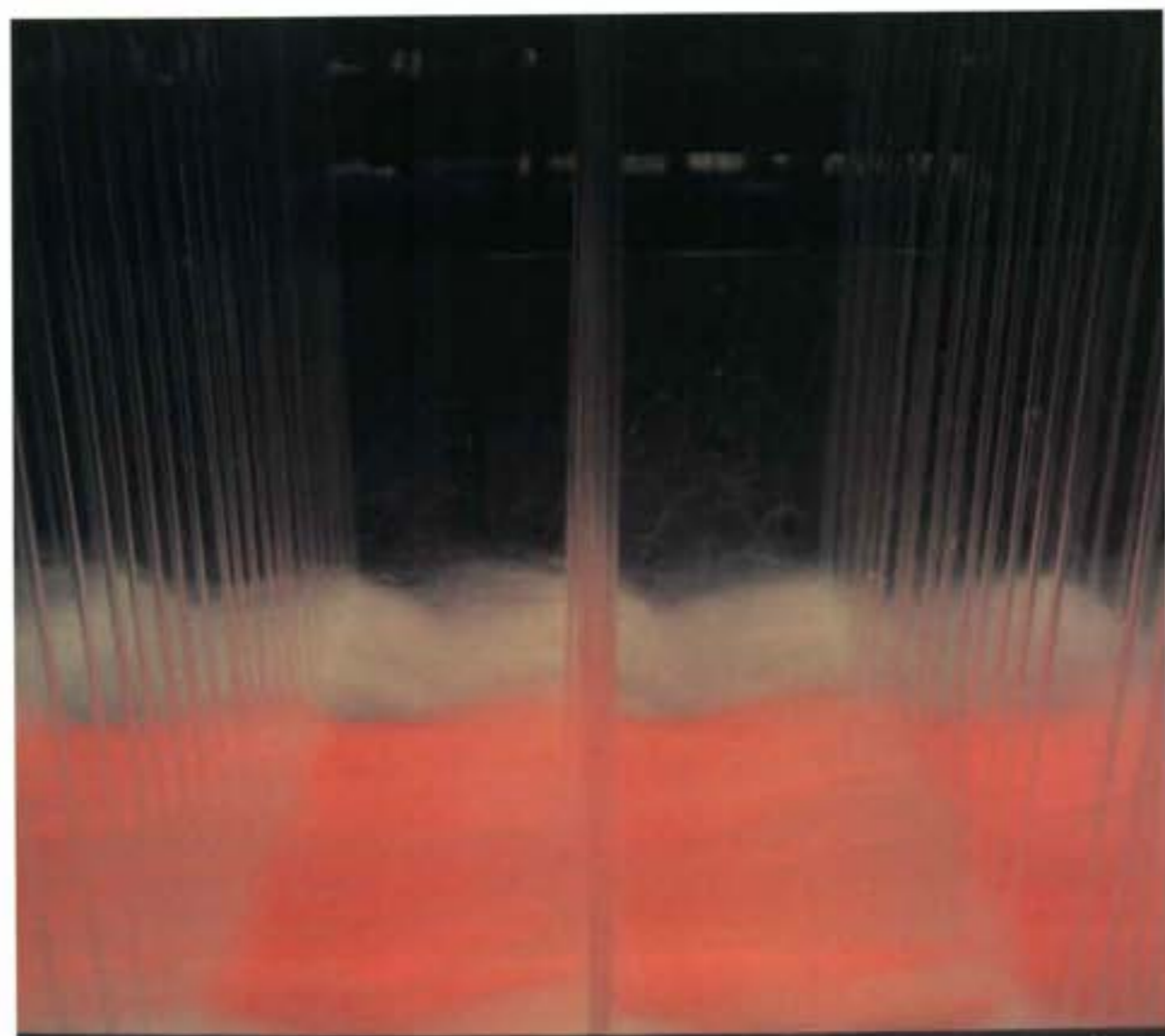
●一時間一万四〇〇立方メートルの新日鉄

愛知用水の水は、工業用水にも使われています。いいえ、今では最も多く工業用水として使われているのです。

主な給水先は名古屋市南部の工業地帯（港区・南区）と、その先にある名古屋南部臨海工業地帯の六六の事業所で、一日の利用量は七四万八、二〇〇立方メートル。実になんとドラム缶三七四万本分の水が、これらの企業や工場に使われているのです。そして、このなかで最も大量に愛知用水の水を使っているのが新日鉄。日本を代表する製鉄会社の名古屋製鉄所です。ここでは鉄の原料である鉄鉱石が石灰などと一緒に一二五〇度Cの高かの中で溶かされて鉄鉄となり、次の工程で良質な鋼に精練されます。この鋼はさらに圧延工場で加工され、自動車や電化製品などさまざまな分野で使われる。製品。となります。

加熱したり、冷却したりを繰り返しながら、次から次へとつくられていく圧延工程。鋼板の品質、つまり強度や硬度のすべてを決める、いちばん重要な場面でも愛知用水の水はその力を発揮しているのです。また高炉や転がなどの高温の設備を保護したり、鉄板の厚みを管理していくためのロール冷却水や鋼板表面についている汚れを落とすための洗浄水としても、愛知用水の水は多方面に使われています。

一時間あたりの契約量は、現在一万四〇〇立方メートル。これが製鉄所のあらゆる部門で使用され、しかも一度使った水を何度も循環使用する、いわゆるリサイクルが徹底して行われ、回収率は約



九〇パーセントにもなっているそうです。それに、これは意外なことだったので、製鉄工場では使われる水は「水なら何でもい」というわけではなく、「最終製品ほど水質が大事」とのこと。つまり、木曾川の水だから大丈夫、安心して使えるというところが大きいのです。

●水の求め方も多種多様

一般的に製鉄工場よりも、大量の水を必要とされているのが製紙工場です。鉄一トンあたり約二〇〇立方メートルの水に対して、上質紙では約三二〇立方メートルの水がいるといわれています。そして、これよりもさらに多くの水を必要とするのが石油化学工場。レーヨンで約一、八〇〇立方メートル、アセテートに至っては一トンあたりの製品をつくるのに約三、一六〇立方メートルの水が使われているのです。もちろん、それぞれの工場の規模や生産工程のあり方によって、その使用量はすい分と違ってくるわけですが、昔から「繊維・紙・鉄」が水を最も多く必要とするベスト3。

これに対して、水の使用量そのものはあまり多くないのですが、とにかく、高度な水質が必要というのが、清涼飲料をはじめとする食品メーカー。東海市にある中京コカ・コーラボトリングでは、愛知用水の水を原料にして、おなじみのコーラやファンタなどを製造していますが、やはり「水質にはものすごく神経を使っています」とのこと。

このほか愛知用水の水は、電力（中電）やガス（東莞ガス）、自動車製造や部品メーカー、機械・石油・化学メーカーなど、幅広い業界の水需要を大きく支えています。しかも、これら企業では一度使った水はすぐ捨てたりせず、回収率を高め、同じ水を何度も使う努力もされているのです。



て、井戸を好んで使う家庭が多かったようです。それが一気に水道化になったのは、まされもなく木曾川の水のおかげ。井戸よりも簡易水道の水よりも、はるかに木曾川から引いた愛知用水の水のほうが、水質面でも衛生面でも勝っていることを、町の人々が知っていたからです。

この「先見の明」があつて、その後、尾張旭市では毎年著しく人口増加。通水時に二万人だったのが、今では六万六、〇〇〇人。実に三倍以上にも膨れあがり、若い世代が多い活気に満ちた都市へと大きく生まれ変わりました。

●高蔵寺ニュータウン

尾張旭市のように、愛知用水の通水後、急激な人口増加をしたところは他にもたくさんあります。なかでも、めざましいのが春日井市です。

太陽と緑の街「をキヤッチアップ」に、昭和四三年五月から入居が始まった高蔵寺ニュータウンは、まさに愛知用水の水を頼りに建設され、誕生したようなものです。

最初に藤山台の入居が始まり、次いで岩成台、高蔵寺……と続き、今では約一万八〇〇世帯、約三万二、四〇〇人の人々がこの新しい街で快適な生活をしています。入居が始まったばかりの頃は雨が降れば道路はぬかるみになるし、バスも開通していないというひどい状態でした。

愛知用水と私たちの暮らし

●新しい街づくりの原動力に

名古屋市のベッドタウンとして急激に人口増加した尾張旭市は、昭和の初めの頃までは純農村地帯でした。今でも当時を思い出させるため池があちこちにあります。とくに矢田川の水が利用できる高い高台では日照りが続くとこの池の水をめぐって、水争いが起きることがたびたびあったといわれています。しかも昭和三〇年前後、瀬戸市に近いこのあたりでは農業が盛んになり、



瀬戸川と合流する矢田川の水がだんだん陶土で汚れ、使いものにならないほどになってしまいました。

そんな頃です。愛知用水の建設計画がもちあがり、農業用水だけでなく、工業用水や生活用水（上水道）としても使えるようになることがわかったのは……。

当時、この町の生活水は、各家庭の庭先にあつた井戸がほとんどでした。少し離れた地区では簡易水道があつたのですが、それでも、水道の水はきれいといっ

とくに若いお母さんたちをいけば、悩ませたのは、赤ちゃんのミルクでした。近くにはスーパーも商店街もなく、我が子が泣きたすと慌てて水道の蛇口をひねり、やかに水を流して、湯がましをつくって飲ませたという、冗談にもならない話がいろいろありました。

この新しい街のほぼ中央、高蔵寺団地のなかにあるのが「高蔵寺浄水場」。名前からもわかるように、高蔵寺ニュータウンのために開設された浄水場です。昭和四三年五月に完成し、一日最大八、八〇〇立方メートルの給水能力でスタートしましたが、現在では一日最大九万四、三〇〇立方メートルに大幅アップ。かつて「水は文化のパロメーター」などといわれた時代もありましたが、水は生命の根源であり、生活を維持していくうえで欠かせないもの、ある意味では、この数字が何よりもこの街の発展と変化を物語っているといえます。

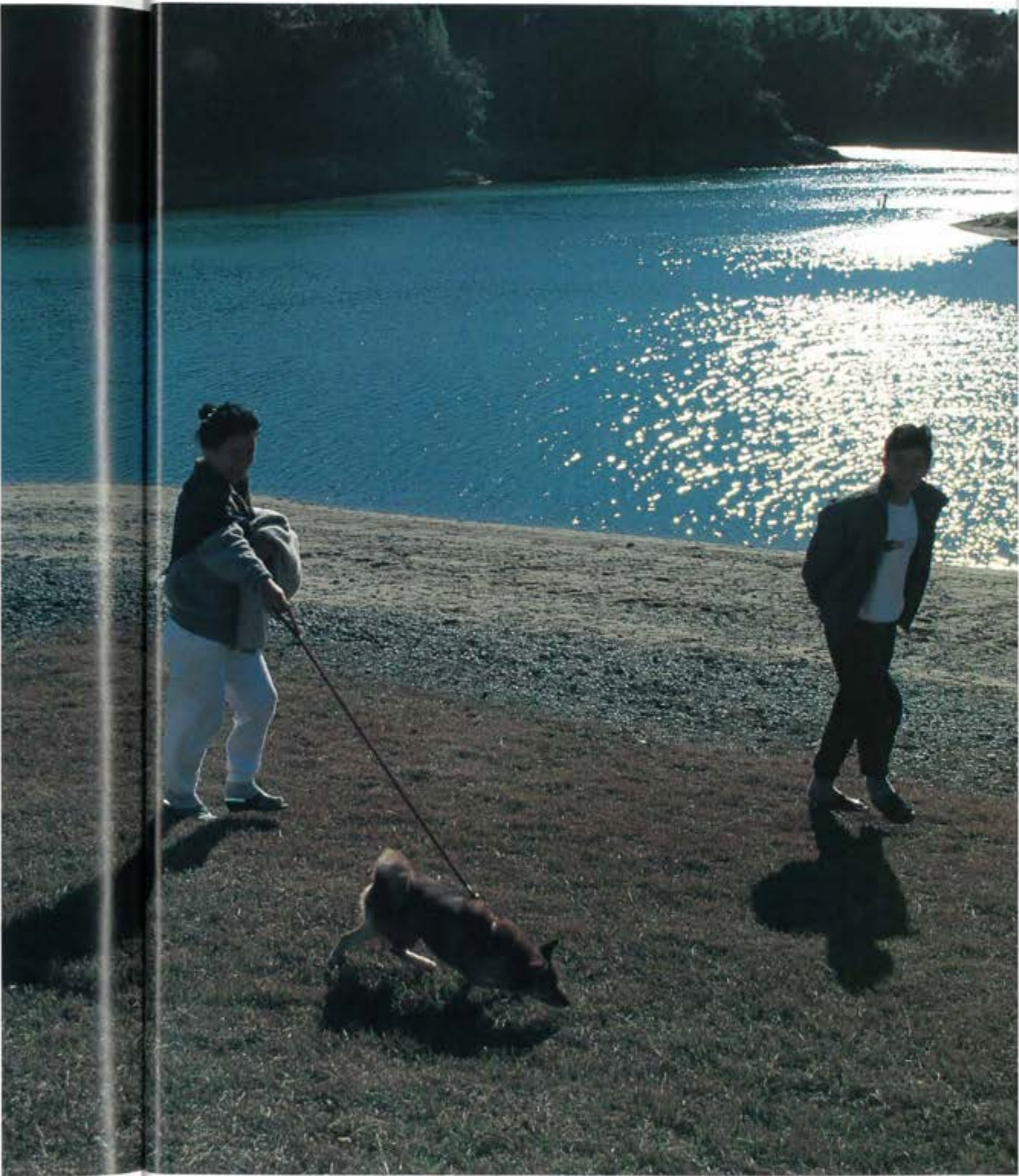
●瀬戸川の暮らしも変わりました

愛知用水の水は、新しい街づくりの原動力になったばかりではありません。この水がさびていけば、瀬戸川の水は、知多半島の先端にある師崎や離島で暮らす人々でした。とくに離島や日置島では、井戸を掘っても海水混じりの「赤い水」がでるだけ。そのため「死ぬまでに一度でもいいから、真水を飲みたい」というお年寄りがいるほど水不足に悩まされ、愛知用水の水がきたときにはまず最初に「仏壇に供えた」というエピソードも残っているくらいです。

その後、愛知用水の水は、師崎から海底パイプを通じて佐久島へも送水、きれいな、木曾川の水の恩恵で、三河湾に浮かぶ三つの島は観光地としても大きくクローズアップされるようになりました。

早いもので愛知用水は、今年通水三〇周年を迎えました。若い世代のなかには、愛知用水は最初からあるものだと思っている人が、このところずいぶん多くなってきたといわれています。しかし、今から三〇年前、愛知用水の水がくるまではどの街にも、内容はともあれ、飲み水や洗濯する水に困ったことがあつたのです。何気なく愛知用水の水を飲むだけでなく、これをきっかけにして当時の大人たちの話に耳を傾け、蛇口をひねれば水がでる——という現代の「幸せ」を、ときにはゆっくりと味わってみてはどうでしょうか。





生まれ変わる愛知用水

●各地域で盛んな新しい動き

通水三〇周年を迎えた愛知用水に対して、このところ各地域でいろいろな新しい動きが起きています。その典型的な例が、幹線水路の上にフタをして「有ガイ化」、公園や駐車場にしようというものです。

東海市では約五五〇メートルにわたって暗きよ化し、その上部に水辺公園（横須賀親水公園）をつくろうという計画が進んでいます。この水辺公園は、市役所からも近い加木屋町が予定地。ここに人工のせせらぎをつくり、水は愛知用水からポンプで汲みあげ、浄化装置をくぐらせたあと、再び愛知用水に戻すという工夫を凝らしたものを計画。全体的なイメージとしては「名古屋市の栄リバーパークのようにしていきたい」と話しています。

また長久手町でも幹線水路にフタをして、有ガイ化が進められています。場所は愛知医科大学の東側の約七〇メートル。全面に橋を架けるようにフタをして、駐車場や患者のリハビリテーション公園にしていく予定だといわれています。さらに東郷町では、町内の森やため池、川などの水辺をすべて緑道でつないでいこうという「森と水のネットワーク、二〇〇年の森構想」のなかに、愛知用

水の幹線水路を有ガイ化して取り組むことを検討しています。

こうした新しい動きには、街づくりの一環として行政側から発案されたものもあるのですが、住民側から出てきたケースもあるようです。なかでも東郷町では、毎月二回、愛知池の周辺の「ゴミ拾いを自主的に行っている『東郷町文化生活の会』のメンバーたちが中心となっており、この、二〇〇年の森構想」のほかに、「もっと愛知用水の水を身近に感じられるようなイベントを積極的に展開していきたい」と意欲を燃やしています。

単に使うだけの水から、私たちの心を豊かに潤し、人と人とのコミュニケーションをつなぐ新しい「発信基地」へ。通水三〇周年を迎えた愛知用水は今、地域のなかにしっかりと溶け込もうとしています。



そして、木曾川は今……

●木曾川の最上流では……

考えてみれば、川は大地に掘られた溝を流れているだけにすぎないのです。私たち人間も、その上に立っているのです。そして、深々と根を生やし、空を深く葉で覆っている樹木も、ほんの地表に立っているのにすぎないのです。それでも、どんなに気温が下がり、

いくら寒い冬がやってきても、流れる川の水は決して凍らないのです。

厳しい冬が最初、春の気配を見せるのも川です。私たちが水への感謝の気持ちをなくしている一方で、水の心はどこまでも美しいのです。今でも、豊かな表情を持っています。

●川と生きる私たちのテーマ

私たちは、これまでいってみれば水を治める者でした。技術の勝利に意気揚々と、渓谷を丸ごと切断したり、埋めたり、川の流れを変えたり、せき止めたり……といった高度な土木工事を行ってきました。

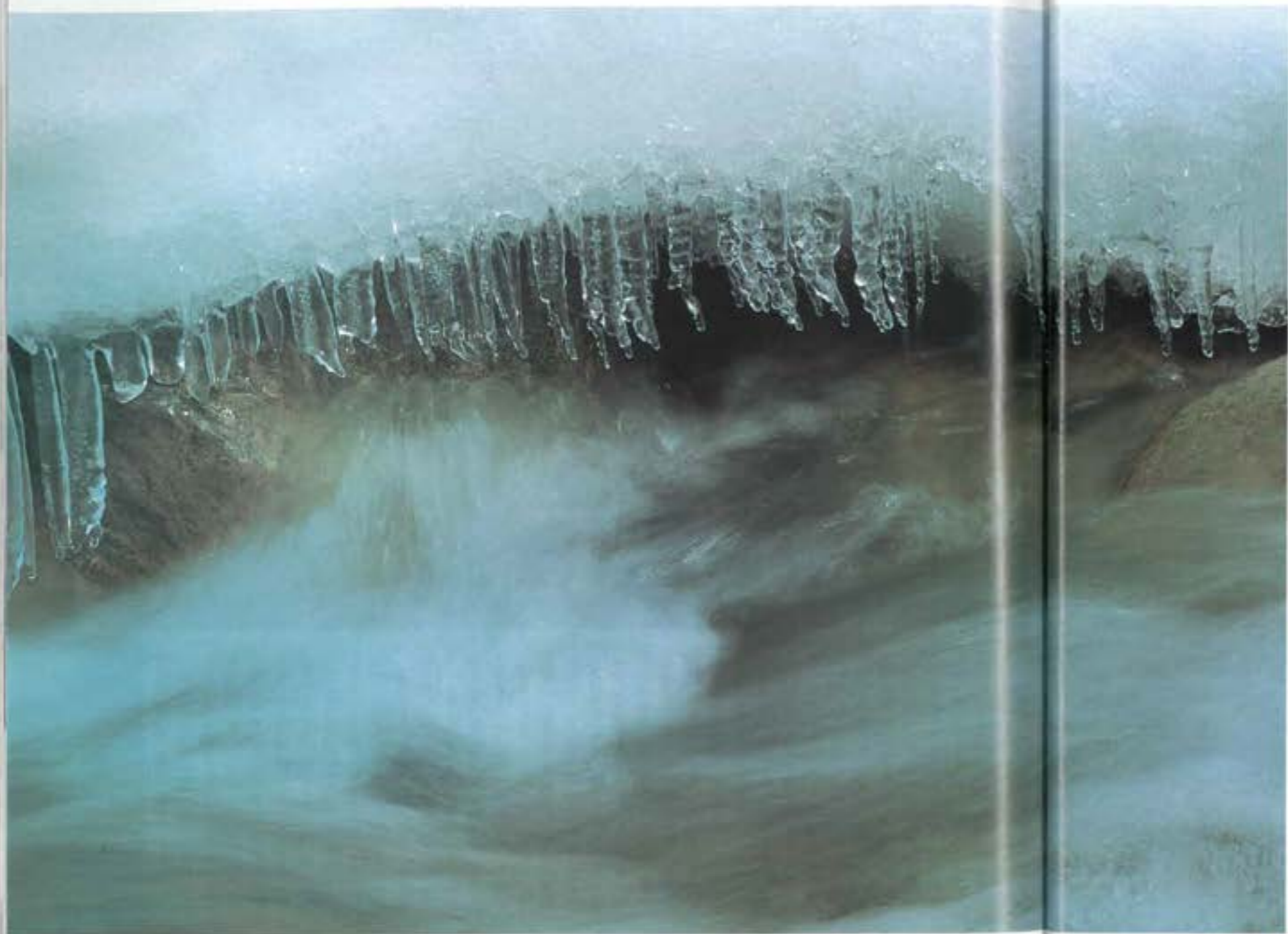
川にダムをつくって水流を自在に調節し、砂漠にも花を咲かせてきました。しかし、その一方で私たちは洪水を引き起こす者ともなってきました。巨

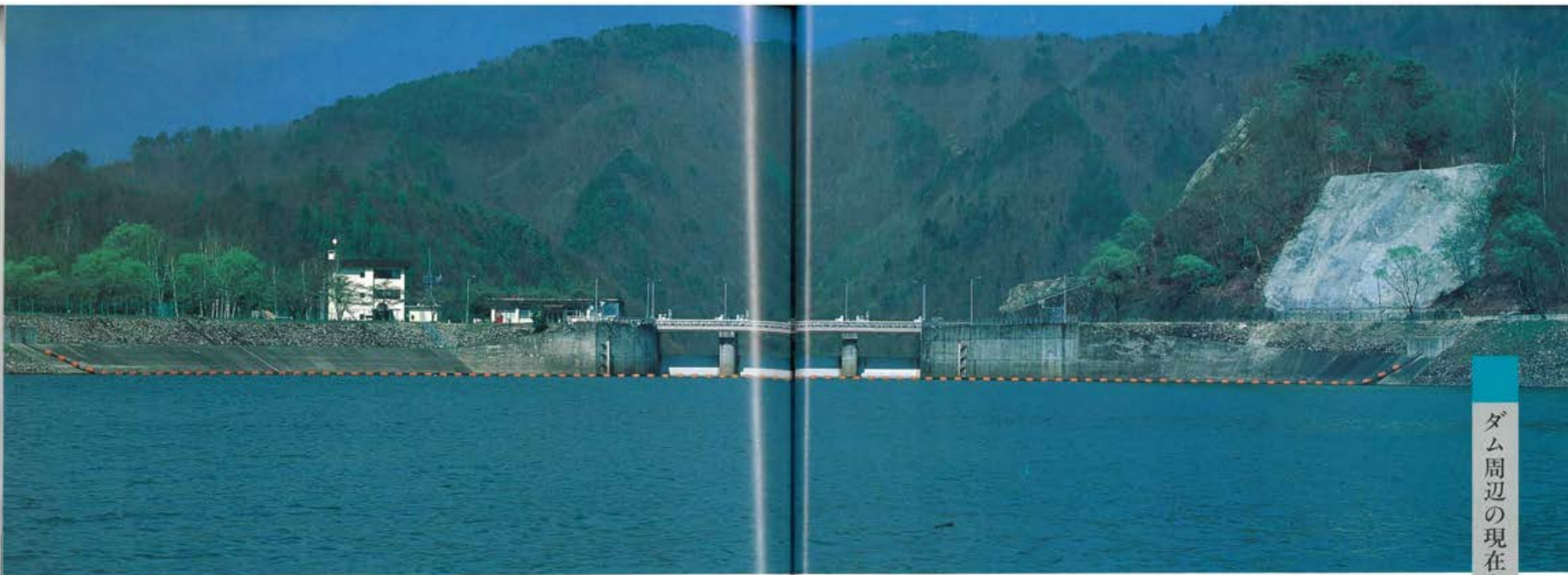
大な緑のスポンジのように雨水を吸収してくれた森林を切り倒し、吸水性の土壌を硬ませ、耕作に適した土地さえも自らの手によって失ってしまいました。開発がよいとか、悪いとかいうのではなく、今、あらゆる過去の反省材料が一気に吹きだしているような、そんな感じがします。

愛知用水の場合も然りです。確かに、水の流れる人間が制御するものなのかもしれません。愛知用水の場合も、先人たちの気の遠くなるような労苦によって、現在の私たちの暮らしはあるのです。しかし、いつのまにか木曾川の水の恩恵を受け、愛知用水の水に感謝しながら生きる生活から、単に利用すべきだけのエゴイズムな気持ちへと、大きく変わってきているのも確かです。「人間は万物の霊長」であるという考え方があります。そして、この言葉を私たちが自負する以上、その責任は重大だと思ふのです。水の恩恵に感謝するということを、どこか古くさく、非科学的と感じてしまう私たちに、最近、木曾川の水は警告を発し始めました。森林は伐採され、川の中にはゴミ



も目立つようになり、川の流れにもかつての勢いは見られなくなっています。21世紀に向けて、私たちがこれをどう解決していくのか、このことを抜きにしては愛知用水の未来も語れない時代になったといえましょう。





●牧尾ダム周辺の三〇年

愛知用水の水源地、牧尾ダム周辺でも、今、自然破壊が進行しているといえます。山の木は大量に倒され、御岳山の麓を流れる王滝川には、昭和五九年に起きた長野県西部地震によるツメ跡が今でも恐ろしいほどに残っています。

そして通水30周年を迎えた今春、こんな奇妙なことが起きたのです。ダム湖に沿って例年なら見事な花を見せてくれる、サクラの花びらがいっせいに開かないのです。ちらほらと咲くには咲いているのですが、とてもお花見とまではいきません。牧尾ダム管理所の話では、「どうやら鳥たちがサクラのつばみを食べてしまったようです。近くの山では木が少なくなり、鳥たちが食べる木の実はだんだん少なくなっているのでは？」

この秋の通水三〇周年を記念して、愛蔵地と水源地の市町村の首長が集まって開かれた「愛知用水サミット」(七月三十一日)でも、王滝村と三岳村の両村長は水源地周辺の地震による被害への対応策を強くアピール。また、「この三〇年でますます過疎化が進行。山の村には、下流の都会にはないやすらぎがある。もっと上流とのコミュニケーションを深めてほしい」とも訴えていました。

●21世紀への胎動はもう始まっている
現在のところ、日本には約二二、二〇〇カ所のダムが存在しているといわれています。しかし、これらのダムの集水面積は約二八万キロにも及び、日本の国土面積の約七四パーセントにも達しています。この数字は全国の山地・山麓のほぼ全面積に匹敵していることになるそうです。

すべての山地からの水の流ればほとんどダムによって集められ、流量の調節を受けているといっても過言ではありません。川の流れば、雨が降れば増し、晴天が続けば減少します。それなのに水量が各河川ごとに決められ、安定した水量(濁水流量)があるのは、そこにダムがあり、川の自流が少ないときに放流しているからです。しかし、水の需要と供給のバランスが失われた現代では、ほんのわずかに晴天が続いてもダムが濁水状態になってしまうことがあります。その主な原因は、このところよくいわれている「異常気象」にあるのではなく、むしろ私たちの側にあるようにです。時の移ろいは、愛知用水の利用形態の変化をも余儀なくしました。かつて八割を占めていた農業用水は二割に落ち、二割だった都市用水(下水道、工業用水)が八割と、その性格をすっかり逆転させました。

そこで、ますます増える一方の水需要に対応するため、愛知用水の二期事業では、もう一つの都市用水として阿木川(岐阜県恵那市)と味増川(長野県木曽村)にそれぞれダムを建設。阿木川ダムからの取水は、まもなく始まります。ちなみに二期事業にかかる費用は一、六四九億円(平成三年度)。土地の値上りなどは考慮せず、三〇年前の建設費と貨幣価値をそろえて比較すると、実に九割近くにもなり、もう一つ愛知用水をつくるようなもの。このことは、多目的な目的で建設された愛知用水がさらに21世紀へ向うための力を蓄え、岐阜・愛知の総合的な地域開発の大きな原動力になっていくことを意味しているともいえます。愛知用水の未来への胎動は、もう始まっている。



PART. 1

豊かな水をありがとう



この豊かな水を未来へ

●愛知用水をもっと身近な水に

愛知用水がこれからどのような姿になっていくのか、未来について正しく予想することは難しいです。しかし、水と緑を求める私たちの思いは日増しに高まっています。問題なのは、どのような「水」をつくりあげ、どのような「緑」を育てていくにかかっています。水と緑は「あったほうがいい」存在へと「身近にあってほしい」存在へと確実に変わってきているのです。そして、そんな思いから各地域での新しい動きが最近活発になりだした要因にもなっているのだと思います。水と緑への参加は、私たちのこれからの暮らしに大きな影響を与えていきます。

かつて豊かな水を求め、はるばる御岳の麓から知多半島先端まで木曾川の水をひいた、先人たちの偉大な知恵と工夫——。それによって私たちの現在の暮らしはあるのですが、今度は私

たちの出番です。通水三〇周年をきっかけにして、それぞれの立場で考えていきたいものです。子供たちの未来のために——。





愛知用水の 回顧と展望

通水30周年に

今から30年前、
世銀から借款(融資)まで受けて
なぜ愛知用水はつくられたのでしょうか。
そして30年経った今、私たちは
愛知用水の恩恵を受けて、
どのような未来をつくりだしていけばよいのでしょうか。

思う



愛知県知事

鈴木 礼治



伝える

愛知県知事

梶原 拓



始める

森下 郁子

社団法人
愛知用水管理事務所副所長

考える



名古屋造形芸術大学助教授
海辺工科大学

品川 誠

期待する

井上 博史

愛知研究学会代表理事



忘れてはならないこと

前田 義夫

中日新聞社副社長



思 う

水源地の人々に対する感謝の気持ちは、
ずっと大切にしていきたいですね。



愛知県知事

鈴木 礼治

●全国最大のビッグプロジェクト

愛知用水が通水を始めてから、今年で30年になります。現在では公共投資によるビッグプロジェクトが各地で実施され、それは「新しい」としてはなくなっていますが、高度成長期を遡る以前の日本においては、愛知用水の事業計画が最もビッグなものとしていました。

今の若い人々には想像できないかもしれませんが、当時の日本は戦後復興で大変な貧乏困窮の子孫がついてきて、一兆円を超えていますが、あの頃は「四〇〇〜二五〇億円ぐらいだった」と記憶しています。その総工費の四二億円は、その一部を世界銀行から借りてきたもので、もう半分、東名も名神高速も開通して、そして、そんな時代には長野県の山の中に水を求めた大計画は、まさに「コロンブスの卵」と同じ、予算的にも、構想的にも、愛知用水の建設事業はどうか軌道に乗せていくか、全国の注目を集めた大事業だったわけです。

●通水30年とは何か

愛知用水の建設事業は、近代にない偉業だといえますね。ところが30年も経つと、愛知用水は初めからあるものかと思ってしまう人が、多い分も多くなつたような気がします。今は水道の蛇口をひねれば、いつでも水が得られる便利な時代ですからね。水を意識するなんていうことも普通になつていますが、昔は水こそ生活の第一の関心事だったので、だから単身時代の時代には、もうすでに用を済ませる所蔵者が存在しています。人々は至るところに水神をまつて

きた、水のせいにして、水も、水の豊かるところにも水神はまつられてきたのです。

地図を広げてみるとよくわかるのですが、愛知用水の受益地区である知多半島は、そのほとんどが丘陵地帯で、通常の流水がなく、干ばつになると最も被害を受ける地域でした。そのため農家の人々は、水不足を補うためにため池をつくり、用水を確保しようとしてきたのですが、それにはもちろん大きな限界があつて、何と木曾川の水の恩恵を授けたい、というのが地域全体の長年の夢だったわけです。

つまり、愛知用水の建設事業とは、こうした多くの人々に期待されてスタートした、まさに地域統合開発のお手本だったのです。当時の愛知県知事は、この四月に借してもいいなられた桑原幹樹さんでしたが、前例のない大事業だっただけに国への働きかけ、世界銀行への借金や技術上の問題など、行政ペーパーをまとめるまで、苦労は大変なものだったと語っています。

今や水はあるのが当たり前な時代ですが、何かを機会に水の恩恵に感謝することはとても大事なことであります。先人たちの計りしれないほどの努力があつて、現在の私たちの生活を支えられているのですから、通水30年をきっかけに、歴史をさかのぼって、みんなが愛知用水に感謝の気持ちを込めたいと思いませんか。

●水の恩恵について

人間の歴史は、有史以来、水によつて育まれてきたといつても過言ではありません。世界の

四大文明のうち、エジプトにはナイル川が流れ、そしてメソポタミアには、そのほかの潤原戦争で再び有名になったタグリスユーフラテス川が流れていました。またインダスはインダス川があり、中国には黄河という大河が流れていたから、こそ、発達し、華やかな時代を築くことができたのです。

こうした歴史を振り返ると、いかにお水が社会にとって重要なものであるか、川の恩恵の偉大さについても改めて感じることが出来ますね。愛知用水の場合は、木曾川文明、とてもいいからいいので、愛知用水の建設計画にして、木曾川という立派な川があったから実現させることができたし、それによつて愛知県は今日まで大きく発展する、ことになりました。現在、愛知用水を中心とする県の経済効果は世界のGNPの二パーセント強にも達して、もたらしています。

●水と行政の新しいあり方

大都市の近くには、とても大きな川があります。東京には利根川が流れ、大阪には淀川が流れています。しかし、こうした大きな川があれば、地域は発展する、という時代はもう終わりましたね。これからは水量も水質も、守つて当然、どちらかがダメでも、行政への批判の対象になつていくと思つていきます。

幸い木曾川の水は、日本の川の中でも良質だといわれています。御岳山に清流の源がある木曾川は、中流部にたつた山が深く、豊かな木曾の森林の浄化作用の恩恵を受けている。

これが木曾川の水がおいしいといわれる大きな理由になつているのです。昔から水に流すといいますが、いろんなものを水に流してしまつては、どろどろ川は汚れていきますからね。そのうち、このことわざも使えなくなる時代がやってくるんじゃないか、そんな予感にも考えたりします。

●水は人間がつくれないもの

都市の中に水道の環境があるというところは、とても大切なことですね。水と飲め、水に飲し、みを持たなければ、水のありがたさがなかなか実感できないのです。愛知用水の受益地区でも、幹線水路上に水道公園をつくらうという計画もあると聞いていますが、これからは、このように水路上の空間を有効に利用していくことが、ますます重要になりますね。

ところが、そういった水道の環境をつくることはできても、私たち人間の力では木曾川に流れているような大量の水をつくりだすなんて不可能なんです。だから、水はありがたいものなのです。自然の偉大な力によつてつくられた天然資源だから、ダム、ダムに野営して大事に使わなきゃいけない、水は天からの恵みのものだから、ついでにダムが、いすようでは、これからの時代の都市生活者として失格だと思えますね。

最後に、一番大切なことを申し上げます。水源地の人々に対する感謝の気持ちを決して忘れないで、これは、どんな時代が移り変わっても大切にしていかねばならないことだと思っています。

通水30周年に

思う





伝える

21世紀は水とともに発展する
新しい環境を創造していく時代です。



社長兼知事
梶原 拓

●水のイメージ

水は、私たちの生活に不可欠なものです。あるのが当然で、なくなると非常に困る。空気と同じように、生命の根拠にかかわるものが水です。しかも人間の歴史は、どちらかといえば空気よりも水により多くの関心を持ってきたように思います。私たちの生活に多大なる影響力を持ち、こんなにも長い期間にわたって、人の心をとらえてきた物質はおそらく他にはないのではないのでしょうか。

「方内の器に浸す」という言葉があるように、水は愛の自在に姿を変えます。丸い器に入れれば丸く、四角い器に入れれば四角くなり、また、水を見ていると、その時々の変化に対応することの大切さ、柔軟な発想の大切さをつくづく思い知らされますね。

私たちのからだも、大部分は水でできています。だから人は、生まれながらにして水をより身近な存在として感じるのかもしれない。水に触れると、妙に懐かしさを感じる時があります。

子どもたちは、よく水遊びをしますよね。私も子どもの頃には、川で泳いだり、サカナを捕ったりしたものです。愛の自在な水は、遊び方まで大らかに広がってくれます。水の心地よい感触が、心のなかに豊かな潤いを与えてくれます。水には、やすらぎの心を運んでくれる働きがあるのです。ストレスを解消してくれる作用があるみたいですね。

●地域開発と水

東海三県にとって、木曾三川は母なる大

河です。木曾・長良・揖斐という三つの大きな川の恵みがあったからこそ、この地方では古くから稲作が行われ、今日のように工業も盛んに発達してきたのです。

ところが水の利用がという点においては、現在でもまだまだわずかに一〇パーセント程度なのです。海へ流す前に、地域発展のためにもっと水をフルに活用していく必要があると思います。なかには、「今でも水は十分に足りているじゃないか」という声もあります。しかし、水はつねに「ゆとり」というものが必要なのです。それは極めて、水利権や環境保護の問題などが複雑にからみあって、水が足りなくなってしまうのは開発が間に合わないのです。

つまり、水行政とは超先行投資型でなければならぬのです。愛知用水がそうであったように、将来の需要を見込んだ総合開発をしていかねばならないんです。

東海三県は、木曾三川の恵みを受けてともに発展する運命共同体です。愛知が発展すれば、三県も、岐阜も発展するという柔軟な発想で、これからの水問題について地域全体で考えていきたいと思っています。自分が住んでいるところさえあればいい、というエゴイズムな考えでなく、水があるとこころはなにか、そこに分けてやればいいのか、それでみんなが潤って、地域の活性化につながっていくならば、そんなに素晴らしいことはないと思います。

●これからの用水のあり方

いま、ウォーターフロントが各地で大き

くクローズアップされています。名古屋でも街の中心を流れている堀川をきれいにしよう、さまざまの試みが行われている。かつて子どもたちが水遊びをしたり、または船にも揺られていた船遊びに見られるように、再び市民に親しまれる水辺空間として生まれ変わろうとしているんですね。

今年で通水30周年を迎えた愛知用水にも、新しい時代に対応していくウォーターフロントが大切だと思っています。通水専用の愛知用水の幹線水路には、堀川のように都市化による排水の心配もないものの、事故を防ぐためにフェンスを高くしたり、水路にフタをするなど、水が流れている様子がだんだん見えなくなっています。

なぜ、21世紀を前にして、これはとまでウォーターフロントと呼ばれているのか、それとかが考えてみる必要があると思います。そうすると、これによって、これからの愛知用水のあるべき姿も自然と浮かびあがってくるはずですね。

たとえば、岐阜には高山という美しい街があります。街の中心を流れる宮川は、今でも農家のおばさんたちが野菜を洗っている風景に出会えます。そして、この川とともに生きる人の暮らしが周りの自然と美しく調和して、それが観光地としての高山の大きな魅力にもなっています。

美しい自然と水に恵まれた暮らしは、本当の意味での豊かさ、かなと思います。そういう視点から考えたら、これからの時代は水の求められ方は、昔から質、へ、環境用水

●水との共生

人には、感動する心があります。美しいものを見たら、水辺に美しいと思ったり、まっとうな純粋な心を大切にしていければ、環境への思いやりは自然と育っていくはずですね。水辺の環境についても、同じことがいえると思います。周りに美しい花がいっぱい咲いているような水辺には、不思議と人はゴミなどを捨てたりしないものです。現在、岐阜県では県庁舎に隣接して、21世紀の水辺公園をめざした「長良川左岸緑道」の建設を予定していますが、ここはまさにそれななんです。公園内には四季折々の美しい花を咲かせ、いつでも自由にさまざまな水の流れにふれあえる、これまでにない素晴らしい水辺空間を実現させていきたいと考えています。

これからの時代は、新しい水との関わり方についていく時代でもあります。水との共生について考えていくということは、人と人との共生についても考えていくことでもあります。愛知用水の場合も、これまでは上流と下流との交流が非常に少なかったように思います。だから通水30周年をきっかけにして、お互いが交流を深めていくことはとても大事なことです。そして、それぞれの立場を理解し、認め合い、支えあっていく。それが結果的には、将来に必要な水をつくりだす大きな原動力になっていくのです。

通水30周年に



伝える

考 える

発信する未来形の水辺として、
楽しい工夫を見せてほしいですね。



名古屋大学大学院
工学系研究科
品川 誠



●雑木林のなかで

私の大学の近く、小牧市東部の郊外に広がる丘陵地帯の雑木林を歩いている時のこととして、静かな林は、芽吹いたばかりの輝くような新緑に染められて、ときどき梢のどこかで鳥のさえずりが聞こえていました。木陰の奥へ続く小径を歩いていくうちに、急にあたりが明るくなり、木の間から突然、異様なものが現れたのです。

林のなかを横切って、頭上に縦横一メートルくらいの古びたコンクリート製の橋が浮かんで、藪のなかへと消えていきました。その足場も赤く錆びたり、緑に吞びられています。なんとその足場をよじ登って、ひんやりとした灰色の橋に耳をあててみると、水の流れる音がはんのわずかに聞こえてきます。

この橋は、雑木林のなかの「浮かば小川」だったのです。突然としながら耳をすましているとき、風にそよぐ梢の葉すれの音、遠くの小鳥たちの歌と一緒に、この人工のせせらぎが生命のリズムのように感じられるのでした。

●海の見え方

ここは変わって、ある晴れた日の知多半島のことです。東海市のお竹折りで、丘の上の新しい畑に銀杏や杏の苗を植えて、成長や収穫を楽しもうと、大勢の人々が集まったのです。

折りしも、ミカンの花が満開で、さわやかな香りのなかで、パーベキューパーティーでは、地元産の野菜や肉にみんなど

喜びました。

幼い苗木たちは、白っぽく乾いた畑で根りなげに風に揺られていましたが、傍らにはスプリンクラーの設備も用意されていて安心したことを思い出します。帰り道に農道の傍らに車を止め、子どもと散歩していると、丘の麓になんやら見えます。近づいてみると、それは水のトンネルで、暗闇から流れ出た水路が畑の間を縫い、丘を貫いて延々と南の彼方へ延びています。

明るく乾いた丘なみ、その彼方に青く霞む伊勢と二河の海、そして右手の眼下には、灰色の工場がびっしりと立ち並んで煙を吐いています。その風景のなかで、午後の日射しに輝きながら、かすかに顔を覗かす「水の道」が静かに横たわっていたのです。

●喜ばな水路

これらの体験が私と「愛知用水」の出会っていった。後で判ったことなのですが、雑木林のなかの橋は「愛知用水」の分水で、周辺の畑畑に水を配るために引かれたものでした。また海辺の丘を貫く水路は「愛知用水」の幹線水路で、これこそ知多半島を潤す、白い動脈、ともいうべきものだったのです。

そして、この二つの出会いの場に共通していることは、尾張東部丘陵地帯も、知多半島も温暖な水不足の少ないこと、昔から位かされてきた地域であること、そのために人々は、営々とため池を築いて雨を貯めたり（ため池群）、網の目のように細い用水を張り抜いて、乏しい水を分け合ってきた土地柄なのでした。けれど、現在のいかに

のどかな風景から「愛知用水」が開発されるまでのほんのひとしげまで、これらの地が無情な水無縁に見舞われたり、そのために悲惨な水争いが起こったりしたことなどは、とことん想像できません。

さらに両地を結ぶ途中の高蔵寺ニュータウンや、名古屋港から知多半島に密着する工業地帯が、「愛知用水」の恩恵を受けながら発展したことも、ともすれば忘れがちなことです。これも用水が名古屋近郊に流れ下ってくるにつれて、水路はトンネルをくぐり、あるいは暗渠（あんきょ）に身を潜めることが多くなれば、大部分の受益者がその存在を見逃し、記憶を風化させるのは仕方のないことかもしれません。

こうして「愛知用水」は、先人の辛酸や熱意や栄光の記憶をも、その水面の水溜りとともに忘却の彼方へ流し去るのてしようか。また白く乾いた農地を豊かに潤した当初から、都市圏や工業地帯の渴望に応じる昨今の時代の渦のなかを、やはり無心に流れ去っていくのでしょうか。

こうしてみると国内で最初の、しかも最大の公共事業と謳われながら誕生した「愛知用水」は、ある意味でひたすら「喜ばな水路」として、時代を見守ってきたといえます。

●メディアの水

それでも私の耳には、今も林の奥に朽すむ分水橋からも、丘の裾の輝く開水路からも、ひそやかな、さんざめくような水のメッセージが聞こえてきます。「気づいてよ、思い出してよ」と、水は歌いかけているように

感じるので、しかし、その流れのささやきは、あまりにも地味でささやかなトーンなので、現代の喧騒にかき消されがちです。

これまでの「愛知用水」は、農業の産業、さらに都市の基盤を支えながら支える、いわば通奏低音部を引き受けてきたものでした。これからの用水は、それに加えて流域文化の主題としての豊かで楽しい生活の場を奏でてほしいのではないかと願っています。

すでに英国やヨーロッパ諸国では、性善な合理化のために一時廃れた数々の由緒ある運河を地域の「アメニティ（快適さ）資源」が、貴重なシンボルとして見直され始めています。市民総出の手温い合議の末、流域の歴史を体験できる「生きた博物館」として、運河の水辺に往時の賑いを復活させているのです。

「愛知用水」でも流域の人々、地域デザインに携わる者が、その低い微かなささやきを増幅し、次代に伝えてあげねばなりません。清流を保つことはもちろん、四季に花咲く岸辺を演出したり、その歴史や新しい存在理由を示す工夫などを重ねることも必要でしょう。

そんな水辺から発信される喜ばな先人たちの、また継承者からのメッセージは、浸みわたる水のように、そこに集う人々に伝わっていくでしょう。過去と未来・人と自然・産業と文化を結ぶこのような複合的な「メディアの水」流として、新しい「愛知用水」がどうとうと後世に向かって流れ始めて欲しいと願っています。

通水30周年に



考える



始める

野生生物との共存について、
みんなの知恵を結集するよい時期です。



社団法人 日本生態学会 理事
森下 郁子

●自然の水辺の生物たち

人が住み、国を形成し、産業を興隆させていく過程で、水は自然の流水から水路に集められました。洪水から守るために、排水路もつくられました。灌漑(かんがい)、上水、発電のための水路がつくられ、どこにでも水のある生活が始まりました。

その水を背景にした日本人の自然感が、長い歴史をかけて形成されてきました。ホタルやトンボ、メダカやコブナ、タニシ、ドジョウなどは、季節的に流れる水路のことも印象的な生物だったはず。

詩歌のテーマになり、日本人の心のなかに、これらの生物が水とともに入り込んできたのです。

●人と野生生物との関係

水耕作の日本で、水は身近にあり、そこには生物がいっぱい。生きずる生物は、人間との関係を維持することのできる、いわば人と同じ生態域を持つ生物の「仲間」だったといふことでしょうか。

陸上というなら、カラスやネズミに類する生物だったのです。人とはよい距離を保ちながら、つかず離れず、ともに生きてきた、そんな生物が身近な水路にすんでいました。

人は、野生生物と共存するのは難しく、人が増えると野生生物は減少してしまふのです。しかし、野生生物との共存があり得るという考えを多くの日本人が持ってきたのは、灌漑(かんがい)用水に生きるトンボ

●野生生物が棲めるころ

これまで同じ水が流れていても、人が流れて流れるようになったのが「水路」で、自然に流れているのが「小川」という表現が使われてきました。

しかし、水の流れにしても、生物の生きずる様相にしても、水路と小川の区分は難しいものです。都会のコンクリートで固めた水路をいつも見ている人は、小川と水路をはっきりと区別されていることでしょうか。

ところが、小川と水路の違いは、それができた過程にあるのではなく、管理のされ方の違いによって生物の生きずる様相が異なるのです。

人工的につくったものであろうと、自然につくられたものであろうと、その後の管理の仕方——つまり流域に生活する人と水との対峙する姿によって、生物を棲まわせるか、寄せつけないかを大きく左右していくようになっています。

●愛知用水と野生生物

上水や発電のための水路は、灌漑用水とは目的が異なることから、生物が入る余地のないところで、水がつねに流れ、流速も一定しており、なによりも水質保全や危険防止のために人を寄せつけない構造に

なっていました。

人の近寄らないところには、不思議と野生生物も少ないものです。

愛知用水が完成して、水が広い流域に流れ始めた頃、その成り行きを熱意をこめて見守っていました。ひょっとしたら、水路からたくさんのトビケラやユスリカが発生するのではないかと懸念していたのです。

愛知用水は、既設の灌漑用水とはひと味違っていました。上水や発電用の導水路に近いものだったからです。

●LAKENUSIN

これまで日本では、発電所の導水路の壁面にトビケラが巣をつくり、導水路の断面を小さくし、通水機能を減らして電力を低下させてしまうことがしばしばありました。

淀川水系の宇治川、千曲川発電水路での被害はとくに大きかったことから、奈良女子大学の生理生態教室(津田松苗教授)では、トビケラの駆除やその動態について研究を進めました。長野県の大田川や栃木県の湯川でも、集中的にトビケラが発生。この時期になると、それを食糧とするザザムシ漁が行われるほど大量に発生したのです。

トビケラが発生したところは、いずれも上流に静水域があったり、その下流で川相が比較的単純化したところでした。愛知用水の場合も、この条件に合っていたので、春先になるといつも注意深く見ていました。

トビケラは、雪どけ水の流れた後、少し水がぬるんでくる頃に羽化し、人家にも侵入します。だから電気障害とは別に、流域の人

の不快感をもたらします。そのため利根川用水では、水路が被害にされかけました。よく調べてみると原因は本川にありましたが、しかも堤防の草をいつもより早めに刈り込んだためだと判って、改めて生態系のしくみの不思議さに驚かされました。

●愛知用水に対する期待

一方、五川上水は、水を守るために樹木を植え、それが今では東京部のかげがえのない財産になりました。ダムができて、上水が流れなくなっても水路だけは残り、水路には現在二次処理水が流れるようになりました。

そして、30年経った愛知用水は、やっと青年期を迎え、生物が棲める条件が、ようやく整ったといえます。あの長い水の流れがあれば、今まで日本の河川に生息していなかった、大型のサメのような魚が生息できるのではないかと考えたりします。

新しくつくられた水路に、野生生物が生息し、新たな生態系が構成されていくためには、今、愛知用水は始まったばかりの水態です。どんな生物に「棲み家」を提供し、それらと共存していくのか、みんなの知恵を結集するよい時期でしょう。

通水30周年に



始める



期待する

木曾川は濃尾平野の歴史の原点。
未来につなぐ流れでもあるのです。



井上 博史

●木曾川との出会い

信州の鉢盛山から誕生する木曾川の流
は、多くの支流を集めて、木曾谷から伊勢湾ま
での二〇〇余キロメートルの旅を今日も続けて
います。

尾張と美濃の国との真ん中を流れ、広大な
濃尾平野を潤す偉大な川——木曾川。私
は、この木曾川という名前の響きが多分、こ
好きで、何となく自分の目で一部始終を見と
たいものだと、ずっと思いを馳せてきたのだ。

岡山で生まれ育った私が、何故、こんなにも
木曾川に夢中になつてしまったのか、自分でも
よくわからない時があります。しかし、これまで
の自分の人生を振り返ってみると、なんと木曾
川との出会いが、いつも考えながら生きてきたよ
うな、そんな感覚を覚えるのです。

私と木曾川との出会いは、最初、民謡の、木
曾節から始まりました。あれは何歳の時だっ
たでしょうか。まだ幼かったのですが、民謡の
「仲来りさん」という言葉が印象的で、自分で
も木曾節を口ずさんだことを記憶しています。
でも私の、木曾川びいきは、もう少し後にな
ってから、歴史——いつても、とくに戦国時代に
興味を持ち、さまざまな書物を読みあさるよう
なつて、ついに本物になつてしまったというのが正
直なところだと思います。

●木曾川に憧れ続けて

尾張と美濃は、戦国時代の武将たちのヒノ
キ舞台。木曾義仲が早業を討ち破ることで
きたのも、自分が生まれ育った木曾の懐かしい地

彩を戦略に生かしたから。また信長、秀
吉、家康という戦国の覇者二人が揃つてこの地
域から出たのも、木曾川の流れが運命を生産
力豊かな濃尾平野があったからかと思ひます。

偉大な大河、母なる川、天下の名川……。
木曾川に形容される言葉はいろいろあります
が、それらが年輪を重ねるにつれて大きくく
らみ、いつしか木曾川を自分の目で確かめてみ
たいものだと本気で思つてつらくなったのだ。

ところが今と違って、私が子どもの時代に
は岡山から木曾川を見るために、わざわざ
旅行するなんてとてもできない相時。だか
ら、よけいに木曾川に憧れる気持ちが強
なつていったのかも知れません。

●本物の木曾川との出会い

幸い全国規模の会社就職できた私は、そ
で機会あるたびに転勤先を、岐阜、木曾川へ一
歩でも近づきたくて、何度もスーツケースを持ちま
した。

最初の転勤は岡東を経て、浜松そして小牧
に決まった時は、もううれしくてたまらませ
んでした。

初めて木曾川を見た日の感動は、今でもほ
きり覚えています。それまで、岡山の山奥を流
れる川しか知らなかった私にとって、木曾川の
川幅の広さには本当に驚きました。想像以上に
大きな川だったので、それに流れがとて
ゆるやかで、実に堂々としています。長年の夢
を裏切るどころか、ますます木曾川という川が
好きになり、ついに木曾川沿いの扶桑町に住

まいを構えることになり、その二〇余年にもな
ります。

●木曾川の源流から河口まで

平成元年（一九九〇年）一月一日、私はカメラを肩に
からせて長野県木曾郡木曾町の鉢盛山へと
向かいました。下界はちやうど紅葉が真っ盛り。
これなら赤や黄色に染まった山の頂から湧き
出る、美しい木曾川の源流の姿をカメラにおさ
めることができると、はりきつて山を登つてい
たのです。

しかし、もういつか期待は裏切られるはず、山の
中には竹を踏みしめるほどに滑り、クマザサが一
面に茂り、おまじに害までチカラチカラ降りだ
して、足元を、寒さと疲労で、身中がどうにか
なつてしまふところ、それが、それともどうも
見つけることができたのです。木曾川の源流
は、鉢盛山の八合目あたり、クマザサの間から
しみだむようにして、静かに流れていました。

そして、この日を境に、休日を利用して
徐々に下流へ向かい、二年間かけて三重県桑名
郡木曾町河口まで、カマクラに納めまし
た。列車で途中まで行つては歩いたり、川幅の
広い地域では文字機をチャーターしたりして、
とにかく人が集まらないような写真にしようと
頑張ったのです。

全長約三三〇キロに及ぶ私の目から見た木
曾川は、とても横が多い川でした。鉢盛山の麓
に架った丸太の橋から数えて全部で二二三、そ
の中にも崖道に架った、昔ながらの吊り橋もあ
りました。語るまでもなく、橋は集落を結ぶ

文化の架け橋です。つまり、橋が多いとい
うことは、それだけ人の往来が盛んで、文化の
の木曾川の恵みを受けて、さまざまな文化が
発達し、木曾谷の南端も栄えたのだと、改めて
実感しました。

●川とは人間が制御するもの

木曾川は、濃尾平野の歴史の原点です。現在
も、産業、生活用水を大きな恩恵を受けてい
るのです。が、あまりに偉大過ぎて、私たちは見
過してしまふところがあります。

しかし、よく考えてみれば、川とは人間が制
御するものです。木曾川の歴史を振り返ると
ても、暴れ川を治水し、橋を架け、ダムをつ
て農業や都市用水として利用してきたからこ
そ、今日の私たちの生活はあつたのです。

その国の歴史は、その国に住む人々が所有
するものだといわれています。木曾川の歴史
は、木曾川とともに生活する濃尾平野に住む
数億万人のものです。もっと深く知るべきであ
り、その水の恩恵に感謝し、先人たちに負けな
いような知恵と創造力で未来に伝えていくも
のです。

最近、木曾川の下流では若者たちの間で、
インド・タイが盛んになり、木曾川はビジャ
ーの舞臺ともなつていっています。木曾川の水
を導き、運水30周年を記念した愛知用水の未
来は、これからどうなっていくのか。この流れの
恩恵を受け、成長した若者たちの今後が、どこ
か、楽しみながら見たい。

通水30周年に



期待する

忘れてはならないこと



中日新聞 編集委員

前田 義夫

先人たちの豊かな知恵によって、
愛知用水の豊かな水はつくりだされた!!



●愛知用水は、なぜ、完成したのか

「あの食うや、食わずの時代に、どうして愛知用水のような国家的大事業を持てたことができたのか？」とよく聞かれる。もともと疑問ではあるが、説明的な見方をすれば「食うや、食わずの時代だったからこそ、やりとげることができた」ともいえる。敗戦後の日本は、いまの人たちにはとても想像がけないほどの食糧難、法律を守ってヤミ米を買わなかった何事さんが、栄養失調で亡くなるという時代である。「米を作りたい」という単純ではあるが熱烈な農民有志の願いが世論の先導を呼び、政府を動かして愛知用水は完成した。いうならばこの事業は、苦難の時に発端される「大車馬の馬力」、みだいな地元民のエネルギーから生まれた——と見てもよかろう。

●夢の水にかける執念

愛知用水事業に火をつけた久野庄太郎さんという人は、世間的な常識から見ればまさに「狂気に近い人」だろう。思い込んだら、命がけ——というのにふさわしい直情径行の熱血漢で、生半可な教養や社会的地位を持ち合わせていなかったからこそ、常識に

とらわれない行動力を発揮することができたといえるかもしれない。

ジャーナリストニックに表現すれば「競輪のトップ選手」みたいな人で、風圧に耐えながら後に続く選手たちをぐいぐい引寄せ、行って行く。しかし、トップを引く選手は勝利を後に譲って栄誉から離れる。久野さんもまた世紀の大事業のけん引車にはななかったが、功績の大きさによって報いは少なかつた。それどころか、あらゆる誤解や偏見のまじきにされることもあったのは、先覚者の宿命とでもいうべきか。

盟友・浜島辰雄さんの回想によれば、久野さんは「用水はだれが造ったか、わからないのがよいものだ。後々の人が喜んで使ってくればよいのだ。般若心経はだれが作ったかわからぬが、本当によいお経だと、後々の人が読んでいる。私は用水運動を始めてから、日記を書くのをやめてしまった。こんなことは記録に残すべきではない。どうやって造ったか、わからない方がよい」と語っていたという。「一人が手を動かして、愛知用水事業の必要性を説き、現地調査を続けていた昭和二十三年ごろの話である。」

●水は世に流れ、世は水につれ

何事によらず、保守的な世間の常識は、先を見る目を失う。飛行機を考案したライト兄弟は大変な苦勞を重ねたし、自動織機に打ち込んだ豊田佐吉翁の場合もそうだったが、愛知用水の計画も、決して順調に進行したわけではない。「水はタダ」と考えていた農民の間にも建設費負担金を嫌う声が多く、

農地の受益面積は計画より大幅に減った。「そんな高い水はいらない」と、土水への利用を敬遠する自治体もあった。二〇年たった今では笑い話として済まされるが、新しい水路を造ることは人びとの意識の流れを変え、ことごとくあった。

確かに愛知用水の場合、その主な狙いとした農業用水の比重は当初より軽くなった。だが、工業用水や上水の需要は思いもかけなかったほどの勢いで急増した。新しく水を引いたおかげで、製鉄工業などが栄えた。それが鉄を原料とする自動車産業などの発展にもつながり、愛知県が「二〇一〇年」以上も「製造品出荷額日本一」の座を守り続ける原動力となっている。

工業に限らず、住宅建設にも、観光客誘致にも、それに目に見えない保健衛生の分野にまでこの用水は貢献している。愛知用水の豊かな恵みは、その光栄地の産業や暮らしを大きく変えたが、地域が発展するにつれて用水の担う役割もまた大きく変わった。俗にいう「夢の用水」は、夢に見ていなかったことまで可能にしてくれたのである。

●豊かな手エをありがとう

兼山取り入れ口の完工記念碑には、当時の愛知用水公団総裁・浜口謙彦氏の著で、「この水管の水は百年の夢をうつつに愛知用水として豊尾の野をうるほす。ゆくてに幸多かれ」とある。あえて「幸多かれ」と結んだのは、水のゆくてにいささかの不安があったからかもしれない。だが、通水から二〇〇年を経てこの水管の水は、測り知れないは

どの幸をもたらしてくれた。より多くの幸を求めて、水路を広げるために続けられる二期工事が何よりの証拠でもある。

愛知用水事業は、開国を敗戦の補手から立ち上がった日本人の「チエと努力の結果」の一つのモデルである。地域の人たちが大つけ役となり、行政も、企業も、それに世論を反映するマスコミまで一丸となって完成させた夢の大事業だった。

この事業にかかわった人たちも、すでにその多くが故人となっている。私もその仕事を直接取材した生き残りの一人だが、「二〇〇年たった今日でも当時の熱気を忘れることができない。中国のことわざに、「水を飲む人は、井戸を掘った人たちの苦勞を忘れてはならない」というのがあるように、愛知用水についても同じことがいえる。この記念誌の表題は「豊かな水をありがとう」だが、後世のために豊かな水を残してくれた人びとの先見の明に対し、重ねて「豊かなチエをありがとう」とつけ加えたい。

通水30周年に



忘れてはならないこと

PART. 2

愛知用水のプロフィール



かくよびに

囁くものかな

春の水

渡辺水芭

日本人と水と文化

水の流れば希望に満ちた流れ。新しい世界や時代をつくりだしていく、いわば想像の流れでもあります。そのためでしょうが、水をテーマにした音楽には、なぜかロマンチックで、未来へのささやきにも似た明るいメロディーが多いように思います。

ショパンの「雨だれ」も、リストの「泉のほとり」も然り。ヘンデルの「水上の音楽」やラベルの「水の戯れ」なども、流れるような美しい旋律が、とても印象的です。

これがポピュラーになると、もっと明確です。「チネシーワルツ」も、「ムーン・リバー」も、とにかく大らかで、美しいメロディーが心の隅々までゆったりとした気分をさせてくれます。

日本にも、水をテーマにした名曲はたくさんあります。たとえば、田園を流れる用水を歌った「春の小川」。隅田川での川下りを歌った「花」。そして、「雨あめ降れ降れ」でおなじみの「雨」などは、誰もが子どもの頃に口ずさんだ歌といえましょう。

西洋に比べて、なんとなく庶民的、とつてもどかな感じが、日本の水にまつわる歌の特長かもしれません。それは日本が稲作を中心とした、みずほの国、だったから、それとも川の流れるが急な日本では、人と水との関係が緊密で、とりわけ深い結びつきを持ってきた長い歴史があるからでしょうか。

日本を代表する文化——和歌や俳句にも、水を恋慕の心に喩（たと）えて、あるいは喜びや悲しみに喩えて詠（よ）みあげた歌はたくさんあります。

それは、江戸時代の昔から
水不足や干ばつに苦しめられてきた
知多半島の農民たちが、
羨望のまなざしで見つづけてきた、夢の用水だった。



愛知用水ものがたり。

木曾川の水を夢見た人々。

水稲はため池で、
畑作は天水まかせ。

水はあらゆる生命の源です。日本は国土が狭く、資源も決して豊かな国ではありませんが、水資源だけに昔から恵まれてきました。

しかし、現在の受知用水の受益地、なかでも知多半島の水不足は深刻でした。そのありさまは、今の私たちが想像できないほどです。

温暖な気候に恵まれた知多半島は、気象条件としては農業に適した土地柄でも、近くに大きな川はなく、地下水にも恵まれないという悪条件が一方にはありました。そのため農業用水が必要なときには十分に水が得られず、水稲はため池で、畑は天水まかせという状態。農家の人たちの長年の生活のチエから生まれたため池は、一時には半島全体で二万五、〇〇〇にも及んだといわれています。夏になると、農家の仕事は水汲みが主な仕事。日照りが続く、村中が総出てワラやマキを持ち寄り、高い場所を選んで一斉に燃やす「雨乞(こい)」の行事が、戦前まではあち

こちで行われていたのです。池番、という、ため池の見張り役もいました。集落単位で所有されていたため池の水は、たとえ親戚縁者から頼まれても、他の地域の者には一滴たりとも分けられないのが決まりにもなっていました。

知多半島には「知多の雨ガエル」「知多の豊年くわす」ということわざがあります。

雨ガエルは日照りにもよく鳴き、とくに夕立の前にはギヤァギヤァとうるさいほど鳴く。知多が豊作になるほど雨が降ったら、他の地方では水が多すぎて、たちまち凶作となって米が食べられなくなる——という意味。つまり、それほど知多半島の水不足は、他の地域に比べて深刻だったわけですね。

だから水量が豊かな木曾川の水を求め、声は、すでに江戸時代の末期、徳川の時代には知多半島の人々の夢にもなっていたのです。用水構想の芽ばえも早く、明治の末期には富貴村(現武豊町)の森田万右衛門が郡農会などで、木曾川源流説を盛んに力説。昭和に入ると、当時、県議会

の副議長だった奥村鉄三らが木曾川の上流にダムをつくり、愛知と岐阜との県境にあった木津用水から送水する構想を打ち出しています。ところが、これらはいずれも実現不可能だった夢の夢の夢。しかし、水不足が深刻になればなるほど、知多半島の人々の心のなかには、「木曾川の水をひけば……」という思いがだんだん膨れあがっていったのです。

師崎には共同の井戸がたつた一つ。

知多半島の水不足は、何も農業用水に限った話ではありません。日常生活にも必要な水にもこと欠

く状態。半島の海岸地区では少しくお天気が続くと、たちまち断水。なかでも極端だったのが、漁港の町・師崎でした。この町には、昭和の初めの頃までは、きれいな真水の出る井戸があちこちにあったのですが、台風の際に海岸から打ちあげる海水をかぶり、昭和二〇年代に入ると、町にはたった一カ所の共同井戸が。町民の命の水になっていました。そのため三度の水汲みが、主婦たちの一日の重要な仕事。水桶やバケツを持って水を汲みに行く主婦たちの姿が、朝早くから見られました。共同井戸の水は、白く濁った。ハ

マグリ水。今ではとても使えませんが、昔は貴重で、それでも当時は貴重な水で、各家庭では食器洗いや洗濯に、この水を三回に一回に使い分けて大切にしていたのです。町内に一軒あったお風呂屋さんの湯も、海水が混じった塩っぱい味がする、という不衛生さ。当然ながら目の病気が多く、小学生たちのトラホームにかかる割合は何年も続けて「全国一」といふ、ひどい状態でした。

こうした生活水の水不足は、篠島や日間賀島などの離島では、さらに深刻でした。島全体が花崗岩でできているため、井戸を掘ってもすぐに堅い岩盤に突きあたり、出てくる水は塩分をいっぱい含んだ、赤い水。島のなかで唯一、飲料水として使えるのは南北朝時代に島に漂着した義良親王のために島の人たちが手分けして発見した泉と伝えられる。帝井(みかどい)だけでした。

島の家には、どこも常滑焼の瓶が二つずつ置かれていました。一つは「お茶の水」と呼んでいた。帝井の水を汲んだ飲料水専用の水入れ。そして、もう一つは雑用水として使うためのものでした。急な坂道の多い島で、水桶をかついで家と帝井の往復はきつい仕事。「水汲みの出来ない女は、嫁がつか



昭和20年代の農村



知多半島のため池は、水深が浅いので「田池」とも呼ばれた



共同井戸で水を汲む主婦たち



篠島での水不足も深刻だった。飲料水にできる水がても井戸は、島のなかで1カ所だけ



師崎では、雨水も大切にされた。バケツに貯まった雨水は、主に雑巾がけなどの雑用水として使われたという



現在も残っている師崎の共同井戸

水を誕生させた大きな原動力になっているのです。

国会へも足を運び、首相にも直談判。

夢の用水への期待は、農民たちから一般の人々へも大きくふくらんでいきました。しかし、何事にも先立つのはお金。そこで、久野さんらは受益地の市町村にも協力を求めました。そして、この呼びかけにまず立ちあがったのが、当時の半田市長・森信藏さんでした。森市長はアメリカで三〇年近くも記者生活をした経験の持ち主でTVAの総合開発事業も自分の目で見てきました。それだけに、この愛知用水計画にも、最初から理解を示し、必ず実現するものと確信していました。

昭和二五年、森市長は全国の知事、市長代表に選ばれて渡米。その際、かつてのアメリカ生活で体得した英語力を生かして作成した「愛知用水英文資料」を持参。世界銀行のガーナー副総裁を訪ね、その資料をもとに建設費の借款(融資)を依頼しました。ところが、当時の日本はまだアメリカの支配下にある時代。ガーナー副総裁は森市長に向って、「日本との講和条約も、あとしばらくだから時機を待つように」とうながしましたが、これが後に世銀借款の糸口にな

ったことはいまでもありません。

また、久野さんらは中央にも熱心に働きかけました。そして、岸信介、佐藤栄作(ともに後の首相)の両氏を通じて、吉田首相にも五分間という約束で陳情。久野さんらの話に吉田首相は、「これは失業対策にもなる」と乗気になって、五分間の約束は三〇分以上ものび、これがまた後の外資導入の際、愛知用水事業として渡米する吉田首相のカバンの中に入る動機となっているのです。

さらに久野さんらは、当時の農林省の開拓局長だった伊藤佐(たすく)氏にも陳情。伊藤氏は愛知県豊明市の出身で、後に愛知用水公団の理事となり、最初から愛知用水を推進した人。こうして農林省も動き出して、昭和二四年七月、第一回の現地調査を実施。二六年九月には農林省木曾川水系農業水利調査事務所が設けられ、さらに調査は詳細に進められていったのです。

愛知用水の国家事業への道のり。

この頃から、ようやく愛知用水の建設運動は中央でも地元でも足並みがそろってきました。愛知県では昭和二七年度の予算に、愛知用水調査費として桑原知事が五〇〇万円を計上するように指示。それが一時は

愛知用水の建設は国家事業として、第一歩を踏み出したのです。

こうした、いくつもの荒波を乗り越えて四二億円をかけた日本最大の水利開発事業は、昭和三六年九月三〇日、本格的な通水にこぎつきました。水はしらの一念から出発した知多半島の農民運動は、地元を動かし、県を動かし、国を動かし、世銀をも動かして、ついに、夢の用水——木曾川の水を現実のものとしたのです。

一三〇万円に削られたものの、知事査定段階で再び五〇〇万円に復活させるなど、なんとか愛知用水の計画を行政ベースに乗せようと一生懸命だったといわれています。そして、この年の元旦、初めてアメリカから調査団が来日。世銀への融資についても、最初の折衝が行なわれました。翌二九年になると、世銀の農業調査団が二度にわたって来日して現地調査。その前回はますます明るくなっていったのです。

こうして昭和三〇年七月、第二回特別国会で「愛知用水公団法」が成立。同年一〇月に「愛知用水公団」が発足し、総裁には元東京銀行頭取の浜口雄彦氏、副総裁には元電源開発副総裁の進藤武左衛門氏が就任。



愛知用水と世銀借款について

愛知用水と世銀との結びつきは、極めて深いものがあります。もっと厳密にいうなら、世銀からの借款がなかったら、愛知用水はおそらく今から三〇年前には実現しなかったでしょう。借款契約は数回にわたる現地調査と、約三〇年におよぶ厳格な審査を経て、昭和三二年八月に調印。当時の契約総額は七〇〇万ドル(約一五億円)でしたが、愛知用水の場合は四九〇万ドル(約一七億円)となり、次のような条件がつけ加えられました。

- ①五カ年で事業を完成させること
- ②所要の円資金の調達確保については、日本政府がこれを保証すること
- ③新しい海外技術を導入するため、コンサルタント・エンジニアを雇用すること
- ④事業による経済効果の完全な発揚のため、畑地かんがいおよび営農のコンサルタントを招へいすること



愛知用水の“生みの親”——久野庄太郎さん。木曾川の水を引きたいという大構想は、知多半島にはずいぶん古くからあったが、その実現に向けて本気に取り組んだのは久野さんが初めて。その熱意が愛知用水をつくったといっても過言ではありません



国会に陳情に行った期成同盟会のメンバーたち



ひとことメモ

講和条約には——戦争を終わらせ、平和を回復するために交戦国間で協力的なこと、つまり、平和の回復を宣言し、講和の条件(領土の割譲—賠償支払など)を定め、その履行を確保するための従軍平和が決定して、初めて正常な国として世界におつきあいができるようになります。第二次世界大戦による講和条約は、昭和25年9月8日、従って、昭和25年に当時の半田市長だった森信藏氏が世銀への借款の申し入れの際には、まだ日本は国際的な仲間入りできておらず、ガーナー副総裁が「時機を待つように」といったのも、そうした理由があったからです。

王滝川の歴史を変えた日

「あるところは組づたいを行く崖の道であり、あるところは数十間の深さに臨む木曾川の岸であり、あるところは山の尾をめぐる谷の入口である」(島崎藤村「夜明け前」より) 王滝川に沿う木曾谷は、かつて、この藤村の一文そのままの静かな里でした。しかし、愛知用水の水源候補にあげられ、建設工事が開始されると、間断ないハツバと重機の轟音によって、みるみるうちに大きく変貌。そして、昭和三十三年七月二〇日——この日、木曾川の源流・王滝川は閉塞。人間の手によって制御される河川として、新しく生まれ変わったのです。



六段橋から見た王滝川(出水時)



王滝川にかかる牧尾橋



バイパスの出口部(上は開水路、下は出口)



下流側仮橋切堤の工事現場



この牧尾橋も今はない



歴史的な工事は、記録映画としても一部始終を撮影

牧尾ダムから兼山取水口



建設中の三尾発電所



工事は夜も続けられるという突貫工事でした



牧尾ダムの余水吐はシュート式で、溢流堰の上に4門のテンダーゲート(1門10m×10m)を設置。この余水吐のために掘削された大量の岩石は、ダム本体のロック層に利用するという合理的な工法がとられました



納入された大型機械



完工した牧尾ダム



工事中の兼山取水口



建設当時の愛知用水の概要図

昭和三年二月から始まった牧尾ダムの本体工事には、全国から集められた一、二〇〇人の作業員が現場に配置され、二〇トンクラスの大機械も続々と到着。現体積二六二万立方メートルの大ロックフィルダムをわずか三年で完成させようという大計画は、むろん、わが国の農業土木始まって以来の大工事。途中、台風による影響を受け、工事が一時中断されることもありましたが、昼夜兼行の突貫作業で三六年五月に完工。

愛知用水のノド首である兼山取水口の工事でも、重機械はその威力を発揮しました。

幹線水路と支線水路



油圧式のスチールフォーム



上り下りの列車は10分に1本——東海道橋梁新設工事は予想以上に大変だったとか



兼見トンネルの工事現場



キャリアオールスクレーパーによる掘削でスピードアップ



東海道本線を潜り抜ける大高サイホンの工事

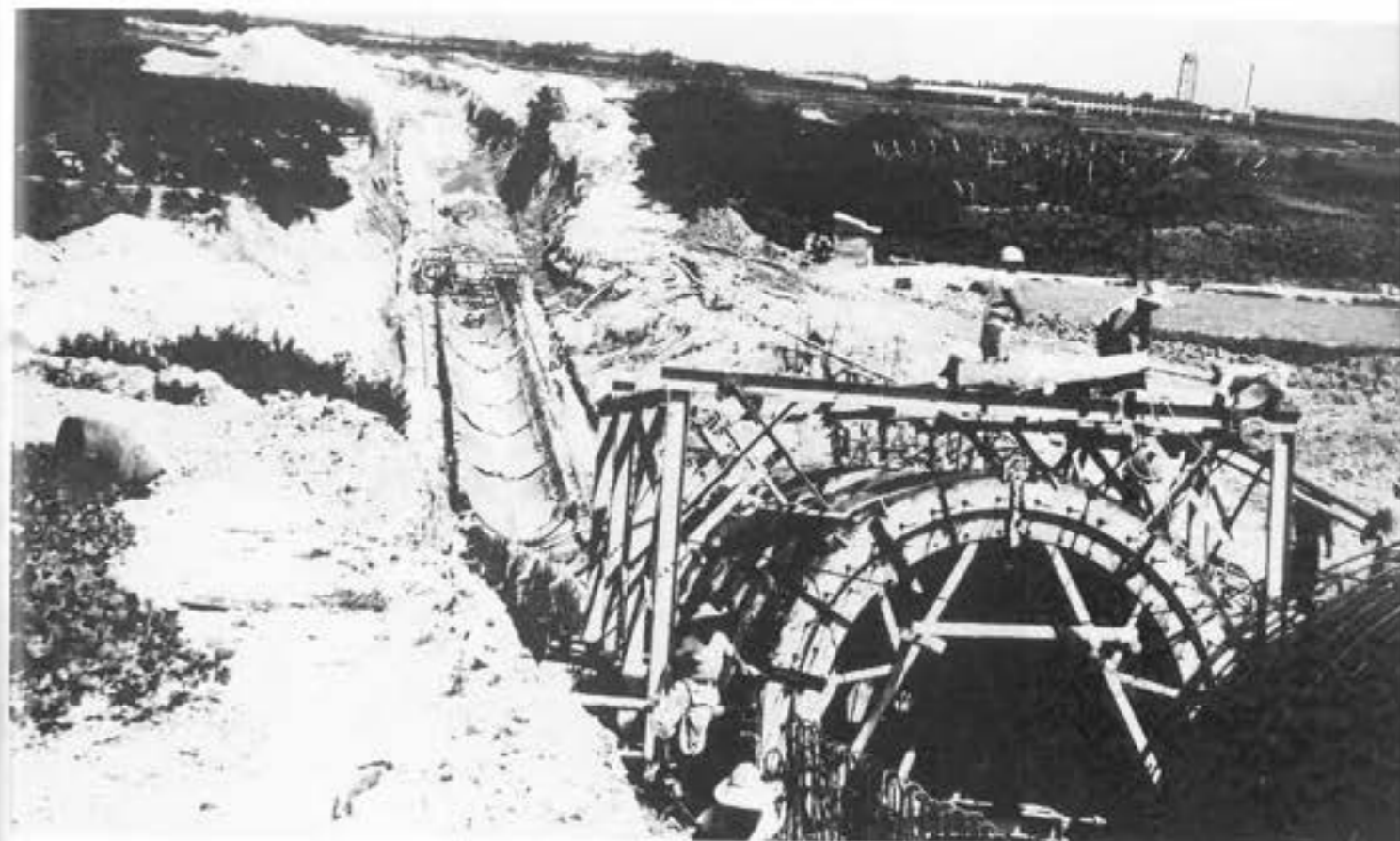
- 愛知用水の幹線水路112キロ
(これは木曾川の全長のほぼ半分に値する)
- 愛知用水の支線水路1,012キロ。
(これは東京から小郡までの距離とほぼ同じ)



入水路橋のコンクリート打設



サイホンの最終接続部の施工



50ヶ所のサイホンのうち最も長い上野サイホン



トンネル内で働く作業員たち



白山トンネルライニング



スロープフォームによる水路舗装工事



上から見た三好池



上から見た支線水路



可児川サイホン入口



完成間近の支線水路橋



上から見た高蔵寺サイホン



支線水路橋の下部工事



高蔵寺サイホンの入口と鋼管橋



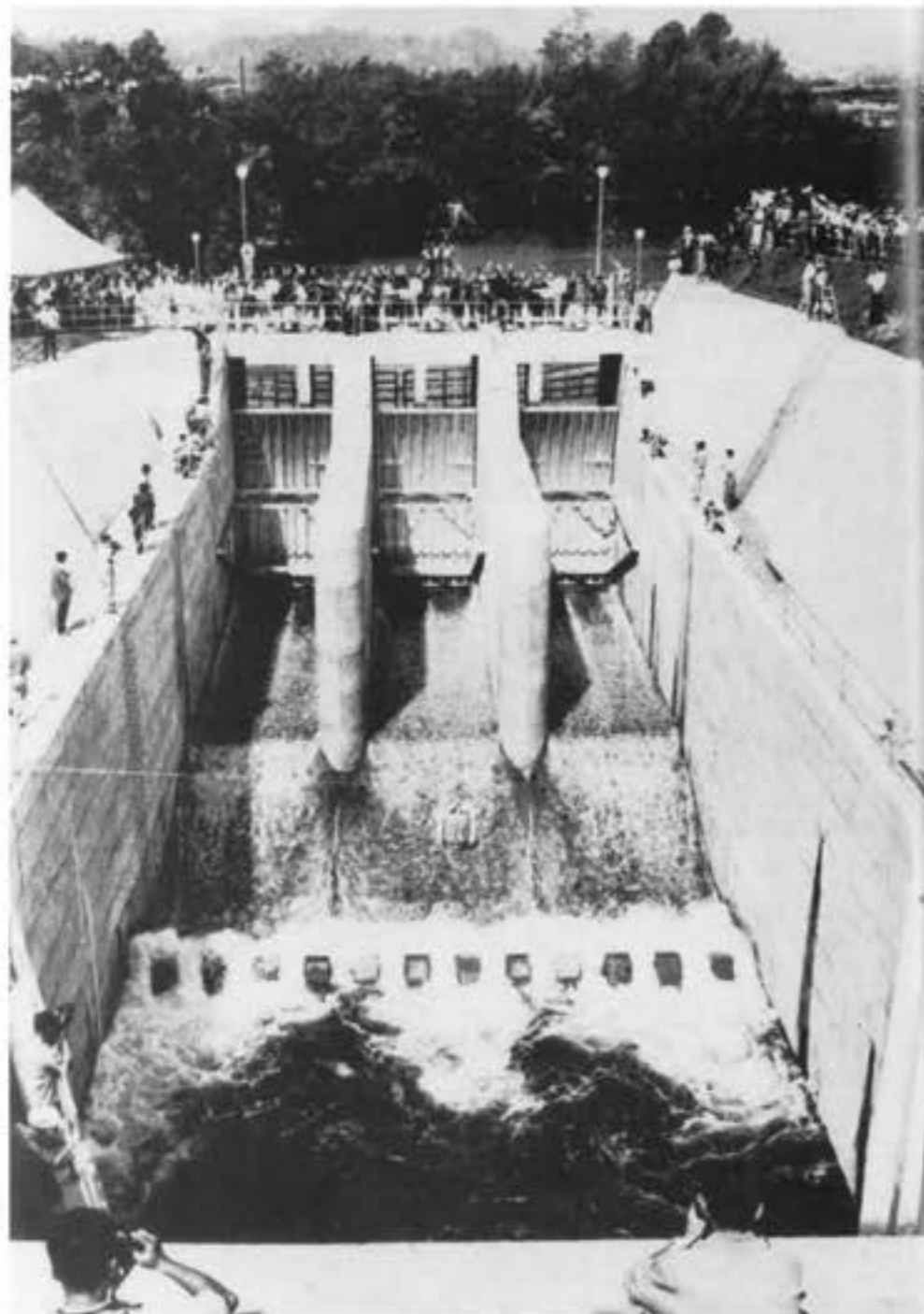
通水に喜ぶ受益地の人々



通水式の模様は全国ネットで実況中継



EFAの技師たちも感嘆無量の表情



期せずして万才が湧きあがった通水の瞬間



ネルビックゲートを潜ってトンネルへ



すべるように走ってゆく静かな水足

PHOTOGRAPH

1961.9.30 愛知用水ついに完成

秋晴れの空が広がった昭和三十六年九月三〇日の午前十一時四〇分、兼山取水口のコントロール・ボタンは押されました。木曾川の水がゲートの下から吹きあがり、しぶきをあげて流れてきます。総工費四二億四、五年の歳月をかけてついに完成した愛知用水の通水の一瞬です。湧きあがる歓声と、両手をいっぱい広げてのパンザイの声……。幹線水路や支線水路の沿線にも、初めて地元人がやってくる木曾川の水を見ようと大勢の人が詰めかけました。なお通水式の模様は、NHKとCBCからテレビで全国へ実況中継。当時、いかに愛知用水が注目されていたかがわかります。

愛知用水の建設に燃えたアメリカ人たち



愛知用水の建設について考えるとき、EFA（アメリカ・エリック・フロア社）から派遣された米人技術者たちの活躍を忘れることはできません。EFAとは、シカゴに本社のある農業土木工事のコンサルタント会社。世銀から建設費用の融資を受ける際、同社からの技術援助を受けることが条件として加えられたのです。

今や世界に誇る“技術国ニッポン”——。若い世代には不思議なことに映るかもしれませんが、戦後まもない昭和20年代後半の日本には経済力はもちろん、愛知用水を完成するための技術力にも不安がある状態でした。“青い目のパートナーたち”の協力なくしては、愛知用水の今日もなかったといえましょう。





曲り池分線で施工状況を見る



牛舎をのぞいて酪農による農業経営の合理化についても、彼らは熱心に論じたといえます



ヘル技師



彼らは日本に同化しようと、食事の時にも努めて箸を使った



霜を消す送風塔の下で…



機械開墾地で土壌を調べる技師たち

水田の調査風景



青い目の パートナー たち



EFAの技師たちが席を置いた、愛知用水公園の工務部技術援助課の一堂



現場の詰所で計画図を広げて共同ディスカッション



傾斜地の給水栓の説明に耳を傾けるEFAの技師たち



雨の日も図面を広げてディスカッション



<写真左> チェックは厳しく、そして入念に行われました

<写真右> 図面のチェックをするチーフ・エンジニア。自分が手がけた仕事は、最後まで責任を持って見届ける——というのが、EFAの技師たちの仕事のやり方でした



EFAの技師の仕事ぶり、日本の技術者に与えたもの。

昭和三十三年七月二日、シカゴに本社をおくEFAは、ルーピンス総支配人以下一名の技師を日本に送り込んできました。見るからに大きな体、そして澄んだブルーの瞳。しかし、それよりも愛知用水公団の技術者たちが最初に驚いたのは、これから実際の仕事が始まる現地を見なくても、そのプランニングは十分にできるといふことでした。

彼らは日本からシカゴへ送られた資料をもとに、愛知用水の建設に対する基本的な設計図面を作成し、それを何枚も抱えてやってきたのです。それまで日本では、まず、現地を踏むことからスタートするのが常識的な進め方。それが海を隔てて、はるか七、〇〇〇マイルも離れたEFA本社でつくられた図面を見せつけられたときには、言葉にならないほどショックだったとか。

当時、公団の技術者だった人たちは、「あの時は、近代技術とはこのようなもの、という印象が強く胸に残った」と話しています。

EFAの技師たちの仕事は厳しく、そしてガンコでさえあった。とにかくオールマイセルフの国。自分が手掛けた仕事には、最後まで責任を持つ。日本でいえば課長クラスにあたるチーフ・エンジニアでさえも、自分のチームが担当した仕事は、たとえ細かい部分の図面であっても入念にチェックする。それが彼らのやり方でした。

設計ができあがり、請負業者との契約が成立すると、今度はその一切の責任を持たせて、安く請け負った業者の立場にも全く動じないのも、彼らの仕事に対する姿勢でした。「手段も方法も問わない。あくまでも工事は設計通りに」という厳命には、業者たちも閉口して「愛知用水の仕事は、どこも赤字」という悲鳴も出るほどでしたが、その半面、土木業者たちには技術で考え、技術でクリアしていく機会をEFAの技師たちは教えてくれました。

この結果、工事はそれぞれの技術コンクリールのような形となり、日本の技術の向上に大きく貢献しました。



愛知用水の建設工事のため、アメリカから来日したEFAの主力メンバー。左からデビッドソン、リブナー、ヘール技師、ルーピンス総支配人。主要工事に関する設計・施工監督など、さまざまな場面で腕をふるった。



会話はほとんど通訳を介してでしたが、そこはお互いに技術者同士。仕事を進めていくうえでは、大した問題ではなかったそうです。



老練のチーフ・エンジニアも現場で汗だくになって働きました。当時の日本の技術者には、これも異様な風景に映ったという



愛知用水公団発行「愛知用水グラフ」より
ビショップ教授から日本の技術者たちが学んだこと。

□ビショップ教授の印象□

アメリカ・コロンビア大学が、土木工学部主任教授A・アルビン・ビショップ博士は、公団が委嘱している用地かんがい農業特別顧問の主任である。当年度44才の少壮学者であるが、さすが「若い国・アメリカ」でも、この若さで州立大学の主任教授というのは異例にぞくぞくといわれる。かんがい排水工学の分野では、すでに世界的権威と目されるゆえである。教授ははかにI.C.A.やF.A.O.などの顧問技術員を兼ねておられ毎年各国からの招待が引きもつらぬ。しかし教授の「愛知用水びいき」はまことに驚くべきものがあり、報酬その他の条件が他に比べて必ずしも有利ではないにもかかわらず、31年度から本年まで引続き3回にわたって来日されている。

教授に接して一番感銘を受けるのは、その学者としての真摯さとして人間としての純粋さであろう。話話が専門の領域に入ると、にわかには表情はしり顔もするどく輝いて、少しトツ弁だが口調に熱がこもってくる。プロフェッサーの風格がおのずからにじみ出てくる。それがふだんに返って随分一笑すると、今度は科つた田舎の牧師さんといった感じで、いかにも親しみやすい。教授はご存知のとおり熱心なモルモン教の信者である。牧師さんの印象もあたらぬわけではないが、ただモルモン教は例の一大多妻主義で好意的な意味で知られた宗教である。清浄無染の風ある教授とこの一大多妻は、どう考えても結びつかないのでたずねてみると、この主義は19世紀の末ごろ教義からはずされておられ、現在ではもはや笑うべき過去の遺物でしかないとのことだった。

酒もタバコもたしなまない教授の日常は、学者としての生活に徹して職務をきわめておられるらしいが、かといってコチコチの硬心なタイプでは決してなく、考え方も市井に人間味も豊かで、ユーモアとウィットに富んだ話ぶりが人を魅する。戦後の道徳について（特にアメリカでも批判されているという「大規模」の生態などについて）教授のお考えを聞いてみたが、それに対する見解はあくまでクリスチャン教的信念に立つ明確な道徳論でこちらが期待した情緒的なげや余韻などは一かけらもなかった。べつに深遠な哲学的考察や聖書の言葉をきくつもりはなかったが、戦後の風潮に対してさえ、少し物足りなさを感じさせるほど、教授の道徳観は健全で機軸も失っていないように見受けられた。人間、さらに学者としての純粋なバックボーンと揺るぎない宗教的信仰、まさにこの二つのものが教授をしてかくも堅固な場所を立たしめているのであろうと思われた。なおアンナ夫人はローガン地方で「美の女王」として有名で、現在も1万種以上の花の栽培に丹精をこめておられ、また子供さんは2男2女の由である。

□ビショップ教授の勧告□

さてビショップ教授は、31、32、33年と愛知用水事業のために連続3回にわたって来日されたが、ここでビショップ勧告の要旨をダイジェストしてみよう。（なお本年度の勧告はまだ発表されていないので、以下は主として32年度までの勧告要旨である）

- (1) 用地かんがい組織を決定する基準として、用地の「インテーク・レート」つまり「かんがいの水の浸透率」の測定方法を指導された。これによって、愛知用水地域の大半は地表かんがい、特に等高線うねかんがい組織を採用できることが明らかにされた。
- (2) 等高線うねかんがい法の適用によって、種別した用地の地盤造成作業が必要あるいは作業量を削減できることが明らかにされた。
- (3) 用地かんがいは、昼夜24時間の送水制度を回り、農場かんがいは「ローテーション・システム」つまり「輪灌かんがい法」を採用すべきことを明らかにされた。
- (4) 日本における用地かんがいの「かんがい効率」を速やかに実現すべきであること、また愛知用水計画における「かんがい効率」の設計基準を60%以内とすべきことを示された。
- (5) 用地かんがい技術の迅速な導入と普及のための具体的な方策を次のように示唆された。
 - イ、先進国からの権威者の招へい。
 - ロ、日本人技術者の養成訓練。
 - ハ、実験農場の拡充。

二、主要な作物、土壌、かんがい方法、分水調整等に関する各種の実験研究。
以上のほか支線水路の設計に関連する技術的諸問題について種々の有益な教示があった。そして最後に建設期間中および行先の管理運営段階における通信連絡組織の整備（短距離無線による）を強調されている。33年度は、前年度に引き続いて各種の問題および事業の進捗に対応して生じた各種の事項について調査、検討、説明を行うとともに、かんがい組織を運営する事業体の設立、およびその運営、管理などの新しい問題について解説を行った。なお教授の滞在期間中において、I.C.A.のJ.C.マール氏およびF.A.O.のM.ルイス氏（いずれも土壌保全技師）も随時同行され、教授および公団側との間に討議が行われた。

EFAの技師たちの仕事への態度は、最後まで厳格だと伝えられています。たとえばセメントとジャリの配合についても、少しでも規格をはずれると即座にやり直し。管理用道路の工事に関しても、当時の農林省では認められないような設計でもガシとして譲らない。また、一見してぜいたくな感じに見えても、「この方が結局は安いものになる」というような場合が多かったといえます。

とにかく合理的で、ムダなことを嫌う——それが彼らのやり方でもあったのです。しかし、技術的には優秀であつても、日本の実情をあまり考えない態度には、ときには公団側と意見衝突をすることもあったとか。そして、そのほとんどが用地に関するトラブルだったといわれています。公的優先の習慣が確立しているアメリカの技師たちにしてみれば、土地というものに対する日本人の考え方には十分に理解ができていないものがあったようです。たとえば、こんなこともありました。幹線水路の上流部で、地主の一人が用地の買収に応じないので、路線を変更して高圧線の鉄塔を移動することになりました。このため四〇〇万円ほどの費用が余分にかかることになったのですが、「それよりも買収に応じない地主に三〇〇万円積んだ方が安い」と強く主張。そうしてしまつたら、これまでに買収に応じた地主たちが納得しない——ということが、彼らにはなかなか理解できなかったらしいのです。また、やむを得ず設計を変更する場合でも「技術的には認めないが、公団が勝手に変更したという一札を入れるなら黙認する」という具合に、自分たちの仕事にはあくまでも忠実で、エンジニアとしてのプライドも高かったです。



牧尾ダムの岩質を調べるジェームズ技師



EFAの技師たちは、公的優先は地方の利益関係に妨げられることなく計画されるべきだという考えがあった。そのため用地買収ができず、やむなく設計を変更することを全面的に嫌った

PART. 3

愛知用水のハード



日本人と水と日本語

日本の地形は、急峻で川は短く、雨は六月の梅雨のシーズンと、九月の台風シーズンにまとまって降るといって、極めて「水の条件」に不安定な国なのです。

だから昔から「治水は治山にあり」として山の保全が重視され、急流な川の流れをゆるやかにすることに人々は命がけで取り組んできたのです。

大山から弥富までの約五〇キロにわたる大がかりな堤——木曾川の「お開い堤」の話は、なかでも有名です。江戸幕府が死活をかけて、わずか二年で完成。これによって濃尾平野は沃野に変えられ、公称五四方石の尾張藩も、実高は一〇〇万石を超えるものに大きく成長していきます。ところが、それとは引きかえに泣かされてきたのが、対岸の美濃側。大雨のたび水害に苦しめられ、木曾川と長良川と揖斐川の三川が乱流するデルタ一帯には、住民たちの自衛手段である輪中が発達しました。

このような水との緊張関係が、日本人の心を敏感に、そして繊細にしていたのでしょうか。日本語には、おそらく外国語では表現できない微妙なニュアンスを含んだ「水にまつわる言葉」が多いのです。

外国人にどう説明しますか？

水あげ	水あたり	水入り	水入らず	水を向ける
水祝い	水かけ論	水からくり	水くくる	湯水の如く
水際立つ	水くさい	水ゲンカ	水狂言	水をさす
水ごころ	水さまし	水仕事	水したたる	冷水を浴びる
水締め	水茶屋	水商売	水炊き	水を打つ
水と油	水っばい	水取り	水にする	水を割る
水になる	水に流す	水の泡	水引き	水をあける
水びたし	水ぶくれ	水増し	水まわり	水を呼ぶ
水見舞	水もの	水もしたたる	水除け	

愛知用水のメカニズム



- 1 牧野ダム
- 2 新山取水口
- 3 入道池
- 4 本郷池
- 5 三好池
- 6 白松野池
- 7 三好池

愛知用水には 1つのダムと 5つの調整池がある。

愛知用水は、水源として牧尾ダム、取水口として兼山取水口を設け、木曾川の水を高度に利用しています。岐阜・尾張の東部の丘陵地帯を通過して、知多半島の先端に至る幹線水路には5つの調整池があり、農地開発のための農業用水をはじめ、上水(水道用水)工業用水を供給するとともに、牧尾ダムの下流には発電所(関西電力)を設け、発電も行っています。



愛知用水の水源地、 木曾川の上流、長野県にあります。



建設中の牧尾ダム

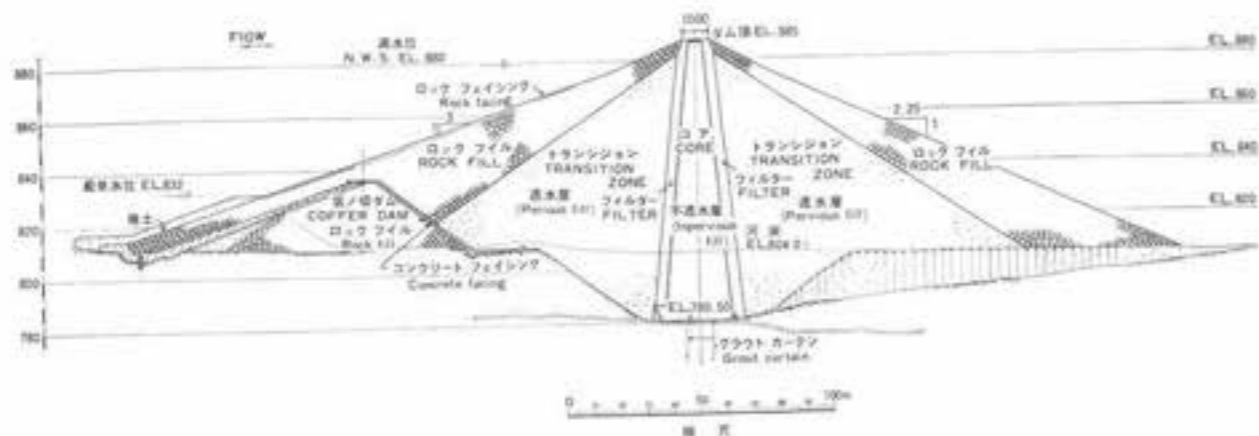
牧尾ダム

標高三〇六三メートルの御岳山の麓、長野県木曾郡の緑深い山の中に昭和三六年五月完成した牧尾ダムは、愛知用水にとつては欠かせない大切な水源地です。
有効貯水量は六八〇〇万立方メートル。当時としては大変珍しかった。
ロックフィルダムは、木曾川の上流、王滝川をせきとめてつくられました。

牧尾ダムの構造

- ① 中心コア層 よく締め固めた不透水土(ココ)の壁で、浸透水を遮断する役目を果たしています。
- ② フィルター層 この層は貯水池の水位が急激に上昇、あるいは低下したときにおきるパイピング現象(貫孔作用)によって、中心コアの不透水土の粒子が流動しないように、浸透水の急激な圧力をこの層でいったん小さくさせるのです。つまり一種の「濾過層」の役目を果たすわけで、材料はよい粒度分布を持つ砂と砂利が使用されています。
- ③ トランジション層 「中間層」ともよばれ、貯水による水圧を本体のロック(石塊)へ一様に分布させ、また急激な水位低下によるいろいろの悪影響を防止しています。
- ④ ロック層 これがロックフィルダムの本体をなす石塊の層で、トランジション層を保護し、ダムの不等沈下や崩壊や横スベリなどを防止するとともに、ダムの自重を大きくして安定度を増大させる重要な役割を果たしています。
- ⑤ ロックフェイスング ダムの法面を石塊で張りつめ、波浪のため法面が洗掘されるのを保護し、あわせてダムの外観美を保っています。

牧尾ダム標準断面図



貯水池周辺平面図



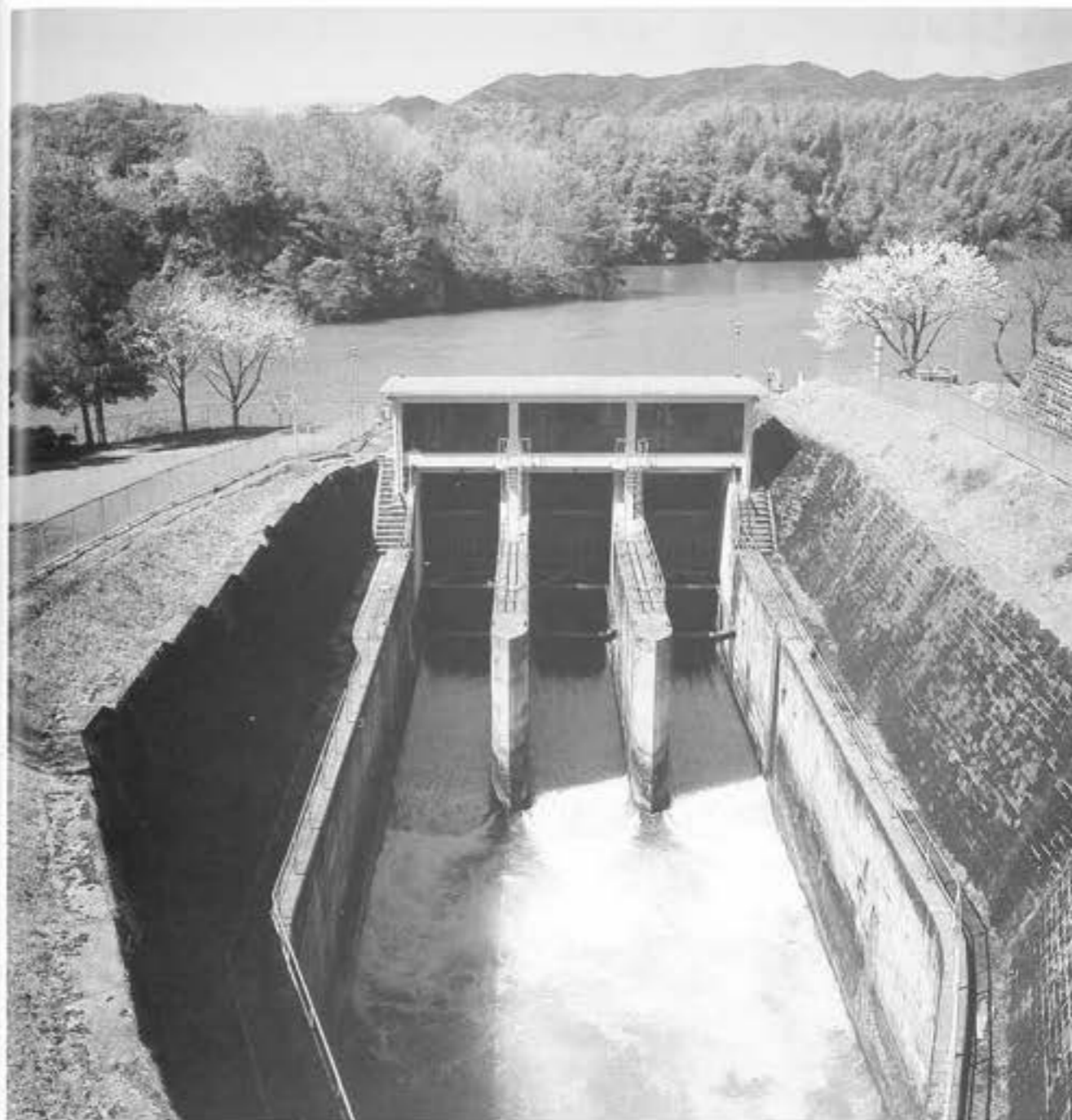
牧尾ダムの概要

河川名……木曾川水系王滝川
位置……長野県木曾郡王滝村、三岳村
流域面積……304km² 直接流域 73km²
間接流域 231km²
満水面積……2.47km²
満水位……EL.880.0m
最低水位……EL.832.0m
総貯水量……75,000,000m³
有効貯水量……68,000,000m³
ダムの型式……中心コア式ロックフィルダム

堤頂標高……EL.885.0m
堤高……河床上81m基礎岩盤上106m
堤頂長……264m
堤体積……2,615,000m³
放水設備……ハウエルバンガーバルブ
直径1800mm1台
計画放水量30.9m³/sec
余水吐……最大3,200m³/sec
型式：シュート式余水吐
ゲート：テンダーゲート4門
(10m×10m)



建設中の兼山取水口



兼山取水口

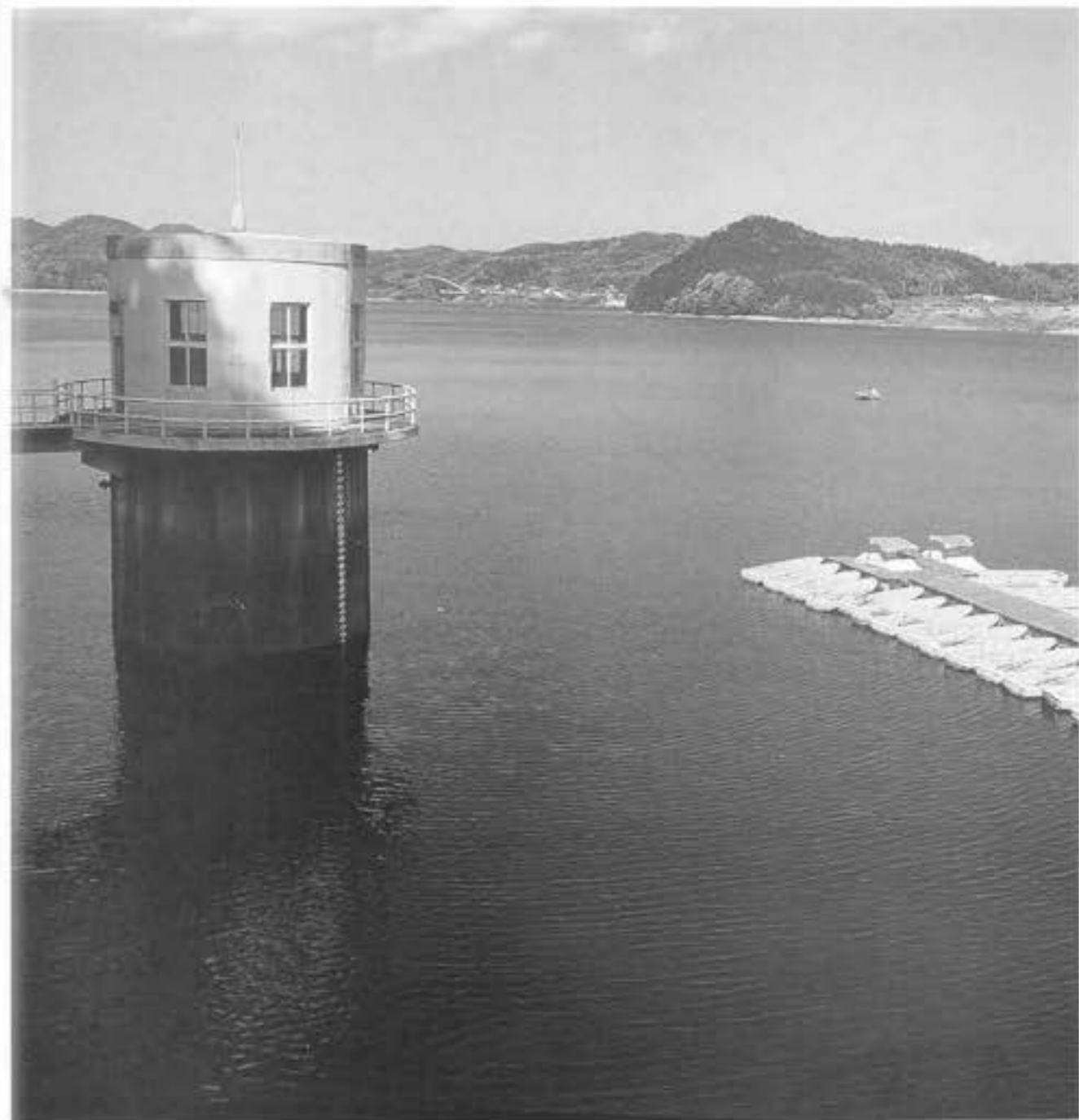
愛知用水の取水口。「兼山取り入れ口」は、牧尾ダムから木曾川を二〇キロ下った岐阜県加茂郡八百津町にあります。

ここから取り入れられる水量は、毎秒最大三〇トン。三門のゲート・ゲートによって必要水量が取り入れられます。またゲートは、電動と手動のいずれによっても操作できる仕組みになっており、万が一の停電に備えての対策も万全。操作室には自家発電装置も完備しています。

愛知用水の水は、ここから岐阜・愛知東部の丘陵地を通り、知多半島の先端まで送られていきます。人間の手によって制御されている人工の川・愛知用水のスタート地点でもあります。



天山、小牧、大日、扶桑の二市二町の入鹿用水の受益地に対して、水田のかんがい用水を給水するため池。四国の満濃池に次いで、全国で二番目に古いかんがい用のため池ですが、現在では隣接した明治村とともに観光地として賑っています。
 ポート乗り場の近くにある取水塔は、愛知用水の建設の際に新設されたもの。また、これまでは入鹿用水の受益地以外には水が使えなかったのですが、畑地かんがいが増え、水が必要になってきたため、二期工事ではこの入鹿池の水を新たに愛知用水幹線水路に導入。冬場でも十分な水が確保できるようになります。



入鹿池



■上流部からみた調整池ダム(建設中)



愛知池

(東郷調整池)



●愛知池の構造

流域面積	1.6km ² (直接)
満水時面積	0.97km ²
満水位標高	69.30m
有効水深	18.30m
総貯水量	9,000,000m ³
ダム型式	傾斜コア式アースダム
堤頂高	31.00m
堤頂長	975.00m
堤体積	1,040,000m ³

全長約二二キロの愛知用水の幹線水路のほぼ中央にある愛知池は、愛知用水全体の調整機能を備えた特異な存在。その役割は、人間でいえばちょうど「胃袋」のような構造となっています。

自然流下を基本とする愛知用水の水は一旦ここで貯め、必要に応じて水量を調節しながら、再び下流に向けて放流。これによって水路断面の縮小が図られ、また水の利用回転を高度に保つことができるわけです。



愛知用水の建設は三好池からスタートしました



三好池



愛知用水の補助ため池の一つである三好池は、四つの小さな池を統合して、従来の貯水量二万立方メートルを二二〇万立方メートルに増強したものです。

技術的にいえば、田堤のカサあげというより、むしろ田堤の位置に新しいアースダムを建設しようなものの、▼基礎に岩石がないこと▼田堤からの浸透水が多いこと▼工事中もかんがい用水の供給を中止しないこと——などの悪条件を克服して、全面的な機械化施工により、わずか一五ヵ月という工期で完成したといわれています。愛知用水にとっては、着工第一号にして、完成第一号という記念すべき施設でもあります。



そ う り い け
佐 布 里 池

名古屋市南部臨海工業地帯に、愛知用水の工業用水を供給するための調整池。有効貯水量は五〇〇万立方メートルで、昭和四〇年、愛知県によって建設されました。

工業用水の給水区域は、名古屋市南部の工業地帯と、東海市、知多市、大府市および阿久比町の名古屋南部臨海工業地帯で、現在、六六事業所に給水されています。

給水能力は、一日八四万五、六〇〇立方メートル。愛知県に重化学工業の花を咲かせ、今もこの地方の主要産業を支える大切な水エネルギーになっています。

桜の半島、西の半島などの名が付けられた岸辺は、周りの豊かな水と溶けあい、梅の名所としても知られています。愛知用水の幹線水路は、桜鎌サイホンを通してこの池の下をくぐって南下。知多半島の先端まで走っています。



建設中の松野池

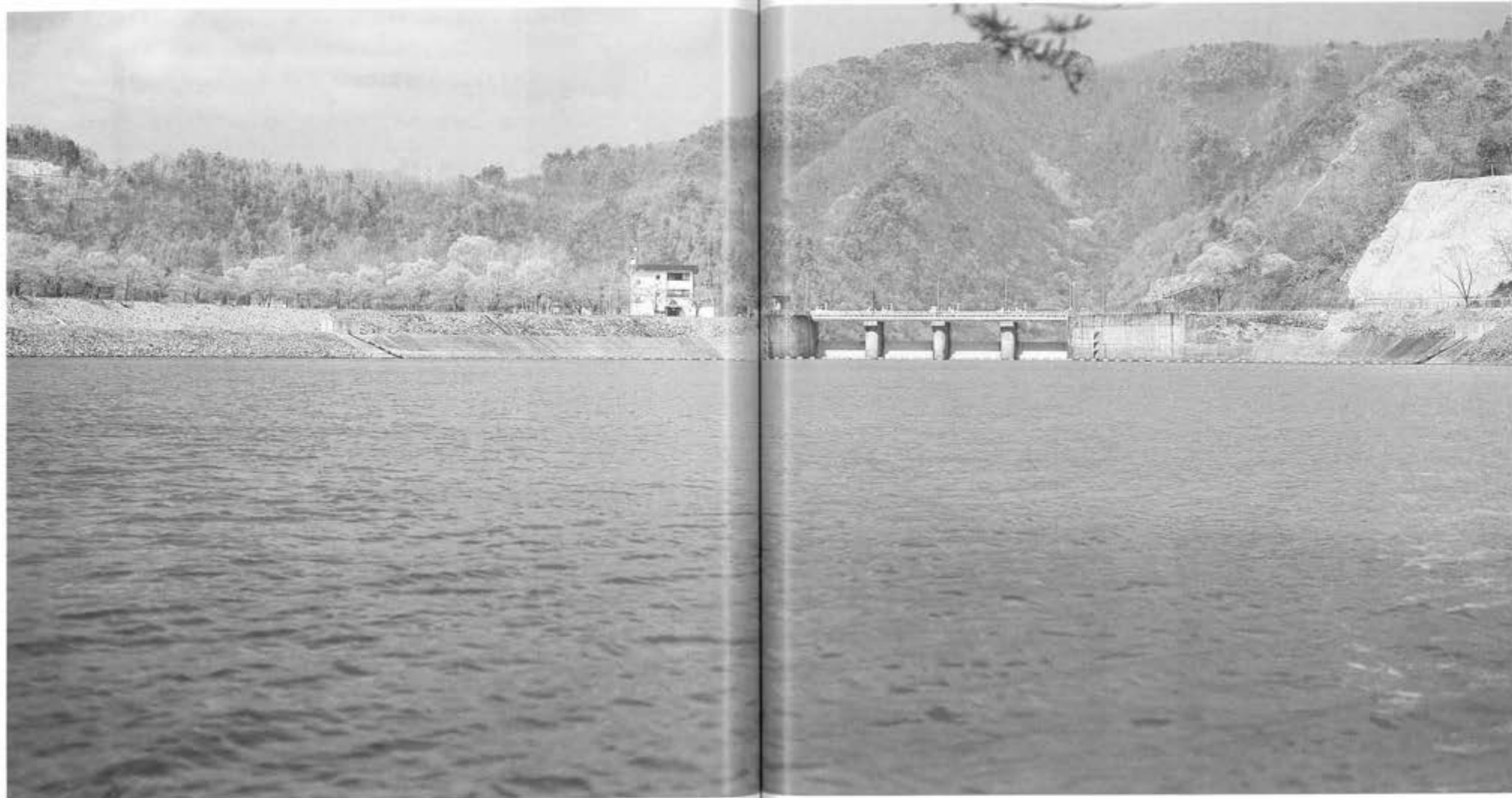
松 野 池

岐阜県瑞浪市の北西端、国道二一号沿いに広がる鬼岩公園のなかにある松野池は、牧尾ダムの御岳湖とともに、愛知用水にとって貴重な水源です。

当初、可児川の防災用ため池として計画されましたが、愛知用水の建設に伴ってかさ上げがされ、かんがい目的も加えられて貯水量も大幅に増大。現在、貯水量は三三二万立方メートルとなっています。

岩ツツジや松に彩られた美しい池で、別称「松野湖」とも呼ばれています。ボート・釣りなどが楽しめます。観光のシーズンには家族連れやドライブ客などで賑わっています。

流域面積	6.10km ²
満水貯水量	0.34km ³
ダムタイプ	331万m ³ 均-アースダム
堤体	16万m ³
堤高	26.7m
堤頂	215.0m



LAKE

ONTAKE

美しい波紋のなかに、過去の記憶を呼びさ
ますことができますか。今から30年前、牧尾
ダムの誕生によって生まれた「御岳湖」の底
には、王滝村と三岳村の240戸の家が水没、昭
和59年の長野県西部地震では、御岳山の崩壊
による土砂が大量に流れ込み、このダム湖の
管理にあたっている水資源開発公団では大変
だったといいます。

岐阜、愛知の発展を大きく支えている愛知
用水——。こうした水源地の人たちの情けや
そこで働く人々の努力によって、私たちの現
在の暮らしはあるのです。

世界の名言から
水とは何か。

“水の惑星”と呼ばれる地球。私たちがこうして生きていられるのも、地球には豊かな水があるからです。水の惑星の一部として生まれ、そして大地を流れる川によって育まれてきた人類の歴史——。水にまつわる名言には、単なる言葉としてではなく、実感として受けとめられるのは何故でしょう。

水は万物のプラエメント(根源)である。 タレス (紀元前六世紀前半、ギリシア最古の哲学者)

水は生命の第一の原理である。 アリストテレス (プラトンの弟子、アレキサンダー大王の教育係)

水は大地の血気である。 管仲 (中国・春秋の齊の賢相、桓公に仕えた法家の祖)

水は単なる水ではない。 キャヴェンディッシュ (水素を発見したイギリスの物理学者)

水は生命の空気である。 プリーストリー (17世紀のイギリスの化学者、酸素の発見者)

水とは人の世の岸辺を清めるものだ。 ジョン・キーツ (イギリスのロマン派の詩人、18世紀前半)

水とは万物のみなもとである。 カナア出土の楔形文字による物語から。

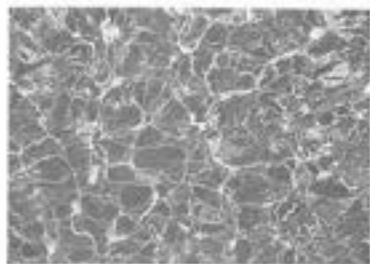
水とは最も美しい化合物である。 ヨーロッパのある化学者の言葉。

PART. 4

愛知用水のソフト



ゆたかな社会は、水の安定供給が必要です。



愛知用水の 上水と工水

水は私たちの暮らしに欠かせないものです。
また安定した供給がなければ、
これからの快適な生活や産業の発展を
支えることはできません。
愛知用水の水は、みんなの財産——。
市や町という区域を越えて、
地域全体の水需要を大きく支えています。

愛知用水の水が、私たちの家庭に届くまで。

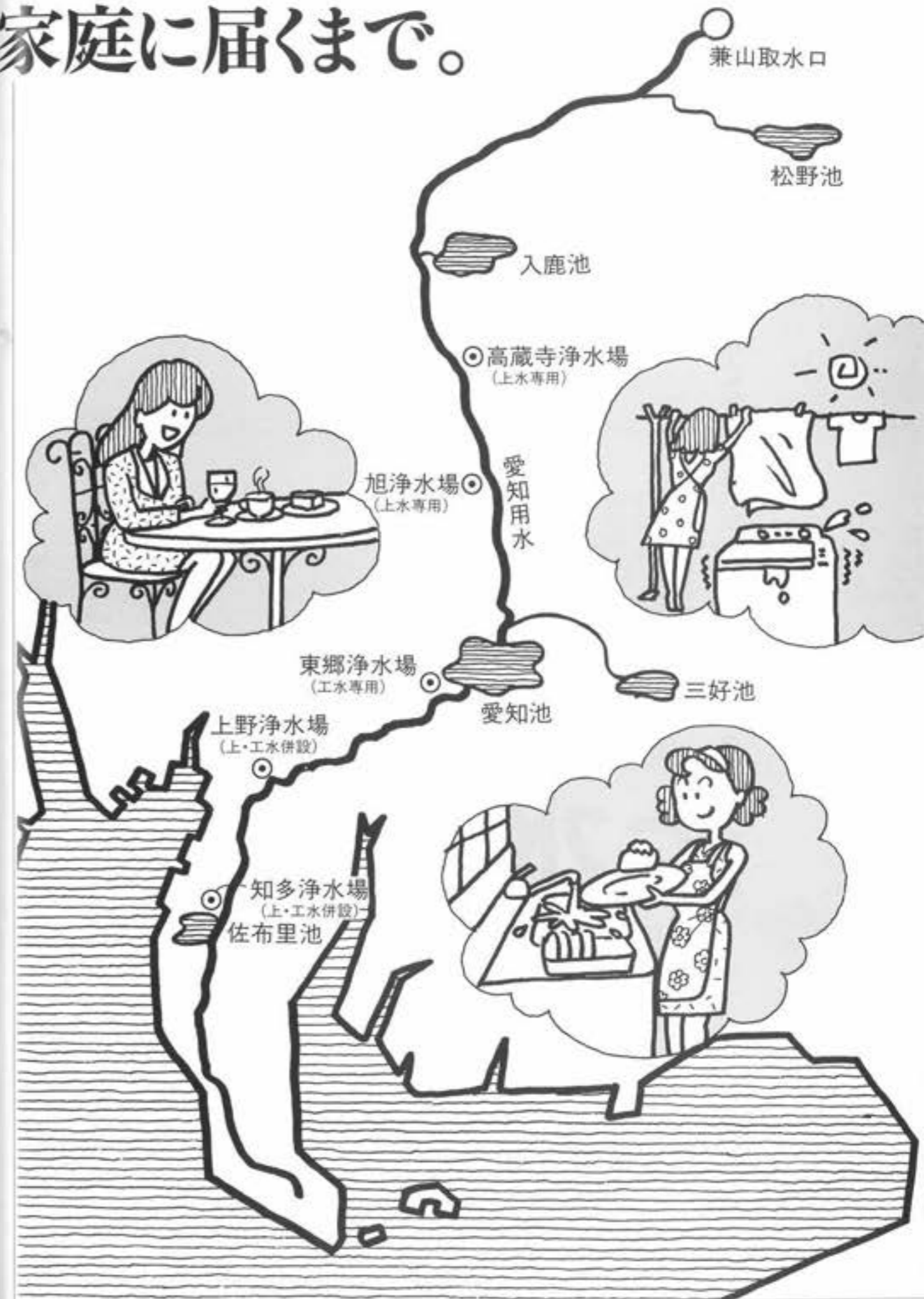
牧尾ダムを水源とする愛知用水の水は、木曾川の本流を利用しながら約120キロ先の岐阜県八百津町の「兼山取水口」で取水。知多半島の先端まで走る幹線水路沿いに、4つの県営浄水場があり、ここで浄化され、市町の水道により私たちの家庭に送られてきます。



●愛知用水の水道水供給地域

昭和36年度	名古屋市中区、瀬戸市、守田町、東津市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、高浜市、東浦町、山崎町、美田町、武豊町
昭和37年度	刈谷市
昭和39年度	岡崎市
昭和43年度	愛知県(心身障害者コロニー)、住宅・都市整備公社(高蔵寺ニュータウン)
昭和44年度	春日井市、愛知中部水道企業団(豊明市)
昭和45年度	愛知中部水道企業団(東郷町、日進町、長久手町)
計	10市5町1企業団1公社11市町村

家庭に届くまで。





旭浄水場

尾張旭市旭ヶ丘町森
☎(0561)53-2818

東海春日井・長久手線沿いにある「旭浄水場」は、昭和三二年から建設が始まり、三七年一月、各家庭への給水が始まった最初につくられた浄水場の一つです。

名古屋市に隣接したベッドタウン地域が主な給水先のため、この浄水場でも人口増加に伴う拡張工事をこれまで二度実施。現在は一日最大六万五、〇〇〇立方メートルの供給能力を持っています。

給水先は、尾張旭市、瀬戸市、中部水道企業団の一部（長久手町、日進町、東郷町）で、ここから愛知用水の水を浄化して給水されています。



高蔵寺浄水場

春日井市高森台1-10
☎(0568)91-3902

東海地方最大のベッドタウン、春日井市高蔵寺ニュータウンの高森台にある「高蔵寺浄水場」は、昭和四三年五月完成、一日最大能力八、八〇〇立方メートルでスタートしました。しかし、同ニュータウンの急激な人口増加に伴って、その後、二度にわたる拡張工事を実施。現在は一日最大九万四、三〇〇立方メートルの給水能力を持ち、この二〇余年で給水量は約一〇倍に増えています。

給水先は、約三万世帯の家庭や学校、病院、商店街などで、同ニュータウンで使われる水はすべてここから送られているのです。このほか春日井市の細野地区や愛知県心身障害者コロニー、また瀬戸市、尾張旭市、中部水道企業団の一部（長久手町）にも、ここから給水されています。



知多浄水場

知多市佐布里字西池ノ脇
☎(0562)55-3501

工業用水の調整池としてつくられた佐布里(そぶり)池に隣接してある「知多浄水場」は、工業用水専用の浄水場として昭和四〇年五月から給水を開始しました。

工水一日最大給水量は四七万二、八〇〇立方メートル。知多市、東海市、阿久比町の事業所の水需要に応じています。

また五二年一〇月からは、一般家庭向けの水道用水の供給も開始。上水一六万五、四〇〇立方メートルの給水能力で、現在、知多市、半田市、常滑市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町の知多半島の三市五町へ愛知用水の水を浄化して送られています。



上野浄水場

東海市名和町蔵山7
☎(052)604-4132

昭和三二年一〇月に着工され、三六年八月に完成した「上野浄水場」は、愛知用水の本格的な通水と同時に三七年三月から名古屋市緑区、東海市、大府市、刈谷市の四市に水道水の給水を開始。その後、地域の著しい人口増加、生活水準の向上による水需要の増大に対処するため、これまでに二度わたる拡張工事を実施しています。

一日最大給水能力は、一六万四、一〇〇立方メートル。知多浄水場の新設によって五二年以降は給水区域も変更され、現在は東海市、大府市、刈谷市、高浜市、東浦町、中部水道企業団(豊明市)の四市一町一企業団に給水しています。なお名古屋市緑区への給水は五八年度末に廃止。また、工業用水は昭和三六年十二

月から給水開始しました。一日最大給水量は、当初、八万六、四〇〇立方メートルでスタートしましたが、拡張工事を行い、現在一七万二、八〇〇立方メートル。名古屋市南区、東海市の事業所の水需要に応じています。(大府市も予定)



愛知用水の幹線水路の「胃袋」といわれている愛知池に隣接した「東郷浄水場」は、昭和四五年から建設を始め、四九年九月から給水を開始した工業用水専用の浄水場です。給水能力は一日最大二〇万立方メートル。給水先は、名古屋市南部(南区・港区)および名古屋南部臨海工業地帯(東海市・知多市)の事業所の水需要に応じています。

東郷浄水場

東郷町大字諸輪字北木戸西
☎(05613)8-0314

工業用水(工水)って何?



●愛知用水を水源とした工業用水の給水地域

家庭や都市などで使われる上水(水道水)、水田や畑を主体として使われている農業用水に対して、工業用水(工水)とは工場などで使われる水のこと。愛知用水の工業用水は、昭和三六年二月から日量約八万六、四〇〇立方メートルの規模で、名古屋南部および名古屋南部臨海工業地帯の工場に対して給水を開始しました。その後、相次ぐ企業進出と水需要の増加に対応していくため、給水区域の拡大や四度にわたる施設の拡張を実施。現在、日量八万五、六〇〇立方メートルの施設能力で、各工場へ安定した水の供給に努めています。



愛知用水の工業用水の供給先

愛知用水の工業用水は、現在、66の事業所で使われています。

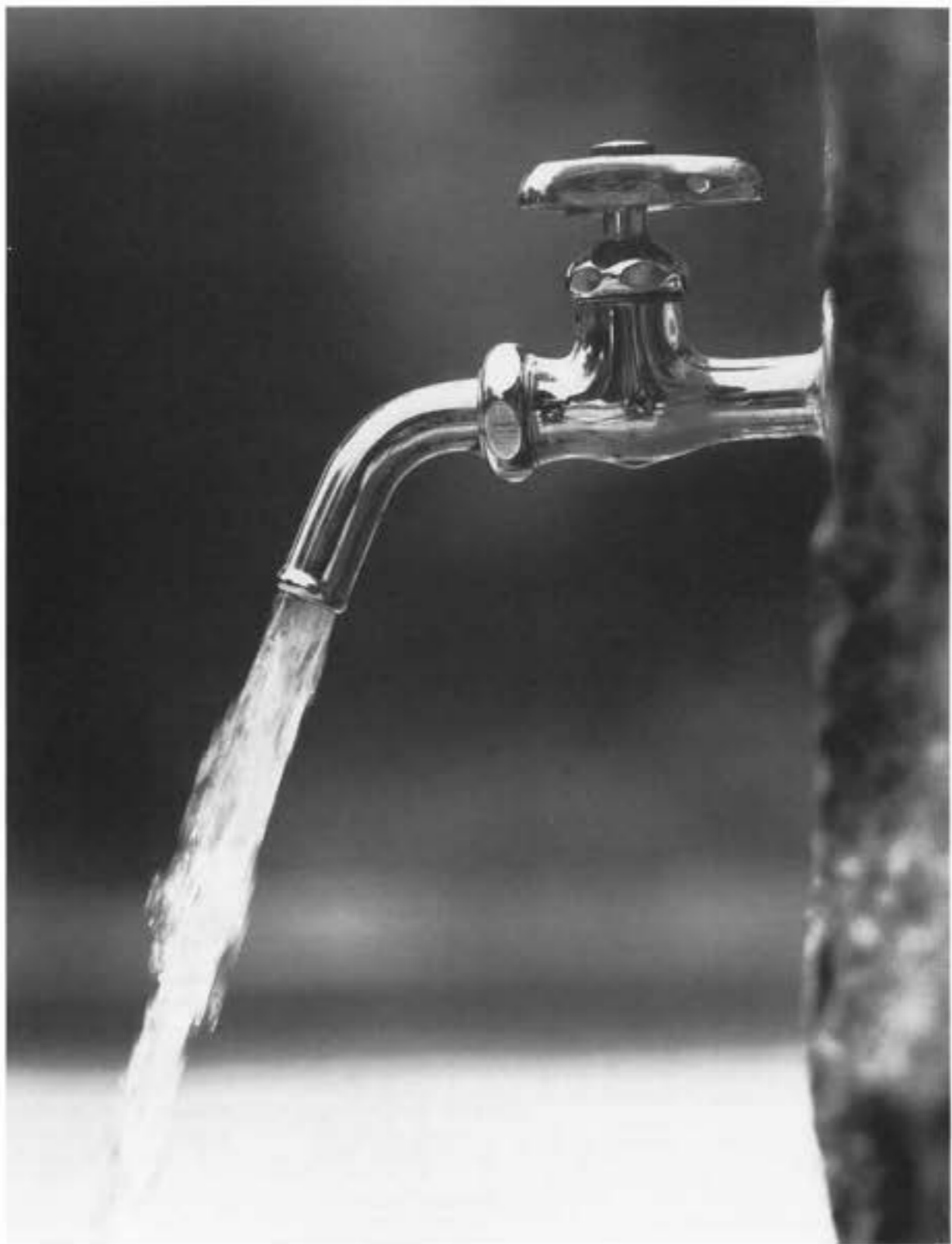
- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 日清紡株式会社 名古屋工場 | 34 日本製鋼株式会社 知多製鉄所 |
| 2 愛知機械工業株式会社 港工場 | 35 サンエイ糖化株式会社 知多工場 |
| 3 三井木材工業株式会社 名古屋工場 | 36 中部電力株式会社 知多火力発電所 |
| 4 大同特殊鋼株式会社 陸地工場 | 37 出光興産株式会社 愛知製油所 |
| 5 美し株式会社 名古屋事業場 | 38 新栄工業株式会社 名古屋工場 |
| 6 三菱自動車工業株式会社 名古屋自動車製作所 | 39 板井興産株式会社 |
| 7 三井東洋化学株式会社 名古屋工場 | 40 名古屋市下水道局柴田下水処理場 |
| 8 大同特殊鋼株式会社 屋敷工場 | 41 東洋グレーンターミナル株式会社 |
| 9 矢作製鉄株式会社 | 42 宮崎精製株式会社 知多工場 |
| 10 石川島播磨重工業株式会社 | 43 中京コカ・コーラボトリング株式会社 |
| 11 東洋化成化学工業株式会社 名古屋工場東工場 | 44 株式会社日本電気化学 名古屋事業所 |
| 12 東洋化成化学工業株式会社 名古屋工場西工場 | 45 伊藤機工株式会社 知多工場 |
| 13 アロン化成株式会社 名古屋第一工場 | 46 日本製鋼工業株式会社 知多工場 |
| 14 料理の業株式会社 | 47 株式会社ダイセキ |
| 15 中部電力株式会社 新名古屋火力発電所 | 48 協材興業株式会社 名古屋事業所 |
| 16 三洋化成工業株式会社 名古屋工場 | 49 日研化成株式会社 名古屋工場 |
| 17 セネラル石油株式会社 中部配送事務所 | 50 日本資糧工業株式会社 名古屋工場 |
| 18 リノール油研株式会社 名古屋工場 | 51 王子コンスターチ株式会社 名古屋工場 |
| 19 名古屋油化株式会社 上野工場 | 52 太田油研株式会社 名古屋工場 |
| 20 サンブレイク株式会社 知多工場 | 53 東邦瓦斯株式会社 知多LNG共同基地 |
| 21 東邦瓦斯株式会社 上野工場 | 54 知多市南部浄化センター |
| 22 日鉄ドラム株式会社 名古屋工場 | 55 東邦瓦斯株式会社 知多工場 |
| 23 東海薬光コンクリート工業株式会社 東海工場 | 56 中部濃産株式会社 本社工場 |
| 24 中京アサノコンクリート株式会社 東海工場 | 57 日本アクリル化学株式会社 名古屋工場 |
| 25 アロン化成株式会社 名古屋第一工場 | 58 知多エル・エヌ・ジー株式会社 知多基地 |
| 26 美し株式会社 名古屋事業場 東海工場 | 59 知多市清掃センター |
| 27 愛知製鋼株式会社 知多工場 | 60 大有建設株式会社 名古屋南工場 |
| 28 愛知製鋼株式会社 陸地工場 | 61 東海油研株式会社 |
| 29 新日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所 | 62 竹中高圧工業株式会社 名古屋工場 |
| 30 大同特殊鋼株式会社 知多工場 | 63 株式会社イナックス 知多工場 |
| 31 中部電力株式会社 知多第二火力発電所 | 64 昭和土木株式会社 名古屋合材センター |
| 32 石川島播磨重工業株式会社 知多工場 | 65 日本電装株式会社 阿久比製作所 |
| 33 日清紡株式会社 名古屋第二工場 | 66 東海市浄化センター |

工業用水道年度別需要量

昭和36年	96,144 m ³ /日	昭和51年	725,232 m ³ /日
昭和37年	101,184 "	昭和52年	729,912 "
昭和38年	127,320 "	昭和53年	736,704 "
昭和39年	193,704 "	昭和54年	735,696 "
昭和40年	208,896 "	昭和55年	735,672 "
昭和41年	231,456 "	昭和56年	737,520 "
昭和42年	336,288 "	昭和57年	737,520 "
昭和43年	412,140 "	昭和58年	737,568 "
昭和44年	453,744 "	昭和59年	738,072 "
昭和45年	477,672 "	昭和60年	738,072 "
昭和46年	477,672 "	昭和61年	739,800 "
昭和47年	563,376 "	昭和62年	743,616 "
昭和48年	659,088 "	昭和63年	748,008 "
昭和49年	701,688 "	平成元年	752,376 "
昭和50年	720,240 "	平成2年	752,544 "

●東郷浄水場のほかに2つの浄水場からも給水されています。

名称	所在地・電話番号	現在給水能力	完成時給水能力	給水区域
上野浄水場	〒478 東海市昭和町東17 TEL. 052/9041432	172,800 m ³ /日	172,800 m ³ /日	北名古屋市、東海市、知多市、東海市、大府市、知多市、東海市、大府市、知多市
知多浄水場	〒479 知多市佐布重 〒西池之端8 TEL. 0562/303201	472,800	472,800	
東郷浄水場	〒479-01 愛知県東郷町 大字諸輪字北木戸西 TEL. 05613/80314	200,000	200,000	
計		845,600	845,600	



おいしい水にまつわる話

みんながおいしい水を求め始めた。

最近、ミネラルウォーターの売り上げが急カーブで伸びているといわれています。日本ミネラルウォーター協会によると、一九八六年度に約七万一〇〇〇キロリットルだった生産・輸入量はその後、毎年一万二万キロリットル台のペースで順調に増加。それが、九〇年代に入ってからは一気に五万五、〇〇〇キロリットルも増えたそうです。

また、「おいしい水をつくり出す」というふれ込みの家庭用浄水器も、このところ大変な人気。水に関する著作物も、本屋さんの店頭をにぎわせるようになりました。

一方、大都市・東京では、家庭用

愛知用水の水はやっぱりウメエーよ。

「天下の名川」といわれてきた木曾川の水が、「今でもおいしい」と折り紙がついたのは、一九八四年の八月二十八日のことでした。その日、厚生省には全国の二カ所から取り寄せられた水のおいしさを決める「利き水大会」が行われたのです。

審査員は、利き水の名人といわれる東京都水道局の前田学さんをはじめ、雑誌「酒」の編集長佐々木久子さんをはじめとする「おいしい水研究会」のメンバー一六人。浄水場か

の水の宅配やミネラルウォーターだけを飲ませる「アクア・パーク」などが新登場。今や健康を気づくお年寄りから、おしゃれな雰囲気を求める若い世代まで、おいしい水を求める声は年々高まってきています。

こうした背景には、やはり自然環境の破壊や水質汚濁の進行による水のまずさが大きな要因になっているようです。とくに都市部での水道水のまずさは大変なもので、単にまずいだけでなく、夏場を中心にカビくさくなる「異臭味」、被害も深刻化しています。厚生省のまとめによると、近畿、関東地方を中心に、八九年度は全国で約一七五〇万人が被害を受けているとか。

ら選んできたばかりの「一番しぼり」の水を「おいしい」「ふつう」「まずい」という三つに分け、彼らの選べた舌によって順位が争われました。

結果は、青森県の横内川の水が第一位、木曾川の水は第二位でした。「なんだ、木曾川の水は天下の名川じゃなくなっちゃったのか」との声もあつたようですが、青森の横内川は木曾川とは比べものにならないほど都市規模が小さい街を流れる河

川。それに、この「利き水大会」では東京や大阪といった大都市を抱える河川の水は、いずれも「まずい」という烙印が押されています。

やはり、今でも木曾川は全国に誇れる名川。水量はもちろんだ、味も全国に堂々と胸を張れる頼もしさなのです。そして、この木曾川の水を知多半島の先端まで送水しているのが愛知用水。受益者のなかには、こんな声もあります。

「利き水大会のときに使われた水は、名古屋市の彌屋上野浄水場から取った水だったが、同じ木曾川の水でも愛知用水の水はそれよりもさらに上流から取水している。だから、名古屋の水よりもうまいんだよ。もしかしたら、愛知用水の水が全国でいちばんおいしいのかもしれない。」

一九九〇年、厚生省は全国各地の主な水道水(井戸や湧き水も含む)の水質調査を発表しました。これによると、「特においしい水」は青森市、日光市、前橋市などの水道。また、「おいしい水」には、岐阜県八幡町の湧き水や名古屋市の木曾川などがあげられ、「比較的好い水」には横浜市の水道水などがあげられました。

この結果でもわかるように、東京や大阪などの大都市では味わえないおいしい水が毎日飲める私たち。実に贅沢なことかもしれません。

とろろで、おいしい水って何？

ところで、「おいしい水」とは、正確にはどこで決めるのでしょうか。「おいしい水」とは、つまりは「おいしい飲める水」のこと。味ばかりでなく、健康的に悪い影響を与えない水であってはなりません。

しかし、「おいしい」とか「まずい」という言葉は、実に曖昧。あくまでも個人の感覚のような気がしないでもありません。また味そのものだけでなく、匂いも大きく影響してきたりしますが、これも個人によって味覚や嗅覚の鋭い人と、そうでない人がいて、かなり微妙。また味の好みだって、人によってはずい分と個人差があります。

とくに味覚は、食生活の習慣によって大きく左右されるといわれています。そのため子どもの頃から飲み慣れた水は、一般的においしいと感じるのが普通。また日本人が西洋人に比べて軟水を好む傾向も、昔から日本の自然水には軟水が多いせいだと考えられています。

また気温によって大きく変化するのも水の味。当たり前といえばそれまでですが、真夏の喉の渴いているときや運動をした後に飲む水は、格



ている物質の総量をいうもので、一般には、ミネラルの含有量を示すものと考えられます。水の中には多くのミネラル類が含まれていますが、そのうちの代表的なものはカルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウムなどの鉱物質や、塩素イオン、硫酸イオン、炭酸イオン、珪酸イオンなどです。これらの物質は、量が多くなると水に苦味、渋味、塩味などを付けますが、適度に含まれている場合には、まろやかな味がするもの。従って、おいしい水の条件としては、カルシウム等の硬度成分が適度に含まれることが必要だといえます。

◇遊離炭酸
遊離炭酸とは、水中に溶けている炭酸ガスのことです。遊離炭酸は、水にさわやか味を与えておいしくしますが、あまり多くなると、刺激が強くなってまろやかさを失わせます。

◇過マンガン酸カリウム消費量
過マンガン酸カリウム消費量は、水中の有機物や還元性物質の量を、一定の条件下で酸化させるのに必要な過マンガン酸カリウムの量として表わしたものです。過マンガン酸カリウム消費量の大きな水は、一般的に有機物の含有量が高いことを示しています。水には、植物の分解したフミン質などの有機物が含ま

別においしく感じられます。このように水の味は、気象条件や飲む人の体調によっても感じ方が変わってくるもの。しかし、人が匂いに対してもっとも敏感なのは朝、目

全国のおいしい水

- 特においしい水
 - 青森市 (横内川)
 - 日光市 (荒沢川)
 - 前橋市 (浅井戸)
 - 熊本市 (深井戸)
 - 東京都杉並区 (浅井戸、善福寺周辺)
- おいしい水
 - 札幌市 (豊平川)
 - 新潟市 (信濃川)
 - 松本市 (浅井戸)
 - 岐阜県八幡町 (湧水)
 - 名古屋市 (木曾川)
 - 金沢市 (犀川)
 - 広島市 (太田川)
- 比較的好い水
 - 会津若松市 (猪苗代湖)
 - 横浜市 (相模川・酒匂川)
 - ……など

(1990年 厚生省調べ)

安心して飲める水とは、こんな水。

日本水質研究所が発表した「おいしい水の条件」によると、カルシウムなどのミネラル分や遊離炭酸炭酸ガスなどを適度に含んだ水は一般的においしいそうです。これに対して、各種の有機物や金属、また水源の水質汚濁や水の処理過程において薬品を多く注入されたものは、水

の味を悪くするとか。つまり、水質成分のなかには、水の味をよくする成分と、まずくする成分があるというわけ。参考までに水質成分のなかで味に影響をもたらす要素について紹介しました。

◇残留塩素

水道では、塩素消毒を行い、水道水のなかに一定量の塩素を保持しなければならぬことになっています。水が、水道水中に残留する塩素は、水にいわゆるカルキ臭を与えます。わずかな残留塩素は、一般にはほとんど気になりませんが、濃度の高い場合には水の味をまずくし、特に、緑茶の味を悪くします。いずれにしても、適度な不純物が含まれ、無臭で、無色で、安全でなければ水はおいしく感じられないのです。

れていますが、概して、有機物の多い水は淡味があります。また、有機物の量が多いと消毒に用いる塩素の消費量も必然的に大きくなり、その面味を損なうこととなります。

◇臭気

水源の状況によってはさまざまな臭いが付くこともあり。このうち、土臭、生ごみ臭、腐敗臭や、貯水池での藻類や放線菌などによって生じるカビ臭は、とくに不快な味を付けます。

◇鉄、マンガン等

鉄、マンガンなどの金属は、自然界に広く存在し、水中にもごく普通に含まれていますが、これらの金属を多く含む水は金気(かなげ)臭や渋味をだす要因となっています。

●おいしい水の条件

味覚	(1)飲んでさっぱりした味覚 (2)くせのない水 (3)子供の頃から飲みなれた水 比較的低いこと 異臭味がないこと
水温	色度が低いこと
臭気	弱酸性である水
濁度	それを多く含む水(CO ₂)
色度	硬度が低いこと
pH値	
遊離炭酸	
硬度	
アルカリ度	
Ca	適度のミネラルを含む
Mg	
Na	
K	
HCO ₃	
Cl	Cl ⁻ が比較的濃度のこと
SO ₄	
SiO ₂	
Fe	
過マンガン	同消費量が少ないこと
酸カリ消費量	
電気伝導率	溶解性物質の量を示し、 ミネラル成分やCl ⁻ を多く 含むと大きい値を示す。 少ないこと
蒸発残留物	
残留塩素	

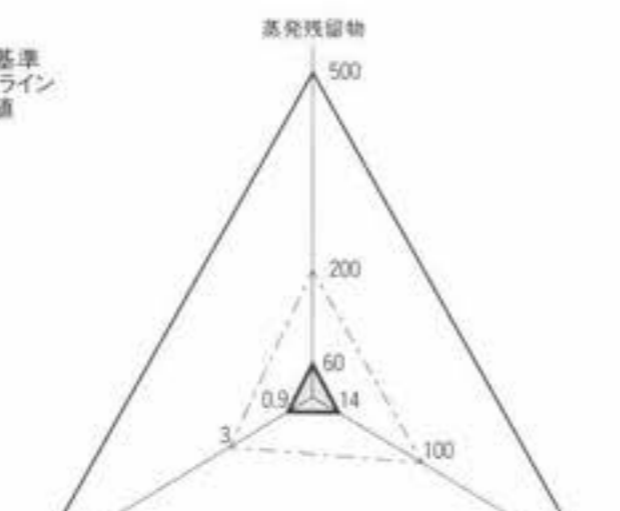
(日本水質保健研究所発表)

●水の味くらべ

項目	味に与える影響	厚生省ガイドライン	水道法水質基準	上野浄水場の水	ミネラルウォーター	天 露 水
蒸発残留物	まろやか	30~200mg/l	500mg/l以下	60	290	53
硬 度	苦味・くせ	10~100mg/l	300mg/l以下	14.0	160	33
過マンガン酸カリ消費量	渋 味	3mg/l以下	10mg/l以下	0.9	0.6	0.3
臭 気 強 度	におい	3以下	なし	なし	なし	なし
残 留 塩 素 カ ル キ 臭	カルキ臭	0.4mg/l以下	0.1mg/l以上	0.8	—	—
水 温	さわやかさ	20℃以下	—	—	—	—
pH 値	酸・アルカリ性	—	5.8~8.6	7.0	7.8	5.8



ミネラルウォーター



愛知用水の水

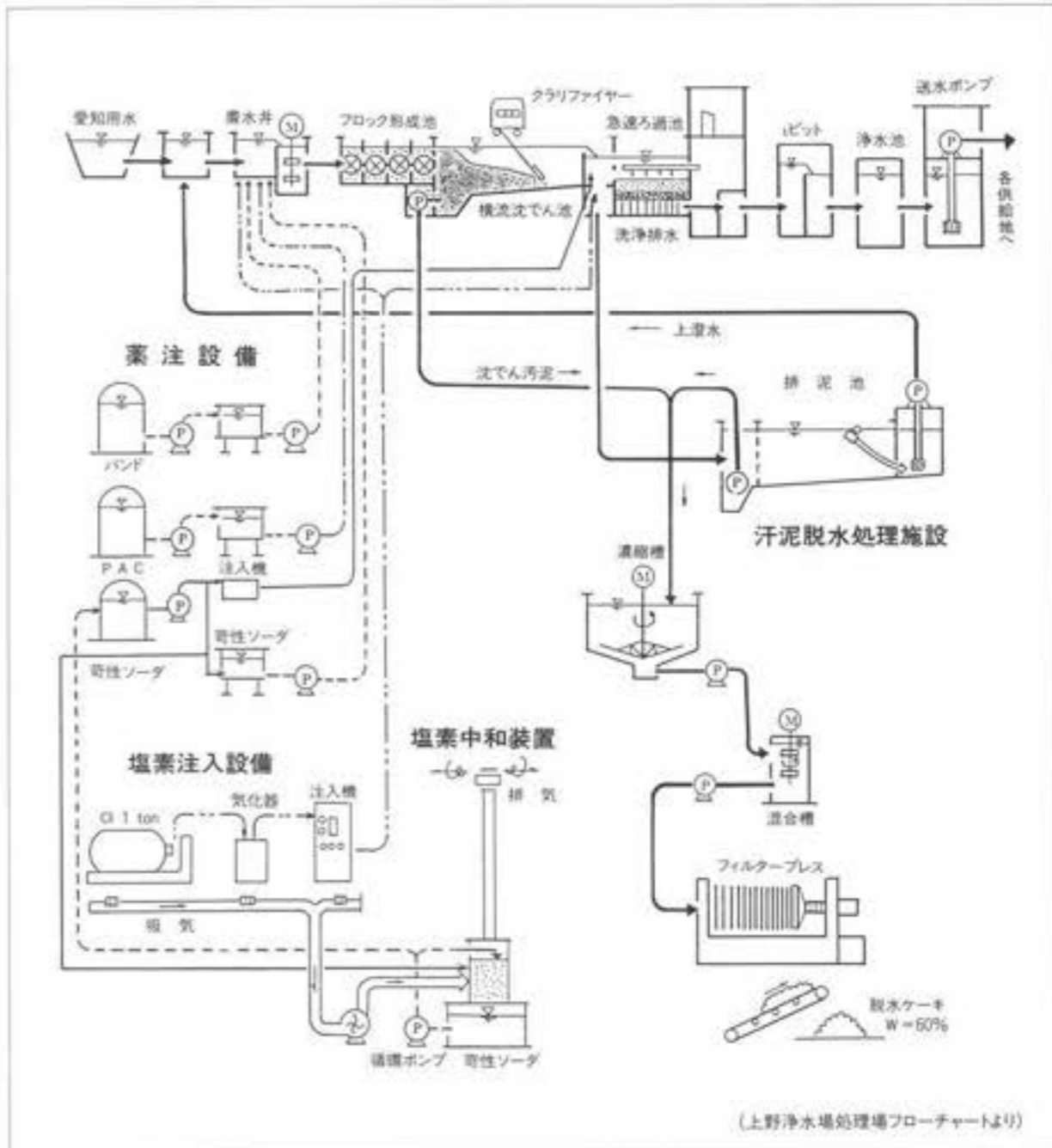


飛騨の天然水

〈上の図〉は、愛知用水の上水(水道)の味の測定値を表わしたものです。こうしてみると、愛知用水の水は「水道法水質基準」「厚生省のガイドライン」を大幅にクリアーした、良質の水であることがわかります。

しかも「おいしさの条件」である蒸発残留物・過マンガン酸カリウム消費量・硬度の3つを測定した形は、バランスのよい正三角形。一般的においしいといわれている「ミネラルウォーター」「飛騨の天然水」と比較しても、味のバランスという点においては「愛知用水」のほうがかなり優れている、といえます。

●おいしい水のつくられ方



※浄水場の各施設の働き

- 〈濁水井〉 取り入れた水をきれいにする前に塩素を入れて消毒をします。
- 〈沈殿池〉 薬品を入れてゴミや細かい砂など混りものを大きなたまりにして沈ませます。
- 〈急速ろ過池〉 混りものを洗って取り除いた水を厚い砂の層を通して、もっときれいになります。
- 〈浄水池〉 消毒した飲み水をためておくことで、水温が変わらないように清潔にしておくために、池の上をおおった施設。
- 〈送水ポンプ〉 ポンプで圧力を加え、飲み水を地域へ送り出します。



ZOOM UP AGIGAWA DAM

私たちの未来を守る水をたたえた、愛知用水の新しい水源——。岐阜県の恵那市に、その美しい姿を現した阿木川ダムは、まもなくスタートします。機能本位に終ることなく、この自然景観も大切にしていきたいですね。

世界の水に関することわざ

フランス
水は黄金。

スエス
水は命。

オーストリア
ウィーン市民は旅から帰ると、まずウィーンの水を飲む。

オランダ
水はかきまくらえ。

アイルランド
人は井戸が干あがるまで水など気にしない。

水は命の鼓動。

スペイン

飲む必要のない水は流れるままにしておけ。

フィンランド

水は最も古くからある薬。

トルコ

水の値段は誰にでも買えるもの。

南アフリカ

水は貴重、節約して使おう。水は命。

オーストラリア

水は使っても乱用するな。

タイ

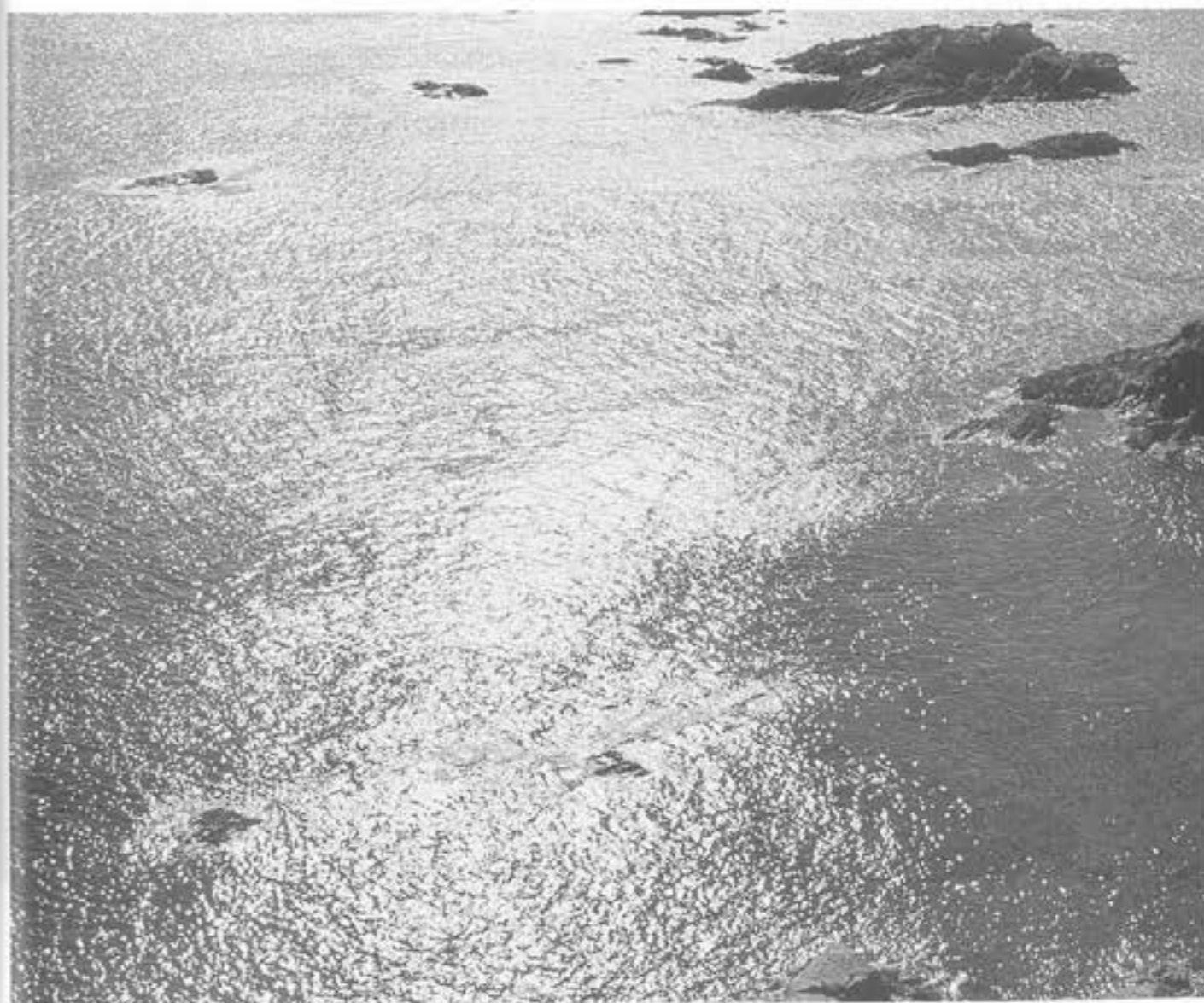
水は、小さくても大きな役目。

アメリカ

水は上手に使おう。水を愛しましょう。

PART. 5

愛知用水と地域の発展



通水から今日までの移り変わりを知る

愛知用水の30年史

国をあげての食糧不足の時代に、一粒でも多くの米が欲しいという農民たちの悲願によって、戦後、我が国で初の国家事業として建設された愛知用水。昭和36年9月30日から本格的な通水が始まり、農業、工業、上水（水道）、発電（関西電力）の4つの部門にわたって、この地方に大きな経済効果をもたらしてきました。

近代農業を盛んにし、工業を発展させ、そしてベッドタウンづくりの原動力にもなってきた愛知用水。今日までの輝かしい30年の歴史は、また受益地の人々にとって、水の新しい使い方と生かし方へのチャレンジの歴史でもあったといえましょう。





愛知用水の農業用水

●愛知用水は、農業、工業、上水（水道）、発電（関西電力）の四つの部門に使われる多目的な用水として誕生しましたが、通水時の主な目的はやはり農業用水でした。

当時の日本はまだ敗戦による傷跡がいたるところに見られ、しかも国をあげての食糧不足の時代。木曾川の水を知多半島の先端まで引いて、この地方一帯を潤わすことが国の食糧増産政策の一翼を担うものとして、大きな期待が集まっていたのです。

しかし、希望の木曾川の水は雨やタメ池などの、天からのもらい水と違って、いわば、お金のかかる水。総事業費四二億円のうち国や県からの補助、また水道や発電部門の事業者からの負担額を差し引いた約六五億円を受益地区の農家で負担しなければならず、いつのまにか愛知用水は、高い水、ともいわれるようになりました。

当時、愛知県がまとめた愛知用水地域農業技術指針によると、愛知用水の受益予定面積は約三万ヘクタール。このうち開田、開畑、果樹園などの種類によって多少異なりますが、農家の負担額は平均して一〇アール（二反）あたり総額約四万三〇〇〇円。





通水30周年の歴史は、 受益地域の農業を大きく変えた。

わけてはありませぬ。
常滑市では、四七年度から約一、二
四四ヘクタールに及ぶ果樹総合パイ
ロット事業がスタート。また南知多
町地区では国営農地開発事業による
大規模農場が五年から行われ、愛
知用水の幹線水路からのパイプライ
ンによって、消費者ニーズに対応し
た野菜づくりが盛んに行われよう
としています。

見張千原のキキベツ畑。その脇
にある配管の蛇口をひねるだけで、
スプリンクラーによるかん水ができ
る先進的な農場。愛知用水の水の使
われ方は、この三〇年間で飛躍的に
進歩しているのです。

「一般的な畝間かん水では均一に
水が浸透しないし、ホースかんがい
では労力的に大変。かといって、ド
イツ製のスプリンクラーを個人で導
入するとすると、今度では高過ぎて手
がつかない。結局、そのうち雨が降
るだろう……なんて、いうことにも
なりがちでした。」

●愛知用水は、オレンジ運河とも
オレンジ用水ともいわれました。
温暖な気候に恵まれた知多半島で
は、愛知用水の水を使った新しい農
業のあり方として、通水前後からミ
カンの植栽を奨励。昭和三六年に農
業基本法が制定され、地域の特性を
生かした農作物の生産拡大が叫ばれ
るようになります。知多のミカン栽培
は半島全域に浸透。一種のブームの
ように、ミカン栽培を始める農家が
増えていきました。

ところが、昭和四七年に生産過剰
による価格の大暴落。長い歳月をか
けてミカンの木を育ててきた農民に
は過酷すぎるほどの仕打ちでした。
しかし、こうした波を乗り越えて、現
在ではミカンばかりでなく、ナシ、ブ
ドウ、キウイ、ビワなど、さまざまな
果樹が知多半島で栽培。また春日井
市や小牧市ではモモやカキなどが、
愛知用水の水によって栽培され、名
古屋市場で高い評価を得ています。

●都市化の進行により愛知用水の
受益地域では、通水時の三六年から
五一年までに三、七一六ヘクタール
に及ぶ農地転用があり、多くの農家
が都市的産業に就労しました。しか
し、すべての地域で農業が衰退した

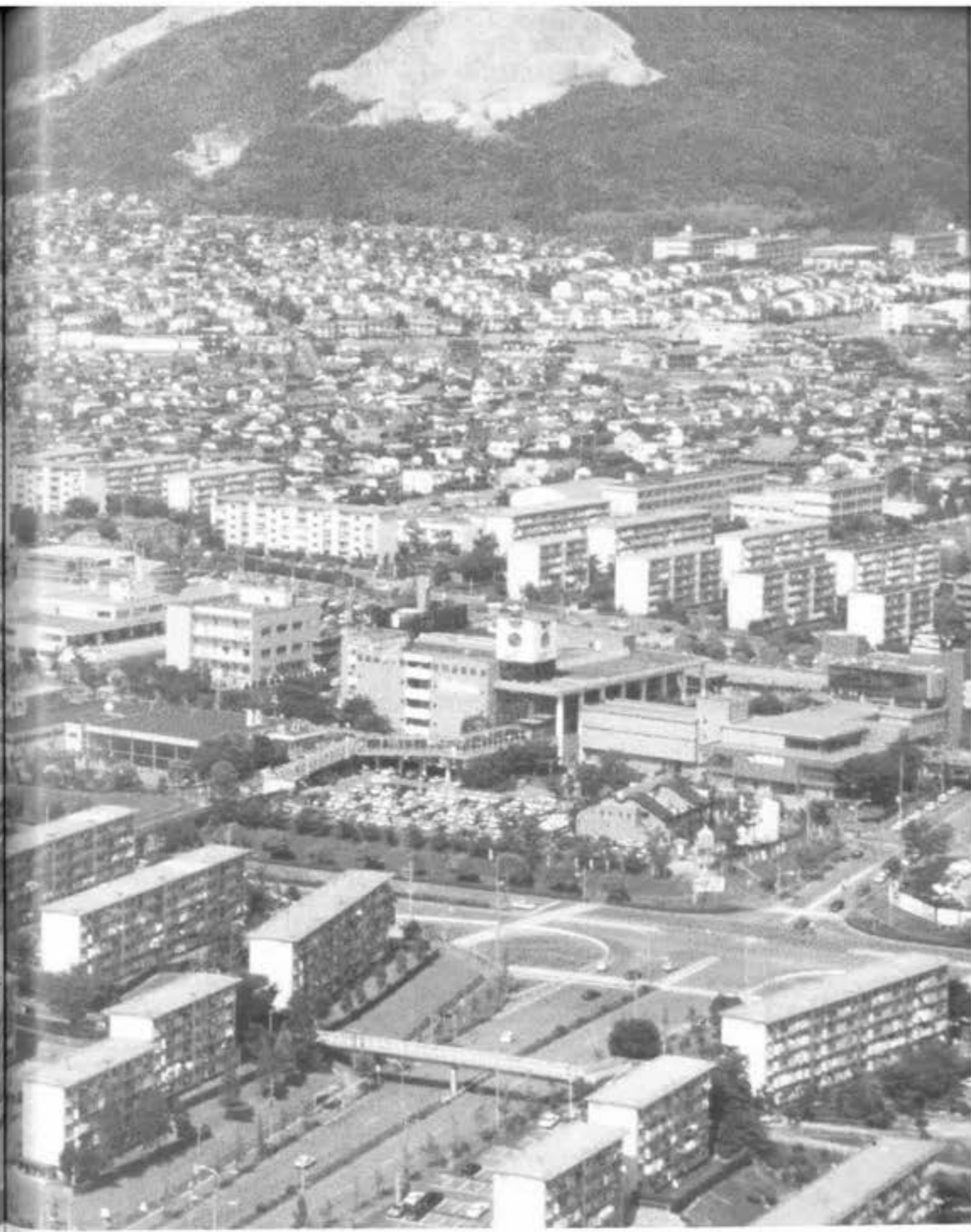
しかも向こう一〇一五年にわたっ
て分割返済していくことになるた
め、最初から愛知用水の水を敬遠し、
従来通りのタメ池に頼る農家もすい
分とあったようです。

いずれにしても、この水が高いか、
安いのかは、実際に作物をつくって
みなければ誰にもわからないのが、
通水時の愛知用水の効果。結局、農
民一人ひとりの研究と努力に、大き
くかかっていたのです。





ZOOM UP NEWTOWN



“太陽と緑の街”——のキャッチフレーズで、昭和43年5月から入居が始まった春日井市の高蔵寺ニュータウン。愛知用水の水は、この新しい街づくりの原動力となり、そして現在、約4万人の人々の水需要を支えています。こうして空からながめると、水の力のものすこさが伝わってきます。愛知用水は、ビッグな母なる川です。

私たちの暮らしの 30年前と30年後

○「日本人は、安全と水は無料を手に入ると思い込んでいる」といったのは、あの「日本人とユダヤ人」の著者、イザヤ・ベンダサンでした。愛知用水が通水する前後にも、そうした考えは確かにあったようです。今こそ水道が有料であることは、誰もが知っていますが、当時はまだ「水リタダ」というイメージが一部には根深くあり、従って愛知用水の水道も決して手放して歓迎した地域ばかりではありませんでした。

○「一方、水不足に悩まされ、町には共同井戸があった一つという生活を強いられていた知多半島の脚崎では、愛知用水の水がきて洗濯機の売れ行きが急増。この家庭にも真新しい洗濯機が置かれ、そのことが新聞記事にもなったほどでした。

○「愛知用水が通水したばかりの頃、この地域に水道が一年間に給水した水量は約七四〇万立方メートル（昭和三七年）で、それが三〇年経った現在は約一億二四〇〇万立方メートル。実に一七倍の水を私たちは消費している計算になります。ちなみに各家庭での一カ月の使用量は、家族構成やライフスタイル

30年前



現在

の違いによっても変わりますが、三人家族で平均して約二〇立方メートル。

○「農業用水や工業用水が水の使い方を工夫してきた三〇年であったのに対し、家庭内の水の使い方や工夫の時代は、むしろこれからといえるのかもしれない。



工業用水

消費する時代から 水をつくりだす時代へ。

○…今こそ愛知用水の水が工業用水として使われていることに、何ら不思議に思う人はいませんが、この計画が実現するまでは、用水、といえば、農業用水のこと。工場などで使われる水は、値段が安く、しかも水質がよい地下水に頼るところがほとんどでした。

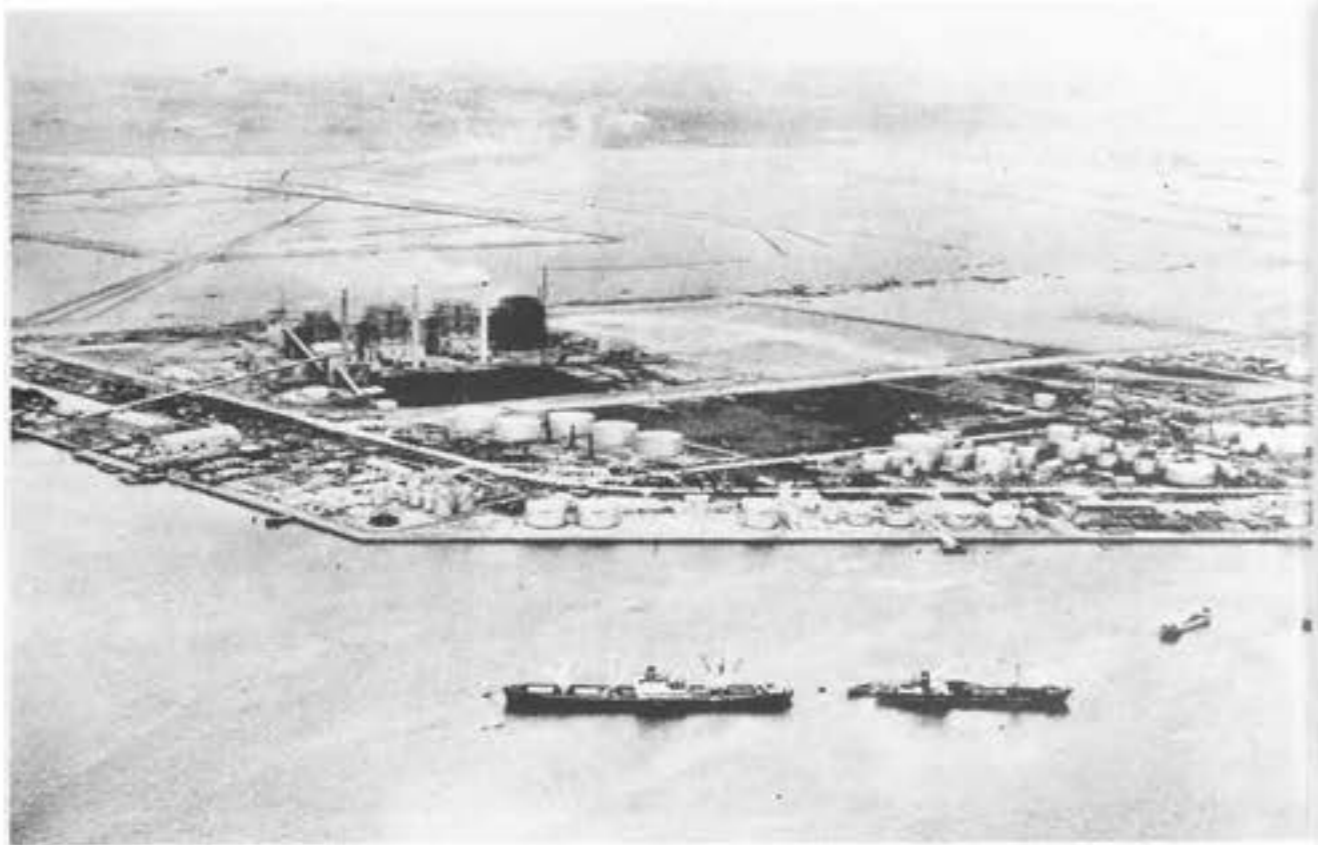
そのため、名古屋市南部の工業地帯や濃尾平野の海抜ゼロメートル地域では地盤沈下が進み、これが大きな社会的な問題にもなっていました。

○…一方、昭和三〇年代までの中部経済は繊維工業に偏りがちでしたが、愛知用水の計画がもちあがった頃から、名古屋港を中心とした臨海工業地帯の造成計画も急速に進展。そこへ重化学工業を誘致しようとする動きが活発に進められていました。こうしたなかで、愛知用水の水がいわば工場誘致を成功させるための「呼び水」となり、新日鉄(当時は東海製鉄)や大同製鋼、三井東洋化学をはじめとする工業用水の大量利用企業が相次いで進出。愛知用水の利用

形態も、単に農地開発を目的としたものではなく、地域全体の総合開発をめざす水エネルギーとして、大きな期待がかけられていったのです。

○…現在、愛知県は「生産出荷額全国一」を一四年間連続して維持しています。そして、その主要産業を支えているのが愛知用水の水。この地方一帯に重化学工業の花を咲かせ、今も主な産業の水需要を大きく支えています。

しかし、最初からすべてがすんなりといったわけではありません。水利権、漁業権などが複雑にからみあって、工業用水の取水権はずっと押えられがちだったのです。そのため新日鉄などは海水を利用したり、回収処理施設を増強して、水のやりくり。に努めてきました。また、こうした高度な用水需要システムを確立することによって、ますます必要とされる使用水量の増大に対処。さまざまな水処理技術の開発による対応が、節水やリサイクルの大きな成果をあげています。



○…企業や工場などでも水の使い方は、あくまでも「省エネ」が基本。また最近では、環境保全という立場も重視しており、これまでの節水やリサイクルに加えて「造水」(つくりみず)という面からのアプローチにも力を入れ始めています。

たとえば、沈殿・浮上処理などに活性炭吸着やオゾン処理を組み合わせたリ、あるいはイオン交換法・電気透析・逆浸透法などの適用化を図るなど、新しい水処理システムの開発技術を導入することによって、限られた資源である水を蘇えらせてい

こうというのです。

「濁水の如く」と、浪費が代名詞のように使われていた時代から、水の使用量をコントロールし、さらには新しい水をつくりだしていく時代へ……日本の先端技術は、愛知用水の使い方にも生かされ、私たちが想像する以上に進んでいるのです。

PART. 6

これからの愛知用水



- ①企業のエネルギー対策は、私たちが想像する以上に進んでいます。ある企業にはコンピュータによって、社内のエネルギーのすべてを監視し、指令するエネルギーセンターもあります。
- ②戻水を処理し、循環使用するための処理場。
- ③水の給水と回収、処理場が、現場へ行かなくても遠方操作できる水道給水所も。
- ④工場内で水を使った際についた油は、こうして分離され、処理水は再び利用されています。

通水30周年記念

愛知用水サミット

愛知用水が通水して、今年で30年。
これを記念した水源地と受益地の
市町村長による意見交換会
「愛知用水サミット」が7月31日、
名古屋市中区丸の内の愛知県産業
貿易館で開催されました。
以下は、そのレポート――。



通水30周年を記念して開かれた「愛知用水サミット」には、水源の牧尾ダムがある長野県王滝村、三谷村の村長、またこの水を使っている上流から、岐阜県の可児市、愛知県の春日井市、尾張旭市、東郷町、三好町、大府市、知多市、平田市、南知多町の首長が出席。

愛知用水ができてからの受益地の発展ぶりや水源地の現況、また愛知用水のこれからについても活発に話し合われました。

水の恩恵で発展する受益地。

我が市・我が町の 愛知用水

●鈴木告也・可児市長

本曾川の水を導入し、農業用水を確保して開田するという大きな夢を現実のものにした愛知用水は、農業の近代化に大きなインパクトを与え、土地改良をはじめとする農業基盤の整備を図るきっかけにもなりました。

また可児市では農業用水のほか、名古屋バルブとカヤバ工業の二社に対して工業用水を供給。現在、そこ

で約四、〇〇〇人が働いています。内陸で産業立地に成功したのも、まさに愛知用水のおかげ、愛知用水の水がなければ、今日の発展はあり得なかったと思います。

●鶴飼一郎・春日井市長

標高が高い市の東北部ではため池などの不安定な水源に頼っており、日照りが続くと水争いが絶えませんでした。

愛知用水が通水後は、こうした水田にも安定した給水ができるようになり、それまでの水の取り合いがすっかりなくなりまりました。

また春日井市には区画整理事業で日本でも初めての大规模開発となりました高蔵寺ニュータウンがございりますが、愛知用水の通水もここに開発が決まったひとつの大きな要因になっていました。

今後とも、都市地域と農業生産地域の調和のとれた街づくりを推進していくうえにおいて、愛知用水に大きな期待をしています。

●朝見政富・尾張旭市長

尾張旭市は昭和の前期までは純農村的な性格を持った村で、農業用水はため池や河川の水をかんがい用に利用して行われていました。そのような状況のなかで昭和三六年愛知用水が通水されたことにより、水不足の不安が解消。農業用水を確保するための水争いもなくなり、農家の人々が安心して農業に従事できるようになりました。

また生活用水としては、古くから井戸水に頼った生活でしたが、これも愛知用水のおかげで昭和三七年から給水がスタート。上水道給水時には人口二万人だったのが、平成三年には六万五〇〇〇人と、実に三倍以

上に人口が増加し、大きく市の発展につながっています。

●武藤敏夫・東郷町長

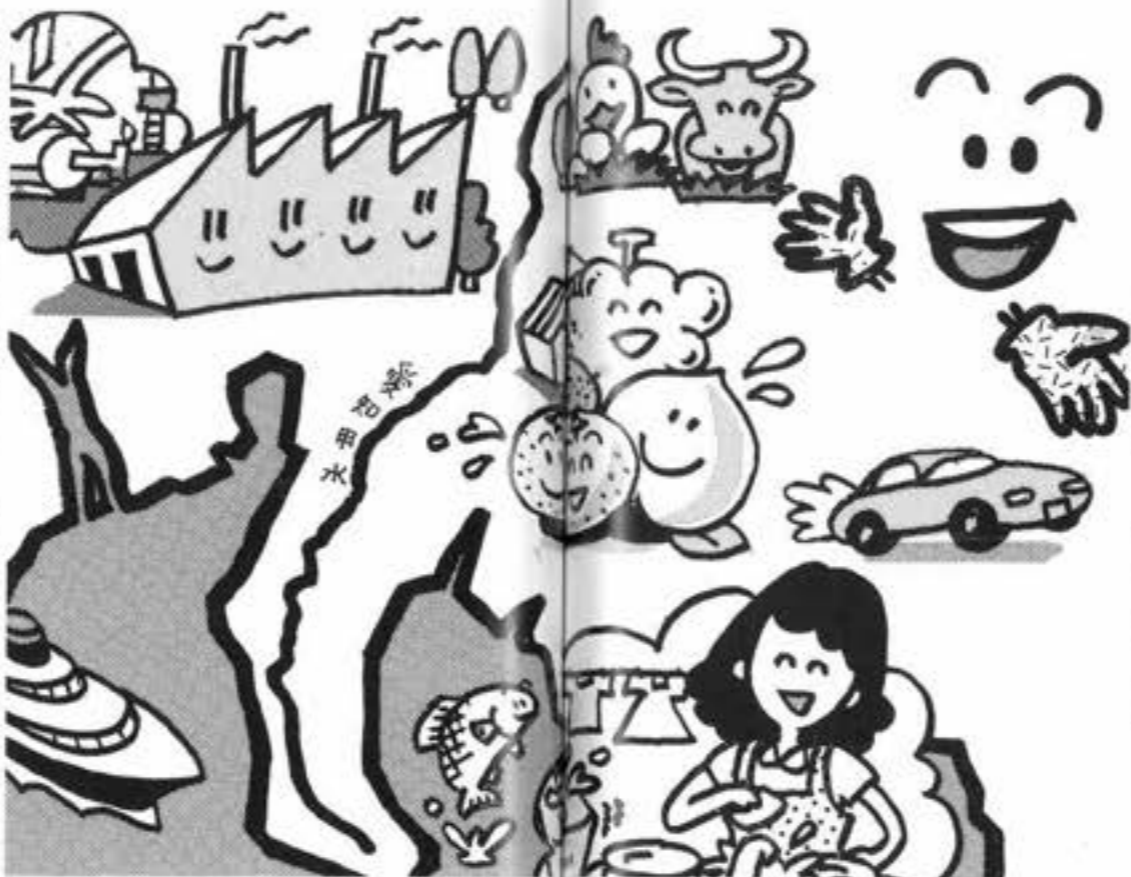
町内にある愛知池は、愛知用水の調整池として重要な役割を果たしていますが、計画時には地元も議会も猛反対。しかし、今では住民にやすらぎと憩いを与えてくれる場。全国でも屈指の静水の漕艇競技場にもなっています。昭和三九年の日本レガッタ以来、全国的規模の大会がいくつも愛知池で行われてきました。

また平成六年には、愛知県で「わかしやち団体」が開催され、愛知池で漕艇競技が予定されています。

農業にとっても、愛知用水の三十年は大きな変化をもたらしてくれました。通水によって町内の農地のほとんどがパイプラインを整備し、都市近郊農業としての生産基盤を今日のように整備できたのは、愛知用水の恩恵によるものであることは語るまでもありません。

●小野田金章・三好町長

三好町では、昭和三十年代に全町の圃場整備がすべて完成し、四十年代にはトヨタを誘致し、住宅公園の大団地をつくり、全国屈指の財政基盤を誇る町になり、六十年代から



平成にかけては、香り高い文化の町づくりを進めています。これらはすべて愛知用水のおかげだ、と、この一言に尽きます。

また愛知用水の建設にあたり、牧尾ダムのために水没した七世帯が三好町に移住され、それが縁で昭和五八年から三岳村と友好提携を結んでいます。婦人会や子供会など各般にわたる交流が毎年盛んになってきています。

今年三岳村の村有林七・五ヘクタールを購入、「友好の森」と名付け水源涵養林としての状態を維持できるように、水源地のみなさんと友好を深めながら整備にあたっています。

●鷹羽操・大府市長

愛知用水が通水するまでの大府市の農業は、知多半島の他の市町と同じように水との戦いでした。

それが愛知用水の通水により、計画的な営農が可能となりました。おかげで露地野菜はたまねぎ、ばれいしよ、キャベツ、果樹では大府特産でまた唯一の観光事業であるぶどうや梨などが大規模生産されています。また愛知用水の通水により簡易水道から上水道への転換が進み、衛生的な街づくりを推進することができました。

●安藤嘉治・知多市長

昭和三〇年代の知多市(当時は知多町)は、繊維産業である「知多木綿」

が中心になっていました。また農家では、畑は天水に頼り、水田はため池を利用。海岸地域では冬場にノリの養殖をして、半農半漁で生計を立てていました。昭和三六年の愛知用水の通水を契機として町の形態は一変しました。

火力電力、石油精製、造船をはじめとする企業が進出。隣接する東海市には製鉄など近代設備を誇る大企業が立地し、日本経済を支えるエネルギー基地として大きく発展しました。さらに企業の進出と相まって、丘陵地では大規模な宅地開発が進められ、三〇年前に比べると人口も倍以上になっていきます。これも名古屋に近いという恵まれた立地条件もさることながら、愛知用水による上水の安定供給がなければ成し得なかったことでもあります。

●竹内弘・半田市長

久野庄太郎さん、桑原さん、そして半田市三代目市長の森信蔵さんら偉大な先人に感謝。

中部新国際空港も愛知用水がなければ、この地に計画がされたかどうかわかりません。

愛知用水が通水して以来、ため池を埋め立て、丘を削り上げて大開発しました。しかし、こうしたなかには水害が起きたケースもあり、深く反

省しています。そのため、今では水を植え続けています。生活用水も現在では、その九〇パーセントを愛知用水に依存しています。こうした恩恵を胸に刻み、水源のみなさんに感謝しながら、愛知用水を大切に守り育てていかねばなりません。子供にも愛知用水の歴史を伝えていかねばならないと痛切に感じています。

●内田恒助・南知多町長

昭和三七年一月、日間賀島、篠島に初めて愛知用水の水がきたときの島の人たちの感激を今でも忘れることができません。それまで井戸水に頼っていた篠島では目の病気が多かったが、それもなくなりました。

現在、水産加工のイカの処理量は日本一。また年間六〇〇万人の観光客が訪れるようになり、砂浜のきれいな内海海水浴場を中心として、旅館や民宿の数も随分増えました。このような発展は、まさしく愛知用水による水の安定供給があつてこそといえます。

現在国営農地開発事業南知多地区として大規模な農地造成が進められています。水に対する感謝の気持ちは、子供のうちから頭に入れたいと思っています。

牧尾ダム周辺の水源地区にとって30年。



●家高卓郎・王滝村長

愛知用水の水源・牧尾ダムの建設によって、王滝村では村の全人口の一五パーセントにあたる九八戸、五〇七人もの人々が離村しました。また、その後の高度成長で過疎化に拍車がかかり、現在ではかつての三分の一。地域社会が成り立つ人口を確保するため、王滝村では定住条件の整備が大きな課題になっています。

村の主産業は林業ですが、過疎化による労働力不足、林業従事者の高齢化などによって、最近では森林の管理が困難な状況になっているのも事実です。語るまでもなく森林の管理・育成には、木材を供給するという直接的な機能のほかに、水を蓄え、水資源を涵養するなどの多くの公的な機能を持っています。愛知用水の水源である牧尾ダムの水も、その周辺の森林が適切に維持管理されることによって、水量が膨れあがり、安定的に下流に運水できるのです。

水源地区・王滝村としては、この「緑のじゅうたん」ともいえる森林の維持管理に努めています。国の施策



は新規ダムに偏りがちで、既設ダムに対する援助策は非常に少ないのです。このままでは愛知用水の水源地区、牧尾ダムの基盤はますます弱体化する一方です。

そこで通水30周年をきっかけに、下流の受益地のみならず提案します。牧尾ダムの水を守る会」の設置、新森林の造成、ダム周辺の景観整備、長野県西部地震による堆砂処理など、水源地区が抱えるさまざまな問題について、対応策を考へてほしいのです。

また水源地の現状をより多くのみなさんに理解していただくために、牧尾ダムの満水時と渇水時に合わせた見学会も今後は積極的に進めていただきたいと思います。

●浦沢英一・三岳村長

受益地区の発展は大変うれしいのですが、水源地の村としては牧尾ダムの建設による水没がきっかけとなって、水と一緒に人間まで流れてしまったのか、と思うほど過疎化が進んでいます。

そのため主産業の林業は、労働力不足、高齢化、木材の輸入などによって、もはや林業のみで生計を立てる人は皆無に等しい状況です。こうしたなかで当村では、美しい自然景観を頼みに観光地としての飛躍をめざしていますが、牧尾ダム周辺の環境整備は現在でもまだ十分とはいえません。

昭和五九年の長野県西部地震により、牧尾ダムに大量の土砂が流入していることはみなさん承知のことだと思います。この処理については、現在農林水産省が直轄調査を行い、水資源開発公団等による対策調査が行われていますが、地震でダムに流れ込んだ土砂は通常の百年分にもあたるものといわれています。当村としてもこうした調査に積極的に協力し

過疎化がますます進んで森林も荒廃。



ていますが、上下流が一体となって一日も早く土砂を取り除き、牧尾ダムの水を守っていく必要があるのではないのでしょうか。

木曾川の流れや森林育成についても、これからは下流域の協力を期待しています。とくに一滴の水も流れない木曾川の流れは、自然環境という視点からも、また動植物の棲息にとっても大きなマイナスイメージです。水と緑——すなわち野山や林と河川の流れとが一体となった美しい自然景観があって、初めて人も動物も植物も豊かに生きられるのです。

当村と三好町のような水源地区と利水地域の友好関係が他の市町村にも広がり、愛知用水の水をともに育てていくことができたら幸いです。



愛知用水の これからのご予定。

「愛知用水サミット」では、最後に限りある貴重な水の確保と愛知用水のあるべき姿のために、受益地の首長から積極的な意見が発表されました。また水源地との交流や牧尾ダムの整備、住民に対する広報などのサミット宣言案が満場一致で採択されました。

●可児市では…

農業用水、工業用水ともに、これからますます愛知用水の水は必要になっていきます。このためにも愛知用水の貴重な水源のひとつであり、可児川の上流にあって可児市とも関わりが深い松野池の水質保全と環境整備には、とくに力を入れていきます。今後とも愛知用水の受益地の一員として、愛知県の受益地の各市町とも協力しながら、愛知用水の水をいっただち大切にしていきたいと思っています。

●春日井市では…

水源地の現状に目を向けて、受益地としていろいろな面にあたって努力していく必要があります。特に、今後都市化が進むなかで、愛知用水は貴重な水辺空間として整備するよう、自治体として努力していきたいと思っています。

●尾張旭市では…

愛知用水の水は、私達の生活にとって一日として休むことができないものです。通水以来30年、今日まで絶えることなく、安定した水の恩恵を受けることができたことは大いに感謝するところです。これも水源地の皆さんの努力のおかげだと思っています。また、突然起こる災害などを考えますと、二期事業の重要性を痛感しておりますので、二期事業の早期完成と併せ、水資源開発公団に対しては管理の一層の充実をお願いします。

●東郷町では…

各市町がおのの立場だけを考える時代は過ぎました。三〇の市町が同じ水を使っている以上は、一軒の家だという考えで、さらに水源地も一緒になって、全体的に考えていかなければならないと感じています。

●三好町では…

愛知用水の貯水池・三好池の竣工を記念して、30年前にサクラの木を一〇〇本植栽しました。今では春になると花見客で賑わい、三好池を中心に「桜マラソン」も開催されるようになりました。そして夏には三好池に提灯船を浮かべ、木曾川の水に感謝をこめる祭りも行われています。また、平成六年の「わかしやち」団体では、三好池がカヌー競技の会場になりますので、全国的に愛知用水をPRしたいと考えています。二期事業については、町も応援しておりますので、公団や土地改良区も一層の協力をお願いします。

●大府市では…

愛知用水は畑地かんがいの必要性が認められ、それに関する試験研究が初めて本格的に始められた事業で

●知多市では…

佐布里池周辺は、「水源の森」として現在でも市民の憩いの場としてにぎわいを見せています。また名古屋南部臨海工業地帯においても緑地公園あるいは海洋レクリエーションとしての整備が進められています。こうしたものを核として緑いっばいの街づくりをしていかなければならないと思っています。このような我が市の変貌には、水は切り離して考えられません。ぜひ、二期事業の早期完成を願い、将来とも豊富で安定的な水の供給がいただけるよう希望します。

●半田市では…

これから水源地との交流は真剣に考えていかなければならないと思



●南知多町では…

文化が進んできますと、どうしても水の需要が増えてきます。ですから用水計画を一度練りなおして、大愛知用水計画とでもいったものをあらためて立てる必要があるのではないかと思います。そして同時に今死にかかっている海の再生も合わせて考えていかなければならないと思います。

これからリゾート開発の進展に伴って、ますます保養施設の施設・大型化が進み、農業面においても畑地かんがいの普及により、水はより一層必要になっていきます。愛知用水の最下流にあたる受益地として、水源地の方々への感謝の気持ちを大切にして、水の有効利用を考えていきたいと思っています。

愛知用水サミット宣言

私たちは、愛知用水の水源地と受益市町といった立場の違いを越え、21世紀に向けて、限りある貴重な水の確保とこれからの愛知用水のあるべき姿について、今後引き続き、対話と協調の道を歩む必要性を認識し、この愛知用水サミットにおいて、次のとおり宣言する。

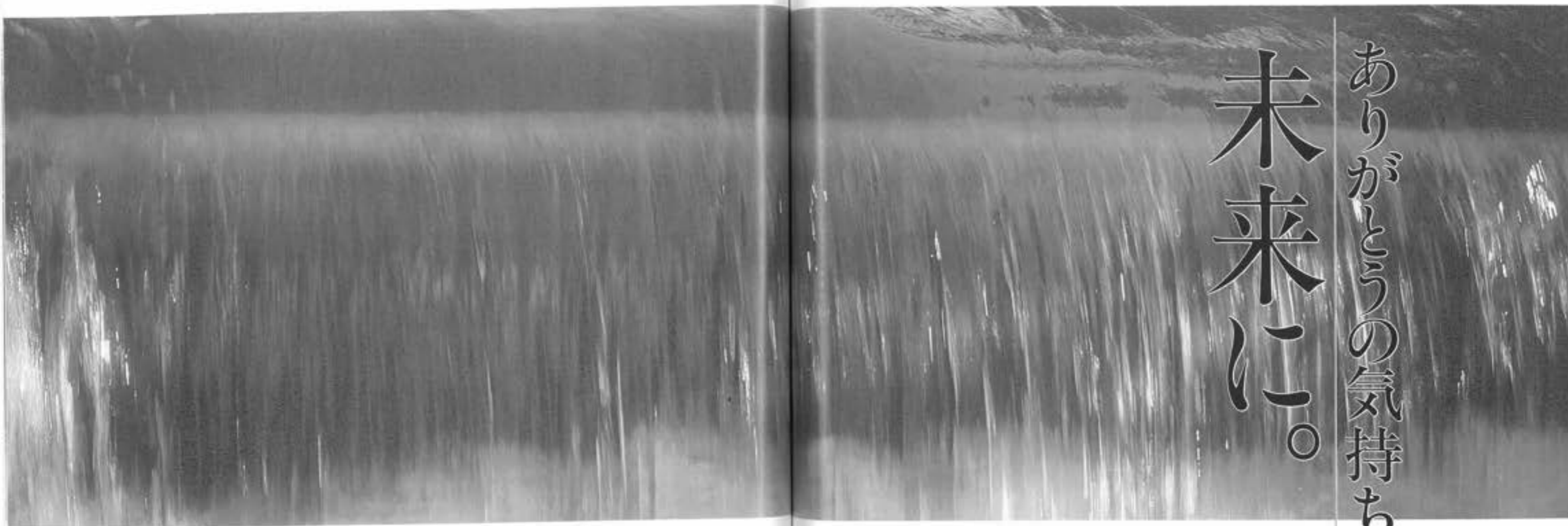
- 一 私たちは、愛知用水のいのちの水がめである牧尾ダムの美しい姿を後世に残すため、牧尾ダム周辺の景観整備とダムを潤す水源涵養林の保護、育成に努めていきます。
- 二 受益市町は牧尾ダムの建設と管理に協力いただいた、王滝・三岳両村の方々に感謝し、人と人との交流の拡大等を通じて、両村の一層の発展に寄与していきます。
- 三 受益市町は、水の有効利用や水質の保全に努めるとともに、住民に対して、これら水に関する広報、啓蒙活動をより一層活発に行っていきます。

平成3年7月31日

愛知用水通水30周年記念

受益者 談 会 座

●出席者
 綱織 義昭 可児市助役
 日比野義次 尾張旭市業務課長
 盛井 裕治 半田市環境経済部長
 (現同市助役)
 浅田 徹二 東海市水道部長
 富澤悠紀子 尾張旭市・主婦
 原 ひろ子 東海市・主婦
 (司会は、中日新聞副編集委員・前田義夫)
 敬称略



ありがとうの気持ち

未来に。



今や便利や快適が当たり前。毎日飲んで
 いる水が「愛知用水の水」だったことさ
 え、気がつかずに過ごしてきた人も多
 いのではないだろうか。しかし、どんな
 時代が進行しても、水は私たちにとって
 一日だって欠かせない大切なエネルギー。
 水について考えたり、話し合ったりして
 いくことは、暮らしを見つめ直し、よりよ
 い街づくりをめざすきっかけにもつな
 がるはず。そこで通水30周年にちなん
 で、愛知用水の「過去と現在と未来」につ
 いて、受益者のみなさんに話し合っ
 いただきました。



Aichi Canal to Passed



通水した頃、私は社会部の記者でしたが、みなさんは何をしていたらっしゃいましたか？

— 今日、ここにお集まりいただいた方は、何らかの形で愛知用水のお世話になつていらっしゃる方ばかりです。実は、私もそうしてね。現在、尾張旭市に住んでおりまして、約一〇〇万人ともいわれている受益者のうちの一人なんです。毎日、愛知用水の恩恵を受けて生活させていただいています。

日比野 そうだったのですか。じゃあ、今日は文字通り、受益者座談会、ということになりますね。

— そうですね。早いもので、愛知用水が通水されて、もう30年になるわけですが、その建設が始まった頃、私はまだ社会部の記者でした。御岳山の麓の牧尾ダムへも、そりゃあ何度も出かけましたよ。長グツをはいってね、あっちこちの工事現場を意欲的に取材したものです。

今では、公共事業、といったって、珍しくも何ともないのですが、あの頃はなに

せ愛知用水が初めてでしょ。それも日本は戦争に敗けたばかりでお金がないから、世界銀行から借金までしてやることになった。それに今じゃあ、世界に誇る「技術王国」なんていわれているけど、当時の日本には牧尾ダムを完成するだけの技術がなくてね。現代の若者たちには信じられない話かもしれないけど、アメリカからの技術援助を受けて工事は始まったのです。

— 青い目の外人さんは来るわ、ブルドーザーやパワーショベルなどの大型建設機械は来るわ……で、それはもう一つ一つがあの頃の日本では大変なビッグニュースでした。

— そうでしたね……。敗戦した日本が、戦後復興、をめざして、国家的規模で立ち上がった大型プロジェクトでしたからね。



所)に入ったばかりの頃に、ちょうど愛知用水の建設の話が浮上りましてね。昭和三年に行われた減水深の測定調査のお手伝いもさせていただきましたし、何かと愛知用水には思い出があるのです。

浅田 私も、測定の仕事はお手伝いさせていただきましたよ。当時は、上野町役場(現在は東海市役所)の経済課にいました。が、ここは今の農務課みたいなところですね。何かと現在に至るまで、愛知用水にはご縁があるのです(笑)。

— 願願 私など、最初に愛知用水に関わったおかげなのか、過去二〇年近く土地改良部門に携ってきまして、通水の際には、農業用水の管理窓口でもある土地改良区に籍を置いていましたし……。

盛井 通水時に土地改良区、ですか。それは大変だったでしょう。

— 私は、当時、半田市役所の総務課にいました。ここで財務係を担当していました。もともと総務課といっても、今の農務課の仕事もあの頃は一緒にやっていますね。愛知用水についても、まったく無縁だったというわけではないのです。

— おやおや、みなさん意外でしたね。最初から愛知用水と関わりがあるのは、私だけなんて思っていました。が、これ

じゃあ愛知用水の、専門家ばかりだ(笑)。でも、日比野さんは、その頃、まだ学生さんでしょ？

日比野 はい。おかげさまで、まだ、中学生でした。

— で、夏になるとね、愛知用水の幹線水路でよく泳いでいましたよ(笑)。

— あそこ、泳いじゃったんですか？
日比野 もう時勢ですよ(笑)。だから、ここで告白しちゃいますが、あの頃の子どもたちは結構、幹線水路で泳いでい





を、あまり意識しないで過ごしてきたんですね。

——途中からだも、そんなものかもしれない。でも、私も愛知用水の取材をしていく頃には、まさか自分が将来この水のお世話になるなんて、まったく夢にも思っていませんでしたからね。幸いにして仕事を通じてですが、自分が毎日お世話になっている水が「愛知用水の水」ということを知っているだけで、建設当初に取材をしていなければ知らずに過ごしてきただけかもしれません。

原 私の場合は、それとは少し違って、愛知用水のことはずいぶん前から知っていたのですが、直接お世話になるようになったのは結婚して五、六年経ってからはなんです。それまでは、ずっと井戸を使って生活していましたから……。

——えっ、まだお若いのに井戸をご存知なのですか？
原 でも、愛知用水の水は、やっぱり有難いですね。井戸水は鉄分が多いせいか、洗濯しても衣類が真っ白にならないのです。黄バミが残るんですね。それに、お風呂の給湯ポンプも、サビつのが早くて傷みやすいんです。

富澤 井戸水と水道の水って、そんなに違うんですか？
原 お風呂の給湯ポンプなんて、倍近く違いますよ。愛知用水の水にしてからは、驚くくらい長持ちするように変わりましたもの(笑)。

——でも愛知用水が通水して、いちばん喜んだのは知多半島の農家の人たちでしょう？

盛井 そうだと思います。愛知用水は生活用水、工業用水としても使われていますが、もともとは農業用水を第一の目的として計画されたものだからですね。通水した時は、大喜びでしたよ。これだけため池から水を汲みだして、田畑に運ぶ作業もなくなるって……。

——重労働ですよ。ため池から水を運ぶなんて……。知多全体で一万五〇〇〇カ所ぐらいあったんですよ。ため池の数は……。あれは、私有地だったんですか？それとも公共の土地だったんですか？

浅田 いわゆる、集落有、みたいなもので、地域全体の共有財産でした。もともと最近では、ため池も愛知用水のおかげで不要になり、宅地分譲したり、工場に売ったりして、だんだん数は減ってきているのですか……。

盛井 それでも、半田市にはまだ五、四、三ヶ所ありますよ。あちこちで埋め立ては進んでいるのですが、何分にも地形がデコボコの街でしょ。ため池を埋め立てると、今度は池のなかにあった水の行き場がなくなっちゃって、それで被害が出たこともあります。

浅田 昔は、水不足に悩んでいた地域なのにね。
盛井 まったく、おかしな話ですよ。

ましたよ。それまでは近くの溜め池で泳いでいたのですが、愛知用水の水はとてもしきれいだからね。みんなに人気ありましたよ(笑)。

——いろいろな思い出があるもんですね(笑)。ところで、原さんはどうですか？

原 私は、生まれも育ちも上野(現在は東海市)でしたし、それに父が久野庄太郎さん(愛知用水の生の親といわれている人)と知り合っていたから、詳しいことまではわからないのですが、愛知用水のことはよく耳にしています。

浅田 原さんのところのお父さんは、当時、上野の町長さんでしたからね。だから通水どころか、何故つくられたのかという、愛知用水のルーツみたいなものも、全部ご存知のはずですよ。

——そうだったんですか。あの頃、知多半島にはとにかく水がなくて、ため池の水が農業の唯一の水源地でしたよね。雨が降ればいいけど、日照りが続くと田植えもできなくなってしまう。まあ、現在からは想像もできないような、大変な時代だったわけですね。そういう話、富澤さんはご存知でしたか？

富澤 いいえ、知りませんでした。愛知用水が通水した頃、私はまだ名古屋に住んでいましたし……。

日比野 最初から尾張旭じゃなかったんですか？
富澤 昭和五四年からなんです。それにお恥かしい話ですが、今まで毎日飲んでいる水が「愛知用水の水」ということ

——ため池が多かったのは、知多半島だけだったのかしら？ 可児市ではどうだったんですか？

藤原 知多ほどじゃありませんが、可児市もため池が多かったですね。現在でも約一六〇カ所ありますから……。

日比野 結構あるものですね。可児市というと、名古屋のベッドタウン、というイメージが強く、そんなに多くのため池があるなんて想像もつきませんが……。



原 でも、それは知多だって同じことじゃないかしら。

盛井 知多というところ、ミカン、海水浴、てっかい工場……ですものね。ため池が多い、なんていうイメージは、お隣の岐阜県から見ても、ホント、ありませんよ(笑)。



愛知用水の水を使うようになって、いちばん大きく変わったことって何ですか？

— 愛知用水は五年の歳月を経て完成したのですが、通水の瞬間、どう思われましたか？

藤原 これで農家の人たちが水不足で、農作業ができない、ということもなくなると思いましたが、今でもそうですが、水の安定供給が確保できたことが、いちばんうれしい。

— あれから農業の進め方も、ずい分と変わったのでしょうか？

原 知多では、温室栽培が盛んになりました。それまでは水田が多くて、どちらかというと稲作中心だったのですが……

— 愛知用水は、オレンジ用水とも呼ばれていたのでしょうか？

浅田 確かに、知多でいちばん潤ったものはミカンかもしれませんね。

でも最近では、さらに農業が大きく前進して、東海市ではフキやタマネギ、洋ナシや園芸では洋ランなども手がけるようになって

なりました。とくに洋ランには力を入れており、街のキャッチフレーズも新しく変わったほどです。



以前は、鉄の街 東海市でしたが、現在は、鉄と洋ランの街 東海市なんです。

— どっちに変わっても、愛知用水の恩恵を受けているものばかりじゃないですか？

— ちもとは、水田地帯だったのでしょ？

日比野 そうなんです。街の中心部が水田地帯で、その周りが住宅地帯という、ちょうど顔縁の形をした街でした。それで土地改良事業として、水田地帯を市街化し、街全体の活性化を図ったのです。

藤原 でも、それだけ急激に人口が増えると、上水の確保も大変でしょう？

日比野 今のところ、計画上は大丈夫です。ただ洪水時は、ちよつと厳しいのですが……

藤原 それにしても、うらやましい話です。我々が住んでいる岐阜県は、水源県なのに、そうした先行的な水の確保を怠ったために、今、そのツケがいろいろ回ってきているんですから……

最近では可児市でも、どんどんベッドタウン化が進んでいるんです。それで溜め池を埋め立てて、地域の財源にしてい

か(笑)。

浅田 そうなんです。昔はノリの養殖が盛んで、農家も半農半漁がほとんどだったんですが、今ではあちこちでラン栽培が行われ、街のイメージも華やかになりました。

盛井 美浜の方では、最近、山のうえに大農園がつけられましたよね。農林省の指導で進められているのですが……

原 キヤベツ畑が見渡す限り続いている、あそこですか？

盛井 いくつもスプリングクラーを回して、なんだか日本の農場じゃないみたいですよ。あれも愛知用水の水があるからこそ、チャレンジできたんでしょうね。

浅田 確かに、昔と比べて農家の数は減ってきているけど、今、農業をやっている人たちの労働環境はずい分よくなりましたよ。

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

— 昔が悪過ぎたんでしょ？

だから同じ水には変わりないのですが、新しい利用者は高くつくわけです。また最初から利用していれば、そうした建設にかかった費用が毎年償却されていきますから、その分、安くもなるんです。富澤 なるほどねえ。そういうふうにして水道料金は決められていたんですね。いい勉強をさせていただきました。

的にも安定したんじゃないですか。それに知多には、愛知用水のおかげで大きな工場がいくつも生まれました。とくに東海市は、愛知用水サマサマじゃないですか？

浅田 ホント、その通りなんです(笑)。愛知用水のおかげで、新日鉄をはじめとする企業の誘致に成功し、財源もずい分豊かになりました。

現在、市の年間総予算が約三〇〇億円

で、このうち約半分が企業からの収入です

からね。それに、そこで働いている人たちからの所得税とか、街で買い物された

りする間接的な収入まで含めると、これはもう「愛知用水の水のうえに東海市はある」といっても過言ではありません。

日比野 尾張旭も、愛知用水が完成してから大きく変わりましたよ。市制になって二一年になりますが、この間に約二倍に増加しました。現在、約六万五〇〇〇人です





ところで最近の水の使い方も、
多様化してきていると思われませんか？

— 愛知用水が通水した頃は、みんなが水を有難がって使いましたよね。今や水はあって当たり前ないと困るけど、あっても特別何も感じなくなってきたのは……。



原 私の場合、ポンプで汲みあげて使う井戸での生活が長かったもので、愛知用水を使い始めてからも、停電になると水は止まる「ものだ」とばかり思っていました。

それでも、どうしても手が洗いたい時があつて、恐る恐る水道の蛇口をひねってみてみたら、そうしたら水が出てきて……(笑)。

— 当たり前ですよ。水道は停電なんか、関係ないのですから……(笑)。

原 ええ、でもその時は、パイプに貯っていた水が流れてきたんだ、と思っていましたから。後になって、停電とは関係ないことを知りましたが、水道の水って本当に有難いなって……(笑)。

— そりゃあ、ちょっとヒドイ話ですよ(笑)。

富澤 でも、大らかというか、ほのぼのとした話だわ。

浅田 私が同じ東海市の在住者として、原さんを弁護しますけど、ポンプ式の井戸だと、停電になると手動でしか使えなくなるんです。つまり、水が止まってしまふんです。

大半ですね。別に悪気はないんですが、ただ忙しくて払えなかった、という感じなんです。

— 水道料金のことで思い出しましたが、昔、蛇口を少しだけ回して使うと、水道のメーターが回らないっていわれていましたよね。あれって、本当なんですか？

日比野 今のメーターは感度がとてもよくて、ちゃんと計算してくれます。ご安心してお使いください(笑)。

— ところで、最近では生活用水の使われ方も変わってきているでしょう？。朝シャンなんて、若い人の中にはすっかり定着しているというじゃありませんか。

原 昔に比べると、水を使うことは増えたと思います。第一、洗濯をする回数だって、今ではほとんど毎日ですもの。盛井 確か、篠島だったと思いますが、愛



知用水が通水してから、洗濯機ブームが起きたでしょ？

浅田 洗濯機が飛ぶように売れたって、ちょっととしたニュースになりましたものね。

日比野 尾張旭ではベッドタウン化が進み、専業農家の戸数も以前と比べるとずいぶん減ったんですが、その代わりに趣味で農業を始める人が増えてきました。

日曜日になると、よく見かけますよ。ポリ容器に水を入れて、近くの「市民農園」へ出かける人たちが……。

富澤 水の使い方も変わってきたかもしませんが、水に対する求め方も大きく変わってきているんじゃないかしら。

たとえば、私の子どもの頃には、水は文化の「パロメーター」といわれ、水道のあるところが都会で、水をよく使う家庭が生活レベルが高いみたいな印象が強かったと思います。ところが、今はどこへ行っても水に恵まれた生活ができますよね。そうなるのもっと安全な水にしてほしい」とか、「もっとおいしい水がほしい」とか、水の品質がだんだん気になってくるわけなんです。

— つまり、水も「量から質」の時代へ変わってきているということですね。

原 でも、愛知用水の水って、おいしいっていわれていますよね。

— 井戸水と比べて、どうですか？

原 地域差もあるのですが、私は「井戸水よりも愛知用水の水の方がおいしい

原 そうなんですよ！

日比野 まあ、どっちにしても、かわいい話ですよ。最近では「水は使うけど、料金は払わない」なんていう家庭も増えてきたご時世なのに……。

— そんな家庭が本当にあるのですか？

日比野 あるんですよ、これが……。それで、先日も水道をストップさせました。

富澤 どうなりました？ 水のない生活なんて、一日だってできませんでしょう。

日比野 飲み水はなくても不自由しないですよ。ジュースなんかで済ませばいいって……。ただし、トイレの方が困るそうです。三回分ぐらいたまると、もう我慢できないって、さっそく電話が入りましたね。料金を払ってもらえませんでした(笑)。

原 どんなお宅なんですか？ というお宅は……。

日比野 ご商売をなさっているところが



い」と思って飲んでいました。

浅田 全国的に木曾川の水がおいしいのは、有名なんです。名古屋ほどの大都市を抱えていて、これだけの水に恵まれているところはないですよ。東京にしても、大阪にしても、ひどいもんじゃありませんか。瀬田 琵琶湖の水を飲まなきゃいけない大阪は、特に気の毒ですよ。愛知用水の水は、木曾川でも上流の養山(岐阜黒加茂郡八百津町)で取水しているから、同じ木曾川の水でも下流で取水される水よりも絶対においしいはずですよ。

富澤 でも、「カルキ臭い」と感じることもありますが……。

— 本当はね、薬も入れずにそのまま源





原 ひろ子

流を飲むのがいちばんおいしいそうです。ところが、雨が降れば、土砂で川は汚れてくる。ゴミも入ってくる。衛生面を考えると、むしろ薬が入っていない方が怖いかもしれないですね。

富澤 難しいテーマかもしれませんが、でも、味も安全も両方欲張っていきいたい(笑)。

日比野 富澤さんは、浄水場へ行かれたことってありますか？

富澤 いいえ、まだ一度も……。

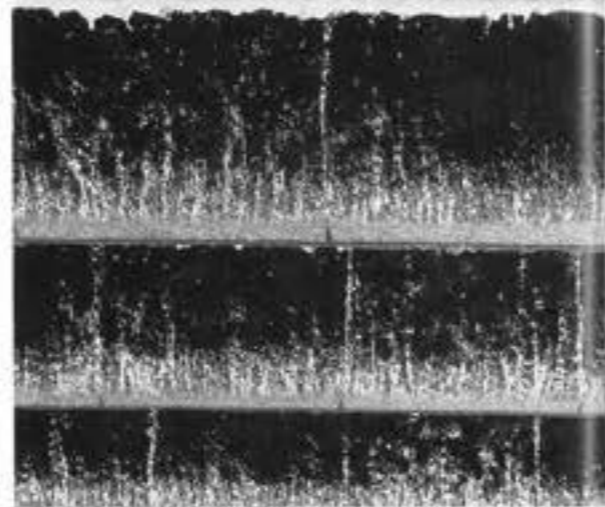
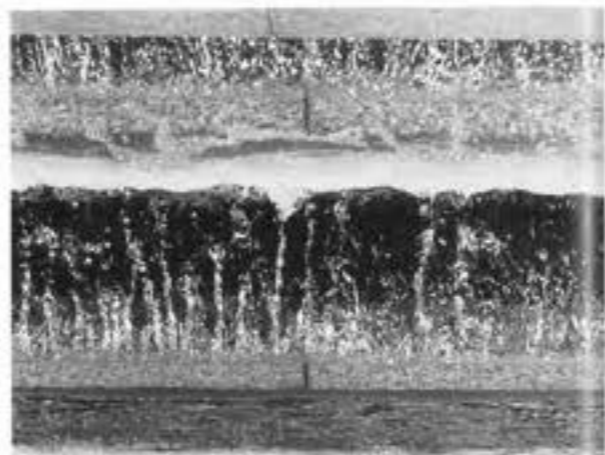
日比野 そうですか。じゃあ、ぜひ、見学されるというですよ。愛知用水の生活用水がどんなふうにして、家庭に送られてくるのか、よく理解できますよ。

浅田 愛知用水の缶詰めもあるしね。原 缶詰めがあるんですか？

浅田 ご存じなかったんですか。見学者用に、どこの浄水場にも置いてありますよ。その名のおり、私たちが毎日飲んでいる。愛知用水の水が缶詰めになっているのです。

中京コカ・コーラ製造の、愛知用水のオリジナル製品ですよ(笑)。

原 知りませんでした。本当に……。



— 水の味とか、衛生面について活発なご意見が出ましたが、ウォーターフロントや水辺公園など、最近では環境面においても水の使い方や生かし方が大きなテーマになってきていますね。これについては、みなさんはどうお考えですか？

富澤 愛知用水の受益地区には、かつて農業をするための水を確保するためにつくられたため池が、あっちこちに残っています。これを今後どのようにしていくのか、そろそろ真剣に考えていかないといけないんじゃないでしょうか。

浅田 そうですね。池として残していくのか、それとも埋め立てて有効利用していくのか、ちゃんと計画して取り組まないといけないでしょうね。

日比野 埋め立てる場合も、そこがため



— 家庭の主婦の方はもちろん、もっと多くの人が浄水場を見学されるというかもしれませんね。自分たちが毎日飲んでいる水が、どのようにして家庭まで届けられているのかというところを知りたい、受益者にとって権利であるのと同時に義務かもしれない。

また品質を求める時代だからこそ、自分の目で確かめるということも大切なことじゃないかな？

富澤 おっしゃる通りだと思います。いくら家の中で「もっとおいしくしてほしい」「もっと安全にしてほしい」と思っている、その声は浄水場までは届きませんものね。また浄水場の方たちがどのように苦勞なさっているのか、これまでまったく知らなかったわけですから……。



日比野 我々、男性としましては、そういう暮らしに対する女性の前向きな姿勢がうれしいですよ(笑)。

お城の裏の池が都市計画に入っているのですが、何でもかんでも新しく直すと、何となく、将来を展望した街づくりを実現させないといけないって思っています。

富澤 それに愛知用水の幹線水路、あんなに立派な水辺が、我々の近くにあるんだから、あれを何とかしないとね。もっと有効利用した方がいいですよ。

原 でも、幹線水路にはフェンスが張られて、水路の道路だって通行禁止ですよ。

日比野 あれは、水が危険だからですよ。私の家の近所でも、子どもの姿が見えなくなると、まず、愛知用水の幹線水路の周辺を探さすですよ(笑)。

— 確かに、子どもにとって「水は危険」かもしれない。しかし、それにしても、あの水路の立て看板は、いかにも「危険、そうじゃないですか。よい子は、ここで遊ばない」なんて、まるで子どもたちを脅かしているみたいですよ(笑)。

富澤 子どもたちの安全を守ることも大切なことだけど、子どもの頃に「水に親しむ」ことも大切なことですよ。現に、愛知用水の幹線水路の水の流れを、もっと身近に感じたいと考えている人は、年々、多くなっていますよ。

原 しかし、事故が起きたら、どうなるのかしら？

池だったことがわかるようにしていくことも大事ですね。たとえば尾張旭市の東栄小学校は、ため池を埋め立てて建設された学校ですが、校門のところ、その名残があるんです。ああいう形で残して、いつともたらえらる、愛知用水が何故つくられたのか、子どもたちが知るきっかけにもなると思うんです。

盛井 そういう点では、半田市の雁宿小学校も、もうまくやっていると、思います。この小学校は、街の高台にある雁宿公園のすぐ横にあるのですが、公園の池はそのまま残して、その上にグラウンドをつくりましたからね。

日比野 そういう自然を生かした水辺の空間は、これからますます重要になっていくんじゃないかな？ 今、尾張旭市では



盛井 裕治

21世紀の街や人に心地よい

水のある風景を創造したことがありますか？

Alchi Canal in Future



藤原 だからね、そういう問題も含めて、これからは水をテーマにみんなで意見を交換していくことが大事なんですよ。それも町内会という小さな単位でなく、受益地区全体で、愛知用水の管理について考えたり、話し合ったりしていかないとね。そう思うんです。

浅田 今ね、東海市では新しい動きがあるのです。

——それは愛知用水の水にも関係あるのですか？

浅田 ええ。まだ計画の段階ですが、愛知用水の幹線水路にフタをして、その上に愛知用水の水を有効的に使った自然とふれあいがいっぱいの「水辺公園」をつくる予定なんです。

市役所の近くの横須賀地区に計画しているのですが、全体的なイメージとしては名古屋のセントラルパークにある。柴リパーク。みたいな感じ。愛知用水の

うな空間をみんなの知恵を出し合って、ぜひ、実現させていきたいですね……。

——いろいろな意見が出ましたが、もう少し個人レベルで愛知用水について考えていくことってないでしょうか？

富澤 今、若い人たちの間で、朝シャン、が流行していますよね。あれって、今の水の使われ方を象徴していると思いますね。だんだん日本人は「浪費型」になって

いるんじゃないかしら……。

愛知用水の受益地区ではベッドタウン化が進んでいて、これからも人口が増えていくところが多いですよ。もっと、みんなが「節約型」に切り替えていく必要があると思います。

日比野 そうなんです。尾張旭市の場合、全体の七割近くが生活用水。一般の家庭で使われている水なんです。もっと節約してほしいですよ。

浅田 夏に佐布里(そうり)池へ行ったんです。ここは愛知用水の調整池なんです。水が少ないんですよ。今にも底が見えそうな水面を見て、しみじみ「節水に心掛けないや」って思いましたね。

——日本は水に恵まれた国だといわれていますが、それでも地域によって大きな差があります。幸いこの地方には、木曾三川という水に恵まれた川があり、愛知用水も木曾川の水のおかげで今日を迎えることができました。しかし、この水も水

道にあるものじゃないんですよ。みんなが勝手に使い、勝手に汚していったら、木

曾川の水は汚れ、愛知用水の水も使わ

のにならなくなってしまおうのです。だから今の私たちの暮らしを守るためには、

また子どもたちの未来を守っていくうえでも、毎日の生活の中で水を上手に使い、無駄のないように大切に使う……。

藤原 水源地である岐阜県、そして幹線水路が縦断し街づくりには何かと配慮が必要な可児市の立場で、ひと言いわせてくださいよ。愛知県のみなさんは「ご存じないかもしれないけど、水を安定供給していく」ということは大変なことなのです。

森林を守り、川を整備し、汚水やゴミを入れないようにし、時には用水を守るための行政投資もあるということ……。

盛井 そうですよ。最近はそのことを知らない人があまりにも多いから、他の県へ行くとき平気で川へゴミを投げる人がいるんですよ。

藤原 今や「水はあって当たり前」で、「水に感謝すること」もなくなってきているんですよ。でも、よく考えてみると、水がなくなるって、困ることばかりですよ。

今日、みなさんとお話ししているうちに、また井戸を使ってみようかなって思いました。ときどきでも井戸を使う生活をすれば、子どもたちもきっとわかってくれますよ。水の有難さみたいなものが

水を使って噴水をつくったり、滝をつくったり、せせらぎをつくったりして、子どもからお年寄りまで市民がいつでも水に触れ合い、水に親しめる。やすらぎと癒しの場を完成させるのです。

富澤 うらやましいような話ですね。水路にフタをして、駐車場にしたり、菜園に



したりして、土地を有効的に使っているところは知っていましたか……。

盛井 そういう水辺公園は、みんなが実現してほしいと思っていますよ。今や水も、ソフトの時代ですからね。幹線水路にフェンスを張ったり、フタをしたりするだけでなく、人と水とが共生できるよ

富澤 原さんところは、いい教材がありますものね。

盛井 人間は誰でも、生まれた時には産ぶ湯につかるわけだし、お墓の中に入ってから水のお世話になるんですよ。ね。受益地区に住んだ以上、愛知用水の水

は大切にしなければいけないですよ。

日比野 これからは上流の人たちとのコミュニケーションを深めることも、大切なことだと思います。

富澤 それに乱開発だけは避けたいですね。上流の人たちが一生懸命育てている森林をどんどん切り倒したら、結局は自分たちが将来泣くことになりませんか。

——水のテーマは、深く、広く、なかなかうまくいって難しいものです。しかし、私たちには愛知用水という、いいお手本があります。これほど多くの人たちに喜ばれ、今も感謝されている地域開発は全国を見回しても、そうあるもんじゃない。先人たちが知恵を出し合って、

現在の暮らしを私たちに残してくれたように、私たちも先人たちに負けないような知恵を出し合っていくじゃないですか。

藤原 通水三〇周年は、そのスタートラインといえますよ。

——そうですね……。また、こうした機会を設けようじゃないですか。

今日はお忙しいところ、みなさん本当にありがとうございます。

153

PART. 7

データ編



水の今昔物語

私たちの先祖が最初につくりだした乗り物は、川に浮かべて物を運ぶための舟でした。丸太で住居をつくり、鎌や歌などの道具をつくりだし、太陽や星の動きから暦をつくりだすきっかけになったのも、すべては人と川とが共生するためのものでした。

世界の四大文明はいずれも大河を中心に栄え、エジプト最古の王といわれるメネスは、ナイル川に最初のダムを建設しました。世界最古の法

規集「ハンムラビ法典」も、その大部分が水に関連した内容だと伝えられています。

人間が言葉をあやつり、火を使い、車輪を発明したことは、確かに人類史におけるハイライトであったかもしれませんが、水がなければ、水が運びだし、川の流れを変え、水路を増やしていったことも、それと同じくらい画期的な出来事だったに違

いありません。

水に関するあらゆる技術に習熟したのはローマ人です。彼らは都市の隅々にまで水道をひき、装飾をこらした。水辺の空間を富と繁栄のシンボルとしました。

日本人は、水につきあいながら独自の感性を育ててきました。暮らしのなかに水の流れを表現した枯山水の庭園をつくり、茶の湯の発達とともに流水や水琴窟といった、水の音を楽しむ装置もつくりだしました。

つまり、水をながめるだけでなく、水の響きで涼感を味わったり、心に安らぎを感じてきたのです。

川、ダム、水道、排水、ウォーターフロント開発など、いま、私たちの周りには水に関する新たな問題が山積みされています。

あらゆる文明を手にした現代人が、先人たちに負けない水辺環境をいかに創りだしていくか、この大きなテーマを抜きにしては21世紀は語れないような気がします。未来に向けて、私たちの偉大な知恵と工夫が試されるのは、むしろこれから……かもしれません。

社会の動きと愛知用水

〈年 表〉

知多半島の農民による運動が始まった昭和23年～
通水30周年を迎えた平成3年までを紹介しました。

愛知用水

- 6.25 久野庄太郎氏ら知多半島有志による運動開始。
- 7.15 久野庄太郎氏宅において県会議員・県農地部長・市長村長・知多農村同志会幹部が集まり、愛知用水計画の説明を聴取。
- 10.1 愛知用水開発期成会が発足。
- 11.1 知多農村同志会が中心となり、愛知用水期成促進大会を開催。
- 12.22 農村同志会・期成会が上京。吉田首相・農林省開拓局長・建設省・経済安定本部に陳情。



- 3.24 愛知県議会在愛知第三大河川総合開発委員会設置に関する決議。
- 7.15 農林省和田計画部長等によって現地調査。
- 9.15 愛知用水開発期成同盟会結成(後に愛知用水期成同盟会)。



世相

- 1月 民芸第1回公演(右楽座で島崎藤村原作・村山知義脚色「成吉思汗」)。
- 3月 第1回NHKのど自衛隊全国コンクール優勝大会、神田共立演劇会主催。
- 5月 美空ひばり(11歳)、横濱国際劇場でデビュー。
- 8月 プロ野球で初ナイター(横浜ゲートボール球場、巨人対中日)。
- 12月 ルース・ベネディクトの『菊と刀』、劇次刊行。

●この年 郵便・鉄道・ラジオ・新聞などの格上げが続く。
 <流行歌> 「東京ブギウギ」笠置シズ子/「馬の町エレジー」近江俊也
 「俺らのハワイ航路」岡晴夫/「フランチェスカの踊」二葉あき子
 <映画> 「酔いどれ天使」東宝：前澤明監督・志村喬・三船敏郎/「王様」映：伊藤大輔監督・阪東妻三郎・水戸光子
 <洋画> 「美女と野獣」仏、ジャン・コクトウ演出/「ヘンリー五世」英、ローレンス・オリヴィエ演出・主演
 <話題の書物> 梅崎春生「樺島」/太宰治「人間失格」/竹山道雄「ピエロの嬰児」
 <流行語> 鉄のカーテン/冷たい戦争/ナマertime/てんやわんや/さいらく/の恋/真日営業
 <ファッション> クリスチアン・ディオールのスリットスカートの大流行。男性はアロハシャツとリーゼントスタイルが流行。

- 1月 NHK「とんち教室」放送開始。
- 2月 香科人々広告、「朝日新聞」に登場(クリーム)の広告で、赤い「チ」香り)。
- 6月 ビアホール復活。東京では21ヶ所営業、半リットルジョッキ130円。
- 11月 GHQの許可により、アドバルーン復活。
- 12月 お年玉付き年賀はがき、初めて発売。

●この年 古橋広之進、ロサンゼルスでの全米水泳選手権大会で1300・800・400m自由形で世界新記録(「フジヤマのトビウオ」と呼ばれる)。
 <流行歌> 「青い山脈」藤山一郎・奈良光枝/「銀座カンカン娘」高峰三枝子/「長崎の鐘」藤山一郎/「恋しき口笛」美空ひばり
 <映画> 「女の一生」東宝：船井文夫監督・岸旗江・沼崎勲/「青い山脈」東宝：今井正監督・杉葉子・若山セツ子
 <洋画> 「戦火のかたがた」(伊)/「せむしの仔馬」(ア)/「哀愁」(米)/「ムッシュ」(英)
 <話題の書物> 三島由紀夫「仮面の告白」/日本戦後学生日記「きけおつみのこえ」/ミッチェル「風と共に去りぬ」
 <流行語> 筋金入り/つるしあげ/軟弁大学/ワンマン/ノーマ/竹財活(アメリカの経済援助と国内補助金で成り立っている日本紙)を評した言葉
 <物価> たばこ(ゴールデンバット)15円/カレーライス80円

社会

- 二重演開演、一般参観2日間で13万人。
- 25 毒劇事件(帝國銀行株名町支店で行員12人を毒殺の現金強奪事件)、8.21 容疑者平沢直通逮捕。
- 11 B25乗務員捕虜8人に対する「九州大生体解剖事件」(20年5月)の軍事裁判。
- 11 新制高等学校発足。
- 11 軽犯罪法公布。
- 12 児童福祉法に基づく母子手帳配布開始。
- 13 大津波、玉川上水で山崎富栄と入水自殺。
- 25 福井県に大地震。死者3769人、家屋全壊3万6000戸。
- 25 厚生省議院公布、人工妊娠中絶等の条件緩和。
- 25 古橋広之進、1500m自由形で18分37秒0の世界新記録(ロンドン五輪開催中)。
- 12 埼玉本庄町における暴力団・町議・官憲のなれあいを報道した朝日新聞記者に暴行事件(本庄事件)、8.25 暴力団及び町民大会に1万人参加。
- 15 東京地裁、争議団龍城中の東京築港事務所に仮処分、警官2000人・米軍戦車7台・飛行機3機・砲兵1中隊出動(東京争議)。
- 18 天照皇大神宮教祖北村サヨらの「孫も宗教」、東京・数寄屋橋に遊説。
- 15 アイオン百貨、関東・東北地方に上陸。
- 15 善むめお等、主婦連合会結成。
- 15 全日本学生自治会総連合(全学連)結成。
- 12 文部省、小学校で5段階評価法を推進。
- 15 小倉市で物騒騒(4日間、5万5000人)。
- 15 朝沢忠洋、群馬県岩間で先土器時代の石器を発見。

- 1 マッカーサー、日の丸の自由使用許可。
- 15 初の「成人の日」。
- 25 法隆寺金堂壁画12面焼失(漏電火災)。
- 27 岡室松山城、浮浪者のタキ火で焼失。
- 15 外蒙ウランブートル御留所での吉村隊長(池田重香)による同族の船災・虐殺が報道(晩に折る事件)。
- 20 東京消防庁、火災専用電話119番を設置。
- 15 後楽園に初の国営競馬場外馬券売場を開設。
- 15 初の「母の日」(5月の第2日曜)。
- 12 自由労働者、三田職業安定所で仕事こせ闘争開始(全都に波及)。
- 12 新制国立大学69校、各都道府県に設置。
- 15 東京神奈川で総合管理の人民電運開始。
- 15 東京部、失業対策事業の目的を245円に決定(240円台ということから「ニコヨン」の呼称が始まる)。
- 12 ソ連からの引揚再開。
- 15 東京戸山原に鉄筋アパート14棟完成。
- 15 東海線に特急列車(へいお号、1日1往復)・食堂車復活。
- 11 道路交通取締法改正により、対面交通実施(歩行者右側、車左側通行)。
- 15 湯川秀樹、中間子論でノーベル物理学賞受賞。
- 15 太平洋野球連盟(パシフィック)結成。
- 11 セントラル野球連盟結成。

政治・経済

- 1.6 ロイヤル陸軍長官、「日本を反共の防壁にする」と演説(非軍事化・民主化政策の修正)。
- 2.8 特殊会社整理委員会、集中排除法の対象257社を指定。2.22 68社追加指定。5.4 米より集中排除審査委員会(5人委員会)来日。集排法適用を緩和(最終的に日本製鉄・三菱重工業など18社のみ指定され、分割などの処分)。
- 2.10 片山内閣総辞職。
- 2.21 衆院、芦田均を首相に指名、参院は吉田茂を指名(衆院議決が優先)。
- 3.10 芦田内閣成立(民主・社会・国民協同3党連立)。
- 3.15 自由党に元民主労働党が合流、民主自由党結成(総裁吉田茂)。
- 5.1 海上保安庁設置(英・ソ・中に対、米が独力)。
- 6月 昭和電工騒音事件(復興金融金庫から30億円融資を受け、その見返りに政治家へ贈賄)発覚。大蔵省主計局長福田越夫(9.13)・経済安定本部長官栗橋越夫(9.30)・前国務相西尾末広(10.6)逮捕。
- 7.10 建設省発足(建設相一松定吉)。
- 7.31 マッカーサー書簡に基づき政令261号公布(公務員のスト権・団体交渉権を否認)。
- 10.7 昭和電工事件により芦田内閣総辞職。12.7 芦田前首相逮捕。
- 10.19 第2次吉田内閣成立。11.12 東京裁判、A級戦犯25人に有罪判決。12.23 東条英機ら7人の絞首刑執行。
- 11.30 国家公務員法改正公布
- 12.2 労働者農民党(労農党)結成。
- 12.8 人事院発足。
- 12.18 GHQ、歳出引締め・均衡予算・徴収強化などの経済安定3原則を発表。
- 12.24 岸信介・児玉賢士夫・菅川真一らA級戦犯容疑者19人を釈放。

- 1.23 第24回総選挙(民主自由264、民主69、社会48、共産35、国民協同14、労働7、無所属・議員29)、民主自由多数獲得、社会党大敗、共産党躍進。
- 2.16 第3次吉田内閣成立(蔵相池田勇人)。
- 4.4 団体等規正令公布。共産党など取締りのため構成員の登録・機関紙提出等を義務化。
- 4.23 GHQ、1ドル360円の単一為替レート設定。
- 5.25 通商産業省設置(商工省など廃止)。
- 6.1 郵政省・電気通信省・地方自治庁・総理府など設置。日本国有鉄道・日本専売公社発足。
- 7.4 国鉄、定員法による第1次人員整理3万7000人を発表(7.12 第2次6万3000人)。
- 7.6 国鉄総裁下山定則、常磐線北千住一線閉鎖で犠牲者発生(下山事件)。
- 7.15 中央線三鷹駅で無人電車暴走6人死亡(三鷹事件、国労の10人を逮捕)。
- 8.17 東北本線松川-全谷川間で列車転覆、3人死亡(松川事件、国労の20人を逮捕)。
- 8.26 ショウブ動機発表(直接税中心・徴収強化・法人税優遇など)、源泉徴収による給与所得からの徴収強化。
- 9.19 人事院規則制定(公務員の政治活動制限)。
- 9月 教員にレッドパージ始まる(約1700人追放)。
- 10.1 琉球米軍政長官にシーク少将就任(沖縄を恒久的な軍事基地とする統治が本格化)。
- 12.4 社会党、全面議和・中立堅持・軍事基地反対の平和3原則を決定。

知多半島の有志による運動が始まりました。

昭和23年
(1948年)

昭和24年
(1949年)

愛知用水

- 5.5 期成同盟会会長・森田義氏が全国市長会代表として渡米の際、「愛知用水の整備と理想」を解説して世銀に提出。建設費の借款(融資)を要請。
7.19 高松宮が愛知用水の計画地域を視察。
12.1 愛知県議会が「本曾川総合開発事業の調査促進、および「愛知用水事業施行」について建議書を議決。
12.3 愛知県議会大田議長、同上につき国会へ意見書を提出。



世相

- 1月 年齢の呼び方が満年齢となる。
3月 2期レフォがブームとなる。
5月 柳子文六「自由学校」を朝日新聞に連載。
8月 日米米人の南西形対家イサム・ノグチの個展開催。
10月 ビカテリー劇場で新劇合同公演、イブセン作「ヘッダ・ガブラー」上演。
12月 たばこセール実施。くじつき(特等50万円)たばこ・美人投票も。たばこ見本。

●この年 女性の平均寿命、総歳を超える(女性61.4歳、男性58歳)、戦時特異。
<流行歌> 「夜来香」山口淑子/「水色のワルツ」二葉あき子/「愛のチャイナタウン」渡辺はま子/「東京キッド」美空ひばり
<映画> 「また逢う日まで」東宝:今井正監督・岡田英次・久我美子(オスゴシの長崎シーンが話題)/「きりぎりすの声」東映:関川秀雄監督・伊豆肇・沼田曜一/「羅生門」大映:黒澤明監督・三船敏郎・京マチ子
<洋画> 「白宮城」(米、最初のディズニー長編漫画)/「赤い靴」(英)
<話題の書物> 森田武夫「文学入門」/井伏鱒二「本日休診」/大河内伝次「武蔵野夫人」/ロレンス「チャタレイ夫人の恋人」(発売)/「きりぎりす」(ベスト)
<流行語> おおきスナイク/つまみ食い/とんでもハッパン/せんそへん(朝鮮戦争の特産品と民間関係の好景気から)/特等券/アルサロ/レッドパーズ

社会

- 7 200円札発行(聖徳太子肖像)。
27 平和を守る会発足。
27 山本富士子、第1回ミス日本に選ばれる。
27 日本戦没学生記念会(おだつみ会)結成。
28 短期大学19校発足(13校が私立)。
28 原爆禁止署名運動開始。
28 高橋、ロレンス作「伊藤整訳「チャタレイ夫人の恋人」の押収を指令(7.8 発禁)。
28 巨人の藤本英雄投手、プロ野球初の完全試合(対西日本、青森球場)。
2 全開市、青年借借(大谷大生)の「美に対する嫉妬から」放火され全焼。
5 阪東間で初ナイター(大映対毎日)。
11 日本労働組合総評議会(総評)結成。
14 文部省、8大都市の小学校で9月からガリオア資金によるパン完全給食実施を発表。
20 GHQ、全労連の解散を指令。
23 ジェーン台風、関西を襲う(336人死亡)。
24 日大の職員給料俸給の山際啓之、愛人藤本佐文と逮捕(おねミスナイター事件)。
27 文部省、学校の祝日に国旗掲揚・君が代斉唱をすすめる大野直徳文相談話を通告。
30 NHK東京テレビジョン実験局、定期実験放送開始(週1回、1日3時間)。
22 プロ野球初の日本選手権試合(毎日オリオンズ優勝)。

政治・経済

- 1.1 マッカーサー、年頭の辞で「日本国憲法は自己防衛権を否定せず」と声明。
1.6 コミンフォルム、日本共産党の指導者野坂参三の平和革命論を批判。対応めぐって徳田球一・野坂参三ら主流派(所感派)と志賀義雄・宮本顯治ら反主流派(国際派)の対立激化。
1.19 社会党大会、役員選出をめぐって左右両派に分裂(4.3統一)。
3.1 保利茂ら民主進立派、民主自由党に合流して、自由党発足(総裁吉田茂)。
3.1 藤相徳田勇人、ドッジ・ラインでの不況に際し「中小企業の一部倒産はやむなし」と発言。
4.15 公職選挙法公布(衆参両院・地方自治体の首長・議員などの選挙法を統一)。
4.28 民主進立派・国民協同党など合同して、国民民主連合(最高委員長吉米地義三・幹事長千葉三郎)。
6.4 第2回参院選(自由52、社会36、緑風9、国民民主3、共産2、労農2、無所属・議席24)、自由・社会両党が前進、緑風会は激減。
6.6 マッカーサー、共産党中央委員24人を公職追放。
6.16 国警本部、全国のデモ・集会を禁止。
6.26 マッカーサー、共産党機関誌「アカハタ」を発行禁止。
6.28 吉田内閣改造(藤相徳田勇人・経済安定本部長官岡東英雄など・官僚派で要職を固める)。
7.24 GHQ、新聞社に共産党員と同調者の追放を指示(レッド・パージ始まる)。
8.10 警察予備隊令公布。
11.24 電気事業再編成令公布(電力9社発足)。
12.7 池田蔵相、「貧乏人は愛を食え」と発言、話題化。
12.13 地方公務員法公布(地方公務員・公立学校教員の政治活動・ストを禁止)。

昭和25年 (1950年)

期成同盟会が世銀へ借款(融資)を要請しました。

- 10.10 農林省本曾川水系総合農業水利調査事務所開設。
11.24 愛知用水土地改良区設立準備委員会設立(委員長 伊藤修)
12.1 愛知用水大規模農業水利改良事業国営施行申請を提出(文野庄太郎氏ほか15名)
12.4 国土総合開発法に基づき「本曾川特定地域」が指定。



- 1月 NHK、第1回「紅白歌合戦」を放送。
4月 銀座に街灯186本が復活/コロムビア、日本初のLPレコード発売(ベーターベン「第3交響曲」ほか4枚)。
8月 生活難から「人身売買」などの犯罪福祉法違反事件が激増(東京:影・福岡・奈良などで約5000人)。
12月 東京都内の露店6000軒が廃止。

●この年 名古屋に始まるパチンコ、全国に大流行。手塚治虫、漫画「新アトム」を雑誌「少年」に連載。東京で女劇が人気(浅香光代・大友智子ら主演)。民放開始に伴い、初のコマーシャルソング「ぼんぼり」アマチュアカメラマンが作られる。
<流行歌> 「高原の朝よさようなら」小畑実/「上海帰りのワル」津村謙/「野球小僧」灰田勝彦/「雪山讃歌」/「東のほろり」
<映画> 「カルメン放浪に帰る」(初の縮天然色)松竹:木下恵介監督・峰秀子・北野周二/「めし」東宝:成瀬巳喜男監督・上原謙・堀内真直
<洋画> 「オムフェム」(仏)/「サンセット大通り」/「黄色いリボン」/「パンク」(米)
<話題の書物> 林芙美子「浮雲」/無名成実「山びこ学校」/吉川英子「新・平家物語」/源氏鶏太「三等車役」/宮田信太郎「もの見方について」/マーク・ゲイン「ニッポン日記」
<物価> はがき5円/封書10円/アンパン10円
<流行語> 逆コース(戦後民主化政策からの逆転をいう)/杜用能/おは死なず、消え去るのみ(マッカーサーの言葉)/PR

- 24 日教組「教員を戦場に送るな」の運動を決定。
25 東京の積雪30cmで国電など止まる(国会開会、証券取引所立会停止)。
27 ナイロン・ストレッチマイシンなどの製造技術導入認可。
24 横河橋木町町で、可燃性資材使用の63型国電発火、死者106人(樺木町事件)。これ以後、非常ドア開放装置を改設。
25 人名用漢字別表公表(当用漢字以外に92字制定)。
21 大阪市で、ワンマンバス6台初運転。
23 NHKでテレビ初の実験実況中継(後楽園球場から日本橋三越へプロ野球放送)。
27 文化財保護委員会、国宝181件を新指定。
30 東京都教育委員会、足立区に夜間中学設置を認可。
28 アナタハン島で戦艦を知らずいた日本兵19人と比島和子帰国。
24 奄美大島住民8000人、日本復帰を要求し24時間の断食を行う。
21 中部日本放送・新日本放送開局(民間ラジオ放送、初の正式放送)。
27 黒沢明監督の「羅生門」、ベニス映画祭でグランプリ受賞。
25 「もしよりの日」を制定・実施。
21 朝日・毎日・読売など、夕刊発行。
25 日航第1号機もく号昇、東京―大阪―福岡間に就航(東京―大阪間600円、乗客36人)。
28 メモリアルホール(田園旅館)で、日本人初のプロレス試合(力道山対トランズ)。
27 法隆寺金堂壁画の模写(15年〜)完成。

- 1.21 社会党大会、平和3原則に再軍備反対を加えた平和4原則を決議。
2.23 共産党、武装闘争方針を提起。10.16 暴力革命を定めた新綱領採択。火災ビン闘争などの武力闘争で、国民の支持を失う。
4.11 マッカーサー解任(後任リッジウェイ中将)。
4.23 第2回統一地方選挙(自由党圧倒的優位、国民民主・社会・共産は不振)。
5.1 リッジウェイ、日本政府に占領諸法令の再検討を認める。5.14 首相の私的諮問機関として政令諮問委員会初会合(石坂泰三東芝社長など8人、追放解除・独占禁止法改正・労働法規改正など戦後改革の修正を提言)。
6.12 警察法改正公布(自治体警察減少)。
6.21 日本、ILOとユネスコに加盟。
7.4 吉田内閣改造(佐藤栄作、郵政相として初入閣、内閣・党ともに吉田側近で固める)。
7.31 日本航空設立(戦後初の民間民間航空、資本金1億円、会長藤山愛一郎)。
9.4 キンフランシスコ講和会議開催。
9.8 対日講和条約調印(49ヶ国、ソ連・チェコ・ポーランドは調印せず)。日米安全保障条約調印。
10.24 社会党、講和条約に賛成する右派(書記長浅沼稲次郎ら57人)と左派(委員長鈴木茂三郎ら46人)に分裂。
10.26 衆院、講和条約を307対47、安保条約を289対71で承認(左派社会党・労農・共産と国民民主の岡田直ら3人は両条約の反対、稲葉権は安保条約のみ反対(11、18参院も承認)。
12.24 吉田首相、台湾政府との講和を締結、中国との国交回復をとぞす。

昭和26年 (1951年)

世銀借款が成立し、愛知用水公団が設立されました。

愛知用水

- 3.9 今治水利組合を解散し、今治水利土地改良区設立認可。
- 6.8 東海経済懇話会6月例会において愛知用水計画促進につき協議。
- 4.29 世銀副総裁ガーナーは、小笠原蔵相あての書簡を井口駐米大使に伝達方依頼。
- 5.29 日本政府、世銀に対し外資導入申請。
- 7下旬 P.C.I.予備設計報告書を農林省へ提出。
- 7.29 世銀農業調査団来日。
- 8.18 団長ドール帰国。
- 8.30 デアリース後任団長として来日。
- 11.12 世銀紙工業調査団来名。
- 11.26 P.C.I.愛知用水計画報告書を農林省へ提出。
- 7.30 東海経済懇話会は世銀ドール来名の際、愛知用水事業の世銀借款成立につき要望書を提出。



世相

- 2月 テレビのプロレス実況中継が人気
- 4月 大阪で日本初の国際見本市/衣裳貞之助監督の大映映画「地獄門」、カンヌ映画祭でグランプリ受賞/NHKテレビ、美容体操の放送を開始(竹屋美代子・小池幸子)/第1回全日本自動車ショー開催(国立東京第1病院、入場ドックを始める(6日間で1万2000円))
- 7月 西條、横綱に昇進/光文社、「カッパブックス」発行開始(伊藤整の「学入門」、新書刊ブーム)。
- 10月 青少年のヒロポン中毒が社会問題化。
- 11月 青年のヒロポン中毒が社会問題化。

●この年 水爆実験の影響で、生魚が放射線され寿司屋に打撃。電気洗濯機・冷蔵庫・掃除機が「三種の神器」と呼ばれる。貸し車屋急増。朝日映画シリーズ「真田十勇士」「高吹童子」などで、中村錦之助が千代子がアイドルとなる。

〈流行歌〉「高知列車は行く」岡本敦郎/「愛の賛歌」旗本照男/「お富さん」春日八郎/「岸壁の舟」若原雅子

〈映画〉「七人の侍」東宝：黒澤明監督・三船敏郎/「見よ大仏」東映：河野寿一監督・東千代之介・中村錦之助/「ゴジラ」東宝：本多猪四郎監督・河内桃子・宝田明(初の空想科学映画、以後ラドン・パン・モスラなど続々と登場)。

〈洋画〉「グリーン・ミラー物語」「ローマの休日」(米)/「しのび遣い」(仏)

〈話題の書物〉三島由紀夫「潮騒」/伊藤整「文学入門」

〈ファッション〉ヘッパ・インカット、日ライン(ディオールのアダルト)から流行

〈流行語〉スポンサー/笑の涙/パートタイム/美容体操(NHKテレビで放送が始まったことから)/水爆マダロ

社会

- 12 東京一帯歩道に38万人、二重橋で大混乱し死者16人、重軽傷69人。
- 12 東京市、街頭での広告放送等による騒音に対処するため、騒音防止条例公布。
- 12 文化財保護委員会、平城宮跡を発掘。
- 16 世界男子スピードスケート選手権大会開催(札幌円山公園、日本初の世界選手権)。
- 20 都市高速交通営団、丸の内線池袋―御茶の水間を開業(戦後初の地下鉄開通)。
- 11 米の女優マリリン・モンロー来日。
- 12 全国23婦人団体代表、売春禁止法制定全国婦人大会開催。
- 15 第1回憲法擁護国民大会開催(日比谷公会堂)。
- 19 シェパード兄弟と力道山・木村政彦のプロレス試合、初興行(プロレス人気始まる)。
- 12 保3党、原子力建造補助費2億3500万円を29年度予算修正案として追加提出。
- 16 読売新聞、第5編電丸の水爆放射能被災をスクープ、マダロの毒桶が平積になる。
- 131 新たに35市誕生(市制ブーム)。
- 12 阪神一淡路線、淡路線一橋門間に初のカー・フェリー就航。
- 12 水爆禁止署名運動全国協議会結成(事務局長安井郁)。
- 127 日本知識放送開始。
- 12 日本中央競馬会見込、9.25 第1回競馬開催。
- 12 青森県国技館落成、相撲博物館開館。
- 12 青森連絡船調査丸、右舷15号で座礁転覆、死者・行方不明1155人(最大の海難事故)。
- 12 富士山で、東大・慶大・日大生、雪崩で集団遭難(死者15人)。

政治・経済

- 1.15 憲法擁護国民連合会発会式(議長片山哲)。
- 2.23 衆院、自由党議員有田二郎の逮捕を許諾(造船騒動、海運業から自由党などへの献金事件)。
- 3.1 マダロ造船第5編電丸、ビキニの水爆実験で被災、3.14 焼津に帰港。
- 3.8 日米相互防衛援助(MSA)協定調印。
- 3.12 自由憲法調査会見込(会長岸信介)。
- 3.17 沖縄米民政府、地代一括払いで軍用地の永代借地権を設定する方式を発表、4.30 地球立法院、地代一括払い反対、新規収収反対など土地を守る4原則を決議。
- 5.15 地方交付税法公布。
- 6.8 警察法改正公布(国家地方警察と自治体警察を都道府県警察に統合、中央集権化)。
- 6.9 防衛庁設置法・自衛隊法公布(自衛隊発足)、MSA協定等に伴う秘密保護法公布。
- 9.19 鳩山一郎・重光葵・岸信介ら6人、反吉田新党結成で一致、9.21 新党結成準備会結成。
- 9.26 吉田首相、欧米7ヶ国歴訪(11.17)。
- 11.8 自由党、岸信介・石橋湛山を除名。
- 11.24 日本民主党結成(建設鳩山・幹事長岸、自由党鳩山派・岸派・改進党・日本自由党が合流、衆院121・参院18で、改憲、反吉田連合の党)。
- 12.6 民主・左右社会党、内閣不信任案を提出、12.7 吉田首相、財界・党内から解散に反対され内閣総辞職、12.8 自由党、新総裁に緒方竹虎。
- 12.10 早期解散を条件にした左右社会党の支持を得て、鳩山一郎内閣成立。

昭和29年 (1954年)

- 1.7 世銀副総裁ガーナー、世銀農業調査団報告書を井口駐米大使に手交。
- 2.7 世銀副総裁ガーナー、愛知用水計画に関するメモランダムを井口駐米大使に手交。
- 2.19 農林省清野技術課長、世銀借款予備交渉のため来米。
- 5.18 P.C.I.愛知用水追加報告書を農林省へ提出。
- 5.24 世銀ドール、河野農林大臣あて書簡を提出、公団法案の国会提案を了解。
- 6.17 愛知用水公団法案、閣議決定。
- 6.18 P.C.I.エリック・フロアーと各省技術者愛知用水事業計画に関し、討議。
- 6.26 農地局戸部参事官、和田計画部長、王滝村・三島村・吉島と用地補償問題につき協議。
- 6.30 愛知用水協力会結成、会長に愛知県知事桑原幹雄就任。
- 7.28 衆議員農林水産委員会が公団法案を全会一致で可決。
- 7.30 参議員農林水産委員会が公団法案を全会一致で可決。
- 8.6 愛知用水公団法公布。
- 8.15 愛知用水協議会有志で愛知用水協議会結成。
- 8.29 世銀メモランダム(農業開発事業の今後について)提出。
- 10.3 愛知用水公団設立委員会開催。
- 10.5 名古屋商工会議所に愛知用水協力委員会設置。
- 10.10 愛知用水公団設立。
- 10.15 愛知知事は愛知用水土地改良区理事長に対し、受益者の3分の2以上の同意を要請。
- 12.5 農林省は愛知用水特別調査委員会を設置し、畑かん、機械開墾の合理的施行の検討。

- 1月 シネラマ(左右19mの大規模スクリーンで、立体感を出す)の制作作品「これがシネラマだ」、帝劇で初公開。
- 2月 石垣綾子、「主婦第二職業論」を「婦人公論」に発表、主婦の活動や専ら労働に関する論争の口火となる。
- 6月 初のアルム貨(1円)発行。
- 7月 石原信太郎「太陽の季節」を「文学界」に発表/後楽園ゆうえん3号場(ジェットコースター登場)。
- 11月 理研光学工業、事務用複写機リコピーの量産を開始。

●この年 電気洗濯機ブーム。「家庭電化時代」が始まる、ラジオのポロッチ登場。

〈流行歌〉「この世の花」島倉千代子/「おんな船頭歌」三橋美智也/「ガード下の靴みがき」宮城まり子/「別れの一本杉」春日八郎

〈映画〉「夫婦善哉」東宝：豊田四郎監督・森繁久彌・淡島千景/「野菊はかき君なりき」松竹：木下恵介監督・有田紀子

〈洋画〉「エデンの東」これがシネラマだ/「喝采」/「暴力教室」(上城京子運動起る)(米)

〈話題の書物〉遠山茂樹・藤原彰・今昔語一「昭和史」/新村出「成吉思汗」/平凡社「世界大百科事典」

〈テレビ〉「私の秘密」「日真名氏飛び出す」「サザエさん」

〈CM〉「ミルクレープはママの味」(不二家)

〈流行語〉M+W(ショートカットにスラックスの女性、カラーシャツのブレスレッドの男性が出現、モノ・セックス時代の到来といわれた)/最低米、最高米/ボディビル(この年の12月に日本ボディビル協会が発足)/ノイローゼ

- 12 トヨタ自動車工業、トヨベッタクラウンを発表(48馬力、乗用車製造技術が国際水準に近づく)。
- 12 炭谷・私鉄・電産など民間6単業、春期賃上げ共同協議会結成大会(春闘の確約)。
- 12 NHKテレビ、衆議院総選挙の開票速報を初放送(テレビの受信契約5万台)。
- 12 大成丸、ガダルカナル島など南太平洋地域の遺骨5889体とニューギニア密林で生活の元兵士4人を乗せて横濱着。
- 12 長世保成院でゴタ山崩れ、68人死亡。
- 12 東京・砂川町で立川基地拡張反対総決起大会(砂川闘争、スローガン「土地に杭は打たれても、心に杭は打たれない」)。
- 12 米軍、北富士演習場で、着弾地付近に埋り込みの地元民を無視し射撃演習開始(小牧・横田・新潟・伊丹・木更津などでも基地反対闘争激化)。
- 12 国鉄宇高連絡船紫雲丸、貨物船第3号丸と衝突し、沈没(死者168人)。
- 12 在日朝鮮人総連合会結成。
- 12 第1回日本母親大会開催(東京・豊島公会堂、3000人参加)。
- 12 厚生省、「売春白書」を発表、全国で公娼50万人と推定。
- 12 自動車損害賠償保障法公布(強制保険制始まる)。
- 12 第1回水爆禁止世界大会広島大会開催。
- 12 東京通信工業(ソニー)、初のトランジスタラジオを発売。
- 12 岡山で人工災害4人死亡、森永粉乳工場有害菌の被害が原因、全国で患者1万人以上、113人死亡(細菌性ミルク事件)。
- 12 水爆禁止日本協議会(原水協)結成(事務局長安井郁)。

- 1.10 鳩山首相、中ソ記者会見で、中ソとの国交回復と憲法改正に積極的意志を表明。
- 1.13 「朝日新聞」、記事「米軍の「沖縄民政」を衝く」で沖縄の圧政の実情を本土に初めて紹介。
- 1.25 元3連代表部首席ドムニッキー、鳩山首相に日ソ国交正常化に関する文書手交。
- 1.27 経済再建懇談会設立(財界の政治献金団体)。
- 2.27 第27回総選挙(民主185、自由112、左社89、右社67、労働も、共産2、無所属・諸派8)、革新派、改選阻止に必要な3分の1の議席を確保。
- 3.19 第2次鳩山一郎内閣成立(少数党内閣)。
- 4.19 防衛分限会に関する日米交渉妥結(分限全減額、米軍飛行場拡張・防衛費増額を約束)。
- 4.23 第3回統一地方選挙(創価学会選出)。
- 6.1 ロンドンで日ソ交渉始まる(全橋松本優一)。
- 7.11 民主・自由・緑風の保守派議員有志、自主憲法期成議員同盟結成(会長山久志)。
- 7.20 経済審議庁を経済企画庁に改組。
- 7.27 共産党、第6回全国協議会(党内競争解決)。
- 7.30 第22回特別国会開会(国防会議構立法案・憲法調査会法案ともに審議未了)。
- 9.10 日本、ガット(関税および貿易に関する一般協定)に正式に加盟。
- 10.13 社会党統一大会(委員長に左派鈴木茂三郎、書記長に右派浅沼稲次郎)、衆院156、参院69。
- 11.15 自由民主党(自民党)結成、保守合同成る(代行委員に鳩山一郎、緒方竹虎・三木武吉・大野伴睦)、衆院299、参院118。
- 11.22 自民党を予党に第3次鳩山一郎内閣成立。
- 12.19 原子力基本法公布(平和利用に限定)。
- この年 「神武景氣」始まる(一32年中頃)

昭和30年 (1955年)

愛知用水

- 1.1 愛知用水土地改良区理事長に日高啓夫就任。
1.15 愛知用水土地改良区は事業実施につき3分の2の同意書を農林大臣あて提出。
3.1 愛知用水土地改良区事務局長に元愛知県副知事長橋松雲就任。
3.15 堤防および水路事業所を設置。
3.19 愛知県と公団で水道事業資金供給に関する基本協定を締結。
4.20 水害特定地域総合開発計画の要旨公表。
5.1 知多郡大府町に相地かんがい実験農場設置。
5.4 E.F.A.と技術援助協定を締結。
9.1 愛知県農地部に愛知用水課を設置および関係農地開発事務所を愛知用水係を増設。
9.10 可児土地改良区設立認可申請。
11.16 可児土地改良区設立認可。理事長に渡辺清男就任。
11.30 水害川水系本管川支流玉滝川河水引用および河川敷古用ならびに河川付近地内工作物設置許可を長野県知事に申請。
11.30 本管川水系本管川河水引用許可を岐阜県知事に申請。
12.18 事業実施計画書(牧尾ダム分)を農林大臣に提出。
12.24 関西電力株式会社と発電事業に関する基本協定を締結。
12.27 公団総務理事は職員2名世襲に対する技術報告書説明のため渡米。

●この年 昭和28年に岐阜県が着手した松野池を愛知用水事業の補助ため池とするために工事を一時中止。

世相

- 2月 新潮社、「週刊新潮」を創刊(出版社による初の週刊誌、週刊誌ブーム)。
3月 「主婦の友」、155号となる(婦人雑誌大型化)/富士写真フィルム、国産初の電子計算機を完成/映画館新築ブーム。東京では映画館の4倍の452館。
5月 「読売新聞」、「日曜クイズ」を連載開始(賞金が話題、他の雑誌・週刊誌も同様のクイズを企画、クイズブーム)。
7月 今井正監督の「真昼の暗黒」、チェコ国際映画祭で入賞。
9 民芸、ハネット夫妻原作の「アンホの日記」を初演。
10月 大阪・新世界の通天閣再建。

●この年 「文藝春秋」で中野好夫の「もはや戦後ではない」を掲載。世界も「戦後」への訣別を特集。戦後は終わったかの議論が盛ん。子どもたちの間で「手塚治虫」映画ブーム。武内つなよし「志願者の道」。横山光輝「鉄人28号」が人気となり、資本マンが盛ん。ホッピンダがブーム。

- <流行歌> 「真昼の暗黒」三橋美智也/「愛ちゃんは嫁に」鈴木三三子/「若いお巡りさん」菅原史郎
<映画> 「ピュウの壺琴」日活：市川崑監督・安井昌二/「太陽の季節」日活：吉川卓巳監督・長門裕之・南田洋子
<洋画> 「わんわん物語」(米)/「オセロ」(ソ)/「居酒屋」(仏)
<話題の書物> 石原慎太郎「太陽の季節」/五味川純平「人間の条件」/島田一郎「魂」/原田康子「残夜」
<テレビ> 「チロリン村とくまの木の木」/「お笑い三人組」/東芝日曜劇場。
(CM) 「アンクルトラス」(身振)
<流行語> 戦中派/太陽族/ドライ、ウェット/一億総白痴(大宅壮一発言)

社会

- 大阪で美空ひばりショーに群衆が殺到、死者10人。
万国著作権条約公布(○記号を付記)、4.28 日本で発効。
日本住宅公団、入居者募集を始める。5.1 千葉の稲毛団地で入居開始。
学校給食法改正(中学校へも適用)。
原子力委員会、茨城県東海村を原子力研究所用地として選定(地元で反対運動)。
第1回世界柔道選手権大会開催(国技館)、夏井良吉が優勝。
東大教授尾高朝雄、ペニンシラ注射でショック死(同様の事件続発)。
赤穂防止法公布(32.4.1 施行)。
全国寺・清水寺など京都の19社寺、市の観光施設税に反対し、拝観謝絶や無料公開を行う。
東京都、喫茶店等の深夜営業(この年急増し、約8000軒)に取締条例公布。
佐久間ダム完成。
川島原埋立病院開院(お年玉つき年賀はがきの付加金で建設)。
文部省、初の全国学力調査を実施。
文部省、省令で教科書調査官を設置(教科書検定を強化)。
山形県山形市で火災。
水質汚濁大規模調査、重要工業排水中の有機水素が原因と報告。
南極探検隊、観測船宗谷で東京を出発(隊長永田武)。
国鉄、米原-京都間電化により東海道本線全線電化完成。
ソ連から最後の集団帰国者1025人、舞鶴に入港。

- 美空ひばり、国際劇場で塩酸をかけられ3週間の負傷。
南極探検隊、オングル島に上陸し昭和基地設置。2.28 南極探検隊宗谷、米海軍とぶつこめられ、ソ連のオビボに救出される。
群馬県馬場町で原射撃場で農婦が米兵グラウンドに射殺される。
最高裁、チャタレイ裁判の原告を棄却(記者・出版者の有罪確定)。
池田首相内閣総辞任、改革問題に悩む閣内閣内閣自派未遂(後任の時津風理事長、9月場所より茶屋制度廃止などを断行)。
東京・小川内ダム(昭和11年着工)、上水源地として放水を開始。政府、国民体育大会の毎年開催・開催地都道府県持ち回りを決定。
丹波山、大山康晴を破り第16期将棋名人となる(王将戦9段戦も制す)。
片島炭鉱労組、企業整備反対無期限スト、11.6 妥結。
茨城県で超低空飛行の米軍機、通行中の母子を殺傷。
原子力研究所JRR-1原子炉(クォーターボーラー型)に原子の火がともる。
ソ連のボリショイ・バレエ団、日本で初公演(新富小劇場、〜8.31)。
永田英夫ら、秋田海岸で国産ロケット1号機カッパ-C型の発射に成功。
東大原子核研究所の国産63インチ・サイクロトロン、試運転に成功。
第3回カナダ杯国際ゴルフ大会開催(西ヶ岡CC)、日本、団体・個人(中村實吉)に初優勝。

政治・経済

- 1.17 日ソ交渉、ロンドンで再開。3.20 領土問題で話し合い休会。
4.5 自民党大会、初代総裁に鳩山一郎を推挙。
4.11 日本中小企業政治連盟結成(総裁結城義介)。
4.19 衆院、新教育委員会法案をめぐって大混乱。6.30 公布(教育委員を公選から任命制に)。
4.29 農相河野一郎、モスクワで日ソ漁業交渉開始。5.14 日ソ漁業条約調印(12.12 発効)。
4.30 衆院、小選挙区制法案をめぐり大混乱。(審議未了、自民党に有利な恣意的な選挙区別を行ない「ハットマンゲーム」と呼ばれる)。
5.9 フィリピンと賠償協定調印(20年間に5億5000万ドル支払い)。
5.19 科学技術庁開庁(初代長官正力松太郎)。
6.9 沖縄米民政府モーア副長官、ブライス勅書を沖縄側に伝達(ブライスを団長とする米下院調査団、現在の軍用地4万エーカーのほか1万2000エーカーの接収、無期限使用を勧告)、反対運動高まり、島ぐるみに発展。
6.11 憲法調査会法公布(内閣に設置)。
7.8 第4回参院選(自民61、社会49、緑風5、共産2、無所属・諸派10)、革新派3分の1を確保。
7.31 重光外相、モスクワで日ソ交渉再開。
10.19 日ソ国交回復に関する共同宣言調印(平和条約は継続交渉とし、平和条約発効時に重光・色丹を返還)、鳩山首相、日ソ国交回復を花道に引退表明。
12.14 石橋湛山、自民党大会の決戦投票で、岸信介を258対251で破り総裁就任(石橋・石井光次郎の2・3位連合の勝利)。
12.18 国連総会、日本の国連加盟を全会一致で承認。
12.20 鳩山内閣総辞職。12.23 石橋湛山内閣成立(副総理格で外相岸信介)。

- 2.23 石橋首相病気のため内閣総辞職。
2.25 岸信介内閣成立(副総理格として石井光次郎入閣、他の閣僚は再任)。3.21 自民党大会、岸信介を総裁に推挙。
3.9 政府、ソ連に核実験中止申入れ(4.29 米にも申入れ)。
4.22 社会党中団長浅沼誠太郎、中国側と共同コミュニケ発表(台湾政府を認めず、日中国交回復をうたう)。
4.26 政府、参院内閣委員会で「攻撃的核兵器の保有は遠慮」との統一見解を発表。
5.20 岸首相、東南アジア6か国歴訪(〜6.4、戦後初の首相のアジア諸国訪問)。
6.19 岸首相、米大統領アイゼンハワーと会談。6.21 日米共同声明(安保条約検討の委員会設置、在日米地上軍の撤退など)。
7.10 岸内閣改造(外相に日商会議の藤山愛一郎、郵政相として田中角栄初入閣)。
8.1 米国防記者、在日米地上戦部隊の撤退を発表。33.2.8 撤退完了。
8.13 憲法調査会第1回会合(会長高橋賢三、自民17・緑風5・学識経験者17、社会党は不参加)。
10.1 日本、国連安保理事会非常任理事国に当選(33.1.1より2年間)。
10.4 インド首相ネルー、来日。
11.18 岸首相、東南アジア・オセアニア9か国歴訪(〜12.8)、経済協力や賠償問題などを協議。
12.6 日ソ漁業条約調印(33.5.9 発効)。
12.17 政府、新長期経済計画を決定(高度成長政策を継承、年率6.5%の経済成長を目標)。

●この年 「なべ底不況」始まる(〜33年末)。

三好池と水源の牧尾ダムの工事が始まりました。

昭和31年 (1956年)

昭和32年 (1957年)

33年から幹線水路の工事が本格的になりました。

愛知用水	世相
<p>1.10 入農用水土地改良区は愛知用水事業に加入を決定。</p> <p>1.20 兼見トンネル工事に着手。</p> <p>3.28 事業推進の目的をもって受益地域内の農協同組合が愛知用水対策協議会を結成。</p> <p>4月 工業用水の専用水路の工事始まる。</p> <p>5.10 牧尾ダム建設工事の請負契約を締結。</p> <p>6.11 牧尾ダム補償協定書・附属協定書・覚書を三岳・王滝両村と締結。</p> <p>7.1 富士トンネル工事開始。</p> <p>7.1 自由トンネル工事開始。</p> <p>7.1 味岡支線分水の工事開始。</p> <p>7.25 牧尾ダムの仮補切ダム一部流出。</p> <p>8.20 湖地かんがい実験農場の5試場(小牧・横須賀・東浦・美浜)を設置。</p> <p>8.26 台風17号による異常出水のため牧尾ダム仮補切の一部が流出。</p> <p>9月 松野道の工事再開。</p> <p>9.8 貸借借付金総額を700万ドルから530万ドルに減額。</p> <p>9.11 ロックフィルダム反対国民大会を上総駅前にて開催。二子持コンクリートダム建設を主張。</p> <p>11月 上野浄水場(工業)の工事着工。</p> <p>11.17 兼見トンネルの工事始まる。</p> <p>11.26 長野県知事と神戸・越立間の道路工事および費用負担に関する協定を締結。</p> <p>12.1 長野県知事より牧尾ダム本工事実施認可あり。即日工事を開始。</p>	<p>1月 吉乃花、横綱に昇進(新若時代)。</p> <p>2月 日劇でウエストン・カーニバル、ロカビリー大流行。</p> <p>5月 ナンビ受信契約100万を突破。</p> <p>7月 大相撲、6場所制に。</p> <p>9月 日本初の貸しオムツ会社登場(料金は10枚200円)。</p> <p>10月 長嶋茂雄(巨人)新人王/西鉄、日本シリーズで3連敗後に4連勝(稲尾和久大活躍)/東京放送、橋本忍作「私は貝になりたい」放映、大反響を呼ぶ。</p> <p>12月 1万円札発行/「主婦の友ダイナー」が神戸三宮に開店。</p> <p>●この年 ミッサーブームで「週刊明星」「週刊女性自身」が創刊、書生性が問題となり、中性洗剤が盛んに使われるようになる。フープ大流行。</p> <p>＜流行歌＞ 「だから言ったじゃないの」松山忠子/「おーい中村君」若原雅夫/「からたち日記」島倉千代子/「星はなんでも知っている」アヤナ/平尾昌幸</p> <p>＜映画＞ 「瀬田節子」松竹/木下忠介監督・田中絹代/「東上」大映/「人間の条件」高岩繁/「歌前集」東京映画/豊田四郎監督・轟夕起子/伴淳三郎</p> <p>＜洋画＞ 「死別台のエレベーター」(仏)/「鉄道員」(伊)/「老人と海」(米)</p> <p>＜話題の書物＞ 山本鏡五郎「鹿の木は残った」/松本清張「点と線」/注3「人間の条件」/高見順「昭和文学盛衰史」</p> <p>＜テレビ＞ 「バス通し」/「事件記者」/「光る影」</p> <p>＜CM＞ 「のり平の国定忠治」(横屋)/「りぼんちゃん、ハイ」(日本電業)</p> <p>＜流行語＞ いかす(右原裕次郎が映画で使用)/ハイティーン、ティーン/シビれる/団地族/ながら族/神さま仏さま増尾</p>
<p>1.20 長野県知事と牧尾ダム左岸普通住宅工事に関する協定を締結。</p> <p>1.21 愛知県知事、名古屋南部臨海工業地帯の造成を促進するための追加工業用水道計画について依頼文書を関係社長長へ発送。</p> <p>1.28 上野サイホン工事始まる。</p> <p>2.12 愛知県知事、名古屋南部臨海工業地帯造成計画に伴う工業用水の需要増大に関連して幹線水路の工事計画の断面変更を公団に依頼。</p> <p>2.15 牧尾ダムサイト右岸部に断層亀裂による地すべり発生。</p> <p>2.18 地すべりに伴い、王滝森林鉄道は一時運休。</p> <p>3.14 地質調査委員会発足。</p> <p>3.28 協議会に用水開発促進委員会を設置。</p> <p>3.31 今渡第1水路の工事始まる。</p> <p>4.1 大神トンネル工事始まる。</p> <p>4.1 事業の拡大に伴い関係関係事務所を愛知用水課を設置。</p> <p>4.11 神懸トンネル工事始まる。</p> <p>4.15 志段味トンネル工事始まる。</p> <p>4.15 牧尾ダムサイト地すべり応急対策工事が完了、森林鉄道が運行再開。</p> <p>5.10 公共は農林省に対し研修生として技術職員の応援を依頼。</p> <p>6.1 愛知用水土地改良区と三好池の暫定管理に関する協定を締結。</p> <p>6.1 東郷調整池(愛知池)工区を設置。</p> <p>6.3 長野営林局長と王滝森林鉄道付替に関する協定を締結。</p> <p>6.11 八幡サイホン工事始まる。</p> <p>6.20 牧尾ダム定礎式を挙げる。</p> <p>6.16 高座山トンネル工事始まる。</p> <p>9.25 長野県より、派遣職員(32人)の応援を受ける。</p> <p>9.28 矢野川サイホン工事始まる。</p> <p>10.4 大高サイホン工事始まる。</p> <p>10.10 愛知用水土地改良区事務局長に東京都農地事務局長管理部長小山邦雄就任。</p> <p>12.7 愛知用水土地改良区と耕地整備事業の委託に関する基本協定を締結。</p> <p>12.19 高蔵寺サイホン工事始まる。</p>	<p>6月 東京・上野に国立西洋美術館開館(松方コレクションを収蔵)。</p> <p>9月 炭鉱失業を救済のため、黒い羽根争奪運動が福岡で始まる。</p> <p>10月 島田一夫「かめつ」放映、270日間のロングランを記録。</p> <p>11月 交通整理の「緑のおびさん」登場。</p> <p>12月 東京で個人タクシー173人の営業許可(1台は取替り)/レコード大賞創設(第1回受賞曲「思い出がらみ」)。</p> <p>●この年 皇太子成婚のナンビ中継で、テレビの売行き急増。トランジスタラジオは1000万台突破。週刊誌ブーム。「少年サンデー」「少年マガジン」「週刊文庫」「朝日ジャーナル」など創刊。</p> <p>＜流行歌＞ 「南無上代を後にして」ペギー葉山/「黒い花びら」水原真知子/「東京ナイトクラブ」フランク永井・松尾和子</p> <p>＜映画＞ 「人間の条件」にんじんくらぶ/小林正樹監督・仲代達矢/「人っちゃん」日活/今村昌平監督・長門裕之/「ギターを持った鳥」日活/斎藤武市監督・小林旭・浅丘ルリ子</p> <p>＜洋画＞ 「灰とダイヤモンド」(ポーランド)/「さすらい」(伊)</p> <p>＜話題の書物＞ 「安本ま子」にあんちゃん/正宗白鳥「今年の秋」</p> <p>＜テレビ＞ 「スター下一夜」/「ローハイド」/「番頭はん」と「神どん」</p> <p>＜CM＞ 「パラスチョコレート」(不二家)/「ブルーサンダーフル」(花王)</p> <p>＜流行語＞ いかす(右原裕次郎が映画で使用)/ハイティーン、ティーン/シビれる/団地族/ながら族/神さま仏さま増尾</p>

社会	政治・経済
<p>1 津浦に教育基本法・教育委員会法・学校教育法・社会教育法を適用する法律を沖縄立法院の立法で公布(日本国民としての教育の所望)。</p> <p>1 富士重工設計・製作の国産初のジェット練習機T1が初飛行。</p> <p>2 第2次南無観測隊、悪天候のため昭和基地に復元不能。越冬断念。15回のカラフト大震き去りになる。</p> <p>富士重工、軽乗用車スバル360を発表(空冷2気筒350cc、16馬力)。</p> <p>3 関門国道トンネル開通式(12.5、14着工、全長3461m)。</p> <p>4 文部省、小中学校「道徳」の実施要綱を通過。</p> <p>5 神宮外苑に国立競技場落成。</p> <p>6 売春防止法の罰則規定施行。</p> <p>公立小中学校の学級定員50人制。</p> <p>7 本州製紙江戸川工場の廃水放流に子業界の漁民700人が抗議し、工場に乱入、警官隊と衝突(100人余負傷)。</p> <p>8 水産庁禁止を訴える広島一東京間1000km平和行進が広島を出発。8.11東京着。</p> <p>9 川崎市外苑に国立競技場落成。</p> <p>10 全日空ダグラスDC3型旅客機、下田沖で遭難。死者33人。</p> <p>11 小松川高校の女生徒、自殺死体で発見。9.11犯人の朝鮮人生徒(18歳)を逮捕。</p> <p>12 埼玉県ジョージン基地の米兵が小銃を暴発させ、西武電車に当たり1人死亡。</p> <p>13 国鉄、東京一神戸間電車特急こだま号の運転を開始(東京一大阪間6時間30分)。</p> <p>14 東京タワー完成式(333m、当時世界一)。</p>	<p>1.20 インドネシアと平和条約・賠償協定調印(12年間に2億2308万ドルを支払う)。</p> <p>2.4 インドと通商協定・円借款協定調印(初めての円借款180億円を供与)。</p> <p>2.5 アラビア石油設立(社長山下太郎、資本金100億円)。</p> <p>4.15 第4次日経会議、4年平ぶりに開始(12月、北朝鮮への帰還問題で中断)。</p> <p>4.25 自民党の合意で衆院解散(話し合い解散)。</p> <p>5.10 中国、5.2の長崎国賊引下げ事件の日本政府の対応に抗議し、日中貿易の停止を通告。</p> <p>5.22 第28回総選挙(自民287、社会166、共産1、無所属・諸派13)、社会党、議席・得票率(32.9%)ともに戦後の最高水準。</p> <p>6.12 第2次岸内閣成立(外相藤山愛一郎・蔵相佐藤栄作、岸・河野・大野・佐藤の主流4派が主要ポスト独占)、自民党、衆院の正副議長と16の常任委員長をすべて独占。岸内閣の高姿勢が示される。</p> <p>7.21 共産党大会開催(7-8.1)。「51年綱領」を廃止。野坂参三議長・宮本顕治書記長を選出。</p> <p>7.30 ブース高等弁務官、沖縄の軍用地一括払いの取止めを声明(11.3規定交渉妥結)。</p> <p>9.11 森山外相、米国務長官ダレスと会談。安保条約改定に合意。10.4 森山外相、マッカーサー米大使との間で改定交渉開始。</p> <p>10.8 政府、警察官職務執行法改正案を国会提出(大衆運動取締りのため。職務質問・所持品調べ・土地建物への立ち入りなど警官の権限を大幅に拡大強化)。</p> <p>11.27 宮内庁、皇太子明仁と正田美智子(日清製糖社長長女)の婚約を発表。</p> <p>12.31 池田勇人・三木武夫・池田勇吉の反主流派3閣僚、岸首相の強硬姿勢に反発し辞任。</p>
<p>1 メートル法実施(尺貫法廃止)。</p> <p>2 第3次南無観測隊、昭和基地に1年間設置された式(タロとジロ)の生存を確認。</p> <p>3 中田機化工業、証券用ボールペンを発明(以後普及)。</p> <p>3 三菱油化の四日市工場第一期工事完成(石油化学コンビナートの始まり)。</p> <p>4 皇太子の結婚パレード。テレビで中継(視聴者は推定で1500万人。受信契約は直前に200万を突破)。</p> <p>5 国民年金法公布。</p> <p>6 修学旅行専用電車、ひので号・きび号、東海道線に運行を開始。</p> <p>7 IOC総会、1964年(昭和39年)度オリンピック開催地を東京に決定。</p> <p>8 厚生省、小児マヒを指定感染症に指定。</p> <p>9 神懸・宮森小学校に米軍ジェット機が墜落(死者21人、負傷者100人)。</p> <p>10 田中聡子、200m背泳に2分37秒1の世界新記録。</p> <p>11 芝居朝子、ミスユニバースに決定。</p> <p>12 山中聡、400m自由形に4分16秒6の世界新記録。</p> <p>13 日本自動車、ダットサン・ブルーバードを発表(マイカー時代の開始)。</p> <p>14 三井鉱山、三郎連に4580人の希望退職を求めるとの整理案を提示(三池争議の始まり)。</p> <p>15 台風15号、中部地方を襲い死者5041人(明治以後最大)、被害家屋57万戸(伊勢湾台風)。</p> <p>16 水俣病問題で漁民1500人、新日本窒素水俣工場に乱入、警官隊と衝突する。</p> <p>17 運輸省、東海道新幹線に岐阜羽島駅追加を決定(政治駅と問題化)。</p>	<p>2.17 政府、米ファーストボストン社らと3000万ドルの外債発行契約調印(戦後初の外債公募)。</p> <p>3.28 社会党・経評・産水協など日米安保条約改定阻止国民会議結成。</p> <p>3.30 東京地裁裁判長伊達秋徳、砂川事件で外国軍隊の駐留は違憲と判決。4.3 検察側、黒川上告。12.16 最高裁、伊達判決確定、差戻し。</p> <p>4.10 皇太子結婚式。</p> <p>4.15 安保改定阻止第1次統一行動。</p> <p>4.23 第4回統一地方選挙(北海道で12年間の社会党知事政権。福岡で社会党知事誕生)。</p> <p>5.13 南ベトナムと賠償協定・借款協定調印(5年間に3900万ドル支払い)。</p> <p>6.2 第5回参院選(自民71、社会38、緑風6、共産1、無所属・諸派11)、新選挙会6人全員当選。</p> <p>6.18 岸内閣改組(池田勇人、通商相で入閣。池田派が主流派にまわり、河野・大野両派反主流派)。</p> <p>7.11 岸首相、欧州・中南米11か国訪問(7-8.11)。</p> <p>8.10 最高裁、砂川事件有罪の原則を事実認定の疑いありとして破棄、差戻し。</p> <p>8.13 日本・朝鮮赤十字代表、在日朝鮮人の北朝鮮帰国に関する協定調印。</p> <p>9.13 社会党大会、安保闘争批判の西尾末広を統制委員会に付す。10.15 統制委員会、西尾をけん責処分。10.25 西尾ら33人離党(10.26 社会クラブ結成)。11.25 河上丈太郎派12人離党、民社クラブ結成(河上派は残留派と分裂)。</p> <p>11.6 国府会議、次期主力戦闘機にロッキード改裝型の採用決定。</p> <p>11.27 安保改定阻止第8次統一行動で、デモ隊2万人が国会議院内に突入。</p> <p>●この年 いわゆる「重厚景気」にわく。</p>

昭和33年 (1958年)

昭和34年 (1959年)

牧尾ダムが完成、36年9月より正式に通水しました。

愛知用水

- 1.8 可児土地改良区と耕地整備事業の委託に関する基本協定を締結。
- 1.13 高蔵寺サイホン(揚水管)の工事始まる。
- 1.20 青柳野崎さき工事始まる。
- 2.18 兼山取水口の工事始まる。
- 4.1 神尾サイホン工事始まる。
- 5.10 愛知県農林部・農地関係各課の専門係員による、愛知用水地域農業計画作業室を設置。
- 5.28 農地局長・公益事業局長との間で牧尾ダム建設に伴う共同施設費の負担額の決定について申し合わせ。
- 6.4 公団は牧尾貯水池新発電所計画(王滝川発電所)に関し、関西電力に同意。
- 6.10 木曾川水系木曾川の河水引用と河川敷古用および工作物設置ならびに河川付近地内工作物設置について岐阜県知事から許可。
- 7.17 内津川サイホン工事始まる。
- 9.1 人義水路橋の工事始まる。
- 11.1 内福寺放水路工事始まる。
- 11.14 牧尾貯水池の建設に要する費用負担について公団・関電との間に覚書を交換。



世相

- 1月 津田塾大学、ランゲージ・ラボラトリー(LL)を導入。以後、各大学に普及。
- 2月 東京の電話局番が3桁になる。
- 4月 ツニー、世界初のトランジスタ・テレビを発売(8インチで6,980円)。
- 5月 初のロングサイズたばこ「ハイライト」発売/日本航空、東京-福岡間に深夜別便「ムーンライト」開設。
- 7月 国鉄、2・3等車を1・2等車に改定/初のカラーテレビ発売(17インチで4万円)。
- 9月 カラーテレビの本放送開始。

●この年 グッコちゃん人形が大流行。国内線の乗客が100万人、国際線も10万人を突破。インスタントラーメン・コーヒーが登場。

〈流行歌〉「涙よりも君を愛す」松尾和子・和田定とマヒナスターズ/カンアツの田がやむ時/西田佳知子/「涙を空」橋幸夫/「有難や守屋治」/月の法善寺横丁/森島和夫

〈映画〉「青春残酷物語」松竹:大島渚監督・桑野みゆき・川津和久/「とうと」大映:市川崑監督・早恵子・川口京子

〈洋画〉「太陽がいっぱい」/「悪いオルフス」(仏)/「ペンハニー」(米)

〈話題の書物〉松谷みよ子「電の子太郎」/松田道雄「私は赤毛」/「社夫」/「どくとりマンボウ航海記」/アダムソン「野性のエルゴ」

〈テレビ〉「ブーフーウー」

〈CM〉「カステラ」番、電話は2番(文明堂)、「歯あがり三人組」(七ツ本舗)

〈物価〉酒(1割1.8)835円/コーヒー60円/小学校教員初任給1万

〈流行語〉声なき声/所得倍増/私はウソは申しません/インスタ

- 2.1 湖田ウェット工事開始。
- 2.10 公団は、木曾川水系木曾川河水引用変更(かんがい期間の変更)許可を岐阜県知事に申請。
- 5.28 牧尾ダム完成。
- 6月 支線水路工事完成。
- 6.12 施設管理規程に関する議事録完了の告知。
- 6.26 通水式を直前にして梅雨前線豪雨による災害発生。愛知用水土地改良区は管内に5ヶ所の管理事務所を設置。
- 8月 上野浄水場(上水)完成。1日最大能力1万6,000立方メートル。
- 8.31 御岳・常盤両発電所に対する損害賠償に関する覚書を関電と締結。
- 9.30 通水式。
- 10.1 直井総裁退任し、新理事長に成田努就任。
- 10.1 愛知用水道部設置。豊川用水事業の受託に伴い「愛知用水課」を「農業用水課」と改称。
- 10.16 愛知用水管理事務所を設置。
- 10.17 木曾川水系木曾川の河水引用変更(かんがい期間の変更)が岐阜県知事から許可。
- 11月 上野浄水場(工水)完成。
- 11.30 愛知県主催「愛知用水竣工祝賀式」挙行。E.F.A.との間に「技術援助協定」に基づく設備の完了についての協定書が調印され、5年有半にわたる契約解除。
- 12.18 王滝発電所一部設計変更(揚水機他付与)等に関し関電室に同意。
- 12.20 上水道・工業用水道事業専用施設供給金および共同施設の維持管理費の負担につき愛知県と覚書を交換。
- 12.20 愛知用水事業に要する費用の負担につき愛知県と協定を締結。
- 12.20 牧尾貯水池共同施設負担金支払に関し、関電と協定を締結。
- 12.28 発電事業に関する共同施設維持管理費の負担につき関電と協定を締結。
- 12.28 兼山ダム使用料につき関電と協定を締結。

●この年 12月から工業用水の給水(上野浄水場)が始まる。

社会

- 3 三浦重雄、1214人の解雇通告を一括返上。無期監禁ストに突入。
- 23 皇太子妃、男子(胎宮地)を出産。
- 27 横浜公園体育館の島倉千代子の状謡曲ショーに観客が殺戮、12人が死亡。
- 27 警視庁、サド原作「悪徳の栄え・純」をわいせつ文書の疑いで押収。
- 27 都立大学教授竹内好、東院の安保強行採決に抗議して辞表を提出。
- 5.30 東京工業大学助教船見俊輔も辞表提出。
- 24 太平洋岸にチリ地震津波襲来。北海道南岸・三陸に大被害。
- 28 岸首相、記者会見で「声なき声」を尊重と表明。6.4 「誰でも入れる声なき声の会」のプラカードのもとに300人の主婦や市民が国会デモに参加。
- 28 元日本兵2名、グアム島から帰国。
- 28 奈良県大峰山竜泉寺、1300年続いた女人禁制を解く。
- 29 中労委、三浦重雄に対し休職を提案。11.1 解決。
- 29 北宮上演劇場で農民300人、米軍・自衛隊の演習中止を要求。うち10人が着弾地に座り込み。
- 29 東京・山谷のドヤ街で住民300人が暴動。マンモス交番に投石・放火。
- 29 加藤啓九郎、永仁の妻は自分の作品と告白。翌36年重要文化財指定取り消し。
- 31 住友銀行、フランス自動車販売と提携し、乗用車の月賦金融を開始すると発表(初の本格的消費者金融)。
- 12 自民・社会・民社各党、初のテレビ・ラジオ討論会。
- 4 東京都営地下鉄押上-浅草橋間開通。京成電車と相互乗り入れ開始(地下鉄と郊外電鉄の初の相互乗り入れ)。

- 1 日本海側の豪雪で列車100本が立ち往生。乗客15万人。車内で越冬。
- 13 大連事件生き残りの元被告坂本清馬、東京高裁に再審を請求(「歴史が解決した」として請求棄却される)。
- 19 新潟でミサイル試験場反対運動激化。
- 21 東京都、本庁職員1万人の始業時を45分繰り下げ9時15分とする初の時差出勤を実施。
- 29 日本医師会(会長武見太郎)と日本歯科医師会(会長河村俊)、医療費値上げ要求で全国一日一斉休診。
- 29 重要文化財の日光・蓮師堂(鳴き竜)焼失。
- 29 沖縄・那覇で祖国復帰市民総決起大会開催。2万人参加。
- 12 本田技研工業チーム、イギリスのマン島オートレースで125cc・250ccの両クラスに優勝。
- 21 厚生省、小児マシの生ラテチン1300万人分をソ連から緊急輸入することを決定。7.20 投与開始。
- 24 本州各地に集中豪雨。死者357人、被害家屋43万戸。
- 21 京都市電北野線(65年開通)終り、当時残っていた日本最古の市電)廃止される。
- 21 大阪・釜ヶ崎のドヤ街で暴動。2000人余の群衆が警官隊と衝突。
- 25 東京・晴海で初のソ連工業見本市開催。
- 25 第2室戸台風。最大瞬間風速84.5m以上は新記録。死者202人、被害家屋98万戸。
- 12 果敢、石炭政策転換を要求して東京でキャップランパ・デモ。
- 28 文部省、中学2・3年生全員を対象に全国一斉学力テストを実施。
- 21 ニセ1000円札(チ37号)、秋田で発見。翌年末までに343枚見つかる。

- 2.5 社会党、構造改革論を軸とする新方針決定(政策転換により平和的に社会主義に移行することをめざす)。
- 3.8 社会党大会、委員長に河上丈太郎を推挙。
- 3.31 港湾整備緊急措置法公布。
- 4.1 36年度予算成立(1兆9527億円、前年度比24.4%増。所得倍増計画初年度の概算予算)。
- 4.19 米駐日大使にライシャワー兼任。
- 6.12 農業基本法公布。農業と地産物の格差是正のため、生産の選択的拡大・構造改善・自立経営農家の育成などを進める。
- 6.12 防衛庁設置法・自衛隊法改正公布(陸上自衛隊を13師団に)。
- 7.15 国民協会設立(財界から自民党への資金調達機関。自民党組織近代化のため)。
- 7.18 池田内閣改造。佐藤栄作・河野一郎・森山愛一郎・三木武夫ら実力者入閣。
- 7.18 国防会議、第2次防衛力整備計画決定(ミサイル装備強化を目標に37年から5か年計画)。
- 7.27 共産党大会、議会制民主主義の尊重・反帝反独の民主主義革命路線の刷新を採択。
- 8.8 仙台高裁、松岡事件差戻し審で全員に無罪判決。8.21 検察、再上告。
- 9.2 政府、ソ連核実験再開決定(9.1 実施)に抗議。9.6 米にも再開とりのやめ要請。
- 10.20 第6次日韓会議開始。
- 11.2 第1回日米貿易経済合同委員会開催(日米経済協力を進める)。
- 11.14 通産省、山口県徳山・岡山県津島島の石油化学センター設立認可の方針決定(石油化学コンビナートの建設進む)。
- 11.16 池田首相、東南アジア4か国訪問(-11.30)。
- 12.12 旧軍人らによる内閣要人暗殺計画発覚。旧陸軍士官学校出身者ら13人逮捕。

政治・経済

- 1.16 岸首相ら新安保条約調印全権団訪米。1.19 日米相互協力及び安全保障条約(新安保)・施設区域米軍の地位に関する協定・事前協議に関する交換公文などに調印。
- 1.24 民主社会党結成大会。西尾末広委員長・曾根益吉書記長選出。
- 3.24 社会党大会、浅沼勲次郎委員長・江田三郎書記長選出。
- 4.28 教職員会などを中心に沖縄県国権回復協議会結成。
- 5.14 安保改定阻止国民会議、10万人が国会請願デモ。
- 5.19 自民党、衆院安保特別委で質疑打ち切りを強行。5.20 未明、新安保条約を討論なしに自民党単独で可決(以後国会は空転状態となり連日国会デモ)。
- 6.4 安保改定阻止第1次実行団(国分など早朝スト。全国で560万人参加)。
- 6.10 米大統領秘書ハガナー来日。羽田でデモ隊に包囲され米軍ヘリで脱出。
- 6.15 安保改定阻止第2次実行団560万人参加。右翼、新劇人などのデモに殴り込み60人負傷。全学連と流産(反共産党系)、国会に突入し警官隊と衝突。東大生神美智子死亡。
- 6.19 午前0時、33万人が徹夜で国会を包囲する中、新安保条約自然成立(衆院通過後1ヶ月)。6.23 岸首相、退陣を表明。7.15 岸内閣総辞職。
- 7.1 自治庁、自治首に昇格。
- 7.19 池田内閣成立。三浦重雄解決のため岸相に石田博英、初の女性大臣に中山マサ厚相。
- 10.12 浅沼社会党委員長、比谷公会堂で右翼少年に刺殺される。
- 11.20 第29回総選挙(自民29%、社会14%、民社17%、共産3%、無所属・請願者)。民社大敗。
- 12.8 第2次池田内閣成立(派閥均衡人事)。
- 12.27 政選、国民所得倍増計画を決定(高度成長を国家の政策として本格的に推進)。

昭和35年
(1960年)

昭和36年
(1961年)

愛知用水

- 2.20 牧尾ダム操作規程および兼山取水操作規程に関し、関電が同意。
3.3 昭和36年梅雨前線暴雨による災害復旧事業に要する費用の負担につき愛知県と協定を締結。
3.16 愛知用水事業に関する費用の負担について岐阜県と協定を締結。
3.23 昭和36年梅雨前線暴雨牧尾ダム関係災害復旧工事費の分担額につき関電が同意。
4.1 愛知用水施設の仮管理に関する協定を愛知県・可児土地改良区と締結。愛知県農林部農業技術課に営農指導係を設置。
5.1 愛知用水施設管理規程第6条に基づく施設の管理に関する委託協定を愛知用水土地改良区と締結。愛知用水土地改良区は公園と仮管理に関する協定を締結。
8.27 農林省・公団・愛知県は農林統謀会の基本方針を決定。
12.27 愛知用水事業に要した建設費の賦課処分を愛知・入鹿・可児各土地改良区に対し実施。
12.27 昭和36年梅雨前線暴雨による災害復旧費の賦課処分を愛知・入鹿・可児各土地改良区に対し実施。

●この年 上野浄水場、旭浄水場から上水の給水が始まる。



世相

- 1月 東京にA2型流感が流行、休校や学級閉鎖続出。
3月 テレビの受信契約者数が1000万人を突破/ピンク映画第1号、露城の「肉体的市場」封切。
4月 ゴミ箱がポリベールにかかり、ゴミの定時収集方式が始まる。
8月 東京急行バス、東京と山形・仙台・金沢若松を結ぶ長距離バスの転を開始。
12月 東京でスモッグが続き同温化。

●この年 テレビ放送が朝7時から夜12時までの全日放送となる。文芸部における女子学生の比率、全国で37%(学習院大39%、山学院66%)になり昭和後期の「女子学生亡国論」が話題。コカ・コーラ、小売店直売方式で本格的に販売。大都市の住宅難が深刻。日本住宅公団の申込み競争率52.5倍。ツイスト流行。
<流行歌> 「可愛いベイビー」中尾ミユ/「いつでも夢を」橋幸夫・吉永百合子/「遠くへ行きたい」ジュリー・ヘンリー/「下町の太陽」結城千恵
<映画> 「キューポラのある街」日活：浦山彬郎監督・吉永小百合
<洋画> 「101匹わんちゃん大行進」(米)。「野いちご」(スウェーデン)。「情事」(伊)
<話題の書物> 村山知義「怒びの若」/高橋和巳「患の器」/安部公房「女の女」
<テレビ> 「ベン・ケーシー」/「コンパクト」/「秘密刑士」/「てなもんや三笠」
CM 「スカッときわやか」(日本コカ・コーラ)
<流行語> 入づくり/無責任時代/ハイそれまでよ/総合屋/吹けばぶよな/青田買い

- 9.6 愛知県および公団は、建設負担金徴収のため受益面積再調査の実施を決定。
12月 上野浄水場の工事の給水能力、1日最大17万2,800立方メートルに拡大。

- 1月 初のテレビ長編アニメ「鉄腕アトム」放送開始(フジテレビ)。
3月 東京・教習所検査差点に騒音自動表示器設置/小松左京・足尾から、日本SF作家協会を創設。
4月 NHK、大河ドラマ「花の生涯」放映開始/大阪駅前初の複層式構造/サントリービール発売(各種ビン詰生ビール登場)。
11月 前年からのエネ札大量使用に対処するため、新1000円札(伊藤雄之助の肖像)発行。

●この年 農村から都会へ出る若者・壮年層が増加。農業従事者が4%増える。テレビの受信機約1435万台で、米に次いで世界第2位に、ウリングが大流行。
<流行歌> 「高校三年生」舟木一夫/「東京五輪音頭」三波春夫/「こゝろは赤ちゃん」岸みちよ/「浪曲子守歌」一節太郎
<映画> 「天国と地獄」黒澤プロ・東京：黒澤明監督・三船敏郎・仲代矢/「五番町夕霧楼」東映：田坂具隆監督・佐久間良子/「にっぽん見聞記」日活：今村昌平監督・左幸子・長門裕之
<洋画> 「アラビアのロレンス」/「007は殺しの番号」(英)。「大脱走」(米)
<話題の書物> 司馬遼太郎「龍馬がゆく」/河野実・大島みち子「愛と死みつめて」
<テレビ> 「花の生涯」/「ロンパーホーム」/「鉄腕アトム」/「夫婦善哉」
CM 「マーブルちゃん」(明治製菓)。「おそれいりました」(永和)
<流行語> バカンス(東レの「バカンス・ムック」から)/委員長/ハル/カワイコちゃん(年下のかわいい男性をさす)/三ちゃん/いちちゃん・ばあちゃん・かあちゃん)農産

社会

- 東京医科大学科長教授陣文書、中性洗剤の有毒性を指摘。
東京部の常任人工、推計で1000万人を突破(世界初の1000万都市)。日本電産、国産初の大型電子計算機NEAC2206を発表(記憶容量1万語)。
義務教育諸学校の教科書、無償となる。
日経連、求人難から採用試験期日を10月1日以降とする申合せの中止を決定(「青田買い」の傾向強まる)。
日本アート・シアター・ギルド(ATG)発足。
全労連同盟・全官公の25組合、全日本労働総同盟組合会議(同盟会議)結成(議長中地徳造、140万人)。
大日本製薬、西ドイツで奇型光問題が起り、サリドマイド系腫瘍薬を自主的に出荷中止。9.13 製薬5社、販売を停止。
善見発電所完工式(36万kw)。
北陸本線北陸トンネル開通(1万3870m、日本最長)。
世界最大の自衛隊輸送車(13万トン、当時世界最大のタンカー)。
厚生省、コレラ対策のため台湾バナナの輸入を禁止。
第8回原水禁絶大会、社会党・総評の「ソ連の核実験に抗議する」決議で混乱。
徳江謙一、日本人で初めて小型ヨットで太平洋横断。
国産中型旅客機YS-11、初飛行に成功。
金田正一(国鉄)、三浦重光世界新記録達成(3514km)。
若戸大橋開通式(2068m)。
富士ビロックス、初の国産電子複写機を完成(コピー時代の幕明け)。
ファイティング原田、ボクシング世界フライ級チャンピオンとなる。
最高裁、50年間無実を叫び続けた「麻呂王」吉田石松の再審請求を認める。38.2.28 名古屋高裁、無罪判決。

政治・経済

- 1.17 新選挙会政治連盟、公明政治連盟と改称。7.11 参院で公明会結成。
4月 鉄鋼生産10%強の減産、各産業に不況拡大。
5.10 新産業都市建設促進法公布。10.5 政府、全国総合開発計画を決定(新産業都市を開発拠点として過密都市問題と地域格差の解消をねらう)。
7.1 第6回参院選(自民69、社会37、公進9、民社4、共産3、参院同志会2、無所属3)、公進連全議員当選、革新系3分の1を割る。
7.6 経済企画庁長官藤山愛一郎、池田内閣の高度成長政策を批判して辞任。
7.18 池田内閣改造(外相大平正芳・経産庁長官宮沢喜一など池田の元秘書官グループが党・内閣の要職を占め「秘書官内閣」と呼ばれる)。
7.27 社会党書記長江田三郎、党全国大会で江田ビジョン発表(米の高い生活水準・ソ連の脅威に社会保障・英の議会制民主主義・日本の平和憲法の4つを基盤にした新しい社会主義イメージを打ち出す)。
9.5 運輸省、港湾埋立などで3億1000万㎡を造成する臨海工業地帯開発計画を発表。
9.19 松村謙三、北京で周恩来首相と会談、積上げ方式による日中関係改善を合意。
10.26 池田首相の私的訪問機関「国づくり」懇談会初会合。12.5 「入づくり」懇談会(茅渚可・安岡正篤・森戸辰男・松下正寿ら)発足。
11.4 池田首相、欧州7ヶ国歴訪(～11.25)。
11.27 社会党大会、江田ビジョン批判決議を232対211で採択。江田書記長辞任。11.29 成田知己を書記長に選出。
12.11 自衛隊北海道島松演習場で、地元酪農民が生活を守るため電話線を切断(忠庭事件)。

●この年 機械製品輸出が繊維製品輸出を抜く。

昭和37年 (1962年)

昭和38年 (1963年)

上野・知多浄水場から水送の給水がスタート。

愛知用水

- 4.9 公団及び愛知県は、農林省に愛知用水土地改良区昭和41年度建設費拠出金を増額し、賦課徴収するよう指導する旨申入れ。
5.20 工業用水毎秒0.3立方メートル取水に伴う施設管理規程の一部変更に関する諸手続を完了する旨告示。
11月 愛知用水土地改良区理事長ら、建設費拠出金軽減について農林省・地元選出国會議員に陳情。
12月 愛知用水土地改良区は、総代会において昭和41年度建設費拠出金を前年度と同額とし、その増額については関係機関と協議のうえ決定することとし、その差額は追加徴収することを可決。



- 3.13 愛知県は、都市用水毎秒3.805立方メートルの追加取水を公団に申入れ。
4月 水資源開発公団との統合に関連して、農林省東海農政局が行政監視局から監視を受ける。
4.24 愛知県および東海経済懇談会事務局は、行政監視局から公団の水資源開発公団への統合に関連して、水資源の開発利用に関して行政監視を受ける。
4.27 農林省東海農政局は前記の行政監視を受ける。
4.28 愛知県農地部・土木部・企画部・水道部の各課は、行政監視を受ける。
5.11 愛知用水土地改良区は、行政監視を受ける。
6.12 愛知用水土地改良区は公団の存続について関係方面に陳情。
7.4 可児土地改良区および可児町は、町営工業用水毎秒0.2立方メートルの農業用水追加転用を公団に申入れ。
8.28 公団は、建設大臣に愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、可児町工業用水毎秒0.2立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートルの取水に伴う水利権の変更を申請。
9.27 愛知用水土地改良区は、総代会において昭和41年度から18年間におたり、建設費拠出金として10アール当たり平均100円の徴収を可決。
10.6 臨時行政改革推進協議会において、公団を水資源開発公団と統合することが決定。
10.11 前記の統合結算に関する関係決定。
11.14 愛知県・岐阜県および公団は、愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートルの水利権使用の処理方針を決定。
12.4 農林省拠出金および都市用水追加供給の処理について、農林省・愛知県・公団および愛知用水土地改良区の間で基本的方針を決定。
12.28 愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、可児町工業用水毎秒0.2立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートルの取水に伴って関西電力兼山・今波発電所における減電損失の補償、水利権使用の変更の処理方針を、関西電力・公団および愛知県の間で決定。

世相

- 3月 東大・京大など各地の大学で学生の暴挙・個が増加し問題となる。
4月 土地建物にもメートル法実施、軸尺は生産禁止。
5月 資生堂、ナメー化粧品「ビューティケイタ」発売。前田美波のモデルが人気/河内「暴人の嵐」が「少年マガジン」に登場。
6月 ザ・ビートルズの日本武道館公演で、熱狂したファンが暴行、数人の若者が被害を受ける。
7月 郵便料全額上げ、はがき7円・封書15円となる。

●この年 交通事故死者数1万3904人で史上最高、「交通戦争」の語が生まれる。3C(カラーテレビ・カー・クーラー)が新三種の神器となる。
<流行歌> 「星影のワルツ」千昌夫/「君といつまでも」加山雄三/「で愛して」城京矢/「夢は夜ひらく」岡まり/「涙が乾いた」中島みゆき/「こまっちゃうな」山本リンダ
<映画> 「白い巨塔」大映/山本薩夫監督・田宮二郎
<漫画> 「戦争と平和」(ワ)/「男と女」(集)
<話題の書物> 遠藤周作「沈黙」/高橋和巳「密宗門」/阿田忠之「山十六」/毛沢東「毛沢東語録」
<テレビ> 「おはなはん」(平均視聴率50%)「サンダーバード」(完全ハトラマン)「銭形平次」
<CM> 「うちのテレビに色がない」(三洋電機)
<流行語> びっくりしたなーもう/ケロヨン/ダウーン/思い直

- 3月 高見山大五郎、外人初の関取(十両)となる/日本航空、世界一の営業開始。
4月 警視庁「交通110番」(基本車用)を新設(5月には月夜部隊設置)。
6月 自動車の保有台数1000万台を突破、レンタカーの利用も盛んになる。
12月 交通事故による「ムチ打ち症」が激増。名古屋で患者の全国協議会が発足/テレビ受信契約約2000万台を突破、普及率83.1%

●この年 ミニスカートの女王・ツイッキーの来日で、ミニスカート流行、新語を中心に「フーテン族」出現、「アングラ族」(アンダーランド族)登場、映画・テレビでは子供ブーム。
<流行歌> 「小指の思い出」伊東ゆかり/「ブルーシャトー」ジャッキー川とブルー・コメッツ/「帰ってきたヨッパライ」ザ・フォー・セダース/「旅費は二人のために」佐良山義典/「命かけても」轟悠
<映画> 「日本のいちばん長い日」東宝/岡本喜八監督・三船敏郎
<漫画> 「少年のガンマン」(秋)「ザ・ゴジラ」(冬)
<話題の書物> 有吉佐和子「華岡青洲の妻」
<テレビ> 「スパイ大作戦」/「ハニー・お美子の証言」
<CM> 「イエイエ」(レナウン)/「どこまでも行こう」(ブリヂストン)
<物価> そば(もり)160円/ラーメン100円/映画館入場料50円
<流行語> ボイソ/対談(東京都知事になった美濃部元吉のモーターキャットマシン(ボクシング・ジュニア・ウェルター級世界チャンピオンになったハワイ生まれの暴徒が暴発))

社会

- 1.13 古部における歴史的風土の保存に関する特別措置法(古都保存法)公布。
1.18 早大生、授業料値上げ反対等の要求でスト。
2.4 千葉発の全日空ボーイング727型機、羽田空港着陸直前に墜落、131人全員死亡。
2.27 第1回物価メーター(およめに行けない物価高のアラカード試題)、香居発のカナダ航空DC8型機、道志で羽田空港着陸時に墜失し、死者64人。
3.4 羽田経由で香港に向ったBOACボーイング707型機、富士山付近で墜中分解し墜落、124人全員死亡。
3.26 富山県、全国初の登山届出条例を制定、12.1実施。
3.31 法務省住民登録法による総人口、1億人を突破(1億554894人)。
4.7 千葉大付属病院医員鈴木忠、チフス菌や赤痢菌の人体実験をした容疑で逮捕。
4.20 日産とプリンスが合併、8.1日産自動車として新発足(自動車産業再編成へ)。
7.11 広島市議会、原爆ドームの永久保存を決議。
7.13 東京都教委、都立高校入試制度改革の基本方針を決定(学校群新設・内中書き系・3教科制)。
8.6 ユチボー貝塚女子/ブルーボーグチーム、ヤシカに敗れ連勝記録258でストップ。
8.16 東京都に日原警察専門委員会設置。
8.29 参院武夫・木川博・江口村郎ら学者・文化人884人、2月11日を「建国記念日」とすることに反対声明。
9.3 10歳の子どもの車にぶつけ恩謝料をせしめていた「当り屋」夫婦、入獄で逮捕。
9.29 戦中の政府接収ダイヤが廃止され、真のダイヤ。
10.13 全日空YS-11型機、松山空港から海上に墜落、50人全員死亡(戦後初の国産機事故)。

- 1.12 日本血液銀行協会、4月から献血を全奨励、献血のみをすることを決定。
2.4 厚生省、政府による初の原爆被害者実態調査結果を発表(40.11.1現在の生存被害者は29万8500人)。
2.11 初の「建国記念の日」。
3.12 青年隊訓練(16万人参加)、インターン制度に反対して医師同業試験をボイコット(受験有資格者の87%)。
4.5 岡山大学教授小林純・高野昌彦、富山県で奇病「イタイイタイ病」は三井金属銅鉱業所の廃水が原因と発表。
5.19 文部省、日本の大学・研究所への米米軍の資金援助は96件3億8700万円と発表。
5.30 東洋工業、ロータリーエンジン実用化のコスモスポーツを発表。
6.12 新潟水俣病患者13人、東海電工を相手に損害賠償請求訴訟。
8.8 新設駅構内でアメリカ軍タンク車と貨車が衝突し炎上、国電1100本が運休。
8.27 ユニバーシアード東京大会(〜9.4)、共産圏諸国不参加、日本は21種目に優勝。
9.1 毎日市ぜんそく患者、石油コンビナート6社を相手に恩謝料請求訴訟(初の大気汚染公害訴訟)。
9.16 世界キリスト教統一神学協会・聖理研究会の活動で学生の学業放棄等が問題化、原理運動対策全国父母の会結成。
9.28 上越線新清水トンネル開通、同時に全線複線化も完成。
9.29 米軍接収の原爆記録映画返還。43.4.20 NHK教育テレビで放映(大分県が人体被害部分をカットして、公開化)。
10.11 エスペランティスト山比志之進、佐藤首相の文壇文壇に抗議し、官邸前で焼身自殺。

- 1.29 第31回総選挙(自民277、社会140、民社30、公明25、共産5、無所属9)、自民党得票率、初めて50%を突破して48.80%、公明党東院初選出。
2.13 公明党大会、竹入義徳委員長・久野尚也書記長を選出。
2.17 第2次佐藤内閣内閣成立(全閣僚留任)。
4.15 第6回統一地方選挙(東京都知事に社共推薦の美濃部亮吉当選、自民党は府県議選でも都市部で後退し、都市問題対策の検討開始)。
6.21 民社党大会、西村栄一委員長・春日一幸書記長を選出。
6.30 佐藤首相、朴正熙大統領就任式に参加のため韓国訪問(首相として初の訪韓)。
6.3 公害対策基本法公布(企業の無過失責任は立法過程で削除され、「経済の健全な発展との調和」を講ずる後述の公害対策法に)。
8.20 社会党大会、藤岡田清一委員長を選出。
9.7 米、原子力空母エンタープライズの寄港を申入れ、11.2政府、寄港承認を米に通告。
9.7 佐藤首相、台湾訪問(〜9.9)。
9.20 佐藤首相、ベルマなど東南アジア6か国訪問(〜9.30)。
10.8 佐藤首相、東南アジア・オセアニア訪問(〜10.21)、南ベトナム訪問に反対して反代々木系学生連の抗議デモ、警官隊と衝突し学生1人死亡(第1次羽田事件)。
10.20 吉田茂死去、10.31戦後初の国葬。
11.12 佐藤首相、訪米(〜11.20)、抗議デモ、警官隊と衝突(第2次羽田事件)。
11.15 日米共同声明発表(小笠原諸島の1年以内の返還を確約、沖縄返還の時期は明記せず)、沖縄で7万人の抗議市民大会。
11.25 佐藤内閣改造(福田赳夫幹事長留任、田中角栄要職に就かず)。
12.11 佐藤首相、衆院予算委員会で大笠原返還に伴う米の核持込みを危惧する社会党福田知巳の質問に答え、「核を製造せず、持たない、持ち込みを許さない」の非核3原則を表明。

政治・経済

- 1.15 佐藤首相、外相として初のソ連訪問。
3.25 政府、明治100周年記念事業を国家規模で行うと決定、43.10.23を式典日に決定。
5.28 佐藤首相、インドネシア副首相と3000万ドルの緊急援助供与を共同声明(以降1970年代を通じてインドネシアは日本の最大援助国)。
5.30 米原子力潜水艦、横須賀に初入港。
6.25 国民税目法改正公布(9.15を収容の日、10.10を体育の日とする)。
7.8 政府、建国記念日審議会設置。
7.24 ソ連外相ゲロムイコ来日。
8.1 佐藤内閣第2次改造(官房長官に愛知快一)。
8.5 東京地裁、虎ノ門因有地私下げをめぐって国際興業社主小佐野賢治から1億円を徴し取った容疑で自民党代議士田中彰治を逮捕。
9.7 石川島播磨重工業、タンカー出丸(20万9000トン)の基本式(巨大タンカー時代)。
9.27 社会党、参院で共産賛成への農林中金などからの不正融資問題を追及。
10.11 運輸省航空法改正、国鉄ダイヤ改正の際、選挙区の埼玉・深谷駅に急行を停車させた問題で辞職。
11.29 国防会議、第3次防衛力整備計画大綱を決定。
12.1 佐藤内閣、自民党大会で藤山愛一郎を破って3選。
12.3 佐藤内閣第3次改造(佐藤・岸・福田の土波派中心で、「右翼片輪内閣」と呼ばれる)。
12.3 社共両党文庫のよま、第53回臨時国会開会。
12.8 建国記念日審議会、建国記念の日を旧暦元日の2月11日と答申、12.9政令公布。
●この年 下半期より景気上昇、45年に至るまで財政支出と輸出主導による高度成長を実現(いざなぎ景気と呼ばれる)/国債発行による好景気、自動車生産高第3位になる。

昭和41年 (1966年)

昭和42年 (1967年)

愛知県地域冬期農水の水利権を申請。

愛知用水

世相

社会

政治・経済

- 3.18 愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、可児町工業用水毎秒0.2立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートルの水利使用変更が建設大臣から許可。
- 4.2 愛知県愛知用水土地改良区および公団は、農民建設費借金の徴収確保のために譲渡する措置について了解。
- 9.25 愛知県地域における都市用水の水源を、本管用水系における電源開発との関連で、合理的かつ総合的に確保するために愛知県地域水利確保対策協議会発足。
- 9.28 愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、可児町工業用水毎秒0.2立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートル取水に伴う施設管理規程の一部変更に関する請願を完了。
- 10.1 愛知用水公団と水資源開発公団と統合。

●この年 高蔵寺浄水場が完成(5月)、高蔵寺ニュータウンへの給水がスタート。



- 4月 農が関ビル完成(36階147m、初の超高層・柔構造ビル)/ラジカセ信託禁止。
- 5月 たばこ値上げ(ハイライト80円、ピース100円)/大塚食品、初のトルト食品ボンカレーを発売。
- 7月 第8回参院選で、テレビの選挙速報・予想に電子計算機・電子通函機を使用/郵便番号制度実施。
- 12月 阪本市内で、初のスクランブル交差点を実行。

●この年 写水ナイロン工業、パンティストッキング発売、少年のシャワー遊び激増。スーパーの売上げがデパートを追い抜く。「あしたのジョー」「アタックNO.1」「タイガーマスク」などの漫画が昔にも人気となる。

〈流行歌〉「盛り場ブルース」森進一/「受験生ブルース」高石友也/「青春の音節」ザ・タイガース/「恋の季節」ピンキーとキラーズ/「使の消息」原ジュン

〈映画〉「原部の太陽」三船プロ・石原プロ・橋本昌監督・三船敏郎・石原裕次郎/「肉弾」ATG・岡本喜八監督・寺田義・大谷友子

〈洋画〉「卒業」「2001年宇宙の旅」「狼の恋」(米)

〈話題の書物〉大塚みな子「三匹の蟹」/司馬遼太郎「竜馬がゆく」/大友「どくとるマンボウ青春記」

〈テレビ〉「進撃ゲーム」「人の足」「エンタープライズと全学連」

〈CM〉「わんぱくともい」「丸大食品」「大きいことはいいことだ」(丸大製菓)

〈流行語〉昭和元禄/ハレンチ/ゾクゾク/とめてくれるなわっかん(東大駒場祭のボスター)/ダバルト/ノンポリ(ノン・ポリ・カルの略語、政治に無関心な学生を指す)/タレント候補

- 2.29 東大医学部学生自治会、インターン制に代る登録医制度導入等に反対して無期限ストに突入(東大紛争の発端)。
- 2.26 三平麻・芝山空海反対同盟と反日共産全学連、成田空港阻止集会(160人)、警官隊と乱闘、戸村一作同盟委員長重傷。
- 3.1 富山県神通川流域のイタイイタイ病患者ら28人、三井金属鉱業に600万円の損害賠償訴訟(第1次訴訟)、3.27厚生省、三井金属神岡鉱業所のカドミウムが主因と発表(5.8公害病と正式認定)。
- 4.15 国現庁、日本の経理で20億円の使用不明金を発表(日大紛争の発端)。
- 5.16 十勝沖地震、北海道南部、東北地方で死者・行方不明52人、家屋全半壊3677戸。
- 7.1 交通反則通告制度実施(軽微反則の反則金は現場で即決)、44.10.1交通反則点数制度実施(15点で免許停止)。
- 8.1 札幌医科大学和田寿郎、日本初の心臓移植手術を実施、10.29患者宮崎信夫(18歳)死亡(手術の是非などで問題化)。
- 8.18 観光バス2台、岐阜県加茂郡で土砂崩れのため飛騨川に転落、死者10人。
- 8.27 西鉄正三、ボクシング世界フェザー級チャンピオンとなる。
- 8.28 江夏豊(阪神)、第3回初のプロ野球新記録樹立。
- 8.25 北九州市、米の米油中毒(患者は23府県で1万4000人)で、製造元カネミ油脂製油部に営業停止通達(PCB食品公害)。
- 10.10 白バイ警官に女装の男、府中市中で日本信託銀行分支支店の現金箱盗取を襲い、現金3億円を強奪(50.12.10時効成立)。
- 12.29 東大・東京教育大(教育学部を除く)、44年度入試中止を決定。

- 1.16 社・公・共3党、エンタープライズ寄港反対を政府に申入れ、1.19-23エンタープライズ、後世保入港。
- 1.27 佐藤首相「沖縄返還は両3年内にめどをつける」と表明。
- 2.6 農相倉石忠雄、記者会見で「現行憲法は地方本願、軍艦や大砲が必要」と発言、2.23辞任。
- 2.12 社・公・共3党、日本の非核武装と核兵器禁止の決議案を国会に提出。
- 3.6 吉井善夫・田川誠一ら、北京で日中電書(LT)貿易協定調印。
- 5.26 自民党、田中角栄を中心に作成した「都市政策大綱」を発表(日本列島改造論の原型、社・公・民・共各党も都市政策を発表)。
- 5.30 消費者保護基本法公布。
- 6.10 大気汚染防止法・騒音規制法公布。
- 6.26 小笠原諸島、日本に復帰(東京都に所属)。
- 7.7 第8回参院選(自民69、社会28、公明13、民社7、共産4、無所属5)、全国区で石原慎太郎(301万票)・青島幸男・今東光・大松博文・横山ノックと、タレント5人が上位当選。
- 10.4 社会党大会、成田知巳委員長・江田三郎書記長を選出。
- 10.23 明治100年記念式典、日本武道館で開催。
- 10.29 外相三木武夫、総裁選出馬のため辞任(沖縄の核抜き本土並み返還主張、佐藤首相を批判)。
- 11.10 琉球政府主席初の公選で、即時無条件全面返還を掲げる革新統一候補屋良朝善当選、12.1都府市長に革新の平良貞松(社会大衆党)。
- 11.27 佐藤栄作、自民党臨時大会で三木武夫・前尾繁三郎を破って3選。
- 11.30 佐藤内閣改造(蔵相福田赳夫、党幹事長田中角栄、ポスト佐藤をめぐり両雄が並び立つ)。

●この年 国民総生産(GNP)1428億ドル、西独を抜き米に次いで第2位に、対米貿易収支も赤字で日本経済停滞発生。

昭和43年 (1968年)

愛知用水公団と水資源開発公団が統合。



- 2月 東京駅八重洲地下街オープン/産経新聞社、「夕刊フジ」を創刊。
- 4月 帝国劇場で「ラマンチャの男」(市川崑主演)初演/滝沢秀三、15年ぶりに解禁され復活。
- 5月 千代田区の北の丸公園に国立近代美術館が完成/大相撲、5月場所から勝負の判定にVTRを採用。
- 11月 バルコ建設店閉店。
- 12月 住友銀行、キャッシュカードと暗証番号による初の現金自動貸付機を新宿支店などに設置。

●この年 2ドア冷蔵庫が登場し、冷凍食品が出来る。反対制フォーク行、クレジットカードの利用者急増。

〈流行歌〉「今日でお別れ」宮原洋一/「長崎は今日も雨だった」内山田とアールファイブ/「透明ブルース」森進一/「フランクシーメの合」新谷のり子/「黒猫のタンゴ」菅刈あさむ

〈映画〉「心中天網島」表現社・ATG・藤田正治監督・若下志麻・中村右衛門/「男はつらいよ」松竹・山田洋次監督・渥美清・徳大寺伸

〈洋画〉「真夜中のカーボーイ」「ローズマリーの赤ちゃん」(米)/「もしも 君」(英)

〈話題の書物〉海音寺潮五郎「天と地と」/月村文雄「純愛」/佐川清「ずきんちゃん気をつけて」

〈テレビ〉「(原・前武)ザ・ゲゲゲの鬼子」「水戸黄門」「8時だヨ!全員集合」「ムーミン」

〈CM〉「オー、モーレツ」(丸善石油)/「はっぴふみふみ」(パイロット万年筆)

〈物価〉とうもろこし30円/コーヒー100円

〈流行語〉あっと驚くタメゴロウ/ニヤロメ/やっただぜパイビー/オー、モーレツ!

- 1.18 東大闘争支援の学生・市民ら、御茶の水駅・明大・中大付近の道路をバリケード占拠、交通マヒ(神田カルテラタン)。
- 1.18 警視庁機動隊8500人、東大安田講堂の封鎖解除に出動、1.19機動隊5弾4000発などを投入、封鎖解除(374人逮捕)。
- 1.24 東京都発表都知事、都営キャンブル廃止を発表。
- 2.18 日本文理学部の封鎖解除に機動隊導入。
- 4.7 連続バス10時殺害水山剛大逮捕(前年秋、東京・京都・南館・名古屋で4人射殺)。
- 5.10 国鉄運賃値上げ(相乗り30円)、1・2等制廃止。
- 5.26 東名高速道路全通(346.7km)、名神高速と結び、東京-西宮間全通。
- 6.12 日本初の原子力船むつ、東京で進水式。
- 6.29 ペペ達による新宿駅西口地下広場での反戦フォークソング集いに7000人参加、機動隊、ガス弾で規制、64人逮捕。
- 7.1 東京地裁、女子の30歳定年制は男女差別で無効と判決。
- 8.5 反共産党系各派学生組織、全国全共闘連合を結成(1万3000人、革マル派は不参加)。
- 8.17 NHK徳島、知事選で初のテレビ放送放送。
- 8.24 千葉松戸市、「すぐやる課」を設置。
- 8.24 金田正一(日人)、400勝を達成(11.30引退)。
- 8.31 文知香、高校生の政治活動禁止を通告。
- 9.5 警視庁、山梨県大宮鎮時で武闘訓練合宿中の赤軍派53人を逮捕、武器押収。
- 10.28 プロ野球選手永易将之(西鉄)、八百長に関係し球界より永久追放。
- 12.1 東京都、老人医療費無料化制実施(70歳以上)。

- 1.6 沖縄のいのちを守る市民共闘会議、BS2撤去を要求して「2・4ゼネスト」を決定、2.4BS2撤去要求の総決起大会に5万5000人(無条件全面返還運動の発祥)。
- 1.15 米ロックード社、児玉隆士夫をトライスター売込みのコンキェラントとして5000万円で契約(51年ロックード事件で明るみにする)。
- 3.10 佐藤首相、参院で、沖縄返還に際し「核抜き・基地本土並みの方針で米と折衝する」と表明。
- 5.3 自主憲法制定国民会議結成(会長岸信介)、10.16日経連代表理事岸田武、日経連総会で「憲法改正も必要」と発言(70年安保を控え、改憲論が活発化)。
- 5.16 公務員の総定員法公布(国家公務員の総定員を50万6571人に制限)。
- 5.16 政府、自主流通米制度を決定、44年度産米より実施。
- 5.23 政府、初の「公害白書」発表。
- 5.24 政府、文部大臣が大学に介入し大学紛争を収拾するための大学運営に関する臨時措置法案を国会に提出、衆参両院で実質審議なしに自民党が強行、8.3成立(8.7公布)。
- 5.30 政府、新全国総合開発計画を決定。
- 7.10 同和対策事業特別措置法公布(10年間の時限立法)。
- 7.13 東京都議選、自民党第1党に復活、社会党第3党に転落。
- 11.13 沖縄で佐藤首相訪米反対市民大会に10万人。
- 11.17 佐藤首相訪米、11.19ニクソン大統領と会談。
- 12.27 第32回総選挙(自民288、社会90、公明47、民社31、共産14、無所属16)、社会党50議の大敗、自民党は得票率は減退したが、事後入党を含め300の勝利、「70年安保」問題の決着がつく。

●この年 対米繊維輸出に、米の規制要求強まる。

昭和44年 (1969年)

愛知用水

- 4.9 公団及び愛知県は、農林省に愛知用水土地改良区昭和41年度建設費増額を申請し、総額徴収するよう指導する旨申入れ。
5.20 工業用水毎秒0.3立方メートル取水に伴う施設管理規程の一部変更に関する諸手続を完了する旨告示。
11月 愛知用水土地改良区理事長ら、建設費増額削減について農林省・地元選出国会議員に陳情。
12月 愛知用水土地改良区は、総代会において昭和41年度建設費増額を前年度と同額とし、その増額については関係機関と協議のうえ決定することとし、その差額は追加徴収することを可決。



世相

- 3月 東大・京大など各地の大学で学生の落第・留年が増加し問題となる。
4月 土地建物にもメートル法実施、短尺は生産禁止。
5月 農生党、サマー化新語「ビューティケイナ」発案、前田美津子のスター人気、「河内」巨人の星が「少年マガジン」に登場。
6月 ザ・ビートルズの日本武道館公演で、熱狂したファンが大混乱、死者が相次ぐ。
7月 郵便料全面上げ、はがき7円・封筒5円となる。

●この年 交通事故死者数1万3984人で史上最高、「交通戦争」の語が生まれる。3C(カラーテレビ、カー・オーディオ)が新三種の神器となる。
<流行歌> 「星影のワルツ」千昌夫/「君といつまでも」加山雄三/「愛して愛して」城島寛/「夢は夜ひらく」高まり/「涙が頬を伝う」水木/「こまっちゃうな」山本リンダ
<映画> 「白い巨艦」大映/山本薩夫監督・田宮二郎
<洋画> 「戦争と平和」(ツ)「男と女」(ロ)
<話題の書物> 連綿創作「沈黙」高橋和巳「邪門」阿部弘之「山十六」毛沢東「毛沢東談話録」
<テレビ> 「おはなはん」(平均視聴率50%)「サンダーバード」(実況)「メトロマン」(銭形平次)
<CM> 「うちのテレビに色がない」(三洋電機)
<流行語> びっくりしたなーもう/サロヨーン/ダヨーン/思いき

- 3.13 愛知県は、都市用水毎秒3.805立方メートルの追加取水を公団に申入れ。
4月 水資源開発公団との統合に關連して、農林省東海農政局が行政監察局から監察を受ける。
4.24 愛知県および東海経済懇話会事務局は、行政監察局から公団の水資源開発公団への統合に關連して、水資源の開発利用に關して行政監察を受ける。
4.27 農林省東海農政局は前記の行政監察を受ける。
4.28 愛知県農地部・土木部・企画部・水道部の各部は、行政監察を受ける。
5.11 愛知用水土地改良区は、行政監察を受ける。
6.12 愛知用水土地改良区は公団の存続について関係方面に陳情。
7.4 可児土地改良区および可児町は、町営工業用水毎秒0.2立方メートルの農業用水追加取水を公団に申入れ。
8.28 公団は、建設大臣に愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、可児町工業用水毎秒0.2立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートルの取水に伴う水利権の変更を申請。
9.27 愛知用水土地改良区は、総代会において昭和42年度から18年間にわたり、建設費増額として10アール当たり500円、200アールの徴収を可決。臨時行政改革閣僚協議会において、公団を水資源開発公団と統合することが決定。
10.11 前記の統合措置に関する閣議決定。
11.14 愛知県・岐阜県および公団は、愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートルの水利権の使用の処理方針を決定。
12.4 農林省および都市用水追加供給の処理について、農林省・愛知県・公団および愛知用水土地改良区の間で基本的方針を決定。
12.28 愛知県都市用水毎秒3.805立方メートル、可児町工業用水毎秒0.2立方メートル、愛知県地域冬期かんがい用水毎秒0.372立方メートルの取水に伴って関西電力兼山・今渡発電所における減電損失の補償、水利権使用変更の処理方針を、関西電力・公団および愛知県の間で決定。

- 3月 高見山大五郎、外人初の関取(十両)となる/日本航空、世界一の営業開始。
4月 警視庁、「交通110番」(基本車用)を新設(5月には月夜部隊編成)。
6月 自動車の保有台数1000万台を突破、レンタカーの利用も盛んになる。
12月 交通事故による「ムチ打ち症」が激増、名古屋で患者の全国協議会が発足/テレビ受信契約約2000万台を突破、普及率83.1%
●この年 ミニスカートの女王・ツイッキーの来日で、ミニスカートが流行。新宿を中心に「フーテン族」出現。「アングラ族」(アンダーランド)登場、映画・テレビでは怪獣ブーム。
<流行歌> 「小指の思い出」伊東ゆかり/「ブルーシャッター」ジャッキー川とブルー・コメッツ/「帰ってきたロケット」ザ・フォー・セヴンズ/「世界は二人のために」佐良山直美/「命をかけて」轟悠
<映画> 「日本のいちばん長い日」東宝/岡本喜八監督・三船敏郎
<洋画> 「夕陽のガンマン」(映)「伊」/「アルジェの戦い」(アルジュア・伊)
<話題の書物> 有吉佐和子「華国吉州の書」
<テレビ> 「スパイ大作戦」/「ハニー」田英夫の演説
<CM> 「イエイエ」(レナウン)/「Eこまでも行こう」(ブリヂストン)
<物価> そば(もり、かけ)60円/ラーメン100円/映画館入場料500円
<流行語> ボイン/月語(東京都知事になった美濃部亮吉のモットー)マツダマシイ(ボクシング・ジュニアウェルター級興業オヤジ)オンとなったハロイ生まれの暴徒が産受)

社会

- 1.13 京都における歴史的風上の保存に関する特別措置法(古都保存法)公布。
1.18 早大学生、授業料値上げ反対等の要求でスト。
2.4 千葉発の全日空ボーイング727型機、羽田空港若狭浜前に墜落、131人全員死亡。
2.27 第1回物価メーター(「およめに行けない物価高」のブレイクカード話題)、香取発のカナダ航空DC8型機、道志で羽田空港防壁に激突し机上、死者64人。
3.15 羽田経由で香港に向ったBOACボーイング707型機、富士山付近で空中分解し墜落、124人全員死亡。
3.26 富山県、全国初の登山届出条例を制定、12.1実施。
3.31 法務省住民登録集計による総人口、(他人を突破)(1億55万4984人)。
4.7 千葉大付属病院医師島崎本也、チフス菌や赤痢菌の人体実験をした容疑で逮捕。
4.20 日産とプリンスが合併、8.1日産自動車として新発足(自動車産業再編成へ)。
7.11 広島市議選、原爆ドームの永久保存を決議。
7.13 東京都教委、都立高校入試制度改善の基本方針を決定(学校群新設・内中者選考・3教科制)。
8.6 ニチボー貝塚女子/ブルーボーホルチーム、ヤシカに敗れ連勝記録258でストップ。
8.16 東京都に日原博専門委員会設置。
8. 森田武夫・木川博・江口林郎ら学者・文化人884人、2月11日を「建国記念日」とすることに反対声明。
9.3 加茂の子どもを車にぶつけ恩謝料をせめていた「当り屋」夫婦、大坂で逮捕。
9.29 戦中の政府接収ダイヤが突出され、買入手帳別。
10.12 全日空YS-11型機、松山空港から海上に墜落、50人全員死亡(戦後初の国産機事故)。

- 1.12 日本血液銀行協会、4月から買血を全廃、捐血のみとすることを決定。
2.4 厚生省、政府による初の原爆被害者実態調査結果を発表(40.11.1現在の生存被害者は29万8500人)。
7.11 初の「建国記念の日」。
1.12 青年医師連合(6大団2400人参加)、インターン制度に反対して医師国家試験をボイコット(受験有資格者の87%)。
4.5 岡山大学教授小林純・森野昌国、富山患の奇病「イタイイタイ病」は三井全統神岡鉱業所の廃水が原因と発表。
5.19 文部省、日本の大学・研究所への米陸軍の資金援助は96件3億8700万円と発表。
6.30 東洋工業、ロータリー・エンジン実用化のコスモスポーツを発表。
6.12 新潟水災患者13人、高瀬ダムを相手に損害賠償請求訴訟。
8.8 新潟県内でアメリカ軍タンク車と貨車が衝突し机上、国電1100本が運休。
8.27 ユニバーシアード東京大会(〜9.8)、共産圏諸国不参加、日本は21種目に優勝。
11 四日市ぜんそく患者、石油コンビナート6社を相手に恩謝料請求訴訟(初の大気汚染公害訴訟)。
1.16 世界キリスト教統一神学協会・原理研究会の活動で学生の学業放棄等が問題化、原理運動対策全国父母の会結成。
2.28 上越線新清水トンネル開通、同時に全線複線化も完成。
3.9 米軍神威の原爆記録映画返還。43.4.20 NHK教育テレビで放映(文部省が人体被害部分をカットして、公開化)。
11 エスペランティスト山比志之進、佐藤首相の支援で抗議し、官邸前で焼身自殺。

政治・経済

- 1.15 椎名悦三郎、外相として初のソ連訪問。
3.25 政府、明治100年記念事業を国家規模で行うと決定、43.10.23を式典日に決定。
5.28 椎名外相、インドネシア副首相と3000万ドルの緊急援助供与を共同声明(以降1970年代を通じてインドネシアは日本の最大援助国)。
5.30 米原子力潜水艦、横須賀に初入港。
6.25 国民教育法改正公布(9.15を敬老の日、10.10を体育の日とする)。
7.8 政府、建国記念日審議会設置。
7.24 ソ連外相ゲロムイコ来日。
8.1 佐藤内閣第2次改造(官房長官に愛知県一)。
8.5 東京地裁、虎ノ門国有地私下げをめぐる国際興業社主小佐野賢治から1億円を再とった容疑で自民党代議士田中彰治を逮捕。
9.7 石川島播磨重工業、タンカー船壳丸(20万9000トン)の基本式(巨大タンカー時代)。
9.27 社会党、参院で共産党への農林中金などからの不正融資問題を追及。
10.11 運輸相長瀬清十郎、国鉄ダイヤ改正の際、選挙区の埼玉・深谷駅に急行を停車させた問題で辞職。
11.29 閣内会議、第3次防衛力整備計画大綱を決定。
12.1 佐藤栄作、自民党大会で藤山愛一郎を破って3選。
12.3 佐藤内閣第3次改造(佐藤・岸・福田の主流派中心で、「右翼片輪内閣」と呼ばれる)。
12.3 社共両党文庫のまま、第53回臨時国会開会。
12.8 建国記念日審議会、建国記念の日を旧暦元日の2月11日と答申、12.9政令公布。
●この年 下半期より景気上昇、45年に至るまで財政支出と輸出主導による高度成長を実現(いざなぎ景気と呼ばれる)/国債発行による好景気、自動車生産高世界第3位になる。

- 1.29 第31回総選挙(自民277、社会140、民社30、公明25、共産5、無所属3)、自民党得票率、初めて50%を割って48.80%、公明党院初選出。
2.13 公明党大会、竹入義徳委員長・久野尚也書記長を選出。
2.17 第2次佐藤栄作内閣成立(全閣留任)。
4.15 第6回統一地方選挙(東京都知事に社共両派の美濃部亮吉当選、自民党は府県議選でも都市部で後退し、都市問題対策の検討開始)。
6.21 民社党大会、西村栄一委員長・春日一幸書記長を選出。
6.30 佐藤首相、井正樹大統帥就任式に参加のため韓国訪問(首相として初の訪韓)。
8.3 公害対策基本法公布(企業の無過失責任は立法過程で削除され、「経済の健全な発展との調和」を譲り受けの公害対策法に)。
8.20 社会党大会、藤岡田清一委員長を選出。
9.7 米、原子力空母エンタープライズの委送を申入れ、11.2政府、寄港承認を米に通告。
9.7 佐藤首相、台湾訪問(〜9.30)。
9.20 佐藤首相、ベルマなど東南アジア5か国訪問(〜9.30)。
10.8 佐藤首相、東南アジア・オセアニア訪問(〜10.21)、南ベトナム訪問に反対して反代々木系学生会の抗議デモ、警官隊と衝突し学生1人死亡(第1次羽田事件)。
10.20 吉田茂死去、10.31戦後初の国葬。
11.12 佐藤首相、訪米(〜11.30)、抗議デモ、警官隊と衝突(第2次羽田事件)。
11.15 日本共同声明発表(小笠原諸島の1年以内の返還を確約、沖縄返還の時期は明記せず)、沖縄で7万人の抗議市民大会。
11.25 佐藤内閣改造(福田赳夫幹事長留任、田中角栄要職に就けず)。
12.11 佐藤首相、衆議院議員会場で小笠原返還に伴い米の核持込みを危惧する社会党福田己の質問に答え、「核を製造せず、持たない、持ち込みを許さない」の非核3原則を表明。

愛知県地域冬期農水の水利権を申請。

昭和41年 (1966年)

昭和42年 (1967年)

愛知用水

世相

社会

政治・経済

10.1 愛知用水総合管理所設置

●この年 東郷浄水場(工業用水専用)、建設工事開始。



- 1月 北の富士・玉乃島(後に玉の海)、同時に横綱昇進(北玉時代)、NHK、音声多チャンネル開始。
3月 東京のタクシー値上げ(基本料金130円、時間・距離併用メーター、深夜・早朝割り増し料金を採用)／都内でバス優先車線登場／日へのジャンボ1番機ボーイング747型機が羽田に着陸
4月 第1回全国家庭婦人バレーボール大会開催。
8月 歩行者天国、銀座・新宿・池袋・浅草でスタート(世界で2番目のみ)。

●この年 マイカー、4世帯に1台普及。スーパーのチェーン化が進むSLブーム。
<流行歌> 「主上の夢は夜ひらく」藤圭子／「男はつらいよ」渚美津／「床敷情」加藤登紀子／「戦争を知らない子どもたち」全日本オーディオ・フォーカ・シンガーズ／「傷だらけの人生」船山汎二
<映画> 「戦争と人間」日活：山本薩夫監督・滝沢修・西田敏行／「家なき子」山田洋次監督・倍賞千恵子
<洋画> 「イーザー・ライダー」明日に向かって撃て(米)／「抵抗の島」(ユーゴ)
<話題の書物> ベンダヤン「日本人とユダヤ人」／坂井彌栄子「冠婚葬祭入門」／曾野綾子「涙のために愛するか」
<テレビ> 「艦の本は残った」「時間ですよ」「ありがとう」「聊うて愛は伝」「大江戸捜査網」
<CM> 「モーレツからビューティフルへ」(富士ゼロックス)「デイスパー・ジャパン」(国鉄)
<流行語> ハイジャック／ウーマンリブ／鼻血ブー／ヘドロ／スキップ

5月 上野浄水場、1日最大18万7,300立方メートルに給水能力拡大。名古屋市緑区、大府市、豊明市、高浜市、知多市、半田市、東浦町、阿久比町、武豊町の6市3町に給水するようになる。

●この年 台風28・29号等により愛知用水施設被災(被災箇所約1億円)。



- 1月 ニッポン放送で30時間に及ぶ第1回五郎のマラソン・ジョッキー・ジョの深夜放送人気。
5月 横綱大引退(在位58場所、優勝32回)。
6月 京王プラザホテル(新宿副都心の超高層ビル第1号)開業／第9回参院選で、テレビ政見放送。
7月 日本マクドナルド、ハンバーガー・レストランの1号店を銀座三丁内に開店。
9月 日清食品、カップヌードル発売。
10月 NHK総合テレビ、全放送のカラー化を実施。

●この年 ボウリングが人気、戦後2回目のベビーブーム。
<流行歌> 「また逢う日まで」尾崎紀世彦／「よこはま・たそがれ」五木あし／「わたしの城下町」小柳ルミ子／「おふくろさん」森進一／「水色の恋」天地真理
<映画> 「瞳という女」はるお映画：今井正監督・若下志穂
<洋画> 「ある愛の詩」「屋根の上のバイオリン弾き」(米)／「ライオン船」(英)
<話題の書物> 高野悦子「二十歳の原点」／福永武彦「死の島」／北山「戦争を知らない子どもたち」
<テレビ> 「スター誕生!」／映画ライダー(ヘンシーンが人気)
<CM> 「ガンバラなくっちゃ」(中外製薬)「クルマはガソリンで動きます」(モービル石油)
<ファッション> Tシャツとジーンズが爆発的流行、ホットパンツ流行
<流行語> 親サラ／ニアミス／シラケ／ガンバラなくっちゃ

- 1.1 日本医師会、医療費値上げ問題で4日まで一斉に休診。
1.8 沖縄全軍労、大量解雇撤回を要求し48時間ストに突入。
1.11 東大宇宙航空研究所、国産初の人工衛星おおすみ号の打上げに成功。
1.14 大阪千里で日本万国博覧会開幕(9.13.77が閉会)。
1.31 日航機よど号、赤軍派学生1人に乗っ取られ韓国に全道空路に着陸、4.3乗客ら100人を解放して北朝鮮へ(日本初のハイジャック事件)。
1.18 大阪・天六の地下鉄工事現場でガス爆発。
1.22 前年度高所得者発表。1億円以上の高所得者が前回の10倍、そのほとんどが土地成金。
1.21 東京・千代田町住民の血液や尿から多量の鉛検出。車の排気ガスによる大気汚染が表面化。
1.25 プロ野球八百長事件で、西武の池永正明ら3選手永久追放。経団連ワケタシによる乳児死亡相次ぎ、厚生省、使用中止を指示。
1.18 東京・杉並で高校生10数人、化学スモッグで倒れる(都内各地で相次ぎ)。
1.11 静岡県田子ノ瀬港でヘドロ追放の住民大会開催。
1.15 新潟大教授松本雄、スモン病の原因にキノホルムが関係すると発表。
1.22 大塚政夫、ボクシングWBA世界フライ級チャンピオンとなる。
1.14 東京・渋谷でウーマンリブの第1回大会開催。
1.25 作家の宮島由紀夫、橋の会会員4人と市谷の自衛隊に乱入しクーデターを誘ふ失敗。会員1人とその場で別腹自殺。
1.18 京浜安保共闘の3人、東京・板橋の交番を襲撃して警官1人を射殺。

- 1.15 日航条約による在日朝鮮人の協定永住権の申請期限満切、60万在日朝鮮人のうち申請者は25万7000人。
1.20 文部省、小学校教科書の公害記述で、企業寄りを改め、健康優先方針を告示。
1.1 東邦参加安中工場の子供従業員の遺体からカドミウム検出。
1.10 沖縄全軍労、3000人の大量解雇に反対して48時間全道ストに突入。
1.22 成田空港公団、1坪地主らの所有地の第1次強制代執行に着手、反対同盟抵抗。
1.15 大阪側産所で印刷した阪大と大阪市大の入試問題の抜き取り・定員が発表。
1.14 群馬県で発生した連続女性誘拐殺人事件の容疑者大久保清逮捕。
1.15 熊本国税局、本づく議の第一相互経済研究所(所長内村健一)に突入調査。
1.30 富山地裁、イタイイタイ病訴訟で住民側全面勝訴の判決を下す、三井全額控訴。
1.30 自衛隊ジェット機と全日空機、若手那覇上空で衝突、全日空機の16人死亡。
1.14 文部省、私立国大の東洋人入学による学費負担の調査結果を発表(印刷83億円)。
1.28 文部省知事、都議会「ゴミ戦争宣言」。
1.29 新潟地裁、阿賀野川水銀中毒訴訟で昭和電工に損害賠償支払いを判決。
1.23 東京八王子市で全国初のノーカーデー実施。
1.28 警視庁警備部長土田国保宅で小包爆弾が爆発、夫人死亡。
1.27 日本フィル、スト突入、「第9交響曲」演奏会中止。
1.24 東京新宿の派出所前でクリスマスツリー爆弾爆発、警官ら12人が重傷。

- 1.14 第3次佐藤内閣成立(防衛庁長官に中曾根康弘)。
2.3 政府、林拓哉特許法改正案に閣議。
2.20 政府、米の減産など総合農政の基本方針を決定(45年度産米より減反約3割)。
3.31 八幡・富士両製鉄所、合併して新日本製鉄発足(資本金2293億6000万円、従業員8万人)。
4.13 京都府知事選で社・共の藤すず晴川虎三6選。
4.19 松村謙三・岡田英三、日中覚書貿易協定に閣議。
5.1 沖縄・北方対策庁設置。
6.22 通産相宮沢喜一、米商社長官スタンズ、ワシントンで日本の対米輸出規制につき日米繊維交渉(6.24決着)。
6.25 公明党、出版妨害問題から政教分離を決定。
7.7 共産党大会、宮本顕治委員長・不破哲三書記局長を再選出。
7.14 政府、日本の呼称を「ニッポン」に統一。
7.31 中央公害対策本部設置。
9.1 政府、第3次資本自由化措置を実施(自由化率80%先強となる)。
10.20 政府、初の防衛白書「日本の防衛」を発表。
10.29 佐藤栄作、自民党臨時大会で三木武夫を破って総裁に4選。
11.15 沖縄で戦後初の国政選挙(衆院で革新3対保守2。参院は保守各1)。
12.9 社会党大会、成田知已委員長・石橋政嗣書記長を再選出。
12.4 超党派で日中国交回復促進議員連盟発足(会長藤山愛一郎、加入議員379人)。
12.18 公害対策基本法の改正(「経済との調和」条項を削除)など公害関係14法が成立。
12.20 沖縄コザ市で米軍MPの交通事故処理に怒った市民5000人が車などを焼打ちし暴動化(米軍の兵士古傷支配への不満爆発)。
12.30 外相愛知照一、駐日米大使マイケールと会談。

- 2.19 衆院、物価問題を集中審議(政府に対する要望で物価対策が第1位を続ける)。
4.11 第7回統一地方選。大阪で黒田一幸新知事誕生、東京で美濃部達吉再選。
5.12 東武工業の子会社三菱自動車工業へのクライスラー社の資本参加契約調印。
5.19 沖縄全軍労など、沖縄返還協定反対で初の24時間ゼネスト。
6.17 沖縄返還協定調印式(琉球政府屋良朝高主席、欠席)。米軍基地は存続、秘密協定で朝鮮有事の際の日本基地からの米軍出撃を認める。
6.27 第9回参院選(自民62、社会39、公明10、民社6、共産6、無所属2)。
7.1 環境庁発足(長官山中貞則)。
7.1 日本繊維産業連盟、対米輸出の自主規制を実施。
7.5 第3次佐藤改造内閣発足。
7.16 いすゞ自動車工業、米のゼネラル・モーターズと資本提携協定調印。
8.3 民社党大会、春日一幸委員長・佐々木貞作書記長を再選出。
8.6 佐藤首相、現職首相として初めて広島平和祈念式典に出席。
8.16 米国のドル防衛策で東京証券取引所ダウ暴落、ドル売り殺戮(ドルショック)。
9.21 公明党委員長竹入義徳、新宿の党本部前で暴漢に刺さる3か月の重傷。
9.27 天皇・皇后、欧州7か国を訪問(10.14帰国)。
10.1 第一銀行・日本勧業銀行、合併して第一勧業銀行発足。
10.14 運輸省、東北・上越新幹線の建設を認可。
11.17 自民党、衆院特別委員会沖縄返還協定を強行採決。
12.19 10か国蔵相会議で1ドル=308円に変更。12.20実施(スミゾニア・レート)。

東郷浄水場の建設工事が始まりました。

昭和45年 (1970年)

昭和46年 (1971年)

施設機能整備対策調査「愛知用水地区」着手。

愛知用水

●この年 国営土地改良施設機能整備対策調査、「愛知用水地区」着手。東郷浄水場(工業用水専用)からの給水開始。

1月 民放各社、電力節約で深夜放送中止(NHK、11時で放送終了)、京・大阪の国電、休日の運行停止。

3月 各地でストリーキング流行。

4月 国立博物館でモナ・リザ展、150万人が入場。

5月 地価上昇率、史上最高(32.4%) / イトーヨーカ堂、初のコンビニエンスストアを東京に開店。

6月 環境省開始による。

7月 北の湖、21歳2か月の最年少記録で横綱に昇進。

8月 長谷川一夫演劇の「ペルサイユのばら」、宝塚劇場で初演。

10月 北海道の愛国駅で発足の幸福駅の切符、4月以來300万枚突破。

●この年 買い控えて消費需要が落ち込み、倒産する会社が増加、超額金利オカルトブーム。

＜流行歌＞ 「うそ」中条あやし / 「静かなる森」森進一 / 「ひと夏の経験」山田孝雄 / 「昭和結婚しすぎ」さくらと一郎

＜映画＞ 「華麗なる一族」黒澤明：山本薩夫監督・花井蘭子・月形竜雄「赤毛の乱」日活：森田敏夫監督・秋吉久美子

＜洋画＞ 「ガラスの熱い日」(米) / 「エマニエル夫人」(仏)

＜読書の書物＞ 日清新聞「安芸野」 / パック「かまめのジョナサン」

＜テレビ＞ 「宇宙戦艦ヤマト」 / 「寺内貫太一家」 / 「パンパDEデート」

＜CM＞ 「近頃気になることがある」(花王石鹸)

＜流行語＞ 借金返済 / 狂乱物価 / 全額 / ストリーキング / 青木のレキ(種名裁定を受けた時の三木武夫の言葉) / ゼロ成長

世相

1月 民放各社、電力節約で深夜放送中止(NHK、11時で放送終了)、京・大阪の国電、休日の運行停止。

3月 各地でストリーキング流行。

4月 国立博物館でモナ・リザ展、150万人が入場。

5月 地価上昇率、史上最高(32.4%) / イトーヨーカ堂、初のコンビニエンスストアを東京に開店。

6月 環境省開始による。

7月 北の湖、21歳2か月の最年少記録で横綱に昇進。

8月 長谷川一夫演劇の「ペルサイユのばら」、宝塚劇場で初演。

10月 北海道の愛国駅で発足の幸福駅の切符、4月以來300万枚突破。

●この年 買い控えて消費需要が落ち込み、倒産する会社が増加、超額金利オカルトブーム。

＜流行歌＞ 「うそ」中条あやし / 「静かなる森」森進一 / 「ひと夏の経験」山田孝雄 / 「昭和結婚しすぎ」さくらと一郎

＜映画＞ 「華麗なる一族」黒澤明：山本薩夫監督・花井蘭子・月形竜雄「赤毛の乱」日活：森田敏夫監督・秋吉久美子

＜洋画＞ 「ガラスの熱い日」(米) / 「エマニエル夫人」(仏)

＜読書の書物＞ 日清新聞「安芸野」 / パック「かまめのジョナサン」

＜テレビ＞ 「宇宙戦艦ヤマト」 / 「寺内貫太一家」 / 「パンパDEデート」

＜CM＞ 「近頃気になることがある」(花王石鹸)

＜流行語＞ 借金返済 / 狂乱物価 / 全額 / ストリーキング / 青木のレキ(種名裁定を受けた時の三木武夫の言葉) / ゼロ成長

1月 プロ野球パ・リーグで、DH制採用を決定。

5月 100円ガスライター、チルチルミチル発売。

6月 日本リクルートセンター、「就職情報」を創刊。

10月 ハウス食品の「ワタシつくる人ボク食べる人」というインスタラーメンのCM、男女差別と指摘され放送中止。

11月 カシオ計算機、4500円の電卓を発売(低価格・販売時代到来)。

●この年 大学生が全国で200万人を突破、紅茶キノコ爆発的に流行、年々下火となる。2億円事件責任が時効となり、テレビ特別番組組む。

＜流行歌＞ 「酒のオーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」ダクンタウン・ブギウギバンド / 「シクラメンのかほり」布蘭明 / 「心のこり」細川たか子 / 「およげたいやきくん」子門真人 / 「北の宿から」都はるみ

＜映画＞ 「青春の門」東宝：満山利郎監督・田中健・大竹しのぶ・古本美雪 / 「全裸族」大映：山本薩夫監督・宇野重吉・仲代達矢

＜洋画＞ 「JAWS」ジョージ・ロウ

＜読書の書物＞ 増一雄「大宅の人」 / 有吉佐和子「複合汚染」 / 深田洋介「新西洋事情」 / 毎日新聞社「1億人の昭和史」

＜テレビ＞ 「欧ちゃんのドンとやってみよう」 / 「ナベ三郎記事・ワタシつくる人」

＜CM＞ 「ワタシつくる人ボク食べる人」(ハウス食品) / 「アイム・チャンピオン」(明治生命) / 「チョコレート」(中外製菓)

＜流行語＞ 赤ヘル / 乱塾(小学生の塾通い62%、中学生55%) / アンソンのなんなのさ / やび産 / ワタシつくる人ボク食べる人



社会

1月 東京・三鷹の住民、中央物産の倉庫から汚染1万箱を発見、2.6 セネラル石油「石油危機は1戦一退のチャンス」との文言配布が発見、2.20 伊藤忠商事の生活関連物資取引の事実発覚。

3月 日本高校野球連盟、公式試合での金属バットの使用を許可。

4月 小野田寛郎先鋒軍小銃、フィリピンのカパダグ島で救出(3.12 帰国)。

5月 筑波大学開校。

6月 伊豆半島南部で大地震、死者30人。

7月 足尾銅山鉱毒事件で、古河鉱業が補償金1億5000万円を支払う旨の調停案成立、百年公害に初の和解。

8月 神奈川県平塚市の団地で、ピアノがうるさいと隣下の母子3人を殺害。

9月 東京・丸の内三菱重工業ビル前で時間爆弾爆発(死者8人、重軽傷36人)、以後、過激派による連続企業爆破続く。

10月 8月26日に青森県大湊港を出港した原子力船むつ、独射能漏れ事故、全日本サリドマイド訴訟原告63家族と国・大日本製薬が11年ぶりに和解。

11月 長崎茂雄(狂人)、横濱を引退、11.21 元大軍監督に就任。

12月 日本人の丸山千早、国際数学界で丸山ワクチンを発表。

12.25 東京湾湾質水通でLPGタンカー第10号洋丸とリベリア貨物船衝突、死者33人。

12.28 岡山県倉敷市の三菱石油水島製油所の車道タンクに亀裂、1万5000リットルが流出し、沿岸漁業に壊滅的な打撃。

12.28 古河出身の元日本兵中村新夫、インドネシアのモロタイ島ジャンダルで発見。

政治・経済

1.7 田中首相、東南アジア歴訪(1.9 バンコクで反日デモ、1.15 ジャカルタで反日暴動、日本の利己的な経済進出への反感が爆発)。

5.24 土光敏夫、経団連会長に就任。

5.25 自民党、衆院で靖国神社法案を専断可決(参院で廃案)。

6.26 国土庁設置(長官西村英一)。

7.7 第16回参院選(自民62、社会28、公明14、共産13、民社5、無所属・諸派8)、7議席差で与野党伯仲。市川房枝復活当選、企業ぐるみ選挙問題化。

7.12 副総理三木武夫、首相の政治姿勢を批判して辞任、7.16 蔵相福田赳夫、行政管理局長官保利茂も辞任。

10.8 前首相佐藤栄作、ノーベル平和賞受賞。

10月 繊維不況深刻化、東洋紡・鐘紡・ユニチカなどが合理化・工場閉鎖を強いられる。

10月 文花隆、「田中再案研究—その全貌と人脈」を「文藝春秋」11月号に掲載、田中金権への批判広まり、参院大蔵委でも紛糾。

11.11 田中内閣改造(田中・大平・中曽根の主流3派体制を確立)。

11.18 米大統領フォード来日(米大統領として初)。

11.26 田中首相、辞意表明(福田・大平の後継争い)。

12.4 自民党院内議員総会、副総裁権者梶三郎の裁定により三木武夫を総裁に選出。

12.9 田中内閣総辞職、三木武夫内閣成立(副総理福田赳夫・蔵相大平正房)。12.26 三木首相、資産を公開(クリーン三木を打出す)。

●この年 経済実質成長率マイナス0.5%(戦後初のマイナス成長)、消費者物価24.5%上昇、狂乱物価、スタグフレーションが問題化。

昭和49年 (1974年)

1.5 藤田洋、緑の国勢調査結果を発表、乱開発で、純粋自然は国土の2割と判明。

1.7 関東甲信越老人クラブ連合会、東京・日比谷で「食べる年金」要求大会開催。

1.18 「ひかりは西へ」のキャッチフレーズとともに新幹線岡山—博多間開業。

2.21 むしの木学園長の宮城まり子、テレビ初の25時間番組で横暴を訴える。

4.19 東京・銀座と兵庫芦屋市の韓国関連企業で、東アジア反日武装戦線による時間爆弾同時爆発。

5.25 日本ダービー、馬券売上史上最高(119億6000万円)を記録。

6.8 神奈川県鎌倉の七里が閉鎖、暴走族600人が乱舞。

6.18 群馬県市長、原子力船むつでの核汚染受入れを表明。

7.16 東京都買収の日本化学工業電機工場跡地で六価クロム汚染問題化。

7.17 皇太子夫妻、沖縄のひめゆりの塔参拝中、火災ピンを投げられる。

7.18 沖縄国際海洋博覧会開幕(—51.1.18)。

7.20 足利銀行栃木支店の女子行員、愛人のために2億円を横領して逮捕。

8.4 日本赤軍、アラルランブルの米・スウェーデン両大使館を占拠、暴動派7人の釈放を日本政府に要求、8.5 政府、総法協約締結として要求を受入れ。

10.15 広島東洋カープ初優勝、地元広島を中心に赤ヘルブーム。

11.2 伊藤忠、沖縄海洋博覧会準特等太平洋横断ヨットレースで優勝、11. 榎 小枝麻子、女性準種ヨット世界最長記録で沖縄に到着。

12.26 公労協・団労など3会社5従業員すべてがスト艦ストに突入、国鉄は全線史上最長の192時間運休。

12.14 家業本願で最後の蒸気機関車(客車)が走る。(ISLブーム)。

2.6 美濃部元吉都知事、同和問題をめぐる社共対立のため不潔馬表明。

3.17 社共合意により文相補選(保守系候補は石原信雄)。

2月 完全失業率100万人を突破(不況の深刻化)。

3.9 自民党、会費6万円の「経経文化パーティ」開催(新形式の資金集め)。

4.13 第8回統一地方選挙(神奈川県知事に革新の長州—二当選、東京・大阪とも革新が勝利)。

6.16 三木首相、佐藤元首相の国民葬(日本武道館)で弔意にながらる。

6.30 日韓議員連盟結成(自民・民社議員約180人)。

7.15 公職選挙法改正・政治資金規程法改正公布。

7.17 自民党自派、経済4団体代表と会議、政治紙を再開して合意。

7.23 外相宮沢武官一訪韓、釜山で中絶していた日韓閣僚会議の早期開催に合意、9.15 第8回日韓定期閣僚会議開催。

8.5 三木・フォード日米首脳会議。

8.15 三木首相、現職首相として初めて終戦記念日に靖国神社参拝(私人の資格)。

8.28 個人、全社更生法適用を申請(戦後最大の倒産、負債2000億円)。

9.17 政府、第4次不況対策を決定(東北・越前幹線など公共事業費800億円の追加決定)。

9.30 天皇・皇后、初の訪米に出発(10.2フォード大統領と会見、10.14 帰国)。

10.31 天皇、初の公式記者会見で「原爆投下は戦時中でのやむをえぬと思ふ」と発言。

11.7 一般会計補正予算成立、歳入不足から赤字国債計上、12.24 財政特別法成立(赤字国債2兆2900億円、以後、赤字国債発行が制度化)。

12.21 本四連絡橋、尾道—今治間の大三島橋竣工(54.5.12開通)。

昭和50年 (1975年)

愛知用水

4.27 阿水川ダム事業実施方針指示。
9.28 阿水川ダム事業実施計画認可。
10.1 阿水川ダム事業を建設省から水資源開発公団が承継。
●この年 国営土地改良事業計画調査「愛知用水二期地区」着手。台風6号・17号等により愛知用水施設被災(被災額約1億円)

世相

1月 郵便料金値上げ、はがき20円・封書50円となる。
2月 平幹二郎・坂東玉三郎による「マクベス」上演。(日生劇場)。
3月 後楽園球場、人工芝となる。
5月 新幹線、乗客1000人を突破。
11月 国鉄料金値上げ(初乗り60円)/電話・電報料金値上げ(電話1分7円から10円、一般電報2倍、郵便電報3倍)。
●この年 戦後生まれが総人口の半数を超える。ジョギングブーム、ナフィン人気、公共事業による道徳の破壊が増え、埋蔵文化財保存訴訟が増える。
<流行歌> 「春一番」キャンディーズ/「横須賀ストーリー」山田百里
「かけぬぐる青春」ビューティ・ペア
<映画> 「はだしのゲン」現代ふろくしゅん・共映映画社/山田孝之
「三國連太郎・左幸子」/「大神家の一族」角川春樹事務所/市川
監督・石坂浩二/「愛のコリーダ」仏・大島渚プロ:大島渚監督/
田英子・森繁也
<洋画> 「タクシー・ドライバー」/「カッコーの巣の上で」(米)
<話題の書物> 森村誠一「人間の証明」/村上龍「限りなく透明に近い
ブルー」/司馬遼太郎「坂が如く」/山崎豊子「不毛地帯」/池田
有恒「間違いだらけのクルマ選び」
<テレビ> 「となりの芝生」/「春日悠」/「親子の加減」
<CM> 「オーソン・ウェルズのパーフェクション」(ニッポンキネマ)
<流行語> 灰色高官/記憶にございません/ゆれるまなざし/○○か
ちの○○君/ビーナッツ

社会

京都平安神宮内拝殿付近から盗火、東・西本殿、祝詞殿など焼失。
鳥取県鳥取市立病院で国内初の3つ子誕生。
本田技研工業、婦人用ミニバイク発売。
東京地裁で最後の立川基地内土地明渡し請求訴訟の和解成立(砂
川訴訟終結)。
北海道庁ロビーで時限爆弾爆発。
東京地裁、「四夜半機の下墜」をあいせつ文書と判断、野坂昭如らに
有罪判決。
横田基地公害訴訟団、米軍機の夜間飛行禁止訴訟。
歌手克美花、愛人殺害で逮捕。
日本化学工業元従業員77人、タロム機で損害賠償請求訴訟。
初の全国公害被害者団体交流会集、68団体が参加し、東京で開催。
民法・戸籍法改正(離婚後の姓の自由、戸籍簿閲覧制限廃止)。
東京地裁、ロッキード事件で丸紅前専務大久保利壽・全日空専務沢
道次らを逮捕。7.2 丸紅前専務伊藤幸夫、7.8 全日空社長若狭啓治、
7.13 丸紅前会長植山広成を次々に逮捕。
国連組織委員会、ナゴスタジラ捕獲禁止を含む捕鯨枠大幅削減を
決定。
安楽死国際会議、東京で開催。
総理府統計局、総人口の8.1%が65歳以上と発表、高齢化社会への
加速を示唆。
具志堅用高、ボクシングWBA世界ジュニアフライ級チャンピオン
となる。
酒田市で大火、1774人を焼死。
建築基準法改正(中高層ビルによる日照権侵害規制など)。

政治・経済

1.27 民社党委員長春日一幸、衆院本会議で共産党委員長宮本顯治のヌ
パイヤンチ事件(昭和8年)究明を要求、共産党、決着済みと反論。
2.4 米上院多国籍企業小委、ロッキード社の日本政府高官への贈賄を
公表、問題化(ロッキード事件)。
6.13 河野洋平ら6名、自民党を離党。6.25 新自由クラブ結成。
7.10 社会党副委員長江田三郎・公明党書記長矢野尚也・民社党副委員長
佐々木良作ら、新しい日本を考える会を結成(会長松前重義)。
7.27 東京地裁、ロッキード事件で田中前首相を逮捕。8.17 保釈金2億
円で保釈。8.20 元運輸政務次官佐藤幸行、8.21 元運輸相橋本登美
三郎を受託収賄容疑で逮捕。
8.4 京都地裁判事補泉頭史郎、布施機事総長の名をかたり三木首相に
ロッキード事件で指弾権発動を促すムセ電話(10.22 表面化)。
8.19 福田・大平・田中派ら反主流派、争党体制確立協議会結成(座長船田
中)、ロッキード事件究明に積極的な三木首相の退陣を要求。
10.12 宇都宮徳馬、ロッキード事件と全大中事件に抗議して自民党を離
党。
10.29 政府、防衛計画の大綱決定。11.5 防衛費をGNPの1%以内とする
ことを決定。
11.2 法務省、衆院特別委で田中衆安・二階堂進ら灰色高官5名を公表。
11.10 天皇即位50年式典、日本武道館で開催。
12.5 第34回総選挙(自民249、社会123、公明55、民社29、共産17、新自ク
17)、自民党敗北、衆院委員長との党争激化、18年ぶりに崩れる。
12.10 ソ連260カイリ漁業専管水域設定を布告。
12.17 三木首相、総選挙敗北のため退陣表明。12.23 自民党両院議員結
会、総裁に福田赳夫選出。
12.24 三木内閣総辞職、福田赳夫内閣成立。

知多浄水場からの給水が始まりました。

10.1 知多浄水場(上水)給水開始
●この年 上野浄水場からの上水給水区域を変更。東海市、大府市、刈谷
市、高浜市、中部水道企業団の4市1企業団となる。



4月 有楽町の日劇ダンシングチーム、最終公演/山梨県、ミレーの像
まく人」はがき3点を3億1500万円で購入。
5月 6大都市でタクシー料金値上げ(東京の基本料金330円)。
6月 たばこ「マイルドセブン」発売。
11月 小西六写真工業、世界初の自動焦点カメラ「ユニカC35AF」を
発売。
●この年 平均寿命、男72.69歳、女77.95歳で世界一となる。スナック
バーなどでカラオケが大流行。
<流行歌> 「津軽海峡冬景色」石川さゆり/「北国の春」千昌夫/「勝手に
しゃがれ」沢田研二/「ワンナダ」/「UFO」ピンクレディ
<映画> 「八甲田山」橋本プロ・東京・シネマ企画:森谷司郎監督・高倉
敏夫脚本/「宇宙戦艦ヤマト」西崎義展アカデミー:村田利雄
監督(アニメブーム)/「幸福の黄色いハンカチ」山田洋次監督・高
倉敏・信貴千恵子/「ねむの木の子がきこえる」ねむの木:宮城まり
子監督・平田安彦・宮城まり子
<洋画> 「ロッキー」(米)/「鬼火」(仏)
<話題の書物> 大岡昇平「事件」/新田次郎「八甲田山死の彷徨」/ヘ
ラー「ルーツ」/李恢成「果ててぬき」
<テレビ> 「岸辺のアルバム」/「ROOTS」ルーツ/「男たちの旅路」
「パーシード」
<CM> 「トンデレラ、シンデレラ」(大日本除虫菊)/「イリナケー」
下電器)
<流行語> 再高/熱ころがし/裸んでる/ルーフ/たたりでやー/
こぼれ/普通の女の子に戻りたい(キャンディーズ解散宣言の
由)

東京港区区内で、始ったコーラを飲んだ2人が死亡。青酸ナトリウム
検出(以後、同種事件続発)
青森県が、23年ぶりに寛せい刑取替本部設置(9月、井上陽水ら芸能
人多数検挙)。
青森マラソンに1万人余が参加、完走率55%で、死者・けが人が続
出。
山下夢梅(東海大)、全日本柔道選手権に史上最年少(19歳)で優勝。
以後リ連覇。
国立大学共通1次試験のための大学入試センター発足。
日航・全日空、定期便エアバスを大阪空港に初乗入れ。
慶応大学商学部で、入試問題漏洩事件発覚。
白井吉見の「事故のてんまつ」(「展望」)につき、川端康成の遺族が
プライバシー侵害として民事訴訟。8.16 和解成立。
和歌山県有田市で集団コレラ発生。
初の静止気象衛星ひまわり1号打上げ。
文部省、小・中学校の指導要領改正(ゆとり教育、「君が代」の国歌
廃止)。
三吉博「愛のコリーダ」の著者大島渚ら、あいせつ文書両側視点
で訴訟される。54.10.19 東京地裁、無罪判決。
王貞治(巨人)、716本の本塁打世界最高記録樹立。9.5日民栄賞第
1号受賞。
パリ発東京行きの日航機、日本赤軍にハイジャックされダッカ空
港に着陸。
福岡地裁、カネと油断事件につき、被害者側全面勝訴の判決。
大阪で全国初のサラ金被害者の会結成。
ハイジャック防止法案成立。
米軍立川基地、32年ぶりに全面返還。

1.21 「1兆円減税」で5野党間の足並みそろそろ。
1.27 東京地裁、ロッキード事件丸紅ルート初公開。1.31 全日空ルート
初公開。
3.26 社会党副委員長江田三郎、社会主義協会と対立して離党。社会市民
連合結成の意向を表明(5.22 急死、後継江田五月)。
4.26 革新自由連合発足(代表中山千夏ら)。
4.29 ソ連、日ソ漁業条約の廃棄を通告。5.27 領土問題を棚上げにして日
ソ漁業暫定協定調印。
5.2 政府、領海法案(領海を3カイリから12カイリに拡大)及び200カイ
リ漁業水域法制定の方針を決定(海洋2法。7.1 施行)。
5.7 福田首相、先進国首脳会議(ロンドン)で日本の52年度実質経済成
長率6.7%達成を約束。
5.9 社会党委員長成田知巳、反自民の全野党政権構想を提言。
6.3 衆院本会議で独占禁止法改正案が可決、成立。
7.10 第11回衆院選(改選を含め自民124、社会56、公明28、共産16、民社
11、新自ク4、諸派3、無所属9)、保守連帯はなく、自民党は相対的
安定へ、宮本顯治・八代英夫初当選。
7.10 公明・民社両党、連合政府樹立を目的とした合意書に調印。
8.6 福田首相、東南アジア6か国訪問出発。
9.26 航空自衛隊、国産支援戦闘機F1を三沢に配備。
9.27 社会党大会で、新しい流れの会の綱領発効・田英夫・森豊、離党。
9.28 飛鳥田一雄横濱市長、委員長不出馬声明。
11.1 大蔵省、外債準備高(10月末現在)を史上最高の195億7700万ドルと
発表。
11.28 民社党大会、佐々木良作委員長・塚本三郎書記長を選出。
11.28 福田内閣改組、対外経済担当相を新設、牛場信彦(元駐米大使)を起
用。
12.13 社会党大会、飛鳥田一雄委員長・多賀谷直樹書記長を選出。

昭和51年 (1976年)

昭和52年 (1977年)

愛知用水 世相 社会 政治・経済

7.27 愛知用水水利修繕変更(期間更新)。
 8.18 愛知用水二期事業計画に関する農林省、愛知用打ち合わせ。
 9.16 愛知用水二期事業等の推進に関する県首脳会議。

3月 東京・原宿に「ブティック竹の子」開店(この店が考案した白色パーレム・スーツを着て踊る若者が増え、竹の子族と呼ばれる)。
 7月 国鉄運賃値上げ(初乗り運賃80円)。
 9月 京都市の市電全廃。
 10月 西武グループ、プロ野球クラウンライター・ライオンズを買収。沢を本拠地とする西武ライオンズ誕生。
 11月 ラジオの周波数、一旦に変更。

●この年 各地で観劇以来の酷暑、郊外レストラン(すかいーく、ニュー・ロイヤルホストなど)が盛況、ディスコブーム、健康ブーム、女性のブーツがブームに(500万足生産)。
 <流行歌> 「夢追い酒」高美二郎/「与作」北島三郎/「プレイバックPart2」山口百恵/「ガンダーラ」ゴダイゴ
 <映画> 「サード」東映社・ATG:東陽一監督・永島敏行/「曾根崎心中」ATG・行動社・木村プロ:増村保道監督・梶芽衣子・宇崎竜童/「事件」松竹:野村芳太郎監督・松坂慶子・大竹しのぶ
 <洋画> 「未知との遭遇」スター・ウォーズ/「サタデー・ナイト・フィーバー」(米)
 <話題の書物> 有吉佐和子「和宮様御間」/中沢けい「海を感じる時」/村談一「野性の証明」/吉行淳之介「夕暮まで」/「ガムブレイス」藤本性的の時代
 <テレビ> 「おていちゃん」24時間テレビ・愛は地球を救う「強力13歳」/「ホロコースト」
 <CM> 「あなたが主役」(サントリー)/「君の胸は10000ガット」(資生堂)
 <流行語> サラ金/アーワー(大平首相のしゃべり方)/不確実性の代/窓がわ族/家庭内暴力/稼働機/減量経営/ナンナチャ

東京・下北沢で制服警官が女子大生を警官(現職警官による不祥事相次ぐ)。
 法律確立をめざす人々の会結成。
 東京で地名を守る会設立。
 成田空港管理棟に過激派乱入、管制塔内機器類を破壊。3.28の閉鎖予定延期。
 キャンディーズ、後楽園でキョナラコンサート、5万人が参加。藤井寺市の神津城古墳から本製のそり(飾羅)発見。
 VAN倒産。
 東京で国内初の女性フルマラソン開催。
 早稲レガッタ、17年ぶりに隅田川で復活。
 建設隊1万人の破産体制の中、成田空港開港式、反対同盟、総決起集会。
 鎌倉被害者の会、鎌倉110番を創設、苦情の第1位は深夜スナックのカラオケ。
 東京・両国の花火大会17年ぶりに復活、80万人が墨田川に参集。
 沖縄県、「車は左、人は右」の交通へ切替え実施。
 第1回国民政治に国民全党賛。
 最高裁、大相事件の上告を棄却、これにより戦後の4大騒乱事件すべてが決着。
 時玉里教養、稲高山古墳出土の鉄剣に刻まれた文字115を解説と発表。
 警視庁、サラ金等貸金業和の実態調査結果を発表。
 川田進輔議員(本ズ)講)防止法公布。
 飯塚、ドラフト会議で江川卓を指名、前日の巨人・江川の契約発表、球界大混乱。
 筑波大生180人、茨城県議選で買収され不在者投票発見。

1.4 共産党、党機関紙「赤旗」で前副委員長持田見晃を統制委員会(52.12.30)で除名処分にしたことを発表。
 3.1 社会党、初の委員長公募で飛鳥田一雄を信任、横濱市長辞任。
 3.26 社会民主連合結成(代表田英夫)。
 4.9 京都府知事選で、自民推薦の林田惣紀夫当選、28年間続いた越前革新府政終る。
 4.28 自民・公明・民社・新自々の4党、衆院に「新東京国際空港の安全保障に関する緊急措置法案」(成田立法)を共同提出(5.12 可決、成立)。
 5.23 中道革新勢力結集をめざす超党派政策集団「21世紀クラブ」発足(発起人神奈川知事長岡一也・岐阜経済大学教授佐藤昇ら)。
 6.14 元号法制化促進国会議員連盟発足。7.18 元号法制化実現国民会議発足。
 7.27 福田首相、閣議で「有事立法研究の促進」を改めて指示。
 8.12 日中平和友好条約調印。
 8.15 福田首相、首相の肩書で韓国神社に参拝。
 9.5 福田首相、中東4か国訪問出発。
 9.21 高橋洋一、「防衛庁における有事法制の研究について」を発表。
 10.17 政府、「昭和」後の元号問題につき、従来の内閣告示方式から、法制化での存続方針に変更。
 10.22 中国副首相鄧小平来日。
 10.31 円高、1ドル=175円50銭を記録。
 11.1 米下院フレージャー委員会、全大中事件はKCIA(韓国中央情報部)の発行と断定。
 11.27 日米安全保障協議委員会、「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)」を決定。
 12.1 自民党臨時大会で幹事長大平正芳を新総裁に選出。
 12.7 第1次大平内閣成立(幹事長森田邦吉)。

昭和53年 (1978年)

10.22 向水川ダム変更事業実施方針指示、味噌川ダム事業実施方針指示(55.2.20 現事業実施計画認可)。
 ●この年 国営かんがい排水事業「愛知用水第2期地区」着手。



3月 インベーターゲーム、流行し始める/きざみたばこの生産中止。
 5月 国鉄運賃値上げ、初乗り運賃100円となる。
 7月 ソニー、ヘッドホンステレオ「ウォークマン」を発売。
 9月 6大都市のタクシー料金を値上げ、基本料金が380円となる/日本乳、パーソナル・コンピュータPC8001発売(本体価格16万8000円/パソコンゲームのきっかけとなる)。

●この年 岐阜県に登場した「日焼け女」の流行が日コによって全国広まる。子どもたちに「ドラえもん」大人には「かんぱね」が流行。
 <流行歌> 「YOUNG MAN」西城秀樹/「思えろいい女」ツイスト/「告白宣言」さだまさし/「おもいで酒」小林幸子/「贈る言葉」演歌/「おやじの海」村木賢吉
 <映画> 「復讐するは我にあり」松竹・今村プロ:今村昌平監督・緒方幸三/「銀河鉄道999」東映:りんたろう監督/「もう根づきはつかない」あinger・ATG:東陽一監督・梶井かおる
 <洋画> 「ディア・ハンター」(米)
 <話題の書物> 水上勉「全開北上」/岡地文子「食卓のない家」/五木寛之「四季・奈津子」/和泉宗京「天中殺入門」
 <テレビ> 「あめりか物語」/「三年お組金八先生」
 <CM> 「輝しでれ、冷しつけ機」(ハウス食品)/「かんぱね/ヌッポ」(美津濃)
 <流行語> ウサギ小屋/ワンパター/夕暮れ族(若い女性と中年男の恋のカップル)/エガワも/天中殺/地方の時代/インベーター/ダサイ

初の国立公立大学共通一次試験実施。
 奈良市田原町で大安宮の草葺出土。
 上越新幹線の大清水トンネル貫通(供養最長の山崎トンネル、2万2228m)。
 大阪市住吉区三聖銀行北島支店に強盗強姦、人質40人とともに襲撃。1.28 犯人梅田昭美射殺により解決。
 江川卓、飯塚に入社、コミッション一女子親の要望により即日巨人小林繁とトレード、決断発表。
 札幌市で銀行のオンラインシステムを悪用した盗料請求事件。
 政府、ピー時層19℃以下などの石油消費削減対策を発表。
 防衛省の対日戦略基本文書で、日本人を「ウサギ小屋に住む働き気強い」としていることが判明。
 福岡市の高校教師、卒業式でジャズ調の「君が代」を演奏し免職となる。
 ゴッソンスランド、日曜・祝日全面休業を実施。
 千葉県津市神野で飼育されていたトラ2頭が脱走、27日間に及ぶトラ狩りで400人動員。
 文部省、40人学級実現を柱とした第5次教職員定数改善計画案を発表。
 成田川でカラ出張判明、以後、郵政省・総務省など中央官庁でも判明し、問題となる。
 成田空港でKDD社員の装身品不正持ち込みが発覚。10.18 会社ぐるみの組織的密輸と判明。
 本曾御岳山、史上初噴火。
 東海地震に備えて初の総合防災訓練、6都で約150万人参加。
 東京で第1回国際女子マラソン開催(初の公式女子フルマラソン、英のジョイス・スミス優勝)。

1.17 国際石油資本(メジャー)、対日原油供給の前減通告(第2次石油ショック)。
 2.14 衆院予算委、ダグラス・グラマン航空機不正取引疑惑で日商岩井社長横田三男・副社長長瀬八郎らを証人喚問。
 4.8 第9回統一地方選挙、各党、「地方の時代」の政策理念を掲げる。
 4.30 大平首相訪米、5.2 カーター大統領と経済摩擦について協議。
 6.6 元号法案参院可決、元号が法制化される。
 6.28 第5回先進国首脳会議(東京サミット)開催、大平・カーター(米)・シュミット(西独)・ジスカールデスタン(仏)・サッチャー(英)・アンドロポフ(伊)・アラウケ(加)・ジェンキンス(EC)出席、各国別の石油輸入抑制目標を決定した「東京宣言」を採択。
 7.17 防衛庁、中期業務見直し(55年度から59年度までの5か年の防衛力整備計画)を決定。
 7.25 防衛庁長官山下元利、現職長官として初の韓国訪問。
 8.6 社会党内の自主管理研究会議、党の綱領的文言「日本における社会主義への道」を批判(「道」論争起る)。
 10.7 第35回総選挙(自民248、社会107、公明57、共産39、民社35、新自4、社民22、無所属19)、自民党、衆院での「安定多数」確保に失敗、事実上の「敗北」感が党内に広がる。
 10.15 共産党委員長宮本顕治、社会党の右傾化を批判し、社会党の公明党への接近姿勢を牽制。
 11.3 飛鳥田社会党委員長、社会党の現職委員長として初の訪米に出発。帰国後、日米安保の「合意廃棄」論を表明。
 11.9 第2次大平内閣成立(官房長官伊東正義)。
 12.21 衆参院本会議で財政再建に関する決議案(一般消費税反対)を採択。

昭和54年 (1979年)

味噌川ダムの事業実施方針が出されました。

愛知用水二期事業促進期成同盟会が設立されました。

愛知用水	世相	社会	政治・経済
<p>7.11 東海農政局は、愛知県と岐阜県に対して、愛知用水二期地区計画(案)の概要説明会</p> <p>7.25 3土地改良区、上・工水協議会、可児町は、愛知県、岐阜県、水資源開発公団等に対して、愛知用水二期事業の推進に関する陳情。</p> <p>7.28 愛知県は、関係省庁および水資源開発公団に対して愛知用水二期事業の推進に関する陳情。</p> <p>10.13 水資源開発公団は、愛知県と岐阜県に対して愛知用水二期事業(56年度概算要求)説明会を開く。</p> <p>12.16 愛知用水二期事業促進期成同盟会設立。会長に山田紀夫愛知用水土地改良区理事長、会員は関係土地改良区関係市町、上・工水協議会など34団体。</p>	<p>1月 パンダのホアンホアン、北京から上野動物園に到着。</p> <p>3月 都市銀行6行、現金自動支払い機のオンライン提携を開始。</p> <p>4月 電力・ガス料金の大幅値下(電力平均50.8%、ガス平均45.3%)。たばこ値上げ(セブンスター180円になる)。</p> <p>5月 富士通、日本語電子タイプライター発売(ワープロ普及へ)。</p> <p>6月 気象庁、東京地方で降水確率の予報を開始。</p> <p>●この年 全国的冷夏、校内暴力・家庭内暴力急増、自動車の生産台数1100万台で世界一に、ワービート、紳士・安全、B&Bなどの流行ブーム。</p> <p>《流行歌》 「ダンシング・オールナイト」もんだとブラザーズ/「雨の情」八代亜紀/「風は秋色」松田聖子</p> <p>《映画》 「天平の掬」製作委員会・橋本昌典画：猪俣勝彦・中村喜津雄 田村高広/「影武者」黒澤プロ・東宝：黒澤明監督・仲代達矢 「ツイゴトルワイゼン」シネマ・プラセート：鈴木清順監督・芳雄・大谷友子</p> <p>《洋画》 「地獄の黙示録」/「クレイマー・クレイマー」/「若い贈り物」(米) 「桜」(中国)</p> <p>《話題の書物》 太田信「桜々のうた」/山口百恵「若い時」/NHK取材「シルクロード」</p> <p>《テレビ》 「シルクロード」/ザ・南社「小児病棟」</p> <p>《CM》 「それなりに」(富士フィルム)、「宮崎美子の水着」(ミネラル) 「ピッカピカの1年生」(小学館)</p> <p>《流行語》 クレイマー家庭(女子家庭のこと)/カラスの勝手/それなりに/竹の子族</p>	<p>2.12 徳本市、重慶サリドマイド被害の女高生を全国で初めて公務員に採用。</p> <p>2.29 動物愛護団体の米人、長崎県佐賀でイルカの飼育網を切断、250頭を放す。</p> <p>3.8 早大法学部で入試問題の漏洩発覚、56.5.6 46年度以降の不正入学者59人の除籍を決定。</p> <p>3.7 山口百恵、結婚発表(以後、百恵フィーバー続く)。10.5 日本武道館で最後のワンマンショー。</p> <p>4.25 トラック運転手大貫久男、東京・銀座の道路橋で現金1億円入りのふろしき包みを拾得、11.9 時給で所有者となる。</p> <p>4.24 JOC総会、奥例の採決(29対13)でモスクワ五輪不参加を決定。</p> <p>5.28 藤本勤(巨人)、3000本安打達成。</p> <p>7.3 「イエスの方舟」教祖石川順賢、女性多数との2年の集団失踪から出現し逮捕。</p> <p>8.14 富士山砂走り登山道で落石、死者12人。</p> <p>8.16 国鉄静岡駅地下街でガス漏れ大爆発、死者14人。</p> <p>8.19 新潟県西口で浮浪者達の男が京王帝都バスに放火、6人焼死、19人重傷。</p> <p>9.3 30年間消息不明の元共産党政治局員伊藤律、北京より帰国。</p> <p>9.11 埼玉野郎、所沢市の美奈会富士見産婦人科病院の理事長北野早苗を無免許診療の疑いで逮捕。</p> <p>9.15 奈良・東大寺大仏殿の昭和修理完了、落成式挙。</p> <p>12.21 長崎造船監督(人)解任、11.4 王貞治引退、助監督就任。</p> <p>12.20 栃木県川治温泉の川治プリンスホテル全焼、45人焼死。</p> <p>12.29 2歳中の予備校生、川崎市内高級住宅地で両親を金属バットで撲殺。</p>	<p>1.10 社会・公明両党、連合政権構想で正式合意。</p> <p>2.6 統一戦線促進労働懇談会(共産党系)、総評大会で社・公合意を盛り込んだ共同方針案に異議を唱える。社・共対決ムード高まる。</p> <p>3.6 沢田幸一議員(自民)のラスベガス賭博事件発覚(4.11 議員辞職)。</p> <p>4.25 政府、日本オリンピック委員会にモスクワ大会不参加の最終見解を発表。</p> <p>5.16 社会党提出の内閣不信任案、自民党非主流派の欠席で可決、5.19 衆院解散。</p> <p>5.24 共産党委員長本間清治、「民主連合政府の当面の中心政策」を発表。6.4 社会党委員長飛鳥田一雄、神戸市で「国民共同の緊急・民主主義政府」の樹立を提唱。6.5 公明党委員長竹内義勝、福岡市で連合政権の「政治原則と基本的政策の大綱草案」を発表。6.16 民社党委員長佐々木良作、福岡市で事実上の自・社・公・民の大連合を提唱。</p> <p>6.12 首相大平正芳、急死。</p> <p>6.22 衆・参両院同時選挙(衆院：自民284、社会107、公明33、民社32、共産29、新自12、社民連3、無所属7、参院：非改選を含め自民135、社会47、公明26、共産12、民社11、新自12、社民連3、無所属13)、自民党の区勝に終わる。</p> <p>7.17 鈴木善幸内閣成立(幹事長塚内義雄)。</p> <p>8.15 鈴木内閣の閣僚18人、一斉に退任辞呈提出。</p> <p>8.15 政府、「徴兵制は憲法違反」とする答弁書決定。</p> <p>10.13 公明・民社・社民連・新自共の中道4党の第1回協議会。</p> <p>10.23 自民党内閣の本棚クラブ発足(会長二階堂進)。</p> <p>12.12 日米防衛首脳定期協議、米、日本の防衛力増強を強く要請。</p>
<p>2.6 自由民主党、愛知用水事業関係議員懇談会発足。</p>	<p>1月 大間真ノ花、赤位50場所の最長記録を残して引退/郵便料全上げ、社費60円(4月1日からはがき40円となる)。</p> <p>3月 厚生省、全国のベビーホテルの一点検核(94%の施設に欠陥)。</p> <p>4月 ノーパン喫茶急増。</p> <p>7月 東京・大阪・名古屋の3都市で電子郵便(ファクシミリ)開始(1通4円)。</p> <p>11月 本田技研工業、若エネ車「シティ」発売。</p> <p>●この年 宅急便が郵便小包の取扱数を抜く。アラレちゃんや機動戦士ガンダムなどのキャラクター玩具が大流行。ガンが脳卒中を患って死因の1位になる。「FOCUS」「Can Cam」など新刊。</p> <p>《流行歌》 「ルビーの指環」寺尾聰/「恋人よ」五輪真弓/「スニーカー」近藤真彦/「奥飛騨慕情」竜崎孝志</p> <p>《映画》 「ええじゃないか」松竹・今村プロ：今村昌平監督・橋本かおる 「機動戦士ガンダム」日本サンライズ：富野喜幸監督</p> <p>《洋画》 「エレファント・マン」(米)/「ブリキの大鼓」(西独)</p> <p>《話題の書物》 井上ひさし「吉原吉原人」/黒柳徹子「宮ざわのトッちゃん」(戦後最大のベストセラー、10か目で400万部)/ついでに「富田行進曲」/田中康夫「なんとなくクリスタル」</p> <p>《テレビ》 「おんな大團圓」/「夢日記」/「おれたちのひょうきん族」(本園から)</p> <p>《CM》 「ハエハエカカキンチョール」(大日本除虫菊)/「ビッツニパン」(森永)</p> <p>《流行語》 ハチの一刺し/ブリッチ/熟年/クリスタル/なめん(セラー服や学生服を着た婦人のボディ写真のタイトルから)</p>	<p>11 千葉熱心事上統一、49年の知事選中に不動産業者から5000万円受取が判明、2.16 辞表提出。</p> <p>2.15 「ヤコナラ甘劇フェスティバル」開幕。</p> <p>3.2 中国留學日本人帰国47人、初の正式来日(26人が身元判明)。</p> <p>3.20 神戸で博覧会「ポートピア81」開幕(→9.15、入場者数1600万人)。</p> <p>4.18 日本原子力発電所高圧電圧所で高圧の放射能漏れ発見。</p> <p>5.25 障害に関する用語整理の法律公布、差別的用語を改める。</p> <p>6.15 パリ警視庁、オランダ人女性留学生殺害事件のババ大学日本人留学生逮捕。</p> <p>6.6 広島原爆記念日に原爆ドーム横で抗議の「ダイ・イン」行われる。</p> <p>7.14 中央選挙審議会、丸山ワケタンの対価有効性は確認できないと結論。</p> <p>7.22 右派で遠東航空旅客機墜落、作家の向田邦子ら日本人18人死亡。</p> <p>7.5 三和銀行大阪支店支店女行員、オンライン・システム運用による1億3000万円の詐欺が発覚、9.8 マニラで逮捕。</p> <p>7.16 東京夕雲新報でガス突出事故(救急隊10人を含め93人死亡)。</p> <p>7.19 東大教授権藤一、フロンティア電子理論によりノーベル化学賞受賞。</p> <p>7.28 東京地裁ロッキード裁判丸紅カード公判で権被告の前夫人三恵子、「権本が5億円受取を認める発言をしていた」と証言(権の一刺し)発言で話題になる。</p> <p>8 公共事業受注をめぐる建設業者間の談合が明るみに出る。</p>	<p>1.6 政府、2月7日を「北方領土の日」と決定、2.7 各地で返還運動集合。</p> <p>1.8 鈴木首相、ASEAN5か国訪問に出発(1.20 帰国)。</p> <p>3.11 国鉄経営再建特別措置法施行令公布、赤字ローカル線77を廃止。</p> <p>3.16 臨時行政調査会(第2次、会長土光敏夫)初会合。</p> <p>5.1 乗用車対米輸出自主規制、168万台で合意。</p> <p>5.4 鈴木首相訪米、5.8 鈴木・レーガン会談(ワシントン)での共同声明に「同盟関係」を明記。</p> <p>5.15 鈴木首相、閣議で日米共同声明の「同盟関係」の内容は軍事の側面を含まないとの判断を示し、外交当局者に不満を表明。伊東外相・高島外務次官が責任を取り辞任。</p> <p>5.17 元駐日大使ライシャワー、核搭載の米艦船が日本に寄港していると発言。日本政府、事前協議制度を理由に核持ち込みの事実を否定。</p> <p>8.15 鈴木内閣の全閣僚、退任辞呈提出。</p> <p>8.20 日韓外相会談(東京)で韓国側、総額60億ドルの政府借款を日本側に正式要請。</p> <p>8.23 社会党委員長飛鳥田一雄、社会党自治体政策研究会で、事実上の社・公合意の凍結発言。</p> <p>9.21 新自由クラブ・社会市民連合、衆院に新しい統一会派「新自由クラブ・民主連合」結成。</p> <p>10.29 社会党中央執行委員会、「80年代の内外情勢の展望と社会党の路線」採択、「日本における社会主義への道」見直し始まる。</p> <p>11.30 鈴木首相、租税特別措置の見直しなど事実上の増税指示。財務、政府への反発強める。</p> <p>12.16 中道4党の書記長・幹事長会談で4党合同国会対策委員会設置などを検討。</p> <p>12.20 社会党委員長選挙で、飛鳥田委員長を選出。</p>



昭和55年 (1980年)

昭和56年 (1981年)

愛知用水

- 2.17 内閣総理大臣が愛知県知事に対し、木曾川水系における水資源開発基本計画の一部変更について意見聴取。
- 2.20 水資源開発調整会議幹事会開催。
- 3.5 水資源開発審議会木曾川部会、木曾川水系における水資源開発基本計画の一部変更について承認。
- 3.13 木曾三川協議会、木曾川水系における水資源開発基本計画の一部変更について異議ない旨確認。
- 3.16 木曾川水系における水資源開発基本計画の一部変更について、愛知知事は内閣総理大臣に「異議なし」の回答。
- 3.18 水資源開発審議会、木曾川水系における水資源開発基本計画の一部変更について異議ない旨答申。
- 3.26 木曾川水系における水資源開発基本計画の変更(愛知用水二期事業の追加等)、閣議決定。
- 3.26 愛知用水の二期事業として水路改修工事開始(平成7年完成予定)。
- 3.27 愛知用水二期調査所開設。
- 3.30 木曾川水系における水資源開発基本計画の変更。
- 6.16 東海農政局は、愛知県・岐阜県を対象に、全計及び実施方針の説明会を開く。
- 7.6 主務大臣は関係4知事に対し、事業実施方針に関する意見を聴取。
- 8.20 事業実施方針(案)に関する覚書締結。
- 8.24 東海農政局幹部、愛知県に対して愛知用水二期事業の河川協議の進め方について意見聴取。
- 9.6 主務大臣、水資源開発公団総裁に対して事業実施方針指示。
- 9.14 事業実施方針、官報告示(厚生省、農林水産省、通商産業省告示第2号)。
- 10.1 愛知用水二期建設所開設。

- 2.23 関係4知事、事業実施計画について協議。
- 3.8 愛知県知事、水資源開発公団総裁に対し、事業実施計画協議に対する回答。
- 3.23 事業実施認可、官報告示(厚生省、農林水産省、通商産業省、告示第1号)。

●この年 名古屋市緑区上野浄水場からの給水(上水)廃止。



世相

- 3月 全国637校の中・高校卒業式で、校内基方に暴走警察官が立ち入り警戒。
- 4月 500円硬貨発行/浅草国際劇場、SKDの公演を最後に閉場。
- 5月 発射中、ボーイゲーム機による賭博の摘発を開始。
- 7月 キヤノン、完全自動化カメラ「スナップィ50」発売。
- 10月 東京・吉祥寺に前進地劇場開場。
- 12月 テレホンカード使用開始。

●この年 国鉄のフルムーンパスがヒット、エアロビクス、ゲートボールが人気になる。

〈流行歌〉「北酒場」細川たかし/「聖母たちのララバイ」石崎宏実/「つわあみん」/「セーラー服と機関銃」美穂九ひろ子

〈映画〉「源田行進曲」角川春樹事務所・深沢秋二監督・松坂慶子

〈洋画〉「E・T」史上最高の観客動員、1000万人突破(米)/「1000の眼」/「無人の野」(ベトナム)

〈話題の書物〉丸谷才一「真実で歌へ我が代」/三好敏「天馬の如く」/植松信「積木くずし」/江本孟紀「プロ野球を10倍楽しむ見方」/鈴木健二「気づけりのおすめ」/澤地久枝「もうひとつの州」

〈テレビ〉「人間万事塞翁が馬」「君は海を見たか」「終りに見た街」

〈CM〉「ホンダシティ」(本多技術)

〈流行語〉んちゃ、まいちゃ、おひより(漫画「Dr.スランプ」の主人公ラッチャんの言葉)/ルンペン/ネクラ/ネアカ/ロリコン/とんどビューキー/風見鶏/美本/女帝/心身症(日航機事故の長の病名)

- 4月 浦安市に東京ディズニーランド開園。
- 5月 国産たばこ値上げ(マイルドセブン200円、輸入たばこ値下(LARK280円))。
- 11月 劇団四季、「キャッツ」の無期限上演を開始。

●この年 「SAY」「VIVI」「Free」「Lee」などの女性雑誌の創刊が相次ぐ。パソコン、ワープロが急速に普及、「下町の玉三郎」梅沢富美男に人気。

〈流行歌〉「さざんかの宿」大川栄策/「矢切の渡し」細川たかし/「おれがの兄弟」あらべ/「ガラスの林檎」松田聖子

〈映画〉「時代屋の女房」松竹・森崎東監督・夏目雅子/「幽霊」東宝・川喜監督・佐久間良子/「探偵物語」東映・根岸吉太郎監督・美穂ひろ子・松田優作/「戦場のメリークリスマス」日・英・ニュージーランド合作・大島渚監督・坂本龍一

〈話題の書物〉赤川次郎「探偵物語」/大江健三郎「新しい人」/藤野野矢/山崎豊子「二つの風国」/B・フランク「老化は食べ物が原因だった」

〈テレビ〉「おしん」(朝の連続ドラマ最高の視聴率)「積木くずし」藤子200日戦争/「17歳の戦争」

〈CM〉「人間だったらよかったんだけどね」(日刊アルバイトニュース)、「タコ、タコがいうよ……」(サントリー)

〈流行語〉いいとも、広げよう友だちの輪(タモリの「笑っていいとも」)/ニャンニャンする/おしん/いかにも一般大衆が喜びそうな……(レオナルド風のテレビCM)/フォーカス現象

社会

- 11月 近江川湖底船第28号の丸、バーニング海で操業中に転覆、死者32人。
- 12月 東京・赤田町のホテル・ニュージャパンで火災、死者33人(防火設備の欠陥に非難集中)、11.18横井英樹社長逮捕。
- 12月 日航福岡羽田行DC-8型機、羽田空港着陸時に海に墜落、24人死亡、150人負傷(機長の過剰操作が原因)。
- 12月 北海道日高地方で大地震、重軽傷147人。
- 12月 東北新幹線開業(大宮-盛岡間3時間17分)、11.15上越新幹線開業(大宮-新潟間1時間55分)。
- 12月 新聞各紙、高校社会科などの教科書検定で「侵略」「進出」と書き換えさせられたと報道、問題化。
- 12月 英文学者高森秀(95歳)、精神分裂病治療中の疑いに刺殺される。
- 12月 九州北西部・山口県に豪雨、長崎市の死者・行方不明299人。
- 12月 三越本店の古代ペルシア秘宝展、ほとんどがニセ物と判明、9.22社長岡田茂、取締役会で解任、10.18岡田社長と納入業者竹久みち、裁判官で逮捕。
- 12月 沖縄県議会、検定で高校教科書から削除された沖縄戦での日本軍による住民虐殺の記述の回復を求める意見書を採択。
- 12月 北沢少佐冤罪撤回。
- 12月 落合博満(ロッテ)、3冠王獲得。
- 12月 大阪府警、ゲーム機とばく博の情報を業者に漏らし取締していた警幹部5人を逮捕、処分124人。
- 12月 東京地裁、コンピュータープログラムの著作権にあたるかと判決。

- 12月 千葉大(工学部)研究員数名殺害、殺殺体で発見、2.12千葉地裁、夫(同大工学部講師)を起訴。
- 12月 元消防士藤田清孝、名古屋第一勧銀御器所支店の駐車場で強盗未遂で逮捕(48年以來、男女8人を殺害)。
- 12月 神奈川県警、横浜市内の公園・地下街などで無銭脱の浮浪者を襲った中学生ら10人を逮捕(山下公園で1人死亡)。
- 12月 瀬古利彦、東京マラソンで2時間8分38秒の国内最高記録で優勝、12.4福岡国際マラソンにも優勝。
- 12月 東京町田市立志生中学校八木教諭、生徒の威嚇行為に対し、実物ナイフで全治10日の傷を負わせる(同校で半年間に校内暴力事件発生)。
- 12月 女子バレーボール日本リーグで、日立が完全優勝(42連勝のリーグ新記録)。
- 12月 中国自動車道全線開通(着工以來17年ぶり、吹田-下関間542.7km)。
- 12月 日本海中部地震(震源秋田沖、M7.7)。
- 12月 福本豊(阪急)、盗塁世界新記録939を達成。
- 12月 愛知県警、元麻呂小学校校長が暴行を働いて児童を殺害で逮捕(34年未、情緒障害児のしごき教育で中学生ら3人死亡、2人行方不明が判明)。
- 12月 熊本地裁八代支部、免田事件再審で死刑囚に初の無罪判決。
- 12月 山陰地方に集中豪雨、死者119人。
- 12月 三宅島21年ぶりに大噴火。
- 12月 東北で日本初の「試験管ベビー」(体外受精児)出生。
- 12月 エスターシービー、菊花賞を獲し3冠馬。
- 12月 佐々木七恵、東京国際女子マラソンに日本人として初優勝。
- 12月 警視庁、愛人パンク第1号「少ぐれ風」を売春罪で起訴して摘発。

政治・経済

- 1.26 東京地裁、ロッキード事件全日空ルートの若狭会長・渡辺元副社長ら6被告に執行猶予付き有罪判決。
- 3.31 地域改善対策特別措置法公布(同種対策事業特別措置法を継承)。
- 5.14 社会民主連の「反核・軍縮-非核地帯設置のための東京国際会議」、東京で開催。
- 5.23 反核・軍縮の「平和のための東京行動」、約6000人が参加。
- 5.28 政府、215品目の関税率引下げなどの市場開放措置を決定。
- 5.31 国連軍縮特別総会に向け反核署名を行っていた国民運動推進連絡会議、最終集計を2753万9116人と発表、6.10国連事務総長に提出。
- 6.8 東京地裁、ロッキード事件全日空ルートの元運輸相橋本登美三郎・元運輸政務次官佐藤孝行に有罪判決。
- 6.9 鈴木首相、第2回国連軍縮特別総会で、核軍縮などの平和3原則を提言。
- 7.6 中国政府、日本の教科書の中国への「侵略」とする記述などを非難。
- 7.30 第3次臨調答申、国鉄・電電・専売3会社の分割・民営化、省庁の統廃合などを提言。
- 8.26 政府、中国・韓国などアジア諸国の教科書批判に対し、政府の責任での是正を決定。
- 8.30 日米安保事務レベル協議会開会(米、3海峽封鎖とシーレーン防衛の役割分担を要請)。
- 11.27 中曽根内閣内閣成立(幹事長二階堂進)。
- 12.7 政府、国鉄再建対策推進本部の設置を決定。
- 12.20 参議院無党派クラブ結成(代表美濃加茂吉・青島幸男・中山千夏他)、58.4分票。
- 12.22 中曽根首相、衆院予算委で非核3原則の厳守を明言。

- 1.11 中曽根首相、韓国を訪問、全斗煥大統領と会談、総額40億ドルの経済協力と教科書問題に決着をつけ、「日韓新時代」に入ったと声明。
- 1.17 中曽根首相訪米、1.18レーガン大統領に「日本は運命共同体」と表明。
- 1.24 中曽根首相、施政方針演説で「戦後史の大きな転換点」を強調。
- 1.26 ロッキード裁判(丸紅ルート)で、元首相田中角栄に受託報酬・外為法違反で懲役5年の求刑(検書検本検夫に同1年)。
- 3.21 米原子力空母エンタープライズ、15年ぶりに佐世保に寄港、10.1世界最大の米原子力空母カールビンソン、佐世保に初寄港。
- 4.10 第10回統一地方選挙、北海道(橋本孝弘)・福岡(奥田八二)で革新知事誕生。
- 5.4 オラリーマン新党結成(代表青木茂)。
- 5.19 大蔵省、中期国債の銀行窓口販売を認可。
- 5.29 中曽根首相、先進国首脳会議(米、ウィリアムズバーグ)で英首相サッチャーに欧州へのバーニング目等配備の必要性を強調。
- 6.8 中曽根首相、国有地の有効利用の検討を大蔵省に指示、地価暴落の引きとなる。
- 6.26 第13回参院選(非改選を含め自民137、社会44、公明26、共産14、民社11、新自民2、二院2、オラ新党2、福祉党1、無所属6、その他4)。
- 9.7 社会党大会、石橋政嗣委員長・田沼誠書記長を選出。
- 10.12 東京地裁、ロッキード裁判の田中角栄被告に懲役4年、追徴金5億円の実刑判決。
- 11.9 米大統領レーガン来日。
- 12.18 第37回総選挙(自民259、社会112、公明58、民社38、共産26、新自民8、社民連3、無所属16)、自民放北で同党内閣組、12.27内閣改選。

昭和57年 (1982年)

昭和58年 (1983年)

愛知用水

- 7.11 東海農政局は、愛知県と岐阜県に対して、愛知用水二期地区計画(案)の概要説明会
7.25 土地改良区、上・工水協議会、可児町は、愛知県、岐阜県、水資源開発公団等に対して、愛知用水二期事業の推進に関する陳情。
7.28 愛知県は、関係者および水資源開発公団に対して愛知用水二期事業の推進に関する陳情。
10.13 水資源開発公団は、愛知県と岐阜県に対して愛知用水二期事業(56年度概算要求)説明会を開く。
12.15 愛知用水二期事業促進期成同盟会設立。会長は山田紀夫愛知用水土地改良区理事長、会員は関係土地改良区関係市町、上・工水協議会など34団体。



世相

- 1月 バンダのホアンホアン、北京から上野動物園に到着。
3月 都市銀行6行、現金自動支払機のオンライン提携を開始。
4月 電力・ガス料金の大幅値上げ(電力平均50.8%、ガス平均45.3%)。たばこ値上げ(セブンスター180円になる)。
5月 富士通、日本語電子タイプライター発売(ワープロ普及へ)。
6月 気象庁、東京地方で降水確率の予測を開始。

●この年 全国的冷夏、校内暴力・家庭内暴力急増、自動車の生産台数1100万台で世界一に。ワービー、紳士・竜巻、B&Bなどのブーム。
<流行歌> 「ダンシング・オールナイト」もんた&ブラザーズ、「雨の情」八代亜紀、「風は秋色」松田聖子
<映画> 「太平の虎」製作委員会・横井啓企画：横井啓監督・中村高広監修、田村高広/「影武者」黒澤プロ・東宝：黒澤明監督・仲代達矢、「ツイゴイネムワイゼン」シネマ・ブラザーズ：鈴木清順監督・高岩敏・大谷直子
<洋画> 「地獄の黙示録」、「クレイマー・クレイマー」、「青い珊瑚礁」(米)、「院」(中国)
<話題の書物> 太田信「折々のうた」/山口百恵「新しい時」/NHK取材「シルクロード」
<テレビ> 「シルクロード」、「ザ・商社」小児病棟
<CM> 「それなりに」(富士フィルム)、「宮崎美子の水着」(ミノルタ)、「ピッカピカの1年生」(小学館)
<流行語> クレイマー家庭(父子家庭のこと)/カラスの勝手/それなりに/竹の子族

社会

12 熊本県、重度脊髄損傷の女高生を全国で初めて公務員に採用。
動物愛護団体の米人、長崎県佐賀でイルカの飼育網を切断、250頭を逃がす。
早大法学部で入試問題の漏洩発覚、56.5.6 46年度以降の不正入学者55人の除籍を決定。
山口百恵、婚約発表(以後、百恵フィーバー続く)、10.5 日本式道場で最後のワンマンショー。
トラック運転手大貫久男、東京・銀座の道路脇で現金1億円入りのふろしき包みを盗む、11.9 時効で所有者となる。
JOC総会、異例の採決(29対13)でモスクワ五輪不参加を決定。
熊本動(巨人)、3000本安打達成。
「イエスの方舟」教祖千石彌賢、女性多数との2年の集団失脚から出現し逮捕。
富士山砂走り登山道で落石、死者12人。
国鉄静岡駅地下街でガス漏れ大爆発、死者14人。
新潟県西口で浮浪者風の男が京王帝都バスに放火、6人焼死、19人重傷。
30年間消息不明の元共産党政治局員伊藤雅、北京より帰国。
岡山県、所沢市の美善会富士見産婦人科病院長北野早苗を無免許診療の疑いで逮捕。
会長・東大寺大仏殿の増大修理完了、赤坂法要。
長崎県護国学院(旧)辞任、11.4 王貞治引退、助監督就任。
熊本県川津温泉の川津プリンスホテル全焼、45人焼死。
20年中の子供校生、川崎市内高級住宅地で両親を金属バットで撲殺。

政治・経済

- 1.10 社会・公明両党、連合政権構想で正式合意。
2.6 統一戦線推進労働懇話会(共産系)、総評大会で社・公合意を盛り込んだ春闘方針案に賛議を唱える。社・共対決ムード高まる。
3.6 沢田幸一議員(自民)のラスベガス賭博事件発覚(4.11 議員辞職)。
4.25 政府、日本オリンピック委員会にモスクワ大会不参加の最終見解を発表。
5.16 社会党提出の内閣不信任案、自民党非主流派の欠席で可決、5.19 衆院解散。
5.24 共産党委員長宮本顕治、「民主連合政府の当面の中心政策」を発表。6.4 社会党委員長飛鳥田一雄、神戸市で「国民共同の緊急・民主主義政府」の樹立を提唱。6.5 公明党委員長竹入義勝、福岡市で連合政権の「政治原則と基本的政策の大綱草案」を発表。6.16 民社党委員長佐々木良作、福岡市で事実上の自・社・公・民の大連合を提唱。
6.12 首相大平正芳、急死。
6.22 衆・参両院同時選挙(衆院：自民284、社会107、公明33、民社32、共産29、新自212、社民連3、無所属7、参院：非改選を含め自民135、社会47、公明26、共産12、民社11、新自2、社民連3、無所属13)、自民党の圧勝に終わる。
7.17 鈴木善幸内閣成立(幹事長松内義徳)。
8.15 鈴木内閣の閣僚18人、一斉に閣内神社参拝。
8.15 政府、「徴兵制は憲法違反」とする答弁書決定。
10.13 公明・民社・社民連・新自2の中道4党の首脳会議。
10.23 自民党内派の本郷クラブ発足(会長二階堂進)。
12.12 日米防衛首脳定期協議、米、日本の防衛力増強を強く要請。

昭和55年 (1980年)

愛知用水二期事業促進期成同盟会が設立されました。

- 2.6 自由民主党、愛知用水事業関係議員懇話会発足。

- 1月 大岡倉の花、在位50場所の最長記録を残して引退/郵便料を値上げ、封書60円(4月1日からはがき40円となる)。
3月 厚生省、全国のベビーホテルの一点検(94%の施設に欠陥)。
4月 ノーパン喫煙急増。
7月 東京・大阪・名古屋の3都市で電子郵便(ファクシミリ)開始(日通4円)。
11月 本田技研工業、省エネ車「シティ」発売。

●この年 宅急便が郵便小包の取扱数を抜く。アウレちゃんや機動戦士ガンダムなどのキャラクター玩具が大流行。ガンが脳卒中を患って死因の1位になる。「FOCUS」、「Can Cam」など創刊。
<流行歌> 「ルビーの指環」寺尾聰/「恋人よ」五輪真弓/「スニーカー」近藤真彦/「鳥獣解罪」電鉄也
<映画> 「ええじゃないか」松竹・今村プロ：今村昌平監督・横溝が脚本、「機動戦士ガンダム」日本ケンライズ：富野喜幸監督
<洋画> 「エレファント・マン」(米)、「ブライキの太鼓」(西独)
<話題の書物> 井上ひさし「吉里吉里人」/黒柳徹子「窓ぎわのトットちゃん」(戦後最大のベストセラー、10ヵ月で800万部)/つかもとへい「高田行進曲」/田中康夫「なんともなくクリスタル」
<テレビ> 「おんな大國記」(夢千代日記)「おれたちひょうきん族」(大岡から)
<CM> 「ハスハエカカキンチョール」(大日本除虫菊)/「ピップエレキバン」(森本)
<流行語> ハチの一軒し/ブライッ/熟年/クリスタル/なめん(セーラー服や学生服を着た露のボディ写真のタイトルから)

千葉県知事村上紀一、49年の知事選中に不動産業者から5000万円受領が判明、2.16 辞表提出。
「サヨナラ日劇フェスティバル」開幕。
中国残留日本人孤児47人、初の正式来日(26人が身元判明)。
神保町誘導会「ボートピア」開幕(〜9.15、入場者数1600万人)。
日本原子力発電所教育発電所で高度の放射能漏れ発見。
盗難に関する用語整理の法律公布、差別的用語を改める。
パリ警視庁、オランダ人女性留学生殺害事件容疑のバフ大学日本人留学生逮捕。
広島原爆記念日に原爆ドーム横で抗議の「ダイ・イン」行われる。
中央選挙審議会、丸山ワケチンの対価有効性は確認できないと結論。
台湾で連東航空旅客機墜落、作家の向田邦子ら日本人18人死亡。
三和銀行大阪東支店女行員、オンライン・システム悪用による1億3000万円の詐欺が発覚、9.8 マニカで逮捕。
北炭夕張新鉱でガス突出事故(救護隊10人を含め93人死亡)。
京大教授福井謙一、フロンティア電子理論によりノーベル化学賞受賞。
東京地裁ロッキード裁判9人判決で検本被告の前夫人三志子、「検本が5億円受領を認める発言をしていた」と証言(「蜂の一刺し」発言で話題になる)。
公共事業受注をめぐる建設業者間の談合が明るみに出る。

- 1.6 政府、2月7日を「北方領土の日」と決定、2.7 各地で返還運動集会。
1.8 鈴木首相、ASEAN5が国訪問に出席(1.20 帰国)。
3.11 国鉄経営再建特別措置法施行会公布、赤字ローカル線77を廃止。
3.16 臨時行政調査会(第2次、全長土光敏夫前経団連会長)初会合。
5.1 乗用車対米輸出自主規制、168万台で合意。
5.4 鈴木首相訪米、5.8 鈴木・レーガン会談(ワシントン)での共同声明に「同盟関係」を明記。
5.15 鈴木首相、閣議で日米共同声明の「同盟関係」の内容は軍事的内容を含まないとの判断を示し、外交当局者に不満を表明、伊東外相・高島外務次官が責任を取り辞任。
5.17 元駐日大使ライシャワー、核搭載の米艦船が日本に寄港していると発言、日本政府、事前協議制度を理由に核持ち込みの事実を否定。
8.15 鈴木内閣の閣僚、閣内神社参拝。
8.20 日韓外相会談(東京)で韓国側、総額60億ドルの政府借款を日本側に正式要請。
8.23 社会党委員長飛鳥田一雄、社会党自治体政策研究会で、事実上の社・公合意の凍結発言。
9.21 新自由クラブ・社会市民連合、衆院に新しい統一会派「新自由クラブ・民主連合」結成。
10.29 社会党中央執行委員会、「80年代の内外情勢の展望と社会党の路線」採択、「日本における社会主義への道」見直し始まる。
11.30 鈴木首相、租税特別措置の見直しなど事実上の増税指示、財界、政府への反発強める。
12.15 中道4党の書記長・幹事長会談で4党合同国会対策委員会設置などを検討。
12.20 社会党委員長選挙で、飛鳥田委員長を輩出。

昭和56年 (1981年)

愛知用水

4.12 愛知用水総合管理所と愛知用水二期建設所を統合し、愛知用水総合事業所を設置。
9.14 長野県西部地震による土砂が牧尾ダムに大量に流入。



世相

1月 1人暮らし老人、100万人突破。
3月 小西六写真工業、100年プリントを開発。4月から発売。
5月 人気力士の高見山、5月場所を最後に引退。
11月 「FRIDAY」発売(F・F戦争始まる)/15年ぶりに1万円・5000円1000円の新札発行/東京多摩動物公園などでコアラ公開。

●この年 自分の生活を「中流」と考えている人が90%に達する、新記録、全体の半数を超える。「少年ジャンプ」400万部突破。
<流行歌> 「長良川艶歌」五木ひろし/「北の宿、真夜中」/「十戒」/「キング」中森明菜/「ワインレッドの心」安全地帯
<映画> 「お祭り」ニュー・センチュリー・プロデューサーズ・伊丹ハコタケ/「Wの恋劇」伊丹十三監督・山崎努・宮本信子/「Wの恋劇」伊丹十三監督・山崎努・宮本信子・三田佳子/「潮」野球場、日本ヘラルド/「潮」三田佳子・夏川静江
<漫画> 「ナチュラル」/「愛と追憶の日々」(米)
<話題の書物> 浅田彰「構造と力」/赤川次郎「愛憎物語」/ホイットマン「見聞録」
<テレビ> 「宮本武蔵」「くれない狼の伝説」
<CM> 「どんとぼっちい」(大日本除虫菊)、「エリマキトカゲ」(三友堂)、「どっちを食べてしょう」(サントリー)
<流行語> 節分/普通のおばさんになります(3月に突然引退した老人の言葉)

社会

1月 「週刊文春」の記事「疑惑の銃弾」から、三浦和義「ロス疑惑」騒動始まる。
3.12 高松地震、前田川事件の死刑囚再審裁判で容疑者被告に無罪判決。
3.18 江戸アグリコ社長江崎勝久、兵庫県西宮市の自宅から短銃を持った2人組に誘拐される。5.10 グリコ製品に毒物との脅迫状が郵送機関に郵送、大手スーパーなど、グリコ製品の販売一時中止を決定。
4.10 長谷川一夫・橋村真己に国民栄誉賞。
4.19 大阪地検特捜部、ワープロなど事務機器納入をめぐる収賄で大阪大学本部事務局経理部長らを逮捕。
5.12 島根県神谷道郎から358本の銃弾発見(60年7-8月、岡野・銅子も発見)。
5.20 NIKK-長技、韓国製の名産を現地言語のみ仮名表記に変更と決定。
5.24 習志生生活課、中江田樹生主の投資コンサルタント業「投資ジャーナル」グループを摘発。
5.25 釜本寿茂(ヤンマー)のサッカー引退試合に6万2000人の観衆(国立競技場)。
5.4 東京都警西陣署鑑査部長長田雅晴、偽装短銃を使い京都・大阪で連続殺人。
5.12 アリコ事件犯人「かい人21面相」、森永製菓も脅迫。
5.14 長野県西部地震(M6.8)、木曾郡上流村で土砂崩れ、29人死亡。
5.18 元日本留学生のトルコ人、「トルコ風呂」の名称を改めるよう厚生大臣に直訴。
5.28 山下新悟に国民栄誉賞。
5.30 ブーマー(阪急)、外人初の3冠王達成。
5.28 ミスターシービー、天皇賞を捉え4冠馬。
5.15 越前酒、別荘名人戦に5連覇達成。
5.16 東京・東田谷電話局近くで地下通信ケーブル衝突、貫田谷・日黒両区に8万3000回線不通。

政治・経済

2.26 社民党代表田英夫、従来の非核3原則に「核攻撃をさせない」を加えた非核4原則を提言。
3.23 中曽根首相、中国訪問。
3.26 民社党、「防衛費のGNP比1%枠突破はやむをえない」との見解を表明。
4.1 国鉄の赤字ローカル線に代わる初の第3セクター「三陸鉄道」が開業。
4.13 自民党総務会、靖国神社の公式参拝を合憲とする党見解を決定。
5.15 自民党安全保障調査会、防衛費のGNP比1%枠の見直し作業に着手。
5.6 自民党安全保障調査会の法令整備小委(委員長其輪登)、「国家秘密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案」(スパイ防止法案第3次案)を作成発表。
5.10 国鉄西建監理委、初めて分割・民営化の方向を明示。
5.21 臨時教育審議会設置(会長岡本道雄)。
5.6 韓国大統領全斗煥来日。
10.27 自民党副総裁二階堂進、党実力者会議で党改革を要求、中曽根批判から、公・民両党を含む「二階堂政権構想」が浮上、政界に衝撃。
10.31 第2次中曽根内閣、新自由クラブとの連立を継続して事実上の改選再スタート。
11.3 中曽根首相、インドのガンディー首相の国葬に参列。11.4 ソ連首相チernenokと11年ぶりの日ソ首脳会談を行う。
11.11 神奈川県厚木市市長選で革新住宅建設に反対する市民グループの富野隆一郎当選。
11.21 中曽根首相、「日米共同作戦計画案」を了承。内容は非公開。
12.29 60年度政府予算案で防衛費は前年度比6.9%増(防衛費の増率一層顕著となる)。

昭和59年 (1984年)

5.18 愛知用水神社内に水恩感謝之神建立される。

1月 新潟(旧国技術院)落成/横綱北の湖、引退。
5月 警視庁、「いじめ相談コーナー」を開設。
10月 プロ野球セーラーズで阪神タイガース21年ぶりに優勝(11.2を下し初の日本一)。8月頃から熱狂的な阪神フィーバーが社会現象となる/セで阪神のバース、バはロッテの暮会(2度目)が1王達成。
●この年 全国の小・中学校で「いじめ」が横行、社会問題となる、アコンブーム。
<流行歌> 「恋におちて」小林明子/「ミ・アモール」中森明菜/「おじいさまなら」安全地帯/「ジュリアに傷心」チェッカーズ/「俺が愛さないと」吉幾三
<映画> 「ピルマの聖地」東宝/市川崑監督・石坂浩二・中井貴一/「乱」宝島/ヘラルド/黒澤明監督・仲代達矢・原田美枝子
<話題の書物> 堺尾太一「豊田秀三」/北野武「たけしくんハイハイ」/「アコッカ」アイアコッカ
<テレビ> 「全裸の女たちへ田」「誘って」
<CM> 「私はこれでたばこをやめました」(アロマン)、「僕のヤリガ」(リクルート)、「カエルコール」(NTT)
<流行語> やらせ/疑惑/パフォーマンス/全裸(テレビドラマ「全裸の女たちへ」の略、不倫な恋を指す)/土日社員(土日だけ勤務)に希望者殺到/イッキ(焼酎ブーム)/どAび/投げたムアホ

1.15 新日鉄釜石、ラグビー日本選手権で7連覇達成。
2.26 山口組組長竹中重久ら3人、一和会系組員に射殺される(以後、抗争激化)。
2.16 国際科学技術博覧会(科学万博)開幕(〜9.16、入場者2000万人)。
2.22 厚生省、AIDS患者第1号確認を発表。
3.4 林中山竹道、広島マラソンで2時間8分15秒の日本最高記録。
3.2 岡山県で自動販売機に置いてあったドリンク剤を飲んだ運転手死亡(以後続発)。
3.5 川崎市の小中学生、両親が信仰上の理由で輸血を拒否し死亡。
3.18 「純全ファミリー」契約で老人・主婦から2000億円を集めた豊田商事の本野一男会長、自宅で射殺される。
3.19 投資ジャーナルの中江田樹生会長ら、詐欺容疑で逮捕。
3.24 ジェネレングリコール入りの外国産有価証券の輸入・販売が規制。
3.7 初の日本人宇宙飛行士3人が決定。
3.12 湖田花大阪行の日航ボーイング747ジャンボ機が群馬黒瀬集落山中に墜落、320人死亡、4人が奇跡的に生存。
3.11 ロス疑惑の三浦和義、共犯の矢沢美智子とともに殺人未遂容疑で逮捕。
3.25 奈良県磯城郡の藤ノ木古墳から石室と家形石棺発掘。
3.18 テレビ朝日「アタゴーション」中学生的ランチ場面で「やらせ」が発覚。
3.29 奈良県明日香村の伝馬鳥取遺跡から大量の木簡。
3.29 中核派の同時多発ゲリラで国鉄通信ケーブル各地で切断。
3.4 山口香、第3回福岡国際女子柔道選手権大会53kg級で優勝。

2.6 法務省、在日外国人の徴収押検制度を見直し。
2.11 中曽根首相、「建国記念日を祝う会」主催の式典に首相として戦後初の出席。
2.26 経国連、関税協定の拡大・残存輸入制限27品目の自由化など提言。
2.27 元首相田中角栄入院、政界に動揺。
3.27 佐々木民社党委員長、「世代交代を図る」との理由で辞任、党長栗の春日一幸党任顧問も辞任。4.23 塚本三郎委員長選出。
4.9 政府、経済摩擦等の包括的な対外政策を決定。
5.17 男女雇用機会均等法案、衆院本会議で可決、成立。
6.6 自民党、国家秘密法(スパイ防止法)案を議員立法として衆院に提出(6.25 記者投票により国会継続審議、12.21 廃案)。
6.10 加藤防衛庁長官、ワインバーガー米国防長官との会談で防衛大綱達成の決意を表明。
6.7 中曽根首相、防衛会議で防衛費の50中期案見積りの政府計画への格上げ検討を指示。(防衛費のGNP比1%枠撤廃検討の具体化)。
6.13 三光汽船、5000億円負債で戦後最大の倒産。オーナー河本敏夫、沖繩開発庁長官を辞任。
6.15 中曽根首相、戦後の首相初の靖国公式参拝、閣僚18人も公式参拝、野党等の批判高まる。
9.24 政府、「当面の行政改革の具体化方策」(行革大綱)を決定。
10.11 政府、国鉄の6分割・民営化を骨子とする「国鉄改革のための基本方針」を決定。
12.18 社会党大会、ニュー社会党の「新官言」案に左派が反対、採決保留。
12.23 首相官邸で内閣制度100周年記念式典。

昭和60年 (1985年)

牧尾ダムに大量の土砂が流入しました。

愛知用水

世相

社会

政治・経済

4.1 愛知用水総合事業所を愛知用水総合事業部に改組。
11.21 異常洪水のため牧尾ダム完成以来初めての貯水率0%となる。



1月 プロ野球選手会、労働組合として改組。
2月 東京中野の公立中学2年生がいじめを苦に自殺、布式ごっこに師も加わっていたことが明らかになり問題化/長寿世界一の泉千代氏が死亡(120歳)。
4月 ハレー彗星が地球に大接近(11日)/アイドル歌手岡田有希子がびびり自殺、少年少女の誘導自殺が相次ぐ。
10月 プロ野球西武の清原和博内野手が31号本塁打を打ち新人本塁打記録。
●この年 都心の地価高騰、郊外にも波及、若者の間でビリヤードとブーム、急激な円高・ドル安、ダイアナ妃来日フィーバー。
(流行歌) 「CHA-CHA-CHA」石井明美/「DESIRE」中森明菜/「仮面舞踏会」少年隊/「熱き心に」小林旭/「男と女のラブゲーム」作/「Lovin' You」渡辺美里
(映画) 「子猫物語」東宝:相沢恵監督・チャットラン/「花魁の人」東映:深作欣二監督・緒形拳・いしだあゆみ
(洋画) 「バック・トゥ・ザ・フューチャー」/「ロッキー4」/「愛と哀しみの果て」(米)
(話題の書物) 渡辺淳一「化身」/堀尾大「知能革命」/ファミコンマガジン編集部「スーパーマリオブラザーズ完全攻略本」
(テレビ) 「ニュースステーション」/「はな朝」/「いのち」/テレビ探偵団「男女人変物語」/「ひはニュースキャスター」
(CM) 「ホト元気で留守がいい」(大日本除虫菊)/「ケルマの曲社」/「サザンオールスターズ」
(流行語) 究極/激辛/新人類/レトロ/ブッタン/科ナア/DCブランド(デザイナーズ・ブランドの略)/お嬢さま

8 東京地裁、コス疑惑の矢沢美智子に懲役2年6月の実刑判決。
13 鹿児島市で2万2000年前とみられる旧石器文化跡が発見される。(はさみ山遺跡)
14 男女雇用機会均等法施行。
15 長江初明さん一家の異変一週のコット、4年9か月ぶりに徳島港に入港。
23 鹿島港、第2次答申で「生涯学習体系」への転換を提案。
4 中核派、東京サミットに反対し、遊説船を組んで翼つき弾を発売射。
7 国大大学協会、国立大2次試験の複数化とグループ分けを正式決定。
19 韓国、韓国人と総額の赤穂日本人19人、40数年ぶりに星降り。
31 慶大医師グループ、人工授精で女児産み分け6例成功と発表。
19 ベトナムの二重体系、治療のため来日(10.29)、分離手術は見送り。
30 東北自動車道の蒲和-青森間全通。
1 和歌山県の海岸で新興宗教「真理の友教会」女性信者7人が集団自殺。
15 マニラ郊外で三井物産若子マニラ支店長の誘拐事件発生、62,3.31 無事救出。
15 伊豆三原山が79年ぶりに大噴火。
25 三菱銀行有楽町支店前で現金輸送車襲われ、3億3000万円強奪される。(62年10月、犯人の起行と判明)
27 三重高島嶼閉鎖。
9 ビートたけしら12人、「FRIDAY」編集部で、取材方法に抗議、暴行・傷害で逮捕。
19 厚生省の「AIDS対策専門家会議」、4人を認定、日本のAIDS患者25人となる。

2.11 「建国記念の日を祝う会」主催の国民式典に首相はじめ17閣僚らが出席、国家行事色強まる。
4.29 天皇在位60年記念式典、両国国技館で開催。
5.4 東京サミット、リビア名借しのテロ反対、チェルノブイリ事故の情報要求声明採択(1-5,6)。
6.7 中国政府、「日本を守る国民会議」の日本史教科書の是正を要求、韓国内でも批判。
7.6 衆参両院同時選挙(衆院:追加公認を加え自民304,社会85,公明36,民社26,共産26,新自16,社民連4,その他5。参院:非改選を含め、自民は無所属加え142,社会41,公明24,共産16,民社12,新自12,社民連1,新自3,二院12,税金2,無所属等6)。自民党圧勝。
7.22 第3次中曽根内閣成立、全九閣僚、宮沢義相、藤尾文相等。
8月 金融機関が第3土曜日も休業実施。
8.15 首相・外相ら4閣僚、近隣諸国への配慮から靖国神社公式参拝見送り、16閣僚が参拝。
8.15 新自由クラブ、総選挙敗北から解党、田川誠一氏を除いて自民党に復党。
9.6 社会党委員長選で、土井たか子を上田哲を大差で破り当選、日本初の女性党首誕生。
9.22 中曽根首相、自民党研修会で「里人などのいるアメリカは知識水準が低い」と発言、米国内で激しい批判。
10.1 住友銀行、平和相互銀行を吸収合併、預金高国内2位となる。
10.27 北海道で初の日本共同統合実施演習(1-29)。
11.27 NTTの調査で、神奈川県警による共産党幹部の電話盗聴の疑惑発覚。
11.28 国鉄分割、民営化関連8法案成立。
12.30 政府予算案決定、防衛費がGNP1%枠を突破、整備新幹線の凍結を解除。

●この年 本曾川の流況が厳しく年間貯水日数が140日に及ぶ、愛知用水二期事業のうち、東野水トンネル、文久山開水路などの工事に着手。

1月 東京都のAIDS対策テレホンサービスに電話が殺到。
3月 安田火災海上がゴッホの「ひまわり」を53億円で落札。
6月 プロ野球広島が衣笠幸雄、連続213試合出場、世界新記録、国民栄誉賞受賞。
9月 「遊園平丸」復旧(月利平丸は12月号で復旧)。
11月 後楽園球場、50年の歴史を閉じる、巨人軍江川投手、突然引退(引退試合72戦)。
●この年 AT車の急発進事故が多発、NHK衛星24時間放送開始、初任給ブーム、マドンナ、マイケル・ジャクソン来日フィーバー。
(流行歌) 「スターライト」光GENJI/「チャマードリーム」チューブ/「50/50」中山美穂/「命くれな」瀬川麻子/「人生いろいろ」島千代子
(映画) 「マルサの女」東宝:伊丹十三監督・宮本信子・山崎努/「ハチ物語」松竹:神山征二郎監督・仲代達矢・八千草薫
(洋画) 「スタンド・バイ・ミー」/「ビバリーヒルズコップ2」/「プラトーン」/「愛は静けさの中に」(米)
(話題の書物) 安部謙二「解の中の恐ろしい面々」/宮本輝「俺娘」/石森章太郎「マンガ日本経済入門」/伏見晃「サラダ記念日」/村上樹「ノルウェーの森」
(テレビ) 「チョッチのん」/「藤岡電政宗」
(CM) 「平行線を走る猫と木登りする犬」(NTT)、「ウォータマン」(サントリー)、「ワンフィンガー、ツーフィンガー」(サンリー)
(流行語) 地上げ屋/ゴクミ(アイドル後藤久美子のこと)/マルサの税局査察部/借りない○○/「梵天丸はかくありたい」

14 南極海で探査の第3日新丸船団が捕獲を終え、53年間にわたる南極探検が閉幕。
24 最高裁、49年8月の三菱重工ビル爆破の4被告の上告棄却し、2被告の死刑確定。
25 国会立大、初の複数入試で約9500人の定員割れ。
30 熊本地裁が水俣病訴訟で国や県にも責任ありとし、原告勝訴の判決。
4.13 1万4千枚大量偽造事件主犯、武井通逮捕。
3 西宮市の朝日新聞阪神支局が匿名男に襲撃され、記者2名が死傷。
5.24 朝日新聞名古屋本社社員室も襲撃される。
15 コム違反の東芝機械に兵庫圏向け輸出禁止処分。
6 東京東村山市の老人ホーム「松寿園」が火災、寝たきり老人ら17人が死亡。
22 広島大学の総合科学部長が学部長室で刺殺される。
25 三重大付属病院で、医師と看護婦がB型肝炎に感染、医師2人の死亡が判明。
17 コス疑惑の三浦和義被告、殺人未遂罪で懲役6年の判決。
2 最高裁大法廷、有責配偶者からの離婚を認める新判例。
3 五部高速道路開通、青森~八代間の2000キロの高速自動車道が通車。
12 マサチューセッツ工科大学横川道教授にノーベル医学・生理学賞。
30 三菱銀行三徳岡強盗事件の犯人として、フランス人2人を国際手配。
21 日本赤十字社の丸岡修逮捕。
24 日本のAIDS感染者1000人の大台に迫る。
27 教育課程審議会、69年度からの高校社会科廃止・歴史必修を提案。

1.13 鄧小平が中国共産党中央顧問委主任、日本の防衛費のGNP1%枠突破に強い懸念を表明。
1.27 関西新空港、68年3月の開港を目指して着工。
2.9 初上場のNTT株に買いが殺到。
3.1 売上税反対の国民集会、各地で23万人が参加。
3.8 若子組の参院補欠選挙で「売上税」の社会党候補が自民党候補を破り圧勝。
4.1 国鉄が114年の歴史を閉じ、分割民営化、JRR社等発足/国土庁の地価公示、東京の住宅地、商業地の前年比上昇率78%で過去最高。
4.12 第11回統一地方選、知事選で北海道(橋本孝弘)、福岡(奥田八二)で現職再選、鈴木俊一都知事3選、道庁選出で自民進北。4.26 市区町村議選も自民進出。
4.23 原案院議長の、売上税は「与野党の合意なければ廃案」の脅威で予算案衆院通過。5.20 参院通過、防衛費3.2%増でGNP1%枠を突破。
5.12 自民党と4野党の国会対策委員長会議で売上税の廃案を確認。
6.26 日本、4月末日の外貨準備高666億2000万ドルで世界一。
7.3 自民党竹下派が経世会を結成。
7.29 ソッキード裁判丸根ハートの控訴審、田中元首相の控訴棄却。
9.19 所得税の税率簡素化、マルサの63年4月からの原則廃止などの税制改革法案、参院で可決。
9.22 天皇、腸通過障害で手術、初の沖縄訪問中止。
10.20 東京株式市場、前日のニューヨーク市場での史上最大の暴落(嵐の月曜日)を受け、前日比3836円安、下落率14.9%と過去最大を記録/中曽根首相、自民党総裁に竹下登を指名。
11.6 竹下登内閣発足(副総理・蔵相宮沢喜一)
12.31 東京外為市場で1ドル122円の最高値。

牧尾ダムの貯水率が初めて0パーセントに。

昭和61年 (1986年)

昭和62年 (1987年)

愛知用水

世相

社会

政治・経済

4.1 財団法人「愛知・豊川用水振興協会」設立される。

2月 国会で歌手のアグネス・チャンが子連れ出勤を論じ、アグネス論が盛り上がる。
9月 南海ホークス門田博光選手が36号本塁打、40歳の世界新記録を達成。
10月 プロ野球の南海と阪急が身売り、ダイエーホークス、オリックス・ブルーダイヤとなる。
11月 横綱千代の富士、九州場所7連勝達成、歴代2位、「平凡パンチ」体性。
12月 「少年ジャンプ」が初の500万部発行。

●この年 ドライブレコーダーが大流行、食物繊維の栄養飲料が爆発的入り。
<流行歌> 「乾杯」長瀬純/「TATTOO」中森明菜/「ふたり」少年隊/「LOVE ME TENDER」RCナカセクション
<映画> 「牧野、佐藤純真監督・佐藤浩市・西田敏行/「マリアンに逢いたい」三浦高志・第一企画・東北新社・松竹富士/「さすきじゅん」監督・三浦友和
<洋画> 「ラストエンペラー」(英・伊・中)、「グッドモーニング・ベトナム」(米)、「八月の娘」(英)
<話題の書物> シドニー・シュルデン「アームの達人」/村上春樹「ダンス・ダンス・ダンス」/ポール・ケネディ「大団の興亡」
<テレビ> 「教師びんご物語」/「春日局」
<CM> 「オノヨーコ、人間のKDD」(KDD)、「パンチを打つタイソン」(ベントリー・DRY)、「岸田加代子のかつてに水」(東芝冷蔵庫)
<流行語> 頼ちゃん/子連れ出勤/くう・ねる・あそぶ/DINK/カウポテト/今宵はここまでにいたしとうござりまする/自虐/オタリアン/出れ落ち差

5 東京六本木のディスコで、高さ1.6mの照明器具が落下、3人死亡。
12 日本医師会の生命倫理懇話会、臓器を認める決定を下す。
19 静岡県浜松市で、暴力団事務所移転を要求する住民の3年ごしの運動が成功。
27 専修大学で学籍のないニセ学生発見、元教授の犯罪が判明、3.25逮捕。
13 世界最長の青函トンネル開業、53.85km
18 東京ドーム球場、開場記念オープン戦。
10 世界最長の道路・鉄道併用の瀬戸大橋が開通、海峡長9368m。
2 奈良県斑鳩町の藤ノ木古墳で、石棺内の大量の副葬品が内視鏡で判明。
10 所定工の中瀬古元相模段が特殊作による所得25億円の隠匿が発覚、同社幹部ら含む5人が所得税法違反で逮捕。
23 横須賀沖で自衛隊の潜水艦なだしおと釣り船第一富士丸が衝突、30人死亡、8.24瓦力防衛庁長官辞任。
1 天皇の容態悪化で行事・興業・広告・宣伝など自粛相次ぐ、その是非をめぐって活発な議論。
13 東京地検、リクルート本社などの一斉捜索、前社長室長を逮捕。
21 国会不審で議の「国民福祉の会」会長平松重雄ら逮捕。
19 東京地検、「ロス疑惑」の容疑者三浦和義と大久保美基を起訴。
14 東京の青柳信用金庫で、9億7000万円を元基金団員に不正に返金していた女子行員逮捕。
15 JR中央線の東中野駅で、停車中の電車に後続電車が衝突、2人死亡、116人が重軽傷。
19 北海道の上勝岳が26年ぶりに噴火。

1.12 竹下首相の訪米、1.13レーガン大統領と会談、「世界に貢献する日本」を共同声明。
4.1 「マル優」制度廃止、預貯金利子に20%課税。
4.1 国土庁、88.1.1現在の地価公示、東京の地価は前年比68.6%上昇、史上最高。
6.13 埼玉知事選挙で、大型間接税導入反対を全面に掲げた現職知事6人が圧勝。
6.18 川崎市助役、リクルート社未公開株取得による不当利得が発覚(リクルート事件の発端)。
7.5 中曽根前首相・宮沢蔵相・安倍幹事長らの秘書のリクルート社の未公開株取得判明、7.6江副清正リクルート会長、引責辞任。
9.8 社会民主連合の橋本隆之助代議士、リクルートコスモスの松原弘社長室長らの贈賄工作を告発。
9.19 天皇吐血して容体急変、9.22閣議、全国奉行為の皇太子への委任を決定、皇居取外門前全国12か所で見舞いの記録開始、全国で約300万人。
10.30 蓮子の米半住宅問題で揺れる蓮子市長選で、反対派の現職宮野輝一郎が当選。
11.10 自民党、衆議院税制問題等調査特別委員会が消費増税等税制改革関連法案を単独強行採決、国会審議ストップ。
11.11 米大統領選後ドル急落、11.17東京外為市場で1ドル=121円52銭の戦後最高値を記録。
11.21 衆議院リクルート問題調査特別委員会、江副リクルート前会長・高石前文部・加藤前労働事務次官を証人喚問。
11.29 竹下首相、「ふるさと創生」政策のため、全市町村に一律1億円の交付金配付方針決定。
12.6 参議院税制問題等特別委員会、江副前会長等を証人喚問、江副証言と宮沢蔵相の答弁に食い違いが判明、12.9蔵相辞任。
12.27 竹下首相、リクルート疑惑一掃のため内閣を改造、12.30長谷川法相、疑惑で辞任。

昭和63年 (1988年)

5月 有識者による「愛知池田調整池計画打合せ」の中で30周年記念事業を計画したらどうかとの提案あり。
7月 「愛知用水管理委員会」において記念事業準備委員会設立の賛同を得る。
10月 ユーザーを集めて準備委員会の下打合せを行う。
10.2 阿木川ダム試験湛水開始。
12月 準備委員会設立・第1回幹事会開催。

●この年 NTT-A型事業による、水路上部の社会資本整備事業始まる。



5月 新しい犯罪、テラキ安室の犯人逮捕。
6月 政治家の女主人美空ひばり死去、国民栄誉賞。
8月 連続幼女誘拐殺人事件に端を発しホラービデオの規制が問題化。
9月 大相撲横綱千代の富士が965勝の史上最多記録を達成、国民栄誉賞。
●この年 昭和ブーム、マスコット・出版・ビデオなどで昭和を冠したものが大量にだされる。諸説飲料「はちみつレモン」が人気。
<流行歌> 「風の伝説歌」石川さゆり/「酒よ」吉幾三/「DIAMONDS」アンセス・アリンセス/「新しい熱帯魚」Wink
<映画> 「思い出」今村プロ・林原グループ/今村昌平監督・北村和夫・中好子/「あ・うん」東宝・フィルムフェイス/降旗康男監督・高田・宮本信子
<洋画> 「レインマン」/「ダイハード」(米)、「羊毛のアン」(カナダ)、「いこりヤン」(中国)
<話題の書物> 吉本ばなな「TUGUMI」/村上春樹「孔子」/津本陽「下天」/「夢か」/栗自平「一杯のかけそば」/山本雄二「消費税こうやれい」
<テレビ> 「青春家族」/「イカサバ」/「大団」/「驚異の小宇宙」/「人体」/「謎の国」
<CM> 「デューダ退社編」(学生協議会)、「24時間観えますか」(リゲン)
<流行語> ベレストロイカ/けじめ/フリーター/偽装難民/マドンナ/嵐/HANAKOON/デューダ/セクハラ(セクシャル・ハラスメントの略)/マスオさん(連立現象)

7 天皇死去を機に、各種行事・市旗樹木問題や憲法・天皇制論議盛り上がり、世論的発言者・団体への脅迫相次ぐ。
14 病院・税関など以外の国の行政機関の隔週土曜閉庁開始。
31 山形市の幼女殺害事件の赤坂政夫死刑、やり直し裁判で34年ぶりに無罪。
14 全線機関の完全週休3日制開始。
前年8月から行方不明の入国市の幼穉孤女実態に、箱に入った人骨等が置かれる、2.10新聞社宛に女性名の犯行声明。
12 佐賀県の吉野ヶ里遺跡で、銅剣・ガラス製管玉など発掘、弥生時代最大の環濠集落・墳丘墓と推定。
横浜博覧会開幕(〜10.21)、新日鉄釜石製鉄所、130年来の閉鎖がのろが消える。
11 川崎市の竹やぶで1億円余の札束発見、4.16同所で9000万円発見。
5.8東京の商社社長を盗むと判明。
17 藤沢市の暴走車をとめた毎日新聞論議室顧問吉野正弘、道に殴られて死亡。
5 五島列島にベトナム難民107人を乗せた漁船到着、以後相次ぐ、中国系の出稼労働者も判明、問題となる。
8 王子で強制わいせつ罪容疑の宮崎野、野本綾子ちゃん殺しを自ら、アニメビデオマニアの殺人事件として問題化。
25 天皇の次男礼宮と学習院大学大学院生川島紀子さんの婚約発表される。
17 鳥取県大で初の生体群移植手術。
14 昨年7月の潜水艦と漁船の衝突事件で潜水艦の航海日誌の改竄が発覚。
15 横浜の坂本堤弁護士一家の失踪が判明。
21 日本労働組合総連合(連合)発足(798万人、総評解散)。

1.7 天皇、十二日御病状悪化で午前9時33分死去(87歳、1.31昭和天皇と追号)、皇太子明仁即位、平成と改元(1.8施行)。
2.7 リクルート疑惑の民社党本委員長、追降表明。
2.12 リクルート事件後初の国政選挙の参院福岡選挙区補欠選挙で社会党候補が大勝。
2.24 昭和天皇喪の礼、新宿御苑で実施。
4.1 消費税スタート。
4.12 中国の李鵬首相来日、友好関係の発展を約束。
4.18 東京地検、リクルート事件で高石前文部次官を収賄容疑で起訴。
4.25 竹下首相、政治不信の責任をとり辞意表明。
5.17 公明党久野委員長、「明電王疑惑」等の不祥事で追降表明、5.18緊急中央執行委員会、石田幸四郎委員長らを選出。
5.22 東京地検、リクルート事件で藤波孝生元官房長官・公明党池田克彦前代議士を収賄容疑で起訴。
5.25 衆議院予算委員会、リクルート事件の証人に中曽根前首相を喚問。
6.2 宇野内閣組閣、官房長官塩川正十郎。
7.2 東京都議選で自民党大敗、社会党大躍進。
7.23 参議院議員選挙で野党連勝、社会46、自民36、公明10、共産5、民社3、初登壇の「連合」11。
7.24 宇野首相、参院選惨敗と女性問題で追降表明。
8.9 海部内閣組閣、蔵相橋本龍太郎・官房長官山下徳夫、8.24山下官房長官、女性問題で辞任、後任は森山真弓閣議決長官。
9.27 ソニー、米映画社コロンビアの買収を発表。
10.9 週刊誌、バチンコ業界の与野党議員の多額献金の実態を暴露、自社両党の責任に発展。
12.11 リクルート事件で高石前文部次官ら初公判、12.13真藤前NTT会長初公判、12.15「改革ルート」の藤波・池田・江副清正初公判。

昭和64年 平成1年 (1989年)

愛知・豊川用水振興協会が設立しました。

愛知用水

世相

社会

政治・経済

- 1月 第2回幹事会開催(行事内容検討)
- 2月 第3回幹事会開催(幹事会計画案まとまる)
- 3月 有識者意見聴取(4月にも実施)
- 5月 第1回準備委員会開催(有識者の意見を織り込んだ事業計画書案作成)
- 8月 愛知用水二期事業促進期成同盟会において各市町及び一色町に対し協賛会の負担を依頼する。
- 11.8 阿木川ダム竣工式行われる。牧尾ダム流入土砂に対する調査開始。
- 11.16 第1回実行委員会幹事会開催。
- 11.16 記念出版編集委員会開催。

●この年 国営計画開発地区調査牧尾ダム地区実施(平成3年まで)



- 6月 厚生省発表による女性の生涯消費は、史上最低の1.57人(3年連続最低記録)。
- 8月 全国的に記録的な猛暑、台風ラッシュ。
- 10月 プロ野球日本シリーズで、西武ライオンズが読売ジャイアンツに連勝。4連勝無敗での優勝は30年ぶり。
- 12月 女性の職場進出の傾向が強まる。人口に占める働く女性の割合が初めて3人に1人を超える。

- この年 エコロジーブーム。環境保護問題が大きくクローズアップされる。若い女性の間で、居酒屋・競馬・カラオケなど“おじさんの遊び”が流行(オヤジギャル)。
- 〈流行歌〉「おどるポンポコリン」B・B・クイーンズ/「真夏の果実」シン・オーケスターズ/「瞳がははえむから」今井美樹/「ラブストーリー」は突然に」小田和正
- 〈映画〉「稲村ジェーン」東宝:桑田佳祐監督・清水美沙/「少年時代」東宝:篠田正浩監督・若下志麻/「道楽組曲」東映:佐久間良子/「あげまん」東宝:伊丹十三監督・宮本信子・津川雅彦
- 〈洋画〉「ゴースト」/「ダイハード2」(米)
- 〈話題の書物〉「ラッパズホテル」村上龍/「おしゃべりな目玉焼」宮ふみ/「日本人とは何か」山本七平
- 〈テレビ〉「ちびまる子ちゃん」/「東京ラブストーリー」/「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」/「おるとん紅鯉」
- 〈CM〉「24時間眠れますか」(リゲイン)/「おれこうファジー」(ナショナル)/「バスポートサイズ」(ユニバー)/「だいたいようV」(武田薬品)
- 〈流行語〉 ファジー(あいまいなこと)/バッチダー/パワー・ブレイクファースト(朝食をしながら会議すること)/バリキャリ/バスポートサイズ/いちご大福(見かけは古風でも中身は最新)

- 昭和天皇の「権殿一周年祭の儀」が皇居で、「山陵一周年祭の儀」が八王子市の武蔵野陵で行われた(昭和天皇の喪儀はこの両儀式で完了)。
- 弘大の一部も参加する新共通テストによる大学入試センター試験(〜14)。志願者は史上最多の43万542人。
- 16 俳優の勝新太郎がハワイ入国の際、コカインなどの所持で逮捕。
- 20 東京・上野のJR御徒町駅のガード下の都道が爆発音とともに陥没し、乗用車など4台が転落、10人が負傷。
- 16 東大で脳死者からの肝臓移植の申請に、全国で初めて承認。
- 昭和天皇在位60年記念の10万円金貨が大量に偽造、海外から輸入されていることが判明。
- 千代の富士が史上初の通算1,000勝を達成。
- 18 兵庫県のスーパー長崎屋尾崎店で出火。客15人焼死、6人が重軽傷。
- 大阪・船見緑地で「国際花と緑の博覧会」開幕。
- 3 七尾島沖でノルウェー貨物船と漁船衝突で乗客4人が死亡、11人が行方不明。
- 29 丸宮と岡崎紀子さんの結婚パレード。香社総力で中継。
- 7 兵庫県の神戸高専高校で、登校中の1年生女子が校門の鉄製扉に挟まれ死傷。9.14 朝日放送教諭を業務上過失致死罪で起訴。
- 21 名古屋市の上自衛隊記念式典で米軍の丹羽兵衛参謀長、精神病患者に刺され重傷、11.12 入院先の病院で死去。
- 22 熊本県警、オウム真理教を国土利用計画法違反容疑で家宅捜索。顧問弁護士ら2人を逮捕。
- 30 季節はずれの台風28号が自派に上陸。史上最も遅い台風。
- 22 東京放送記者の秋山豊寛さんがソ連・バイコヌール宇宙基地から日本人として初めて宇宙飛行。

- 1.8 海部首相、欧州8ヶ国歴訪に出発。
- 1.12 東京の金融・証券市場はトリプル安を再現。平均株価の終値は653円36銭安と史上8番目の下げ幅。債券の償還銘柄の利回りも6.465%をつけ約5年ぶりに高水準。
- 2.18 第39回衆議院選挙(自民党が286議席の安定多数を確保。社会党も125議席と大躍進。公明、美産、民社が大きく後退)。
- 2.22 トヨタ自動車、工場を分散(北海道・宮城・福岡)する計画を発表。
- 2.28 第2次海部内閣発足(橋本蔵相、中山外相は再任。官房長官に坂本三十三次氏)。
- 3.20 日銀、公定歩合を1%引き上げる(0.75%引き上げて年6%)。
- 3.25 国土庁が地価公示を発表(大阪圏56.1%、名古屋圏29.2%と高騰の波が地方都市にも押し寄せる)。
- 4.10 三菱金属と三菱鉱業セメントの対等合併が発表される。
- 4.19 民社党幹事長に大内曾根氏、米沢隆吉氏は再任。
- 4.28 海部首相、東西アジア4ヶ国とインドネシアを訪問。
- 6.29 礼宮結婚式。
- 7.26 87年の株暴落で証券会社が大手顧客に170億円余の損失補てんをしていたことが東京国税局の調査で判明。
- 11.12 新憲法下初の天皇陛下の即位の礼(11.12 大嘗祭)。
- 11.26 経団連、西條英四郎会長が辞意。後任に副会長の平岩外四氏。
- 12.14 新幹線延伸決定。JR東日本3兆768億円、JR東海5兆823億円。
- 12.29 海部内閣改造。中山外相、橋本蔵相は再任。通産相に中尾栄一氏、科学技術長官に山家昭子氏。

平成2年 (1990年)

- 1月 水源地(玉流村・三富村)に計画室を設け、協力を要請。
- 1月 発起人会開催。
- 1.28 第1回実行委員会開催。
- 2月 東海農政局・中部産政局に協賛を依頼する。
- 3.26 第2回実行委員会幹事会開催。
- 6.9 愛知用水感謝祭実行委員会、中日本レガッタ(愛知県)に協賛。
- 7.31 愛知用水サミット開催。水源地と受益地の首長による意見交換会が初めて行われる。
- 8.28 牧尾ダムにて水源地への感謝の集いを開催し、記念碑除幕。
- 9.21 愛知用水感謝祭記念式典が名古屋国際会議場(白鳥センチュアープラザ)で開催される。
- 9.21 通水30周年の記念行事として、中京競馬場にて記念競馬(日本中央競馬会主催愛知用水感謝祭実行委員会協賛)が行われる。

●この年 阿木川ダム管理開始



- 2月 東海道・山陽新幹線の乗客数が30億人を突破。
- 5月 大相撲の横綱千代の富士が引退。
- この年 80年代ブーム。80年代に流行した歌やファッションなどがトレンドになり、橋本等や山本リンダが若者の間で人気者になる。ミニスカートが流行。大相撲の若花田・貴花田が大人気。
- 〈流行歌〉「湘南MY LOVE」ニューブ/「会いたい」武田知佳
- 〈映画〉「大誘拐」角川プロ:岡本喜八監督・北林谷栄/「おいしい話」東宝:森田芳光監督・三田佳子/「天河伝説殺人事件」東映:市川崑監督・榎本孝明/「グッバイママ」松竹:秋元康・松坂慶子
- 〈洋画〉「スーパーエンディング・ストーリー」/「ミゼリブル」/「トータル・コール」(米)
- 〈話題の書物〉「教皇」孔子/井上清/「紅髪カレンダー」小川洋子/「枝の達人」中谷彰宏/「だから私は嫌われる」ビートたけし/「朝見アメリカ行き」落合信彦/「さらばサムライ野郎」W・タロツチ
- 〈テレビ〉「太平記」/「デパート」/「友物語」/「おだんに愛を」/「結婚理想と現実」/「学校へ行こう」
- 〈CM〉「連れて行く人は好きな人」(マクドナルド)/「狂園のハル」(水産庁)
- 〈流行語〉 若者ドーム・火神流/竹えり/轟島半蔵(相撲の轟島半蔵の土の活躍から)/3高(女性の結婚の条件、高学歴・高身長・高収入)

- 1.2 皇居で3年ぶりの一般参賀。
- 1.19 登山家・田部井淳子さんが南極の最高峰ビンソンマシフ(5140m)の登頂に成功。女性初の世界6大陸最高峰登頂。
- 2.3 世界ボクシング、ジュニアフェザー級タイトル戦で橋中清興が王座獲得。
- 2.5 福井県・美濃町の関西電力美濃原発で高気圧発生装置の破損事故発生。
- 2.14 千葉大付属病院の医療機器導入で、同大医学部教授橋本貞夫ら3人が贈収賄容疑で逮捕される。
- 2.18 兵庫県立農業高校で入試答案の改ざんが発覚。1.20 校長と教諭2人を逮捕。
- 2.25 日航ジャンボ機墜落事故の犠牲者の遺族が米ボーイング社と東京地裁で和解。ボ社が悲憤の慰謝料反映の和解金支払う条件。
- 4.4 パキスタンのインダス川を下る冒險旅行中の早大生3人と現地ガイドが、武装グループに誘拐され身代金を要求されていることが判明。
- 29 明大2部医学部の91年度入試で替え玉受験されていたことが判明。5.29 職員2人と学生1人を逮捕。
- 5.14 富岡町・信楽町の信楽高原鉄道で、普通列車とJR西日本の快速列車が正面衝突。42人が死亡、576人が負傷。
- 21 俳優の勝新太郎が麻薬取締法違反容疑などで逮捕される。

- 1.6 上原参議院議長が北方領土に関して、日ソ関係拡大が先決と厳しい認識を表明。
- 1.8 橋本蔵相、中国を公式訪問(〜11日)。
- 1.9 海部首相、韓国を訪問(〜10日)。
- 1.13 土著社会党委員長がイラクへ出発。13日フセイン大統領と会談。テロリスト撤退を要求するが、「米の脅威に屈せず」と拒否される。
- 1.24 政府、湾岸戦争の買収策を決定。多国籍軍に対する90億ドルの追加資金協力と自衛隊機派遣が柱。1.28 衆院本会議で野党側は自衛隊機派遣は憲法無視と撤回要求。4.22 海上自衛隊掃海艇の派遣を決定。4.26 6隻が横須賀港など3港から出発。
- 2.3 プレ統一地方選の4県知事選。山梨で天野建氏初当選。青森で北村正哉氏4選。石川で中西隆一郎氏8選。愛知で鈴木礼治氏3選。
- 2.23 皇太子、立太子の礼。
- 3.21 兵庫県芦屋市長に北村春江氏が当選。全国初の女性市長に。
- 3.25 自民党の小沢幹事長が辞任。ゴルバチョフ大統領とメスクワで会談。
- 4.1 牛肉、オレンジ自由化スタート。
- 4.4 海部首相が訪米。ブッシュ米大統領と会談。大統領は初めて公式にコメ市場の開放を要請。
- 4.7 統一地方選挙前半戦(13都道府県知事選、44道府県議選など)。東京都知事は現職の鈴木俊一氏が当選。1.8 自民党の小沢幹事長が都知事選敗北の責任をとり辞任。後任に小沢忠三氏。
- 4.16 ゴルバチョフ・ソ連大統領来日(〜19日)。
- 5.10 東京都副知事に金子輝子氏再任。全国初の副知事誕生。
- 5.15 元自民党幹事長、安倍晋太郎氏死去。

平成3年 (1991年)

愛知用水は通水30周年を迎えました。

管理と運営について

管理方法

幹線水路に4ヵ所の支所を設置し、取入口・調整池(東郷ダム)幹線水路および附帯構造物の管理にあたっています。

●チェックゲート

幹線水路の通水量は、時期によって大幅に変化するのを、分水に支障を与えないよう、37ヵ所にチェックゲート(水位調節せき)を設置し、流量の変化にかかわらず一定の水位を保てるようになっている。このうち19ヵ所は、アミル式ネイルピクゲートの自動型で、18ヵ所は、手動型である。

●余水吐・放水口

水路の安全を保つため、幹線水路の通水断面が変化する地点および主要サイホンの入口等手動型チェック上流に18ヵ所の余水吐を設置(このうち、8ヵ所に放水口を併設)し、水路内の流水の排除を行うことができるようになっている。

●分水量の把握

各支線水路の構造に応じ、開水路用積算記録計、開放式スパーリングメーター、低圧管水路用スパーリングメーター等を設置している。

●管理用道路

水路の片側に水路の維持および分水ゲート等の操作を迅速円滑に行うため幅員3.50mの自動車の通行可能な管理用道路を設けている。

●管理用機械

少ない人員で安全な管理を行うため、無線機を搭載した自動車・小型トラック等の機動力を備えているほか、可搬ポンプ・ベルトコンベア等の清掃補修用の機械・水中照明器・救助網等を備えている。

管理主体	公団直轄管理	土地改良区委託管理
主要施設	牧尾ダム	松野池(可児)
	愛知池	三好池(愛知)
	幹線水路(約112km)	支線水路(1,012km)
	取水口 1ヶ所	3ヶ所(可児)
	開水路 95.7km	15km(入鹿)
	トンネル 29.4km	56km(愛知)
	サイホン 12.4km	
	その他 9.0km	
	付帯設備	
	チェックゲート 37ヶ所	
放水口 18ヶ所		
橋 17ヶ所		
余水吐 18ヶ所		
放水口 8ヶ所		

運営方法

施設管理規程の定めるところにより行い管理に関する重要な事項(管理計画、配水計画等)については、管理委員会(農林水産省、通商産業省、公団、関係県、関西電力株式会社および関係土地改良区の代表者ならびに学識経験者により構成)に諮問して、決定することとしている。



管理所・支所及び管理区域

所名	管理区域	幹線水路延長 (102.1km)	支線水路延長 (1,012km)
牧尾	牧尾ダム	33.4km	202本
大山	大山取入口より高瀬寺チェックまで	31.3	351
久手	高瀬寺チェックより藤原チェックまで	26.1	451
東海	藤原チェックより北池チェックまで	27.3	48
武豊	北池チェックより内蔵寺ポンプ場まで		

注()は上・工業用水分水界内敷

建設負担金賦課率(10haあたり)

地目	単価	地目	単価
一般雑草田	1,800(円)	普通畑	2,200(円)
天水田	2,500	菜園	3,100
圃田	3,100	開かん地	平均5,300

昭和42年度から12ヵ年標準 利率年5%分償

指令系統図



- ① 高久手支所は調整池も含まれるので放水指令が出る
- ② 牧尾・東郷ダムは貯水量の報告が義務づけられている
- ③ 通水希望日は日割りに中心
- ④ 水系別地区別面積
- ⑤ 通水希望期間

愛知用水のあゆみ

事業の概要と建設の経過

愛知用水は、干ばつや飲み水の不足に長年苦しんできた知多地域の人々の熱心な働きかけがきっかけとなって、昭和30年から同36年にかけて建設されました。

この事業は、岐阜、愛知県内にまたがる38市町村(当時)の地域を対象として木曾川の水を活用して、かんがい、農地開発を行うとともに水道、工業用水も供給することを目的とした我が国初の大規模総合開発事業で、愛知用水公団(当時)が以下の内容により実施したものです。

事業の目的

愛知用水は、木曾川水系の水資源を高度に利用して、岐阜県から名古屋市東方の平野部およびこれに続く知多半島一帯を総合的に開発することを目的として建設されました。その事業は大きく分けて▶かんがい事業▶都市用水事業▶発電事業—となっています。

かんがい事業 面積3,700ha(9%), 農地開発1,000ha(2.7%)
都市用水事業 1ヶ所(100%)、計4箇所(40%)を対象に流量1,000m³/sを供給
工業用水事業 6箇所(60%)を供給する
発電事業 平均発電能力4万 1,000kW(10%)

事業の特色

- ◎日本で完成した最初かつ最大の国土総合開発事業であり、水の総合利用をめざした多目的事業であること。
- ◎日本で最初の外資を導入した農業開発事業であること。
- ◎従来、国営・国営・団体営と別個の事業主体で実施していた基幹工事と末端工事を、一貫して実施し、完成させたこと。この結果として経済効果が早期に発生し、事業の投資効率が著しく高められたこと。
- ◎都市用水施設および発電施設を同時に完成させたこと。
- ◎わずか6ヵ年という短期間に全事業を完成させたこと。この短期完成を可能にした条件は、
- ①独立の事業実施機関として、特別立法をもって愛知用水公団が設立され、事業を強力に推進できたこと。
- ②余剰農産物資金(現業投資特別会計資金)をはじめ多額の長期資金を効率的に運用できたこと。
- ③最新優秀な内外の重土木機械を多数投入して、全面的な機械化施工を図ったこと。
- ④進歩した海外技術を導入して、設計・施工の両面に合理化と経済的な能率化を図ったこと。

施設概要

水源施設	牧尾ダム(御岳湖)	有効貯水量	6,800万m ³
	松野ダム(松野池)	有効貯水量	235万m ³ (1973年)
調整池	東郷ダム(愛知池)	有効貯水量	900万m ³
	三好ダム(三好池)	有効貯水量	220万m ³
幹線水路			112km
支線水路			1,012km

事業費

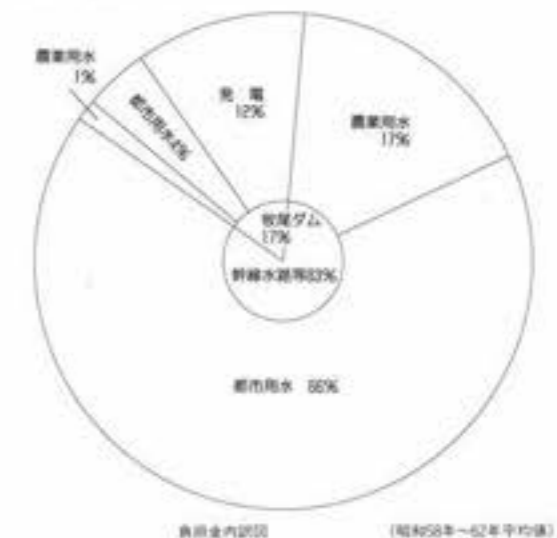
愛知用水事業に要した資金の総額は422億円で、この所要資金は国庫補助金のほか、余剰農産物資金融通特別会計や資金運用部特別会計などからの借入金による円資金と、国際復興開発銀行(世界銀行)からの借入金による外貨資金14億4,900万円をもって調達された。なお、世界銀行借入金は、技術援助および輸入建設機械購入に使用された。事業費の負担区分は、多目的であるため国・県・地元のほか、電力および水道の各事業主体において、それぞれ事業費を負担した。

水利計画の変遷

最大使用水量	当初(昭和36年)	現在
かんがい用水	28,800m ³ /s(30,700ha)	21,514m ³ /s(15,000ha)
土水	1,307m ³ /s(最大)	2,594m ³ /s(最大)
工業用水	833m ³ /s(最大)	6,411m ³ /s(最大)

管理費用負担割合

愛知用水の管理費用の各県別負担割合は、下図のとおりである。



負担金内訳図 (昭和50年~52年平均値)



愛知用水の
水 エネルギー
 ウォッチング



あのモナリザの作者はかく言った。

水は、ときには鋭くまたたくましく、ときにはとげとげしくまた苦にがしく、ときにはやさしく、ときにはどろどろとあるいはさらさらと流れ、ときには人びとを傷つけ疫病を運ぶ、またときには人びとに健康をもたらす、ときには毒をもたらす。流れるところによって次々と変化する。

鏡が映すものの色を帯びるときに、水も流れる場所の性質に応じて変わる。かくして汚らしくも、穏やかに、人を寄せつけなくもなる。硫黄を含んだり、塩分を含むこともある。ときには悲しげに、ときには怒り狂って、赤く染まることもある。黄色、緑、黒、青に変わることもある。油ぎった水もある。太く流れる水もあれば細々と流れる水もある。ときには大氷を招き、ときにはそれを消す。暖かい水もあれば冷たい水もある。物を運び去ることもある。物を置いていくこともある。ときにははえぐり、ときには土砂を盛り、別すときもあれば染くときもある。ときには満たし、ときには空にする。高くなることもあれば低くなることもある。速く流れることもあれば静止することもある。ときには増えたらし、ときには死をもたらし、ときには増やし、ときには奪う。ときには養分となり、ときにはその反対となる。独特の味があることもあれば、無味のときもある。そして大洪水となつて渓谷を沈めることもある。

時と場合により、そして水とともに、万物は移ろう。

レオナルド・ダ・ヴィンチ

愛知用水の受益地区をはじめ、愛知県下でつくられたお米の「あいちのかおり」「舞の風」が「あゆみ園」の名前で売られています。「あゆみ」とは、愛知県の古い名称。「夕日に浮かぶ赤とんぼと大地」のデザインが目印です。

●愛知県下の米の生産高ベスト15
単位(作付面積:ha 収穫量:t)

順位	市町村名	作付面積	収穫量
1位	豊田市	2,730	12,900
2位	安城市	2,540	12,400
3位	豊橋市	2,430	11,400
4位	岡崎市	2,100	10,200
5位	西尾市	1,630	7,800
6位	一宮市	1,460	6,460
7位	弥富町	1,110	5,550
8位	刈谷市	1,080	5,200
9位	稲沢市	1,110	4,950
10位	名古屋市長久手町	875	3,910
11位	小牧市	783	3,590
12位	津島市	774	3,580
13位	常滑市	693	3,340
14位	新城市	769	3,390
15位	佐屋町	745	3,380

(平成2年度「農業の動き」資料より)



かつて水不足に悩まされ、田植えのシーズンになっても「田んぼに水がない」。近頃のため池の水を利用しようと思っても、そこにも水はなく田植えもできない。そんな悲惨な時代もあった知多半島の農家の人たち。昭和三六年に愛知用水が通水してからは、水が安定して確保できるようになり、耕地面積に対する米の生産高も大幅に伸びました。

また、梅雨のシーズンを待たずに田植えができるようになりました。そのため知多半島をはじめとする愛知用水の受益地区では、一般的においしいといわれている早生米(わせまい)を中心とした米づくりが盛んになり、その種類も年々バラエティーになってきています。いずれにしても、農業で生計を立てている人たちにとって、売れる米づくり。こそ最大のテーマ。ますます高級化し、多様化する消費者ニーズに対応して、よりおいしい米づくりに意欲を燃やしています。



これが愛知用水の受益地区でつくられているお米の主要品種です。

	犬山市	大口町	扶桑町	瀬戸市	春日井市	小牧市	尾張旭市	名古屋市長久手町	豊明市	東郷町	日進町	長久手町	半田市	常滑市	東海市	大府市	知多市	阿久比町	南知多町	美浜町	武豊町	知立市	刈谷市	豊田市	三好町
真金晴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コシヒカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あいちのかおり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
舞の風	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
初風	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新アサヒ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハツシモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チヨニシキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
秋晴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青い空	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サチイズミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
星の光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若水風	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホウレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アキニシキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トドロキワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
太刀風	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマホウシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ササニシキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中京	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東山38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大空	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中部26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマセニシキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(平成2年度愛知食糧事務所調べ)

木曾川をはじめ豊かな川に恵まれた愛知県は、古くから稲作が盛んで、農業の発展が今日の発展の大きな礎ともなっています。

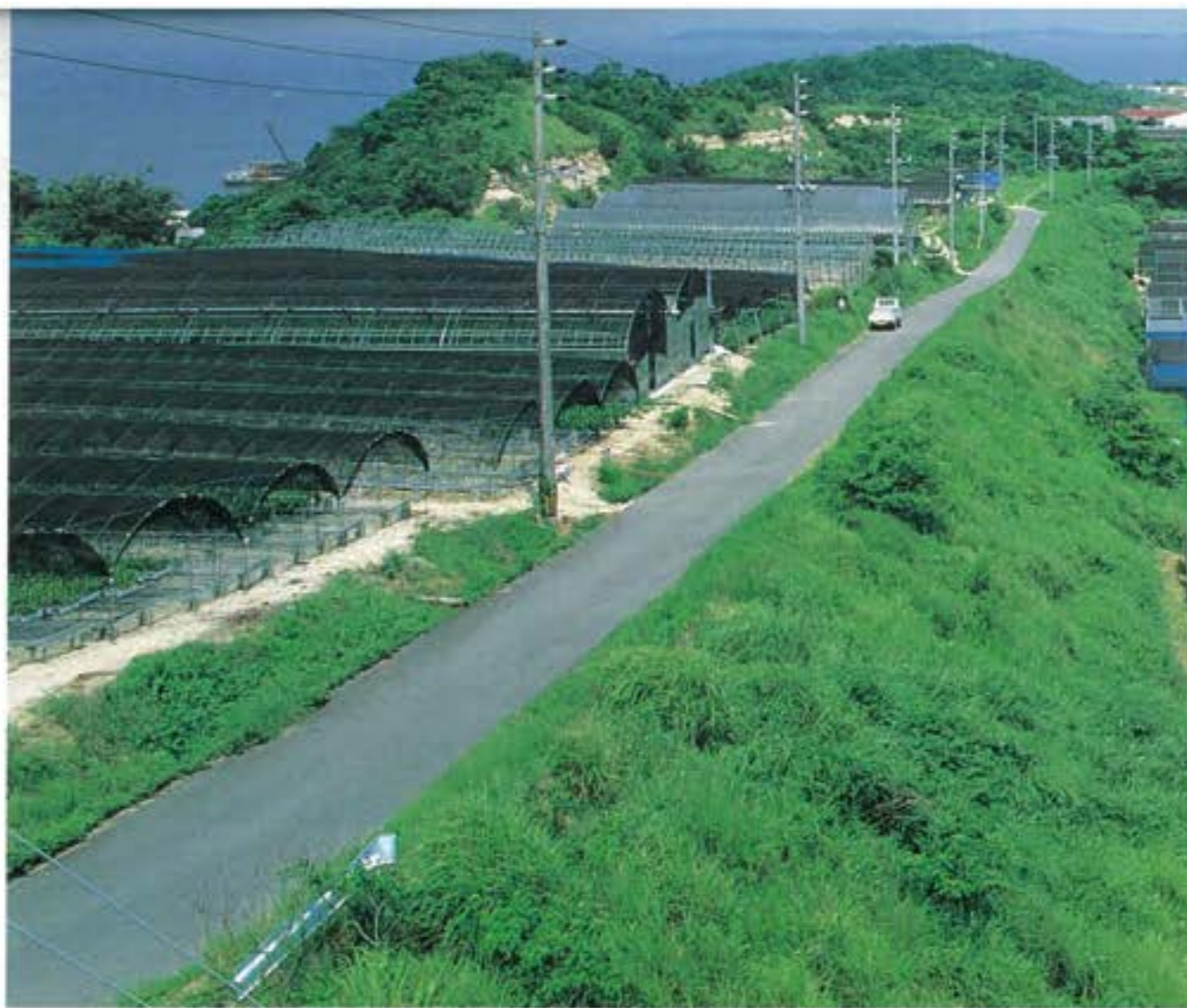
現在、県下の農家は約一二万世帯。(総世帯数の約五七%が何らかの形で農業を営んでいます)耕地面積は総面積の約一八%。このうち一%が水田で、米の作付面積は約三万九、四〇〇ヘクタール。収穫量は約一八万四、四〇〇トン、生産高は年間三、四八八億円となっています。

ちなみに県下の「米どころ」は、豊田市、安城市、豊橋市がベスト3です。



●愛知県の土地利用の割合(昭和38年)

愛知県の農業と愛知用水の受益地区の農業

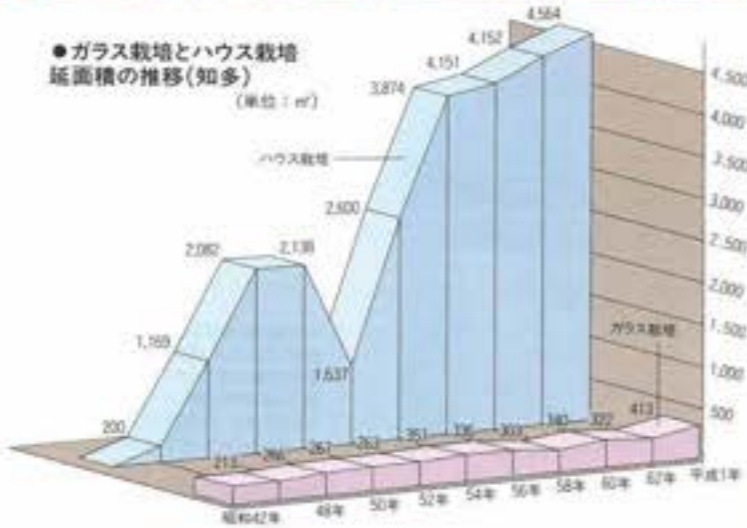


ハウス栽培が盛んになり、
農業の姿が大きく変わりました。

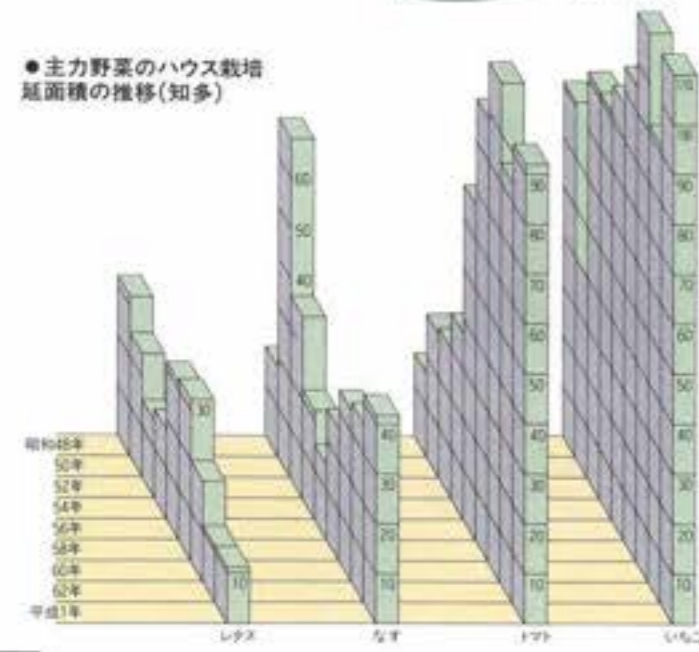
●ハウス栽培面積の種類別割合(知多)



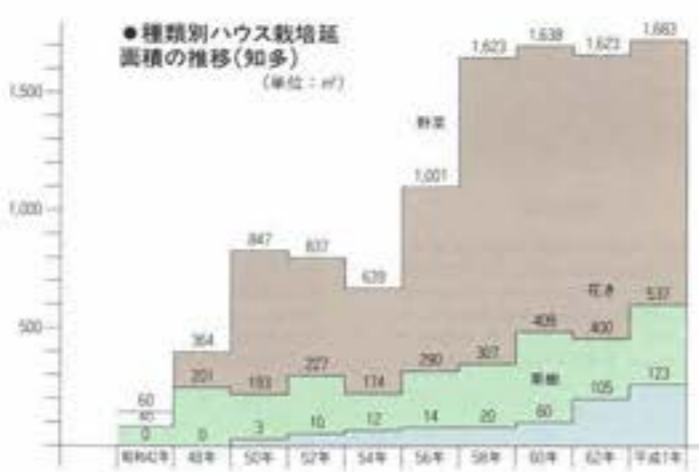
●ガラス栽培とハウス栽培
延面積の推移(知多)



●主力野菜のハウス栽培
延面積の推移(知多)



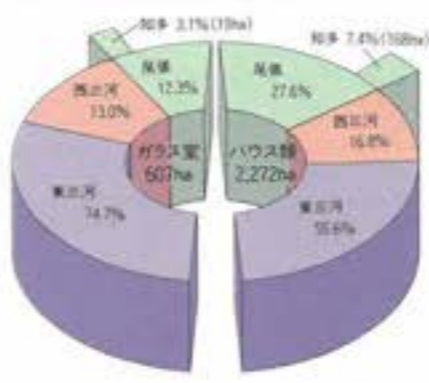
●種類別ハウス栽培延
面積の推移(知多)



愛知用水が通水してから、知多半島の農業は大きく変わりました。まず、目につくのが耕地面積の大幅な減少です。これは名古屋臨海工業地帯をはじめとするベッドタウン化・都市化によるもので、土地の住宅・工場などへの転用が急速に進み、水田・畑地ともに通水前の約三分の二程度に減っています。しかし、その一方で温暖な気候と恵まれた立地条件を生かした施設園芸が増加。野菜類、花卉類を中心に積極的な生産意欲と資本投下を反映して、暖房、換気、かん水などの自動化および省エネルギー装置を導入した近代的な施設園芸地帯が、あちこちで見られるようになりました。

半田農地開発事務所の調べによると、知多半島の五市五町(半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)の施設設置面積は、ガラス室一九ヘクタール、ハウス類一六八ヘクタールに達し、地下の約一割を占有しています。施設内の作物別作付状況を見ると、野菜ではトマト、いちごなど果実的野菜が主体となり、花卉では洋ラン、観葉植物などの鉢物類が中心。とくに東海市を中心とする洋ランの栽培は、全国有数の施設園芸を形成しています。

●地域別施設園芸の面積の割合



●知多半島における農地面積の割合
(資料：愛知農林水産統計年表)



真っ赤に熟したもぎたてのトマトや、パリッとした歯ざわりがおいしいレタスなどは、95パーセント以上も水が主成分。キャベツやだいこん、ナスやほくそいなど、新鮮な野菜にはどれもこれも水はたっぷり含まれています。野菜を成長させたり、成熟させたりするだけでなく、グルメな味をも育ててくれる水エネルギー。愛知用水の水で栽培される、主な野菜をご紹介します。



ブロッコリー

カリフラワーと同じくキャベツから改良された野菜。ほとんどの栄養素をまんべんなく持っていますが、とくにビタミンCはレモンの約2倍。美容効果も高いヘルシー野菜です。
〈主な産地〉 東海市、大口町、大府市、知多市、豊田市、常滑市、三好町など。



ナス

「なすび」と呼ばれる深い色合いが食欲をそそります。それにほのかな香りと独特の肉質がたまらぬ味わいは、私たち日本人の食生活になくてはならない存在です。
〈主な産地〉 刈谷市、三好町、豊田市、小牧市、半田市、大口町など。



とうもろこし

夏を代表する野菜のひとつ。糖分をはじめ、たんぱく質、リン、カリウム、カロチン、ビタミンB₁・B₂・E、食物繊維など、大変バランスのとれた栄養野菜です。
〈主な産地〉 大府市、南知多町、常滑市、扶桑町、美浜町、阿久比町など。



葉しょうが

香りとほどよい刺激がすがすがしい初夏の野菜。刺激成分には食欲を増進する働きがあるので、夏バテのときには食前に少しずつ食べるというです。
〈主な産地〉 大口町、扶桑町、阿久比町、東浦町、美浜町、武豊町、三好町など。



レタス

化学肥料で育てられた野菜の第1号。含有量は少ないですが、体に必要な栄養素はほとんど持っているバランス食品。野菜としては珍しいビタミンEも持っています。
〈主な産地〉 知多市(尾張地区でNo.1)、豊田市、小牧市、三好町など。



じゃがいも

「地のりんご」と呼ばれるくらい栄養がたっぷり。とくにビタミンCが多く、昔ヨーロッパで多くの船員の命を奪った壊血病が、じゃがいもを船に積むようになって解決した話もあり有名です。
〈主な産地〉 大府市、南知多町、東浦町など。



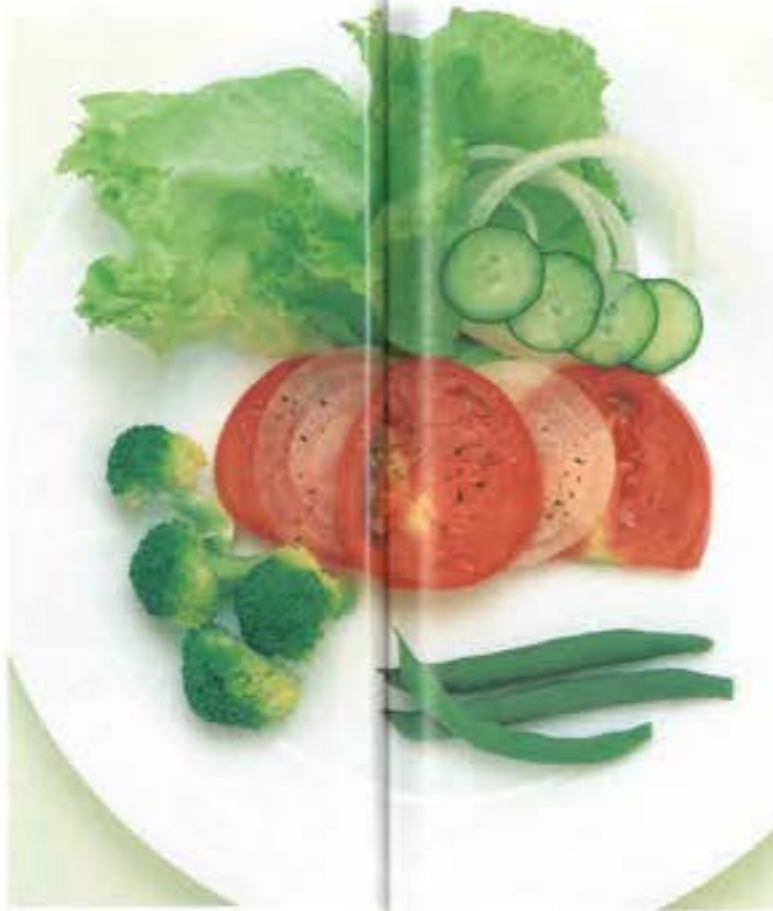
さつまいも

女性や子どもに人気のある健康野菜。糖質のほかビタミンCも多く、さつまいも100グラム中の含有量は、なんと夏みかんのほぼ10倍分に匹敵するといわれています。
〈主な産地〉 扶桑町、豊田市、小牧市、大口町、大府市など。



だいこん

白い根の部分には、胃腸の働きをよくする消化酵素ジアスターゼがたっぷり。葉のほうには、カロチンやビタミンC、カルシウムや鉄分などの栄養素がいっぱい含まれています。
〈主な産地〉 刈谷市、大府市、豊田市、扶桑町、三好町、武豊町、常滑市、豊明市など。



やまいも

昔から滋養強壯の食べ物として、よく知られている食品。でんぷんの消化酵素アミラーゼも多く含まれているため、胃腸の調子を整える働きもあります。
〈主な産地〉 大府市、扶桑町、東海市、豊田市など。



かぶ

約400年前からある野菜。煮たり蒸したりするだけでなく、葉っぱも使ってスープをつくれば栄養満点。だいこんと同様、白い根の部分よりも葉の部分の方が栄養素は多いのです。
〈主な産地〉 三好町、東海市、大府市、知多市、瀬戸市、春日井市など。



にんにく

スタミナ野菜で、カロリーもたっぷり。そのうえ殺菌効果も抜群なので軽いカゼや喉痛なら、にんにくでOK。血行をよくする成分も多いので、神経痛や肩こり、腰痛などにも効果があります。
〈主な産地〉 知多半島全域



はくさい

露地栽培の代表格。量は少ないですが、いろいろな栄養素をまんべんなく含んでいます。寒さが本格的になり、鍋もの季節に入ると、出荷量もピークになります。
〈主な産地〉 豊田市、豊明市、三好町、大府市、東浦町、常滑市、知多市、東海市など。



すいか

子どもたちが大好きな夏の味覚。暑から喉を潤かして食べる習慣がありますが、こうすると汗とともに排出された体内のナトリウムが補われ、また利尿効果も大きくなるதாக。
〈主な産地〉 豊田市、刈谷市、三好町、大府市、常滑市など。



えだまめ

夏のビールにつきものの枝豆には、良質のたんぱく質がいっぱい。カルシウムやビタミンB₁・Cなども多いので、サラダや炒めもの、煮物などにも工夫して使いたい食品です。
〈主な産地〉 小牧市、春日井市、大口町、豊明市、日進町、長久手町など。



ごぼう

大腸ガンや動脈硬化などの予防効果があるということで、最近、食物繊維を多く含む野菜が発見されています。ごぼうの人気も、このところ上昇中です。
〈主な産地〉 扶桑町(愛知県でNo.1)、大山市、豊田市、知多市、常滑市など。



さやいんげん

細くてスマートな野菜ですが、栄養価はビッグ。たんぱく質、カルシウム、リン、鉄、カロチン、ビタミンB₁・B₂などがいっぱい含まれています。
〈主な産地〉 豊田市、知多市、大府市、美浜町、常滑市、南知多町、東浦町など。



キャベツ

野菜嫌いでも、キャベツだけは好きという人が多いようです。栄養的には、芯に近いほどビタミンCがあり、外の葉の緑色が濃い部分はカロチンが豊富です。
〈主な産地〉 大府市、南知多町、豊田市、東海市、常滑市、東浦町、小牧市など。

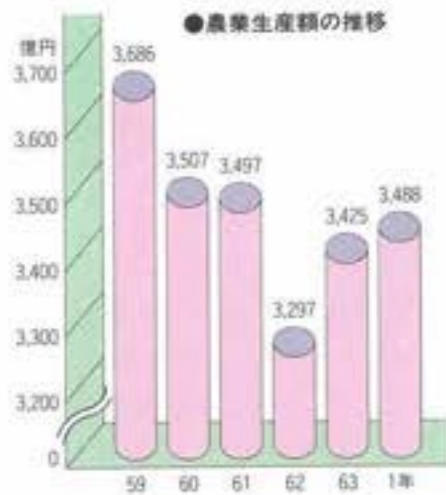


トマト

色が赤いので緑黄色野菜と思われがちですが、ビタミンCやカリウムに優れた淡色野菜の代表選手。カロチンや毛細血管を丈夫にするルチンも多い頼もしい野菜です。
〈主な産地〉 小牧市、東浦町、常滑市、三好町、大府市、東海市など。



近郊野菜でにぎわう 名古屋北部市場。



●農業の主要指標(全国シェアと順位)

指標	愛知県	全国シェア(全国平均)	順位
農家戸数	119,573戸	3.1%	7
販売農家数	82,617戸	2.8%	12
専業農家戸数	12,281戸	2.6%	15
基幹的農業従事者数	87,075人	3.0%	12
耕地面積	91,800ha	1.8%	18
500万円以上販売農家戸数	12,677戸	3.8%	4
1,500万円以上販売農家戸数	4,420戸	5.9%	2
農業粗生産額	3,488億円	3.2%	9
生産農家所得	1,535億円	3.3%	7
農家1戸当たり生産農家所得	1,317千円	(1,107)千円	18
基幹的農業従事者1人当たり生産農家所得	1,551千円	(1,431)千円	16
耕地10a当たり生産農家所得	166千円	(88)千円	1

データで見るあいちの農業

現在、愛知県下の農家のうち約六九%にあたる八二、六一七戸が作物を出荷して、生計を立てている。販売農家です。一戸あたりの平均耕地面積は約〇・八ヘクタール。全国で第一八位と低いですが、耕地面積に対する生産農家所得では全国でトップ。年間二・五〇〇万円以上の販売農家戸数も北海道に次いで第二位です。

つまり、愛知県の農業は田畑だけでなく、園芸や畜産などの施設型農業が多いのが大きな特色。名古屋を中心とするベッドタウン化などで耕地面積そのものは減少しているのにもかかわらず、かんばつに悩まれているお百姓さん、が大変多いのです。

●愛知県の特産物(野菜)

品目	全国シェア	順位	栽培面積	生産量	生産額
キャベツ	11.3%	第1位	4,660ha	225,800 t	11,146億円
ブロッコリー	9.6%	〃	729	12,100	2,632
ふき	21.4%	〃	230	1,840	419
おおば(青じそ)	59.1%	〃	120	6,152	6,318
温室メロン	26.7%	第2位	361	9,670	3,903
れんこん	9.6%	第3位	571	8,930	2,132
すいか	5.6%	〃	1,300	37,000	4,065
たまねぎ	4.0%	第4位	1,130	59,800	3,555
さやえんどう	3.7%	〃	331	3,470	2,131
セルリー	4.3%	〃	39	2,190	306
露地メロン	6.8%	〃	1,080	19,400	4,033
みつば	9.0%	〃	132	3,332	1,040
いちご	5.1%	第5位	524	13,900	9,734

(資料：愛知県農業水産部1991年統計年表)

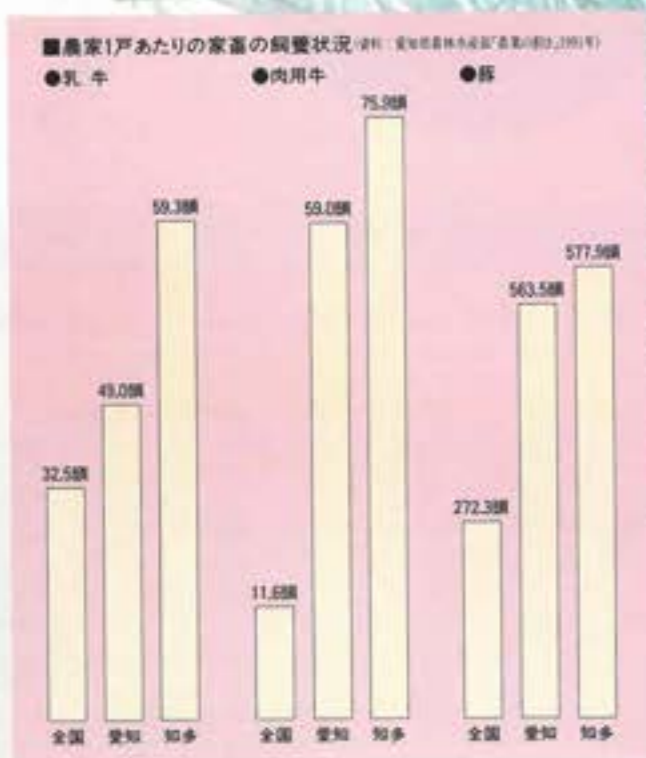
野菜や果物は鮮度が勝負。採れたての新鮮な味わいが、いちばんのおいしさです。尾張東部の丘陵地帯から知多半島に広がる約一万五〇〇〇ヘクタールの田畑を潤す愛知用水の受益地区で栽培された作物は、地元農協や名古屋卸売市場などを経て、スーパーや八百屋さんへと運ばれていきます。

ご存知でしたか？

タマゴの出荷量は、
愛知県が
全国第1位です。

誰にでも作れる目玉焼は、平凡だけれど、うれしいメニューです。いえ、何も目玉焼だけに限らず、タマゴを使った料理は、みんなが大好き。栄養だっていっぱいある理想的な食品なのです。

ところで、私たちが住んでいる愛知県は全国でナンバーワンのタマゴの産地。年間の出荷量は約13万5,843トン(平成2年度)。1個が約50グラムとすると、なんと27億7,086個分のタマゴが生産されている計算になります。もちろん養鶏場で飼われているニワトリの数もダントツに多く、約842万4000羽(メスのみ)。愛知県の総人口数約672万3000人よりも、はるかに県下にはニワトリの数のほうが多いのです。



●愛知用水の水で栽培される美しい花…



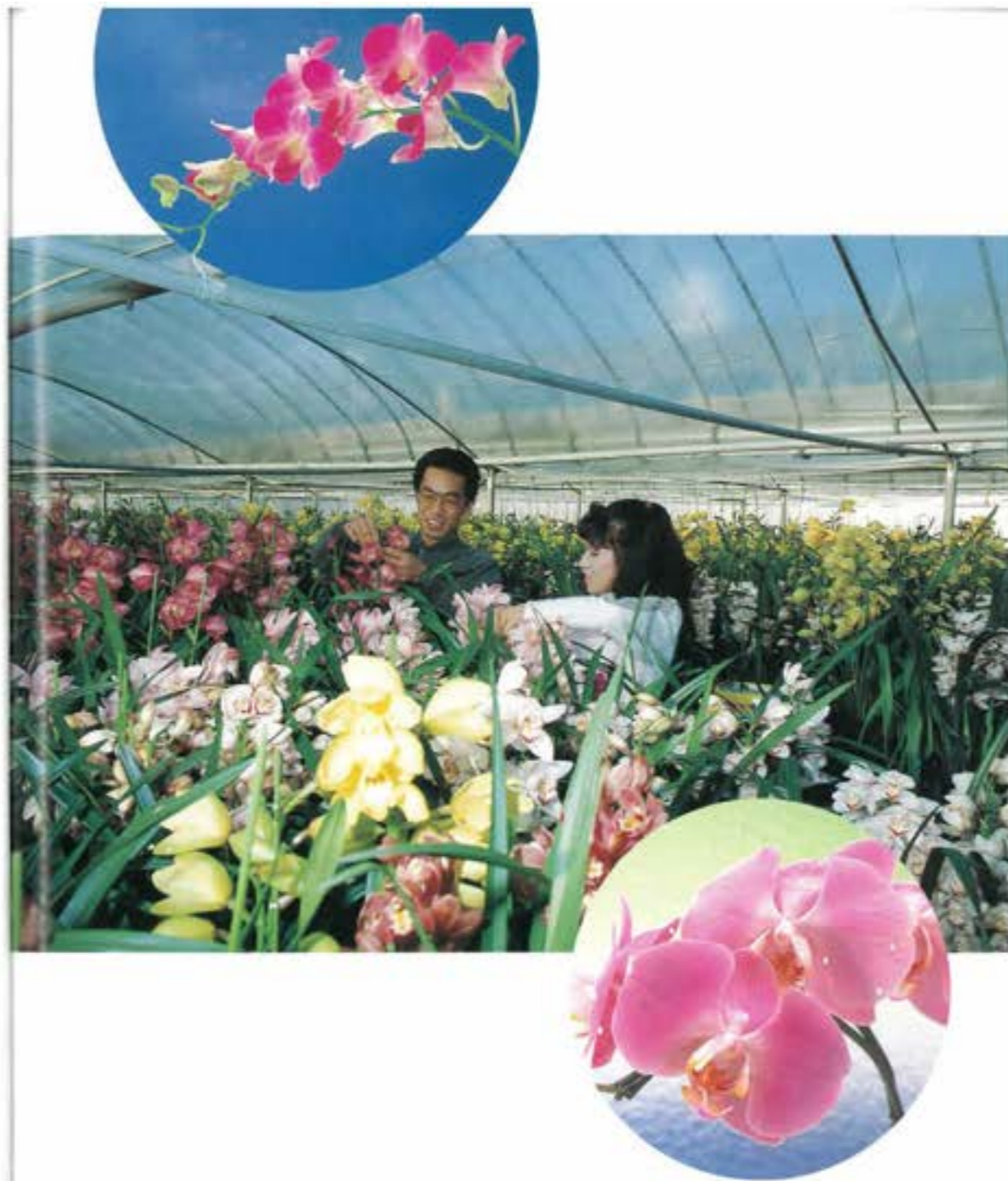
●愛知県の花の生産額と種類別割合



●知多の花の生産額と種類別割合



愛知用水は、
花の栽培にも使われています。



●愛知県は全国一の花の産地です。

品目	作付面積	出荷数(千本)	生産額(万円)	全国シェア・順位	主な産地
まき(電照まき)	501ha	191,045	10,234	33.1%・第1位	渥美郡、豊川市
カーネーション	62ha	83,041	3,058	12.2%・第2位	一色町、西尾市、武豊町
ばら	33ha	34,776	2,061	9.2%・第2位	渥美郡、豊川市、豊橋市
シクラメン	21ha	2,285	1,508	12.8%・第1位	岡津町、津具村、一宮町
鉢植えきく類	11ha	1,387	387	31.2%・第1位	渥美郡、海部郡
観葉植物	89ha	18,779	7,452	33.9%・第1位	安城市、豊田市、西尾市
洋ラン	47ha	3,496	5,166	25.6%・第1位	豊田市、西尾市、東海市
サボテン	5ha	5,862	255	18.1%・第2位	春日井市、小牧市、大口町

(平成30年度「愛知県の農業の動き」資料より)



水の上で発展する工業都市

名古屋港を埋め立てて誕生した名古屋臨海工業地帯。この地下には、愛知用水の送水管が網の目のように走っています。愛知県を全国屈指の工業県に発展させ、そして今もなお、県下の主要産業を支えている愛知用水の水エネルギー。こうして空からながめてみると、名古屋臨海工業地帯とは、まさに水の上で発展する工業都市。

愛知用水の水エネルギーの偉大さについて、あらためて実感することができます。



生産台数も保有台数も、全国ナンバーワンの自動車王国、愛知県の自動車産業を支えている製鉄所や自動車部品メーカーの製造段階で、愛知用水の水は重要な役割を果たしています。

自動車のボディや部品やゴム用品…スーパーやコンビニエンスで売られている身近な食料品のなかにも、愛知用水の水エネルギーは生きています。



工業用水のほかにも、愛知用水の水の恵みを受けて市場に出回っている食品はいろいろあります。写真の2つは、その代表的存在といえましょう。



現在、愛知用水の工業用水を使っている企業は66事業所、食品関連企業も多く、これらの企業では愛知用水の水を原料水や洗浄水など広範囲にわたって使われています。



ZOOM UP MAKIO DAM

通水30周年を記念して、
愛知用水の水源・牧尾ダムには、
「キャストブロンズの像」が建てられました。



牧尾ダム



▲昭和45年には知多半島を結ぶ知多中央道路が開通。愛知用水の水とともに、観光客を呼ぶ大きな原動力になりました。

▶温暖な気候に恵まれた知多半島は、全国的に知られるミカンの産地。これも愛知用水の水の恵みによるものです。通水されたのをきっかけに、いけばずのようなミカン栽培が盛んになったため、愛知用水は「オレンジ用水」とも呼ばれました。



▲愛知用水が通水するまでは井戸に頼るところが多かった知多半島の海岸地区。海水浴じりの平素な井戸水の間には、トラコーマなど目にかかる病気が流行しましたが、きれいな本管の水が使えるようになってからは海水浴客も大幅に増加しました。

を呼ぶ
水
エネルギー。



あとかき

知多半島の丘陵地にある農場へ行ったとき、一瞬、北海道にでも来たような気持ちになりました。見事なまでのキャベツ畑。青い空とグリーンとのコントラストが、実に美しいのです。ゆるやかなスロープを描いた山の斜面には、白いパイプラインが何本も走り、あちこちの畑ではスプリンクラーが踊るように回っています。

この水が、愛知用水の水だと知って、ほんとうに驚きました。農家のおじさんの話では、山を切り拓き、こんなにも広い農地が確保できたのは、「みんな愛知用水のおかげ」だということです。

愛知用水の水を利用しながら、生産力や品質のレベルアップに努めている工場でも、この「愛知用水のおかげ」という言葉を何度も耳にしました。

確かに、工業用水として使われている水の量は大きなものです。しかし、どの工場でも「水はタダではない」「限りある資源」といって、節水に心掛け、一度使った水もそのまま海へ捨てないで、回収率を高め、何度も使う努力をしているのです。なかには、水の配分からリサイクルまでをコンピュータで集中管理し、水エネルギーだけを専門的に扱うセクションまで設けている企業もありました。

ところが、都市生活者である私たちはどうでしょう。水は蛇口をひねれば、いつでも自由に使える快適生活にすっかり慣れてしまっただけ、もはや「愛知用水のおかげ」なんていう言葉もどこか古くさい感じ。朝シャンがトレンドイデ、洗濯もほとんど毎日。歯みがきも、お米を

洗うのも、水道の水は出しっぱなし……という日々を過ごしているのが現実ではないでしょうか。

しかし、愛知用水が通水する前後の昭和三〇年代までは、一般の家庭でも節水はごく当たり前。いえ、むしろ企業や工場よりも、水を使う姿勢は真面目で、そして謙虚でさえあったように思います。

この記念誌のタイトルにもなっている「豊かな水がありがとう」という、「水」に感謝する心をみんなで大切にしていきたいものです。そして、そういう心をみんなが大切にするようになったとき、水を中心とした自然との関わり方や水をテーマにした環境づくりなどが、行政レベルではなく、地域の問題として大きく広がっていくのではないのでしょうか。豊かな水に恵まれ、たくさん水を消費した経験を積んだ私たちがなくては新しい発想——愛知用水をつくりだした先人たちに負けないような私たちの知恵と工夫が試されるのは、むしろ、これからだと思います。

山田 和子

おいしい水をありがとうございます。

Special Thanks



この記念誌は、次のみなさんのご協力によってつくることができました。

●取材協力

(愛知県)
企画部水資源対策室
農地林野部農用水課
企業庁水産部水産計画課
企業庁水産部上水課
企業庁水産部工業用水課
中川農地開発事務所
愛知用水水産北部事務所
高蔵寺浄水場 旭浄水場
愛知用水水産南部事務所
夏郷浄水場 上野浄水場 知多浄水場

(岐阜県)
農政部農地計画課
開発企業局水資源課
開発企業局管理企業課

水資源開発公社中部支社
愛知用水組合事業部
牧尾管理所 大山支所 長久平支所
東海支所 武蔵支所

愛知用水土地改良区
入鹿用水土地改良区
可児土地改良区

農林水産省東海農政局南知多開拓建設事業所

(水源地)
長野県木曾郡王滝村
* 三谷村

(受益地市町)
可児市・平田市・東海市・尾張旭市・三好町

(受益企業)
新日本製鉄株式会社名古屋製鉄所
中京コカ・コーラボトリング株式会社
東レ株式会社名古屋事業場
名古屋バルブ株式会社

久野任太郎 浜島製糖

(愛知用水公団OJ) (現水資源開発公団)
中川 穂・寛勝 瀬・瀬川清光・佐野重雄
近藤 晋・加古美雄

(受益者代表)
藤岡義昭・日比野義次・盛井裕治・浅田健二
富澤悠紀子・原ひろ子

(牧尾ダム水没者)
水谷道典・大塚国夫

名古屋造形短期大学助教授・高川 誠
(社)淡水生物研究所所長・森下都子
歴史研究史友会代表幹事・井上博史

東郷町・生活文化会
越木牧場(美浜町)

●資料協力 中日新聞社

(参考資料一覧)

愛知用水史(愛知用水公団・愛知県)
愛知用水と地域開発(愛知用水学術調査団)
愛知用水事業完成記念写真集(愛知用水公団)
木曾川物語(中日新聞)
母なる川(朝日新聞名古屋社会部)
愛知用水概要書(水資源開発公団愛知用水組合事業部)
愛知用水グラフ(愛知用水公団)
愛知用水と営農(愛知用水知多地区営農促進協議会)
昭和史年表(小学館)
稲作関係資料(愛知県農業水産部)
施設調査の現況(愛知県農業水産部)
農業の動き1991(愛知県)
花き生産実績(愛知県農業水産部)
まさか王滝に/(長野県)
'84長野県西部地帯概要(長野県王滝村)

●編集協力

執筆・構成/山田和子
写真撮影/大馬 崇・河村勝樹・田中雄一
アートディレクション/大竹政彦
レイアウト/デザイン オフィス02
(西森和子・北森彰洋)・クレスト
プロデュース/パナ・エンタープライズ

愛知用水通水30周年記念

豊かな水をありがとう

平成3年9月21日発行

発行元/愛知用水部建設実行委員会

監修/中日新聞編集委員・前田義夫

印刷/東洋印刷工業株式会社

製本/越島製本株式会社